資料１－８

若年層献血意識調査結果の概要

Ⅰ　調査の概況

＜ 調査目的 ＞

献血者数については、これまで減少傾向が引き続いていたところであるが、平成20年以降、増加に転じ、これまでの献血者確保対策に一定の効果がみられているところである。

しかしながら、10～20歳代の若年層の献血者数に目を転じてみると、同年代の人口減少の割合を上回る割合で減少し続け、依然として若年層の献血離れは深刻なものであり、将来の輸血医療に支障が生じることが懸念されていることから、若年層に対しての普及、啓発をこれまで以上に重点的・効率的に行う必要性が生じている。

そのため、若年層の献血に対する意識調査を実施し、平成17年度と平成20年度に行った同様の調査結果との比較を行うことにより、若年層の献血に対する意識等に変化があるのかどうかを検証し、検証結果を今後の若年層に対する献血推進のあり方の検討に資することを目的とする。

＜ 調査内容 ＞

（1） 若年層の献血への関心度や献血へのイメージを把握する。
（2） 若年層の献血に関する認知度を把握する。
（3） 若年層が献血を行った時期やきっかけを把握する。
（4） （1）～（3）について平成１７年度、平成２０年度の調査結果との比較を行う。

＜ 調査概要 ＞

【 調査方法 】委託先調査会社が保有している一般消費者パネルに対して、インターネットを通じて質問（調査票）を送付し、回答を収集する。

【 調査対象 】全国の１６～２９歳の献血経験者及び献血未経験者
※献血経験者　：過去に1度でも献血の経験がある者
※献血未経験者：今まで1度も献血の経験がない者（採血前の検査で基準を満たないため献血できなかった者を含む）

【 対象者数 】

献血経験者：５０００名
献血未経験者：５０００名
合計：１００００名

※全国を右表の通り7ブロックに分け、各ブロックの若年層人口(16～29歳)の全国に占める割合を平成22年住民基本台帳年齢別人口のデータに基づき算出し、ブロックごとの回収数を決定した。

	合　計	経験者	未経験者
合　計	10,000	5,000	5,000
北海道	412	206	206
東北	706	353	353
関東甲信越	3,650	1,825	1,825
東海北陸	1,572	786	786
近畿	1,632	816	816
中国・四国	862	431	431
九州・沖縄	1,166	583	583

【 調査期間 】 平成２３年１０月６日（木）～１０月１２日（水）

Ⅱ　調査結果の概要

１．献血未経験者

【 対象者特性（回答者5，000人）】

・居住地は、「関東甲信越」が36.5%で、以下、「近畿」(16.3%)、「東海北陸」(15.7%)、「九州・沖縄」(11.7%)、「中国・四国」(8.6%)、「東北」(7.1%)、「北海道」(4.1%)の順。全体構成は17年度調査及び20年度調査と概ね変わらない。

・性別は、「男性」51.0%、「女性」49.0%とほぼ半々。20年度調査と構成は概ね変わらない。１７年度調査と比べると男性回答者が2割弱増加(33.8%→51.0%)。

・年齢は、「１６～１７歳」(9.5%)、「１８～１９歳」(18.6%) 、「２０～２４歳」(36.0%)、「２５～２９歳」(36.0%)である。１７年度調査及び２０年度調査に比べて１０代の回答者が増加(11.6%→25.1%→28.1%)。

・職業は、「大学生・専門学校生」(31.9%)と「会社員」(27.4%)が中心。以下、「その他」(15.9%)、「高校生」(12.8%)、「専業主婦」(6.5%)、自営業(3.4%)、公務員(2.1%)の順。２０年度調査とは概ね同様の傾向。１７年度調査に比べて特に「大学生・専門学校生」が増加(18.6%→31.9%)、「専業主婦」が減少(17.1%→6.5%)。

・医療関係への関与有無は、「携わっている」人は8.0%で、１７年度調査及び２０年度調査と概ね変わらない。

【 献血に関する認知・関心度 】

（Q1）献血に関しての認知程度

・未経験者全体では、「よく知っている」(10.8%)と「ある程度知っている」（75.4%）を合わせた認知率は86.2%。
・職業別では、高校生の認知率(81.3%)が他層に比べて低い。
・性別では、男性(83.5%)より女性の認知率(89.0%)が高い。
・１７年度調査に比べて２０年度調査は認知率が大幅に上昇したが、２３年度調査では低下した(73.8%→92.9%→86.2%)。特に公務員の認知率が２０年度調査より11ポイント低下し顕著(95.3%→84.6%)。

（Q2）献血の種類の認知

・未経験者全体では、献血の種類を認知している人は35.1%。6割以上の人は認知していない。
・職業別では、公務員の認知率が46.2%で他層に比べて高い。一方、高校生の76.0%が認知しておらず他層に比べて低い。
・性別では、男性 (31.4%)より女性の認知率(38.9%）が高い。
・地域別では、東北の認知率(41.6%)が他層と比べて高い。
・２０年度調査と比べて、専業主婦の認知率が11ポイント低下し顕著(42.8%→32.1%)。

（Q3）献血できる場所の認知

・未経験者全体では、「よく知っている」(25.0%)と「ある程度知っている」（59.4%）を合わせた認知率は84.4%。
・職業別では、公務員の認知率(88.5%)が最も高く、対して高校生(77.8%) の認知率は他層よりも低い。
・性別では、男性 (79.5%)より女性の認知率(89.4%）が高い。

（Q4）献血への関心度

・未経験者全体では、関心あり層は43.7%（非常に関心がある:6.0% + 関心がある:37.7%）。関心なし層は56.3%（全く関心がない:12.5% + 特に関心がない:43.8%）を占め、関心がない人の方が多い。
・職業別では、専業主婦で関心あり層(49.7%)が他層に比べて高いのに対し、公務員では35.5%で他層と比べて関心が低い。
・性別では、男性(34.8%)より女性(52.8%)の関心度が高い。
・地域別では、九州・沖縄の関心度(50.4%)が他層に比べて高い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、公務員の関心あり層が調査ごとに大幅に低下(51.9%→43.5%→35.5%)。

（Q5）献血が病気の治療に役立っていることの認知

・未経験者全体の認知率は40.7%。6割の人は認知していない。
・職業別では、公務員の認知率(48.1%)が他層と比べて高い。
・地域別では、東北の認知率が44.5%で最も高い。
・20年度調査と比べて、認知率が48.0→40.7%に低下。特に東海北陸(48.8% → 37.9%)、近畿(49.8%→38.1%)で大幅に低下している。

（Q6）血液製剤確保のために、絶えず献血が必要なことの認知 （新規質問）

・未経験者全体の認知率は46.5%でほぼ半数。
・職業別では、大学生・専門学校生(51.9%)と公務員(51.0%)で高く、高校生(38.0%)が他層と比べて低い。
・性別では、男性 (43.0%)より女性の認知率(50.2%)が高い。
・地域別では、中国・四国(50.6%)と九州・沖縄(53.7%)の認知率が他層と比べて高い。

（Q7）献血された輸血用血液製剤の使い道の認知 （新規質問）

・未経験者全体の認知率は18.4%。8割の人は認知していない。
・職業別では、大学生・専門学校生(21.2%)と公務員(21.2%)の認知率が他層と比べてやや高い。
・地域別では、東北の認知率(22.4%)が他層と比べてやや高い。

（Q8）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験 （新規質問）

・未経験者全体で経験のある人は16.5%。8割の人は未経験。
・職業別では、公務員の経験率(21.2%)が他層と比べてやや高く、自営業(11.9%)でやや低い。
・地域別では、東北での経験率(21.5%)が他層と比べてやや高い。

（Q9）若年層の献血協力者の減少傾向の認知

・未経験者全体の認知率は32.5%。7割の人は認知していない。
・職業別では、公務員の認知率(44.2%)が他層に比べて高い。
・地域別では、東北の認知率(38.5%)が他層と比べて高い。
・ 20年度調査と比べて、認知率が37.3%→32.5%に低下。特に公務員(52.9%→44.2%)と自営業(36.6%→27.4%)での低下が顕著。

【 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況 】

（Q10） 献血に関する広報接触媒体

・未経験者全体では、「献血バス」(53.4%)、「街頭での呼びかけ」(52.9%)、「テレビ」(46.0%)、「献血ルーム前の看板・表示」(43.6%)の順で接触率が高い。
・職業別では、「献血バス」は大学生・専門学校生(59.6%)と専業主婦(63.0%)で高い。また専業主婦は「街頭での呼びかけ」(58.3%) 「献血ルーム前の看板・表示」(53.4%)も高く、現場での接触が目立つ。高校生は他層と比べて総じて接触率が低く、いずれの広告も「見たことがない」が13.1%。高校生が最も接触している媒体は「テレビ」で42.7%。
・地域別では、「街頭での呼びかけ」は北海道(37.4%)と中国・四国(47.8%)で他層と比べて低い。「テレビ」は東北(58.9%)、中国・四国(54.1%)、九州・沖縄(57.3%)で他層と比べて高く、関東甲信越(37.1%)で低い。・ 17年度調査と20年度調査を比べると、各媒体で総じて接触率が低下。23年度調査ではさらに、「街頭での呼びかけ」の接触率が低下(69.7%→60.6%→52.9%)。

（Q11） 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体

・未経験者全体では、「テレビ」が79.0%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が48.4%。
・職業別では、高校生は「インターネット」(35.4%)が他層と比べて低い。専業主婦は「テレビ」が圧倒的に高く9割弱(88.0%)。一方、自営業では「テレビ」(64.9%)が他層に比べて低い。
・性別では、男性よりも女性の方が「テレビ」(83.1%)、「ポスター」(30.3%)、「携帯電話」(25.2%)、「雑誌」(23.7%) を支持。
・17年度調査、20年度調査と比べると、「テレビ」と「新聞」の支持率が低下傾向(テレビ：88.9%→84.7%→79.0%　新聞：28.2%→23.7%→21.9%)。一方「インターネット」は上昇傾向(41.9%→46.8%→48.4%) 。

（Q12）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知

・未経験者全体の認知率は21.3%で4人中1人が認知。
・職業別では、高校生(26.3%)、大学生・専門学校生 (29.9%) といった学生と公務員(25.0%)の認知率が他層と比べて高い。
・性別では、女性の認知率(28.2%)が男性 (14.6%)より高い。
・地域別では、東北の認知率が30.6%で他層と比べて高い。
・ 20年度調査と比べると、認知率は7.2%→21.3%と大幅に上昇。特に大学生・専門学校生や女性で認知率が大幅に上昇した。(大学生・専門学校生：10.6%→29.9%　女性：9.7%→28.2%)

（Q13） 献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （新規質問）

・未経験者全体のけんけつちゃん認知者にその印象をたずねると、「よい」が50.9%で半数。「わるい」は3.8%で好評価。
・性別では、男性(43.4%)より女性(55.0%)で「よい」と感じられている。

（Q14） 献血キャンペーン認知

・未経験者全体では、「はたちの献血キャンペーン」の認知率が他のキャンペーンと比べて高く24.3%。なお、一つもキャンペーンを知らない人は68.6%。
・職業別では、一つもキャンペーンを知らない人が高校生(77.6%)と自営業(72.0%)で他層と比べて高い。
・性別では、いずれかのキャンペーンを認知している人は男性(24.7%)より女性(38.4%)が多い。特に「はたちの献血キャンペーン」で女性の認知率(30.7%)が高い。
・地域別では、東北でいずれかのキャンペーンを認知している率(43.6%)が他層と比べて高い。
・キャンペーン認知者に、印象に残った具体的なフレーズを聞いたところ、72.6%が特に印象に残った内容がなかった。記載された内容で多かったものは、「はたちの献血」「LOVE in Action」「石川遼のCM、ポスター」についてであった。

（Q15）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶

・未経験者全体では、高校3年生にHOP STEP JUMPが配布されていることの認知率は9.8%。授業で使用した経験がある人は2.1%にとどまる。
・職業別では、高校生 (16.5%)と大学生・専門学校生の認知率(17.5%)が他層と比べて高いものの、2割弱にとどまる。
・地域別では、東北の認知率が14.4%で他層と比べて高い。

【 感染症・血液製剤について 】

（Q16） 献血では感染症に感染しないことの認知

・未経験者全体の認知率は48.6%で、半数は認知していない。
・職業別では、大学生・専門学校生 (54.4%)と公務員の認知率(63.5%)が他層と比べて高く、一方自営業 (36.9%)は他層と比べて低い。
・性別では、女性の認知率(51.3%)が男性 (46.0%)に比べて高い。
・地域別では、北海道の認知率(41.3%)が他層と比べて低く、一方東北の認知率(53.8%)は他層と比べて高い。
・20年度調査と比べると認知率は59.1%→48.6%に低下した。特に自営業、専業主婦で大幅に低下した(自営業：54.5%→36.9%　専業主婦：64.1%→46.9%)。

（Q17）血液製剤の海外血液依存の認知

・未経験者全体の認知率は10.8%で、9割が認知していない。
・職業別では、公務員の認知率(15.4%)が他層に比べてやや高い。
・認知率は17年度調査より低下傾向(22.6%→14.5%→10.8%)。特に公務員と自営業の低下が顕著(公務員：32.7%→21.2%→15.4%　自営業：29.6%→17.9%→7.7%)。

【 献血ルームのイメージ 】

（Q18） 献血ルームのイメージ

・未経験者全体では、イメージが「ふつう」の人が41.4%を占め、最多。「明るい」イメージは17.3%、「暗い」イメージが11.0%。
・性別では、「明るい」イメージは男性(14.4%)より女性(20.3%)にもたれている。
・地域別では、「明るい」イメージは東北(22.7%)と九州・沖縄(23.3%)で他層と比べて高い。
・20年度調査と比べると、「明るい」と「わからない」が上昇した(明るい：12.7%→17.3%　わからない：24.5%→30.3%)。一方、「ふつう」と「暗い」が低下した(ふつう：47.4%→41.4%　暗い：15.4%→11.0%)。

【 献血をしたことがない理由 】

（Q19） 献血をしたことがない理由（大きい順に3つ選択）

●1位＜最も大きな理由＞にあがった理由
・未経験者全体では、1位の理由として「針を刺すのが痛くて嫌だから」がトップで12.2%。次いで「健康上出来ないと思ったから」(9.3%)、「なんとなく不安だから」(8.4%) などが1割弱で続く。また理由が「わからない」人が10.4%にのぼり、1割の人が特別に理由なく献血に協力していない。
・職業別では、専業主婦で「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(16.7%)が他層と比べて高い。一方高校生は、理由が「わからない」人が20.4%にのぼる。
・理由が「わからない」人が17年度調査より上昇傾向(1.9%→6.2%→10.4%)。特に高校生で15ポイント上昇している(3.5%→5.4%→20.4%)。

●1～3位累計の理由
・未経験者全体では、「針を刺すのが痛くて嫌だから」がやはりトップで27.7%。次いで「なんとなく不安だから」(25.9%) 、「恐怖心」(22.4%)、「時間がかかりそうだから」(20.1%)が続く。
・職業別では、高校生で「近くに献血する場所や機会がなかったから」(20.1%)が他層に比べてやや高い。大学生は「針を刺すのが痛くて嫌だから」(30.6%)、「なんとなく不安だから」(28.8%)、「時間がかかりそうだから」(22.9%)、「忙しくて献血する時間がなかったから」(17.8%)が他層に比べてやや高い。
・地域別では、近畿で「献血している所に入りづらかったから」(16.1%)が他層と比べてやや高い。
・ 20年度調査と比べると、「献血している所に入りづらかったから」が低下 (17.6%→11.9%)し、「わからない」が上昇(10.6%→24.5%)した。
・献血をしたことがない理由「その他」として記載された内容で多かったものは、「貧血体質のため」「採血後具合が悪くなるから」「メリットがない／お金がもらえない」であった。

【 献血するきっかけとなり得る要因 】

（Q20） 献血するきっかけとなり得る要因（大きい順に3つ選択）

●1位＜最も大きな要因＞にあがったもの
・未経験者全体では、1位の要因として、「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」ことで11.6%。献血をしたことがない理由でも「針を刺すのが痛くて嫌だから」が1位であり、針を刺す時の痛さが献血へのネックとなっていると考えられる。また、僅差で「家族や友人などから勧められた」(11.5%)が主要な要因としてあがる。
・職業別では、「家族や友人などから勧められた」が高校生で15.4%、大学生・専門学校生で13.3%と他層と比べて高く、トップの要因としてあがる。
・ 17年度調査と20年度調査を比べると、「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」が低下(17.3%→8.6%)する一方、「献血は絶対しない」が上昇(12.5%→18.0%)。23年度調査は20年度調査と横並び。

●1～3位累計の要因
・未経験者全体では、「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」がやはり最も高く24.2%。僅差で「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」(23.5%)、「献血した時の処遇品(記念品)が良くなった」(22.0%)、「家族や友人などから勧められた」(21.8%)が続く。
・職業別では、高校生と大学生・専門学校生で「家族や友人などから勧められた」(高校生：27.6%　大学生：25.2%)が他層と比べて高く、学生は身近な人からの勧めが重要なきっかけになると考えられる。
・地域別では、東海北陸と九州・沖縄では「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」と「近くに献血する場所ができた(献血バスまたは出張献血)」が他層と比べてやや高い。
・ 20年度調査と比べると、「献血したときの処遇品(記念品)が良くなった」(12.3%→22.0%)、「献血ルームのサービスが良くなった」(5.4%→13.8%)が上昇している。
・具体的にどのような処遇品(記念品)になったら良いかの問いに記載された内容で多かったものは、「お菓子がよくなった」「食べ物／栄養補助食品の提供」「図書カード」であった。
献血ルームのサービスでは、「飲食のサービスがよくなった」「くつろげる／リラックスできる」「職員の態度がよい」の記載が多い。
・「献血は絶対しない」を選択した人に理由をたずねたところ、「貧血体質だから」「健康上の問題」「薬を服用しているから」といった健康上の問題に関する記載が多い。

【 初めての献血について 】

（Q21） 初めての献血で400ml献血することへの不安意識 （新規質問）

・未経験者全体では、「どちらかというとはい(どちらかというと抵抗がある)」(36.9%)と「はい(抵抗がある)」(30.8%)を合わせた抵抗がある人は67.7%で3人中2人。
・職業別では、専業主婦で抵抗がある人(76.5%)が他層と比べて高く、一方自営業で抵抗がある人 (62.5%)は他層と比べて低い。
・性別では、女性で抵抗がある人 (71.2%)が男性(64.4%)と比べて高い。

【 家族・友人の献血状況 】

（Q22）家族が献血している姿を見たことがあるか

・未経験者全体では、見たことが「ある」人は11.0%で1割強にとどまる。
・職業別では、専業主婦で見たことが「ある」人は17.3%で、他層と比べて高い。
・性別では、男性(8.4%)と比べて女性(13.8%)の方が見たことが「ある」が高い。

（Q23）友人に献血している人がいるか

・未経験者全体では、「いる」(32.8%)、「いない」(34.8%)、「わからない」(32.3%)の回答が分かれた。
・職業別では、大学生・専門学校生(41.4%)と公務員(58.7%)で「いる」が他層と比べて高い。
・性別では、男性(28.1%)より女性(37.7%)で「いる」が高い。
・地域別では、東北で「いる」 (38.2%)が他層と比べて高い。
・20年度調査と比べると、公務員で11ポイント「いる」が上昇し(48.2%→58.7%)、一方自営業で9ポイント低下している(29.9%→21.4%)。

【 献血に関する資料評価 】

※献血に関する資料の閲読後に、献血に関する意識の変化について質問した。

（Q24-1）献血の必要性への理解が良くなったか

・未経験者全体では、「はい(理解が良くなった)」(27.6%)と「どちらかというとはい(どちらかというと良くなった)」(57.1%) を合わせた理解が良くなった人は84.7%にのぼる。
・職業別では、理解が良くなった人の割合は専業主婦(89.2%)と大学生・専門学校生(87.6%)で他層と比べて高い。
・性別では、女性の理解が良くなった人の割合(88.9%)が、男性(80.6%)に比べて高い。
・ 20年度調査と比べると、理解が良くなった人の割合が7ポイント低下し(91.7%→84.7%)、評価が低くなっている。

（Q24-2）献血に協力する意識の有無

・未経験者全体では、「ある」(15.6%)と、「どちらかというとある」(43.4%)を合わせた意識がある人は59.0%で6割弱を占める。
・職業別では、意識がある人の割合が公務員(50.0%)、自営業(50.6%)で他層と比べて低い。
・性別では、男性(52.6%)に比べて女性(65.7%)で意識がある人の割合が高い。
・地域別では、関東甲信越で意識がある人の割合(54.7%) が他層に比べてやや低い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、意識がある人の割合は低下している(65.0%→65.2%→59.0%)。公務員と自営業で特に低下している(公務員：59.6%→63.5%→50.0%　自営業：69.6%→60.4%→50.6%)。

（Q24-3）今後実際に献血に行くか

・未経験者全体では、「はい(行く)」(7.5%)と、「どちらかというとはい(どちらかというと行く)」(36.9%)を合わせた意向ありの人は44.4%。
・職業別では、意向ありの人の割合は高校生(49.6%)で高く、半数近くが意向を喚起されている。対して公務員(32.7%)や自営業(33.9%)は他層と比べて低い。
・性別では、男性(39.6%)に比べて女性(49.4%)で意向ありの割合が高い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、意向ありの割合が低下傾向にある(49.5%→47.4%→44.4%)。公務員と自営業で特に低下している(公務員：44.2%→47.1%→32.7%　自営業：54.8%→41.8%→33.9%)。

【 若年層の献血協力意向を高めるアイデア 】

（Q25）若年層の献血協力意向を高めるアイデア

・未経験者全体に自由記述形式でアイデアをたずねたところ、「処遇品・記念品」といった献血者に直接メリットがある内容。「人気タレントの起用」「インターネット、テレビ、雑誌でのPR」などのPR方法を考える内容。「気軽」に行けて「何かのついでや待ち時間に献血できる場所など」に献血できる施設を設けたらよいといったアイデアが多くあげられた。

２．献血経験者

【 対象者特性（回答者5，000人）】

・居住地は、「関東甲信越」が36.5%で、以下、「近畿」(16.3%)、「東海北陸」(15.7%)、「九州・沖縄」(11.7%)、「中国・四国」(8.6%)、「東北」(7.1%)、「北海道」(4.1%)の順。全体構成は17年度調査及び20年度調査と概ね変わらない。

・性別は、「男性」50.4%、「女性」49.6%とほぼ半々。20年度調査と構成は概ね変わらない。１７年度調査と比べると男性回答者が2割弱増加(34.1%→50.4%)。

・年齢は、「１６～１７歳」(3.0%)、「１８～１９歳」(10.5%) 、「２０～２４歳」(43.2%)、「２５～２９歳」(43.2%)である。１７年度調査及び２０年度調査に比べて１０代の回答者が増加(3.8%→11.2%→13.5%)。

・職業は、「大学生・専門学校生」(29.6%)と「会社員」(40.4%)が中心。以下、「その他」(10.3%)、「専業主婦」(8.9%)、公務員(4.5%) 、「高校生」(3.6%)、自営業(2.7%)の順。２０年度調査とは概ね同様の傾向。１７年度調査に比べて特に「大学生・専門学校生」が増加(13.0%→29.6%)、「専業主婦」が減少(21.3%→8.9%)。

・医療関係への関与有無は、「携わっている」人は17.1%で、１７年度調査及び２０年度調査と比べて6ポイント上昇している。

【 献血に関する認知状況 】

（Q1）献血が病気の治療に役立っていることの認知

・経験者全体の認知率は66.4%で３人中２人が認知している。
・職業別では、専業主婦の認知率(57.4%)が他層と比べて低い一方、公務員(72.4%)と大学生・専門学校生(71.6%) が他層と比べて高い。
・地域別では、北海道での認知率が高く73.3%。

（Q2）血液製剤確保のために、絶えず献血が必要なことの認知 （新規質問）

・経験者全体の認知率は72.1%で7割強を占める。
・職業別では、大学生・専門学校生 (77.2%)と公務員(76.9%)の認知率が他層と比べて高い一方、高校生は62.8%にとどまる。
・性別では、男性 (68.3%)より女性の認知率(76.0%)が高い。

（Q3）献血された輸血用血液製剤の使い道認知 （新規質問）

・経験者全体の認知率は34.7%で、３人中１人が認知している。
・職業別では、高校生が他層と比べて高く45.0%。一方、専業主婦(27.0%)と自営業(28.9%)が他層と比べると低い。
・性別では、女性 (32.6%)よりの男性認知率(36.8%)がやや高い。

（Q4）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験 （新規質問）

・経験者全体では、経験のある人は27.5%。
・職業別では、高校生の経験率が42.2%と他層と比べて高い。次いで大学生・専門学校生の経験率が高く、30.2%を占める。

（Q5）若年層の献血協力者の減少傾向認知

・経験者全体では、「知っている」人は52.9 %で半数を占める。
・職業別では、大学生・専門学校生の認知率(58.6%)が他層に比べて高い一方、専業主婦では43.9%で他層と比べると低い。
・地域別では、東北(47.6%)、関東甲信越(51.0%)、東海北陸(49.2%)で他層と比べて低い。
・20年度調査と比べると、東北の認知率が15ポイント低下し顕著(62.8%→47.6%)

【 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況 】

（Q6）献血に関する広報接触媒体

・経験者全体では、「献血バス」が64.7%で最も高く、「街頭での呼びかけ」（64.1%）、「献血ルーム前の看板・表示」(63.4%) 、「テレビ」(51.7%) が続き、以上が主要の接触媒体。
・職業別では、「献血バス」は専業主婦で高く71.4%と7割を超える。高校生は「献血バス」(48.3%)などの現場での接触が他層と比べると少なく、「テレビ」(56.7%)がトップの接触媒体である。「インターネット」(22.8%)も他層と比べて接触率が高い。
・性別では、女性は「献血バス」(69.9%)、「街頭での呼びかけ」(69.9%)、「献血ルーム前の看板・表示」(70.6%)といった現場での接触率が男性に比べて高い。
・地域別では、「街頭での呼びかけ」は関東甲信越(68.4%)、東海北陸(64.9%)、近畿(64.2%)で他層と比べて高い。「テレビ」は東北(64.9%)、中国・四国(61.9%)、九州・沖縄(57.6%)で高い。
・ 17年度調査と20年度調査を比べると、各媒体の接触率は総じて低下。20年度調査と23年度調査を比べると、「献血バス」(57.6%→64.7%)と、「インターネット」(9.5%→14.6%)で接触率が上昇した。

（Q7）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体

・経験者全体では、効果的だと思われる媒体は、「テレビ」が78.7%で圧倒的。次いで「インターネット」が51.2%。
・職業別では、専業主婦は他層と比べて「テレビ」(85.4%)、「自治体の広報誌」(23.0%)が高い。また高校生は「新聞」(30.6%)が他層と比べて高く、「テレビ」「インターネット」に次いで3位の媒体。
・性別では、男性よりも女性で「テレビ」(82.7%)、「ポスター」(30.1%)、「雑誌」(24.8%) が高い。
・地域別では、関東甲信越は「テレビ」(76.2%) が他層と比べて低い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、「テレビ」は低下傾向(87.5%→83.6%→78.7%)、一方「インターネット」(43.9%→48.3%→51.2%)は上昇傾向にある。

（Q8）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知

・経験者全体の認知率は44.3%で半数近くの人が認知している。
・職業別では、大学生・専門学校生 (57.3%)、高校生(56.1%)の認知率が高く6割にのぼる。
・性別では、女性の認知率(52.0%)が男性 (36.7%)より高い。
・地域別では、近畿の認知率が37.3%で他層と比べて低い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、認知率は大幅に上昇している(7.0%→23.8%→44.3%)。

（Q9）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （新規質問）

・経験者全体のけんけつちゃん認知者にその印象を聞くと、「よい」が58.4%で半数以上。「わるい」は3.0%であった。
・職業別では、高校生で「よい」が67.3%で他層と比べて高い。
・性別では、男性(よい：54.9%)より女性(よい：60.9%)の評価が高い。

（Q10）献血キャンペーン認知

・経験者全体では、「はたちの献血キャンペーン」が最も認知されており43.1%と半数近く。次いで「LOVE in Actionキャンペーン」(24.4%)、「愛の血液助け合い運動」(17.9%)が続く。一つもキャンペーンを知らない人は42.6%。
・職業別では、公務員は4人中3人近くの人(71.6%)が何らかのキャンペーンを認知しており、他層と比べてキャンペーンの認知率が高い。またキャンペーンごとにみていくと、「LOVE in Actionキャンペーン」は大学生・専門学校生で30.0%の認知率で、「愛の血液助け合い運動」は高校生で26.1%の認知率で他層と比べて高い。
・性別では、男性(52.6%)より女性(62.3%)の方がいずれかのキャンペーンを認知している。
・地域別では、北海道で「はたちの献血キャンペーン」 (50.0%) 、東北で「LOVE in Actionキャンペーン」 (38.2%)の認知率が他層と比べて高い。
・キャンペーン認知者に、印象に残った具体的なフレーズを聞いたところ、65.9%が特に印象に残った内容がなかった。記載された内容で多かったものは、「はたちの献血」「石川遼のCM、ポスター」「LOVE in Action」についてであった。

（Q11）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶

・経験者全体では、高校3年生にHOP STEP JUMPが配布されていることの認知率は15.1%。授業で使用した人は5.3%にとどまる。
・職業別では、高校生の認知率は37.2%。大学生・専門学校生は25.0%。

【 感染症・血液製剤について 】

（Q12）献血では感染症に感染しないことの認知

・経験者全体の認知率は72.4%。4人中3人近くが認知している。
・職業別では、自営業の認知率(57.0%)が他層と比べて低い。
・性別では、男性(69.4%)より女性 (75.4%)の認知率が高い。
・地域別では、東北の認知率(68.3%)が他層と比べてやや低い。
・ 23年度調査は20年度調査と比べて認知率が低下している(78.4%→72.4%)。特に東北の低下が大きい(81.4%→68.3%)。

（Q13）血液製剤の海外血液依存の認知

・経験者全体の認知率は20.3%で、5人中1人の割合。
・職業別では、専業主婦の認知率(13.1%)が他層と比べて低い。一方高校生は26.1%で他層と比べて高い。
・地域別では、中国・四国の認知率(26.7%)が他層と比べて高い。
・17年度調査、20年度調査と比べると認知率は低下傾向である(30.8%→25.3%→20.3%)。

【 献血ルームのイメージ 】

（Q14）ルームについて

●雰囲気
・経験者全体では、「ふつう」な人が47.5%。「明るい」が38.5%に対し「暗い」は5.7%で、「明るい」イメージが「暗い」イメージを大きく上回っており好評価。
・性別では、「明るい」と評価する割合は女性(43.4%)が男性(33.7%)より高い。
・地域別では、「明るい」イメージが近畿(32.2%)で最も低い。

●広さ
・経験者全体では、「広い」が22.2%、「狭い」が20.2%でほぼ同率。「ふつう」は47.3%。
・地域別では、近畿で「広い」と感じる人の割合(17.4%)が他層と比べて低く、「狭い」(25.4%)と感じる人が多い。

●職員の対応
・経験者全体では、「良い」が48.4%で半数。また「ふつう」は41.3%で、「悪い」と感じる人は3.0%にとどまった。職員に対する評価は概ね良好である。
・職業別では、「良い」が高校生(55.6%)と大学生・専門学校生(56.4%)で他層と比べて高い。

●記念品や軽い飲食物
・経験者全体では、「良い」が43.6%に対し、「悪い」は7.9%で「良い」と感じる人が大きく上回る。「ふつう」は41.7%。
・職業別では、大学生・専門学校生(47.9%)と専業主婦(48.4%)で「良い」評価が高い。
・性別では、女性の評価(良い:47.9%)が男性(良い:39.3%)より高い。
・地域別では、東海北陸で評価(良い:48.1%)が他層と比べてやや高く、一方近畿では (良い:38.8%)が他層と比べてやや低い。
・17年度調査、20年度と比べて、「良い」評価は上昇傾向である(36.7%→40.9%→43.6%)。

【 献血についての要望・知りたいこと 】

（Q15） 献血についての要望・知りたいこと

・経験者全体では、「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」が39.4%。僅差で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」（38.9%）、「献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい」（37.3%）が続き、突出したものはなく要望は多岐にわたっている。
・職業別では、大学生・専門学校生で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(44.4%)、「進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい」(21.5%)が他層と比べて高い。また専業主婦では「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」(46.6%)、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」(36.7%)が他層と比べて高い。
・性別では、総じて男性よりも女性で要望や知りたいことがある。

【 初めての献血について 】

（Q16） 初めて献血した年齢

・経験者全体では、「16～17歳」が29.3%、「18～19歳」が33.8%、「20～24歳」が32.1%でともに1／ 3程度。10代で初めて献血を経験した人が6割強。
・職業別でみると、当然ではあるが高校生は「16～17歳」(86.7%)が大半。大学生・専門学校生は「18～19歳」が43.8%で最も多い。一方、会社員、公務員は「20～24歳」(会社員:38.4%　公務員:36.9%)での献血経験が最も多い。
・性別では、「16～17歳」での経験率は女性(31.6%)が男性(27.0%)と比べて高い。「20～24歳」での経験率は男性(34.3%)が女性(29.8%)に比べて高く、女性の方が若いうちに献血を経験している傾向。
・地域別では、東北で「16～17歳」での経験率(39.7%)が他層に比べて高い。

（Q17） 初めて献血した場所

・経験者全体では、「献血ルーム」が33.2%で最も高く、3人中1人。次いで、「献血バス」が21.8%、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」が21.2%で続く。
・職業別では、高校生は「高校（での集団献血）」(28.9%)と「献血バス」(26.1%)が他層と比べて高く、「献血ルーム」(32.8%)とでそれぞれ1／3。大学生・専門学校生は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(30.2%)が他層と比べて高く、「献血ルーム」(34.5%)についで第2位の場所。専業主婦では「献血ルーム」が42.6%で4割強を占め、他層と比べて高い。
・性別では、女性の「献血ルーム」(40.6%) での経験率が男性(26.0%)と比べて高い。一方男性は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(25.7%)が女性(16.6%)と比べて高い。
・地域別では、東北で「高校(での集団献血)」(24.1%)、近畿で「献血バス」(31.6%)が他層と比べて高い。
・ 20年度調査と比べると、高校生で「高校（での集団献血）」が低下(38.1%→28.9%)。

（Q18） 初めての献血の種類

・経験者全体では、「200ml献血」が47.4%と半数を占める。「400ml献血」は30.9%、「成分献血」は5.7%。
・職業別では、「200ml献血」は高校生(62.2%)と専業主婦(60.8%)で他層と比べて高い。
・性別では、男性は「200ml献血」(35.9%)より「400ml献血」(41.1%)での経験率が高い。対して女性は「200ml献血」が59.1%で高い。
・地域別では、九州・沖縄では「400ml献血」が40.8%を占め、「200ml献血」(37.7%) よりも高い。
・17年度調査、20年度調査と比べると「400ml献血」が上昇傾向(18.9%→28.9→30.9%)で、対して「200ml献血」が低下傾向(62.3%→51.6%→47.4%)である。

（Q19） 初めての献血で400ml献血することへの不安意識

・経験者全体では、「特に不安は感じない」人が49.9%で半数を占める。一方、「不安」な人は39.4%。
・職業別では、「不安」は専業主婦(48.9%)で半数を占めており他層と比べて高く、「特に不安は感じない」(39.4%)を上回っている。
・性別では、女性 (45.1%)の方が男性(33.7%)よりも「不安」と感じている。
・地域別では、九州・沖縄で「特に不安は感じない」 (57.6%)が他層と比べて高い。また東北では「不安」 (45.3%)が他層と比べて高い。
・ 20年度調査と比べると、「特に不安は感じない」が低下し(57.2%→ 49.9%) 「不安」が上昇している(26.4%→39.4%)。
・「不安」と感じた人に対して理由をたずねたところ、記載された内容で多かったものは、「貧血になりそう」「体調が悪くなりそう／倒れそう／フラフラになりそう」「量が多いから」であった。

【 献血回数について 】

（Q20） 過去1年間の献血回数

●200ml献血
・経験者全体の経験率は41.1%。回数は「1回」が24.6%。2回以上は16.5%。
・職業別では、高校生では経験率が85.6%で他層と比べて圧倒的に高い。しかし63.3%が「1回」である。次いで、大学生・専門学校生の経験率(45.0%) が高く半数近く。
・性別では、女性の経験率(46.3%)が男性 (36.0%)より高い。
・地域別では、中国・四国(35.7%)と九州・沖縄(32.6%)の経験率が他層と比べて低い。
・17年度調査と20年度調査を比べると経験率は上昇したが23年度調査では低下し、17年度調査と横並び(40.5%→46.1%→41.1%)。

●400ml献血
・経験者全体の経験率は36.6%。回数は「1回」が23.7%。2回以上は13.0%。
・職業別では、大学生・専門学校生 (44.6%)と公務員(40.9%)の経験率が他層に比べて高い。一方高校生(17.2%)と専業主婦(19.8%)は2割弱で他層と比べて低い。
・性別では、男性の経験率（46.1%）が女性（27.0%）より高く、200ml献血とは逆の結果。
・地域別では、九州・沖縄の経験率が42.5%で他層と比べて高い。
・ 17年度調査と20年度調査を比べると経験率は上昇したが、23年度調査は20年度調査とほぼ横並び(26.4%→37.7%→36.6%)。

●成分献血
・経験者全体の経験率は27.3%。回数では「1回」が14.8%。2回以上は12.5%。
・職業別では、高校生の経験率が14.4%、専業主婦の経験率が21.4%で他層と比べると低い。
・地域別では、北海道の経験率が21.4%で他層と比べて低い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、経験率は上昇傾向(18.8%→22.1%→27.3%)。ただし2回以上の経験者の割合は大きな変化がなく、「1回」経験者の割合が上昇している。

（Q21） 今までの合計献血回数

・経験者全体では、「1回」が最も多く33.8%で3人中1人。3人中2人（66.2%）が2回以上で、回数は「3～5回」(26.4%)が多い。
・職業別では、公務員の複数回献血者が76.9%で他層と比べて高い。対して高校生(31.7%)と大学生・専門学校生(60.9%)の複数回献血者は他層と比べて低い。
・ 17年度調査と20年度調査を比べると複数回の献血率が低下(71.8%→66.3%)。20年度調査と23年度調査は横並び。

●Q17「初めて献血した場所」で分析
・初めて献血した場所が、大学や職場の人に比べて高校で献血した人ほど献血頻度が高い傾向。高校で初めて献血した人では、3回以上献血している人が多く49.7%を占める。

●Q24「家族の献血の有無」で分析
・家族の献血現場を見たことがある人ほど本人の献血頻度が高まっており、両者の相関がみられる。

【 献血するきっかけ 】

（Q22） 初めての献血のきっかけ（大きい順に3つ選択）

●1位＜最も大きな要因＞にあがった要因
・経験者全体では、1位の要因として「自分の血液が役に立ってほしいから」が29.0%でトップ。その他はそれぞれ1割以下。
・職業別では、各層とも「自分の血液が役に立ってほしいから」が主要なきっかけである。公務員では他層と比べて「なんとなく」(19.6%)が高い。
・地域別では、「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」が北海道(13.6%)、中国・四国(13.5%)、九州・沖縄(12.5%)で他層と比べて高い。
・20年度調査と比べると、「自分の血液が役に立ってほしいから」が低下している(37.5%→29.0%)。

●1～3位累計の要因
・経験者全体では、「自分の血液が役に立ってほしいから」が圧倒的に高く56.2%。次いで、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」（33.5%）、「お菓子やジュースがもらえるから」（24.5%）、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」（24.4%）が続く。
・職業別では、高校生で「献血は愛に根ざしたものだから」(14.4%)が他層と比べて高い。また、専業主婦で「家族や友人などに勧められたから」(22.7%)が他層と比べて高い。
・性別では、女性で「自分の血液が役に立ってほしいから」(60.2%)、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(36.2%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(27.7%)、「家族や友人などに勧められたから」(20.4%)が高く、対して男性は「なんとなく」(35.3%)献血している人が多い。
・地域別では、「高校に献血バス・出張献血が来たから」が東北(19.0%)で他層と比べて高い。
・20年度調査と比べると、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(39.1%→33.5%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(31.2%→24.5%)、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」(29.5%→24.4%)といった上位2～4位の要因が特に低下している。

（Q23） 現在献血するきっかけ（大きい順に3つ選択）

●1位＜最も大きな要因＞にあがった要因
・経験者全体では、第1位の要因は「自分の血液が役に立ってほしいから」(42.4%)で圧倒的に高い。その他の項目は1割程度以下で、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」（11.6%）、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」（10.1%）が続く。
・性別では、女性で「自分の血液が役に立ってほしいから」(45.0%)が男性と比べて高く、男性は「なんとなく」(19.8%)が高い。
・地域別では、「自分の血液が役に立ってほしいから」が北海道(36.9%)と東北(37.1%)で他層に比べて低い。

●1～3位累計の要因
・経験者全体では、「自分の血液が役に立ってほしいから」(69.9%)がトップ。初めての献血のきっかけと同様の結果。次いで、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(51.4%)、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」(37.1%) が続く。
・職業別では、高校生で「献血は愛に根ざしたものだから」(20.0%)や「過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから」(15.0%)が他層と比べて高い。
・性別では、女性で「自分の血液が役に立ってほしいから」(73.0%)、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(54.1%)が男性と比べて高い。対して男性では「記念品やグッズがもらえるから」(22.0%)や「なんとなく」(35.5%)が女性と比べて高い。
・地域別では、東北で「記念品やグッズがもらえるから」(26.9%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(35.7%)が他層と比べて高い。
・17年度調査と20年度調査を比べると、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(47.6%→53.2%)、「将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」(15.9%→27.3%)が上昇した。20年度調査と23年度調査を比べると「お菓子やジュースがもらえるから」が低下している(36.8%→29.5%)。

【 献血する動機づけについて 】

（Q24） 家族が献血している姿を見たことがあるか

・経験者全体では、見たことが「ある」人は24.3%で4人中1人。
・職業別では、専業主婦で見たことが「ある」が32.0%で他層と比べて高い。また高校生も28.9%にのぼり、やや高い。
・性別では、女性の見たことが「ある」人(29.0%)は男性(19.7%)より高い。

（Q25） 友人に献血している人がいるか

・経験者全体では、6割（59.8%）が献血をしている友人が「いる」。
・職業別では、「いる」が特に高いのは大学生・専門学校生(67.9%)と公務員(70.2%)で、7割にのぼる。一方、高校生(53.3%)、自営業(47.4%)、専業主婦(53.8%)で他層に比べると低い。

（Q26） 高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか

・経験者全体では、「非常に有効」(36.6%)と「どちらかと言えば有効」(47.5%)とを合わせた有効層は84.1%にのぼる。
・性別では、女性の有効層(86.8%)が男性(81.3%)と比べて高い。
・ 17年度調査と20年度調査を比べると、有効層は大幅に上昇した。23年度調査は20年度調査の結果と横並び(65.9%→84.6%→84.1%)。

●Q17「初めて献血した場所」で分析
・高校で初めて献血した人では有効層が91.4%にのぼり高い。中でも「非常に有効」が全体の半数(49.9%)を占める。高校での集団献血の経験がその後の献血の動機付けに大きな役割を果たす可能性が示唆される。

【 献血に関する資料評価 】
※献血に関する資料の閲読後に、献血に関する意識の変化について質問した。

（Q27-1） 献血の必要性への理解の深まり

・経験者全体では、「はい(深まった)」(32.6%)と「どちらかというとはい(どちらかというと深まった)」(57.7%)を合わせた理解が深まった層は90.3%にのぼる。
・職業別では、各層とも理解が深まった層が9割前後を占めて高い。特に高校生では「はい(深まった)」が43.9%にのぼり、他層と比べて評価が高い。
・17年度調査と20年度調査を比べると、「はい(深まった)」が大幅に上昇した。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない(16.2%→32.7%→32.6%)。

（Q27-2） 献血に協力する意識の高まり

・経験者全体では、「はい(高まった)」(32.5%)と「どちらかというとはい(どちらかというと高まった)」(54.4%)を合わせた高まった層は86.9%にのぼる。
・職業別では、意識が高まった層は高校生(90.0%)で最も高い。また高校生では「はい(高まった)」(40.6%) が他層と比べて高い。高校生に対する献血意向促進に効果的であったことがわかる。
・性別では、女性の高まった層 (89.8%)が男性 (84.3%)と比べて高い。
・17年度調査と20年度調査を比べると、「はい(高まった)」が大幅に上昇した。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない(19.3%→31.3%→32.5%)。

（Q27-3） 献血回数の増加意向喚起

・経験者全体では、「はい(増やそうと思う)」(28.9%)と「どちらかというとはい(どちらかというと増やそうと思う)」(53.8%)を合わせた意向が喚起された層は82.7%を占める。
・職業別では、高校生で意向が喚起された層が89.5%にのぼり他層と比べて高い。
・性別では、女性で意向が喚起された層(86.0%)が男性(79.3%)に比べて高い。
・17年度調査、20年度調査と比べると、全体での意向が喚起された層の割合に変化はみられない。ただし17年度調査と20年度調査を比べると「はい(増やそうと思う)」の割合が上昇しており、より意向が喚起されている。 20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない(19.7%→28.5%→28.9%)。

【 若年層の献血協力意向を高めるアイデア 】

（Q28） 若年層の献血協力意向を高めるアイデア

・経験者全体に自由記述形式でアイデアをたずねたところ、「処遇品・記念品」といった献血者に直接メリットがある内容。「人気タレントの起用」「学校、テレビ、インターネットでのPR」などのPR方法を考える内容。「高校や、何かのついでや待ち時間に献血できる場所など」身近に献血できる施設を設けたらよいといったアイデアが多くあげられた。

調査結果まとめ・目立った回答など

献血未経験者	献血経験者
●献血に関しての認知程度	
Q1（P10） ☆認知率は86.2%	
●献血の種類の認知	
Q2（P12） ☆認知率は35.1% 6割(64.9%)の人は認知していない ☆特に高校生は8割(76.0%)が認知していない	
●献血できる場所の認知	
Q3（P14） ☆認知率は84.4%	
●献血への関心度	
Q4（P16） ☆関心なし層は56.3%で、関心のない人の方がやや多い	
●献血が病気の治療に役立っていることの認知	
Q5（P18） ☆認知率は40.7% 6割(59.3%)の人は認知していない	Q1（P72） ☆認知率は66.4%
●血液製剤確保のために、絶えず献血が必要なことの認知＜新規質問＞	
Q6（P20） ☆認知率は46.5% 5割(53.5%)の人は認知していない ☆特に高校生の6割(62.0%)が認知していない	Q2（P74） ☆認知率は72.1%
●献血された輸血用血液製剤の使い道の認知＜新規質問＞	
Q7（P22） ☆認知率は18.4% 8割(81.6%)の人は認知していない	Q3（P76） ☆認知率は34.7% ☆特に高校生の認知率(45.0%)が高い
●輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験＜新規質問＞	
Q8（P24） ☆経験率は16.5% 8割(83.5%)の人は経験したことがない	Q4（P78） ☆経験率は27.5% ☆特に高校生の経験率(42.2%)が高い
●若年層の献血協力者の減少傾向の認知	
Q9（P26） ☆認知率は32.5% 7割(67.5%)の人は認知していない ☆20年度調査と比べて、認知率が37.3%→32.5%に低下	Q5（P80） ☆認知率は52.9 %
●献血に関する広報接触媒体	
Q10（P28） ☆最も多いのは「献血バス」(53.4%) ☆高校生は総じて接触率が低く、いずれの広告も「見たことがない」が13.1% ☆高校生が最も接触している媒体は「テレビ」(42.7%)	Q6（P82） ☆最も多いのは「献血バス」(64.7%) ☆高校生は現場での接触が少なく、「テレビ」(56.7%)がトップの接触媒体
●献血キャンペーンに効果的だと思う媒体	
Q11（P30） ☆「テレビ」(79.0%)が圧倒的に高い	Q7（P84） ☆「テレビ」(78.7%)が圧倒的に高い
●献血キャラクター「けんけつちゃん」認知	
Q12（P32） ☆認知率は21.3% ☆20年度調査と比べると、認知率は7.2%→21.3%と大幅に上昇 ☆特に大学生・専門学校生(10.6%→29.9%)や女性(9.7%→28.2%)で大幅に上昇	Q8（P86） ☆認知率は44.3% →献血未経験者の約2倍以上 ☆特に大学生・専門学校生 (57.3%)、高校生(56.1%)の認知率が高い ☆17年度、20年度調査と比べると、認知率は大幅に上昇(7.0%→23.8%→44.3%)

献血未経験者	献血経験者
●献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象＜新規質問＞	
Q13（P34） ☆「よい」が50.9%で半数。「わるい」は3.8%で好評価	Q9（P88） ☆「よい」が58.4%で半数以上。「わるい」は3.0%で好評価
●献血キャンペーン認知	
Q14（P36） ☆「はたちの献血キャンペーン」(24.3%)が最も認知されているキャンペーン ☆一つもキャンペーンを知らない人は7割(68.6%) ☆特に高校生(77.6%)と自営業(72.0%)で知らない人が多い	Q10（P90） ☆「はたちの献血キャンペーン」(43.1%)が最も認知されているキャンペーン ☆一つもキャンペーンを知らない人は4割(42.6%)
●「HOP STEP JUMP」を配布された記憶	
Q15（P38） ☆認知率は9.8% ☆授業で使用した経験がある人は2.1%	Q11（P92） ☆認知率は15.1% ☆授業で使用した人は5.3%
●献血では感染症に感染しないことの認知	
Q16（P40） ☆認知率は48.6%。5割(51.4%)の人が認知していない ☆20年度調査と比べて、認知率は59.1%→48.6%に低下	Q12（P94） ☆認知率は72.4% ☆20年度調査と比べて、認知率は78.4%→72.4%に低下
●血液製剤の海外血液依存の認知	
Q17（P42） ☆認知率は10.8% 9割(89.2%)が認知していない ☆認知率は17年度調査より低下傾向(22.6%→14.5%→10.8%)	Q13（P96） ☆認知率は20.3% 8割(79.7%)が認知していない ☆17年度、20年度調査と比べると、認知率は低下傾向(30.8%→25.3%→20.3%)
●献血ルームについて　イメージ	
Q18（P44） ☆「明るい」イメージは17.3%、「暗い」イメージが11.0%	
●献血ルームについて　雰囲気	
	Q14-1（P98） ☆「明るい」が38.5%。「暗い」は5.7%で「明るい」と感じる人が大きく上回る
●献血ルームについて　広さ	
	Q14-2（P100） ☆「広い」が22.2%。「狭い」は20.2%
●献血ルームについて　職員の対応	
	Q14-3（P102） ☆「良い」が48.4%。「悪い」は3.0%で「良い」と感じる人が大きく上回る
●献血ルームについて　記念品や軽い飲食物	
	Q14-4（P104） ☆「良い」が43.6%。「悪い」は7.9%で「良い」と感じる人が大きく上回る
●献血についての要望・知りたいこと	
	Q15（P106） ☆「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」(39.4%)が最も高い ☆突出したものはなく要望は多岐にわたっている ☆大学生・専門学校生で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(44.4%　1位/8項目中)、「進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい」(21.5%　8位/8項目中)が他層と比べて高い

献血未経験者	献血経験者
●初めて献血した場所	
	Q17（P110） ☆「献血ルーム」(33.2%)が最も高い
●初めての献血の種類	
	Q18（P112） ☆200ml献血が47.4%で半数 ☆200ml献血は高校生(62.2%)と専業主婦(60.8%)で特に高い ☆17年度、20年度調査と比べると、400ml献血が増え(18.9%→28.9→30.9%)、対して200ml献血が減っている(62.3%→51.6%→47.4%)
●今までの合計献血回数	
	Q21（P122） ☆「1回」が33.8%。複数回献血者は66.2%
●クロス集計 「初めて献血した場所」と「今までの合計献血回数」	
	Q21（P122） ☆初めて献血した場所が、大学や職場の人に比べて高校で献血した人ほど献血頻度が高い
●クロス集計 「家族の献血の有無」と「今までの合計献血回数」	
	Q21（P122） ☆家族の献血現場を見たことがある人ほど本人の献血頻度が高まっている
●献血をしたことがない理由	
Q19（P46） ☆「針を刺すのが痛くて嫌だから」が最も多い	
●献血するきっかけとなり得る要因	
Q20（P50） ☆「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」が最も多い ☆高校生と大学生・専門学校生では「家族や友人などから勧められた」も高い	
●初めての献血のきっかけ	
	Q22（P124） ☆「自分の血液が役に立ってほしいから」が最も多い
●現在献血するきっかけ	
	Q23（P128） ☆「自分の血液が役に立ってほしいから」が最も多い
●初めての献血で400ml献血することへの不安意識＜献血未経験者は新規質問＞	
Q21（P54） ☆抵抗がある人は67.7%	Q19（P114） ☆「特に不安は感じない」人が49.9% ☆20年度調査と比べると、「不安」が上昇(26.4%→39.4%)
●家族が献血している姿を見たことがあるか	
Q22（P56） ☆見たことが「ある」人は11.0%	Q24（P132） ☆見たことが「ある」人は24.3% →献血未経験者の約2倍以上
●友人に献血している人がいるか	
Q23（P58） ☆「いる」(32.8%)、「いない」(34.8%)、「わからない」(32.3%)で回答が分かれた	Q25（P134） ☆6割（59.8%）が献血をしている友人が「いる」

献血未経験者	献血経験者
●高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか	
	Q26（P136） ☆「非常に有効」(36.6%)と「どちらかと言えば有効」(47.5%)を合わせた有効層は84.1%
●クロス集計 「初めて献血した場所」と「高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか」	
	Q26（P136） ☆高校で初めて献血した人では有効層が91.4%にのぼり高い。特に「非常に有効」が全体の49.9%を占める
●献血の必要性への理解が良くなったか・理解の深まり	
Q24-1（P60） ☆「はい」(27.6%)と「どちらかというとはい」(57.1%) を合わせた理解が良くなった層は84.7%	Q27-1（P138） ☆「はい」(32.6%)と「どちらかというとはい」(57.7%)を合わせた理解が深まった層は90.3% ☆高校生では「はい」が43.9%で特に評価が高い
●献血に協力する意識の有無・意識の高まり	
Q24-2（P62） ☆「ある」(15.6%)と「どちらかというとある」(43.4%)を合わせた意識がある層は59.0%	Q27-2（P140） ☆「はい」(32.5%)と「どちらかというとはい」(54.4%)を合わせた意識が高まった層は86.9% ☆意識が高まった層は高校生(90.0%)で最も高い
●今後実際に献血に行くか・献血回数の増加意向喚起	
Q24-3（P64） ☆「はい」(7.5%)と「どちらかというとはい」(36.9%)を合わせた意向ありの層は44.4% ☆特に高校生(49.6%)は半数近くが意向を喚起されている	Q27-3（P142） ☆「はい」(28.9%)と「どちらかというとはい」(53.8%)を合わせた意向が喚起された層は82.7% ☆意向が喚起された層は高校生(89.5%)で最も高い

若年層献血意識調査

－結果報告書－

平成23年10月

厚生労働省

医薬食品局　血液対策課

目　次

Ⅰ調査概要・・3

Ⅱ 未経験者編

1．対象者特性
（1）居住地・性別 （SC1／SC3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
（2）年齢・職業 （SC2／SC4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
（3）医療関係への関与有無 （SC5）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

2．献血に関する認知・関心度
（1）献血に関しての認知程度 （Q1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（2）献血の種類の認知 （Q2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（3）献血できる場所の認知 （Q3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
（4）献血への関心度 （Q4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
（5）献血が病気の治療に役立っていることの認知 （Q5）・・・・・・・・・・・・・・・・18
（6）輸血用血液製剤の有効期限が短く、
　　絶えず献血が必要なことを知っているか （Q6）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
（7）献血された輸血用血液製剤の使い道認知 （Q7）・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
（8）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験 （Q8）・・・・24
（9）若年層の献血協力者の減少傾向認知 （Q9）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

3．献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況
（1）献血に関する広報接触媒体 （Q10）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
（2）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 （Q11）・・・・・・・・・・・・・・・・・30
（3）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 （Q12）・・・・・・・・・・・・・・・・・32
（4）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （Q13）・・・・・・・・・・・・・・・34
（5）献血キャンペーン認知 （Q14）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
（6）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 （Q15）・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

4．感染症・血液製剤について
（1）献血では感染症に感染しないことの認知 （Q16）・・・・・・・・・・・・・・・・・40
（2）血液製剤の海外血液依存の認知 （Q17）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

5．献血ルームのイメージ
（1）献血ルームのイメージ （Q18）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44

6．献血をしたことがない理由
（1）1位＜最も大きな理由＞ （Q19）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
（2）1位～3位累計 （Q19）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

7．献血するきっかけとなり得る要因
（1）1位＜最も大きな要因＞ （Q20）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
（2）1位～3位累計 （Q20）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

8．初めての献血について
（1）初めての献血で400ml献血することへの不安意識 （Q21）・・・・・・・・・・・54

9．家族・友人の献血状況
（1）家族の献血の有無 （Q22）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
（2）友人の献血の有無 （Q23）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58

10．献血に関する資料評価
（1）献血の必要性への理解が良くなったか （Q24－1）・・・・・・・・・・・・・・・・60
（2）献血に協力する意識の有無 （Q24－2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
（3）今後の献血意向喚起 （Q24－3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64

11．若年層の献血協力意向を高めるアイデア
（1）若年層の献血協力意向を高めるアイデア （Q25）・・・・・・・・・・・・・・・・・66

Ⅲ 経験者編

1．対象者特性
（1）居住地・性別 （SC1／SC3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
（2）年齢・職業 （SC2／SC4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
（3）医療関係への関与有無 （SC5）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73

目 次

2. 献血に関する認知・関心度

（1）献血が病気の治療に役立っていることの認知 （Q1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74

（2）輸血用血液製剤の有効期限が短く、
絶えず献血が必要なことを知っているか （Q2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・76

（3）献血された輸血用血液製剤の使い道認知 （Q3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78

（4）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験 （Q4）・・・・80

（5）若年層の献血協力者の減少傾向認知 （Q5）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況

（1）献血に関する広報接触媒体 （Q6）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84

（2）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 （Q7）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86

（3）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 （Q8）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88

（4）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （Q9）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90

（5）献血キャンペーン認知 （Q10）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92

（6）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 （Q11）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94

4. 感染症・血液製剤について

（1）献血では感染症に感染しないことの認知 （Q12）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96

（2）血液製剤の海外血液依存の認知 （Q13）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98

5. 献血ルームのイメージ

（1）ルームの雰囲気について （Q14－1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100

（2）ルームの広さについて （Q14－2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・102

（3）職員の対応について （Q14－3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・104

（4）記念品や軽い飲食物について （Q14－4）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106

6. 献血についての要望・知りたいこと

（1）献血についての要望・知りたいこと （Q15）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108

7. 初めての献血について

（1）初めて献血した年齢 （Q16）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110

（2）初めて献血した場所 （Q17）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 112

（3）初めての献血の種類 （Q18）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・114

（4）初めての献血で400ml献血することへの不安意識 （Q19）・・・・・・・・・・・・ 116

8. 献血回数について

（1）過去1年間の200ml献血回数 （Q20－1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 118

（2）過去1年間の400ml献血回数 （Q20－2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120

（3）過去1年間の成分献血回数 （Q20－3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122

（4）今までの合計献血回数 （Q21）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124

9. 献血するきっかけ

（1）初めての献血のきっかけ 「1位＜最も大きな要因＞」（Q22）・・・・・・・・・ 126

（2）初めての献血のきっかけ 「1位～3位累計」（Q22）・・・・・・・・・・・・・・・・・・128

（3）現在献血するきっかけ 「1位＜最も大きな要因＞」（Q23）・・・・・・・・・・・・ 130

（4）現在献血するきっかけ 「1位～3位累計」（Q23）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・132

10. 献血する動機付けについて

（1）家族の献血の有無 （Q24）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134

（2）友人の献血の有無 （Q25）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136

（3）高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか （Q26）・・・・・・138

11. 献血に関する資料評価

（1）献血の必要性への理解の深まり （Q27－1）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140

（2）献血に協力する意識の高まり （Q27－2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142

（3）献血回数の増加意向喚起 （Q27－3）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・144

12. 若年層の献血協力意向を高めるアイデア

（1）若年層の献血協力意向を高めるアイデア （Q28）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146

付）調査票／呈示資料

Ⅰ．調査概要

調査目的

献血者数については、これまで減少傾向が引き続いていたところであるが、平成20年以降、増加に転じ、これまでの献血者確保対策に一定の効果がみられているところである。

しかしながら、10～20歳代の若年層の献血者数に目を転じてみると、同年代の人口減少の割合を上回る割合で減少し続け、依然として若年層の献血離れは深刻なものであり、将来の輸血医療に支障が生じることが懸念されていることから、若年層に対しての普及、啓発をこれまで以上に重点的・効率的に行う必要性が生じている。

そのため、若年層の献血に対する意識調査を実施し、平成17年度と平成20年度に行った同様の調査結果との比較を行うことにより、若年層の献血に対する意識等に変化があるのかどうかを検証し、検証結果を今後の若年層に対する献血推進のあり方の検討に資することを目的とする。

調査内容

（１）若年層の献血への関心度や献血へのイメージを把握する。
（２）若年層の献血に関する認知度を把握する。
（３）若年層が献血を行った時期やきっかけを把握する。
（４）（１）～（３）について平成１７年度、平成20年度の調査結果との比較を行う。

調査概要

【 調査方法 】 委託先調査会社が保有している一般消費者パネルに対して、インターネットを通じて質問（調査票）を送付し、回答を収集する。

【 調査対象 】 全国の１６～２９歳の献血経験者及び献血未経験者
※献血経験者　：過去に1度でも献血の経験がある者
※献血未経験者：今まで1度も献血の経験がない者（採血前の検査で基準を満たないため献血できなかった者を含む）

【 対象者数 】

献血経験者：5000名
献血未経験者：5000名
合計：10000名

※全国を右表の通り7ブロックに分け、各ブロックの若年層人口（16～29歳）の全国に占める割合を平成22年住民基本台帳年齢別人口のデータに基づき算出し、ブロックごとの回収数を決定した。

	合　計	経験者	未経験者
合　計	10,000	5,000	5,000
北海道	412	206	206
東北	706	353	353
関東甲信越	3,650	1,825	1,825
東海北陸	1,572	786	786
近畿	1,632	816	816
中国・四国	862	431	431
九州・沖縄	1,166	583	583

【 調査期間 】　平成23年10月6日（木）～10月12日（水）

＜調査結果の見方＞

・回答には、一つだけ選択するもの（単数回答）、いくつでも選択できるもの（複数回答）、自由に回答を記入（自由記述）するものの3種類がある。

・結果は、回答率（％）で表示している。回答率（％）は、その質問項目への回答者を母数として算出しており、母数は調査数（Ｎ）で示している。

・回答率（％）については、小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを表示している。

・「単数回答」の結果は四捨五入で表示しているため、回答率（％）の合計数値が100.0％とならない場合がある。

・「複数回答」の場合は、その回答率（％）の合計値は100.0％を超える場合がある。

・調査数（Ｎ）が、50以下は参考値である。

・結果の表中の ■ は前年度（23年度は20年度と比較、20年度は17年度と比較）と比較して５％以上高いもの、■ は前年度と比較して５％以上低いものである。

Ⅱ．未経験者編

（1）居住地・性別（SC1／SC3）

- 【居住地】は「関東甲信越」が36.5%を占め、過去2回の調査と同様、中心となっている。以下、「近畿」(16.3%)、「東海北陸」(15.7%)の順で続き、全体構成も過去2回の調査と概ね変わらない。
- 【性別】は、全体では「男性」51.0%、「女性」49.0%とほぼ半々で20年度調査と概ね変わらない。17年度調査と比べて男性回答者が2割弱増えている。
- 【年齢】では、10代は「16～17歳」が9.5%、「18～19歳」が18.6%となり、合わせて28.1%を占める。「20～24歳」、「25～29歳」はそれぞれ36.0%を占める。過去2回調査に比べて10代の回答者が増えている。
- 【職業】では、「大学生・専門学校生」(31.9%)と「会社員」(27.4%)が中心であり、両層で6割弱を占める。20年度調査とは概ね同様の傾向となっている。17年度調査に比べて「大学生・専門学校生」が増え、「専業主婦」「その他」が減少した。
- 【医療関係への関与有無】では、「はい(携わっている)」と回答した人は8.0%で、過去2回調査と概ね変わらない。

居住地（SC1）

（%）

		(N)	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国・四国	九州・沖縄
全　体	23年	(5000)	4.1	7.1	36.5	15.7	16.3	8.6	11.7
	20年	(5000)	4.2	7.1	36.5	15.6	16.3	8.6	11.7
	17年	(5000)	4.0	7.0	36.0	15.0	17.0	9.0	12.0

【基数:対象者全員】

性別（SC3）

（%）

			(N)	男性	女性
全　体		23年	(5000)	51.0	49.0
		20年	(5000)	51.1	48.9
		17年	(5000)	33.8	66.2
地域別	北海道	23年	(206)	49.5	50.5
		20年	(210)	50.0	50.0
		17年	(200)	34.0	66.0
	東北	23年	(353)	52.7	47.3
		20年	(355)	51.0	49.0
		17年	(350)	36.0	64.0
	関東甲信越	23年	(1825)	51.2	48.8
		20年	(1825)	51.9	48.1
		17年	(1800)	34.1	65.9
	東海北陸	23年	(786)	51.4	48.6
		20年	(780)	51.9	48.1
		17年	(750)	34.9	65.1
	近畿	23年	(816)	50.2	49.8
		20年	(816)	50.2	49.8
		17年	(850)	35.1	64.9
	中国・四国	23年	(431)	50.1	49.9
		20年	(431)	50.8	49.2
		17年	(450)	29.8	70.2
	九州・沖縄	23年	(583)	50.6	49.4
		20年	(583)	49.6	50.4
		17年	(600)	31.2	68.8

【基数:対象者全員】

（2）年齢・職業（SC2／SC4）

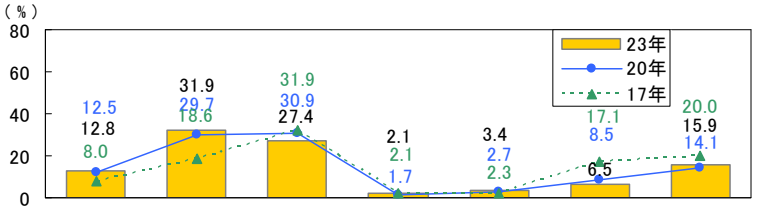
年齢（SC2）

【基数：対象者全員】

			(N)	16～17歳	18～19歳	20～24歳	25～29歳
全体		23年	(5000)	9.5	18.6	36.0	36.0
		20年	(5000)	9.7	15.4	35.5	39.4
		17年	(5000)	5.5	6.1	30.8	57.6
性別	男性	23年	(2548)	10.6	18.8	35.3	35.3
		20年	(2556)	10.4	14.7	35.5	39.4
		17年	(1688)	6.6	7.0	32.3	54.0
	女性	23年	(2452)	8.3	18.4	36.7	36.7
		20年	(2444)	9.0	16.1	35.5	39.4
		17年	(3312)	4.9	5.6	30.0	59.5
地域別	北海道	23年	(206)	8.3	18.0	36.9	36.9
		20年	(210)	11.4	14.8	35.2	38.6
		17年	(200)	6.0	8.5	35.0	50.5
	東北	23年	(353)	8.8	18.7	36.3	36.3
		20年	(355)	10.4	17.5	34.6	37.5
		17年	(350)	6.6	4.9	25.7	62.9
	関東甲信越	23年	(1825)	9.3	19.0	35.8	35.8
		20年	(1825)	8.1	15.0	35.6	41.4
		17年	(1800)	4.4	5.8	30.4	59.3
	東海北陸	23年	(786)	13.2	19.6	33.6	33.6
		20年	(780)	12.1	14.1	35.3	38.6
		17年	(750)	6.9	7.3	30.3	55.5
	近畿	23年	(816)	9.3	20.1	35.3	35.3
		20年	(816)	8.9	16.3	35.9	38.8
		17年	(850)	6.6	5.9	37.6	49.9
	中国・四国	23年	(431)	9.0	18.6	36.2	36.2
		20年	(431)	10.7	16.5	35.5	37.4
		17年	(450)	4.7	6.4	27.1	61.8
	九州・沖縄	23年	(583)	6.3	14.1	39.8	39.8
		20年	(583)	11.3	15.4	35.5	37.7
		17年	(600)	5.2	5.3	27.0	62.5

職業（SC4）

【基数：対象者全員】



			(N)	高校生	大学生・専門学校生	会社員	公務員	自営業	専業主婦	その他
全体		23年	(5000)	12.8	31.9	27.4	2.1	3.4	6.5	15.9
		20年	(5000)	12.5	29.7	30.9	1.7	2.7	8.5	14.1
		17年	(5000)	8.0	18.6	31.9	2.1	2.3	17.1	20.0
性別	男性	23年	(2548)	14.4	35.4	28.3	2.9	4.3	1.5	13.2
		20年	(2556)	13.5	33.1	35.9	2.1	3.7	－	11.8
		17年	(1688)	9.0	25.9	37.6	2.8	4.1	－	20.6
	女性	23年	(2452)	11.2	28.3	26.3	1.2	2.4	11.7	18.8
		20年	(2444)	11.5	26.1	25.7	1.3	1.6	17.3	16.4
		17年	(3312)	7.4	14.9	29.0	1.7	1.4	25.8	19.7
地域別	北海道	23年	(206)	12.1	24.8	22.8	3.9	3.4	9.2	23.8
		20年	(210)	15.7	25.2	27.1	2.4	6.2	10.5	12.9
		17年	(200)	11.0	15.5	25.0	2.5	2.5	16.0	27.5
	東北	23年	(353)	10.5	32.9	26.1	3.1	4.2	6.2	17.0
		20年	(355)	14.6	29.6	27.6	1.4	3.9	7.3	15.5
		17年	(350)	9.1	15.1	31.4	2.0	2.9	18.3	21.1
	関東甲信越	23年	(1825)	12.3	34.4	27.1	2.0	3.0	6.1	15.1
		20年	(1825)	10.1	31.6	33.7	1.4	2.5	7.7	13.1
		17年	(1800)	6.3	20.4	33.8	1.6	1.7	16.9	19.3
	東海北陸	23年	(786)	18.3	26.0	30.9	1.8	3.3	6.1	13.6
		20年	(780)	15.0	24.0	33.7	2.4	1.4	9.5	14.0
		17年	(750)	9.7	18.1	33.5	3.7	2.8	15.5	16.7
	近畿	23年	(816)	13.1	35.2	26.6	1.6	3.4	4.8	15.3
		20年	(816)	11.4	34.6	27.2	1.1	2.9	9.8	13.0
		17年	(850)	8.5	22.0	31.1	1.6	1.5	14.6	20.7
	中国・四国	23年	(431)	11.4	33.2	25.5	2.6	3.9	7.7	15.8
		20年	(431)	13.7	27.6	30.2	2.1	1.6	8.1	16.7
		17年	(450)	8.0	15.6	30.2	3.1	3.6	18.9	20.7
	九州・沖縄	23年	(583)	9.4	29.0	28.1	1.9	3.4	8.7	19.4
		20年	(583)	15.1	27.6	27.4	2.2	3.4	7.9	16.3
		17年	(600)	8.2	14.7	29.3	1.2	3.3	21.8	21.5

(%)

（3）医療関係への関与有無（SC5）

SC5. あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	はい	いいえ
全体		23年	(5000)	8.0	92.0
		20年	(5000)	6.4	93.6
		17年	(5000)	6.0	94.0
職業別	高校生	23年	(642)	1.7	98.3
		20年	(626)	1.4	98.6
		17年	(398)	2.5	97.5
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	11.8	88.2
		20年	(1484)	10.5	89.5
		17年	(932)	10.2	89.8
	会社員	23年	(1368)	9.5	90.5
		20年	(1545)	6.7	93.3
		17年	(1596)	6.1	93.9
	公務員	23年	(104)	15.4	84.6
		20年	(85)	7.1	92.9
		17年	(104)	13.5	86.5
	自営業	23年	(168)	4.8	95.2
		20年	(134)	6.0	94.0
		17年	(115)	3.5	96.5
	専業主婦	23年	(324)	4.6	95.4
		20年	(423)	3.1	96.9
		17年	(856)	4.0	96.0
	その他	23年	(797)	3.9	96.1
		20年	(703)	3.3	96.7
		17年	(999)	4.5	95.5
性別	男性	23年	(2548)	6.1	93.9
		20年	(2556)	4.9	95.1
		17年	(1688)	4.7	95.3
	女性	23年	(2452)	9.9	90.1
		20年	(2444)	7.9	92.1
		17年	(3312)	6.7	93.3
地域別	北海道	23年	(206)	9.7	90.3
		20年	(210)	7.1	92.9
		17年	(200)	9.5	90.5
	東北	23年	(353)	9.1	90.9
		20年	(355)	5.9	94.1
		17年	(350)	8.3	91.7
	関東甲信越	23年	(1825)	6.7	93.3
		20年	(1825)	5.6	94.4
		17年	(1800)	4.6	95.4
	東海北陸	23年	(786)	7.9	92.1
		20年	(780)	5.4	94.6
		17年	(750)	5.6	94.4
	近畿	23年	(816)	8.6	91.4
		20年	(816)	6.6	93.4
		17年	(850)	6.4	93.6
	中国・四国	23年	(431)	10.4	89.6
		20年	(431)	9.0	91.0
		17年	(450)	8.4	91.6
	九州・沖縄	23年	(583)	8.2	91.8
		20年	(583)	7.7	92.3
		17年	(600)	5.8	94.2

（１）献血に関しての認知程度 （Q1）

【 献血について「よく知っている」人は約1割 】

- 献血について「よく知っている」と回答した人は10.8%。「ある程度知っている」と回答した人（75.4%）も含めると認知率は86.2%で、献血について知っている人が9割弱を占める。
- 職業別では、高校生の認知率(81.3%)が他の層に比べて低い。
- 性別では、男性の認知率(83.5%)が女性の認知率(89.0%)と比べて6ポイント低い。
- 地域別では、大きな差はみられない。

- １７年度調査と２０年度調査を比べると、全体での認知率は19ポイント上昇した。しかし、２３年度調査では２０年度調査より7ポイント低下した。結果として２３年度調査の認知率は、１７年度調査よりは高いが、２０年度調査よりは低くなった。職業別・性別・地域別でも各層概ね同様の傾向である。
- ただし職業別では、公務員の認知率が２０年度調査と比べて11ポイント低くなっており、１７年度調査の認知率よりも下回っている。また２０年度調査と比べて自営業で「よく知っている」が9ポイント低下している。

2. 献血に関する認知・関心度

【未経験者編】

（1）献血に関しての認知程度（Q1）

Q1. 献血について知っていますか。

【基数：対象者全員】

（%）

			(N)	よく知っている	ある程度知っている	まったく知らない	認知計
全体		23年	(5000)	10.8	75.4	13.8	86.2
		20年	(5000)	12.6	80.3	7.1	92.9
		17年	(5000)	8.4	65.4	26.2	73.8
職業別	高校生	23年	(642)	12.1	69.2	18.7	81.3
		20年	(626)	9.7	78.1	12.1	87.9
		17年	(398)	10.1	62.3	27.6	72.4
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	12.0	75.5	12.5	87.5
		20年	(1484)	13.6	81.5	4.9	95.1
		17年	(932)	9.9	67.0	23.2	76.8
	会社員	23年	(1368)	11.1	76.4	12.5	87.5
		20年	(1545)	13.6	79.4	7.0	93.0
		17年	(1596)	8.2	65.6	26.2	73.8
	公務員	23年	(104)	15.4	69.2	15.4	84.6
		20年	(85)	11.8	83.5	4.7	95.3
		17年	(104)	18.3	70.2	11.5	88.5
	自営業	23年	(168)	7.1	78.0	14.9	85.1
		20年	(134)	16.4	73.1	10.4	89.6
		17年	(115)	10.4	65.2	24.3	75.7
	専業主婦	23年	(324)	8.0	79.6	12.3	87.6
		20年	(423)	10.6	85.1	4.3	95.7
		17年	(856)	8.1	67.5	24.4	75.6
	その他	23年	(797)	7.8	77.3	14.9	85.1
		20年	(703)	11.5	79.8	8.7	91.3
		17年	(999)	5.8	62.4	31.8	68.2
性別	男性	23年	(2548)	11.2	72.3	16.6	83.5
		20年	(2556)	13.3	77.8	8.9	91.1
		17年	(1688)	7.6	61.5	30.9	69.1
	女性	23年	(2452)	10.3	78.7	11.0	89.0
		20年	(2444)	11.9	82.9	5.2	94.8
		17年	(3312)	8.8	67.3	23.8	76.2
地域別	北海道	23年	(206)	12.6	75.7	11.7	88.3
		20年	(210)	14.8	80.0	5.2	94.8
		17年	(200)	9.0	62.5	28.5	71.5
	東北	23年	(353)	16.1	71.7	12.2	87.8
		20年	(355)	14.6	80.8	4.5	95.5
		17年	(350)	9.1	66.6	24.3	75.7
	関東甲信越	23年	(1825)	10.6	76.1	13.4	86.7
		20年	(1825)	12.8	79.7	7.6	92.4
		17年	(1800)	8.4	63.4	28.2	71.8
	東海北陸	23年	(786)	9.7	73.8	16.5	83.5
		20年	(780)	12.2	79.4	8.5	91.5
		17年	(750)	6.5	66.4	27.1	72.9
	近畿	23年	(816)	10.2	74.8	15.1	85.0
		20年	(816)	12.4	82.0	5.6	94.4
		17年	(850)	9.2	65.9	24.9	75.1
	中国・四国	23年	(431)	10.0	76.8	13.2	86.8
		20年	(431)	11.1	81.9	7.0	93.0
		17年	(450)	9.1	66.7	24.2	75.8
	九州・沖縄	23年	(583)	10.3	77.7	12.0	88.0
		20年	(583)	12.2	79.8	8.1	91.9
		17年	(600)	8.7	68.5	22.8	77.2

（２)献血の種類の認知 （Q2）

【 献血の種類の認知率は4割弱 】

- 献血の種類を「知っている」人は35.1%で、残りの6割以上の人は認知していない。
- 職業別では、公務員の認知率が46.2%で他の層に比べて高い。一方、高校生の76.0%が「知らない」と回答しており他の層と比べて認知率が低い。
- 性別では、男性の認知率(31.4%)が女性の認知率(38.9%）と比べて8ポイント下回っており低い。
- 地域別では、東北の認知率(41.6%)が他の地域と比べて高く、4割強にのぼる。

- ２０年度調査と比べると、全体での認知率に大きな変化はみられない。
- 職業別では、専業主婦の認知率が２０年度調査と比べて11ポイント低下し顕著。また自営業、高校生でもそれぞれ5ポイント程度、認知率が低下している。
- 地域別では、東北の認知率が２０年度調査と比べて7ポイント低下している。

（２）献血の種類の認知 （Q2）

Q2. 献血の種類（＊）を知っていますか。

＊献血の種類には、すべての血液の成分を採血する全血献血（200mlまたは400ml）と、必要な血液の成分だけを採血する成分献血（血漿成分献血または血小板成分献血）があります。

（％）

【基数：対象者全員】			(N)	知っている	知らない
全　体		23年	(5000)	35.1	64.9
		20年	(5000)	38.6	61.4
職業別	高校生	23年	(642)	24.0	76.0
		20年	(626)	29.1	70.9
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	37.9	62.1
		20年	(1484)	39.4	60.6
	会社員	23年	(1368)	38.2	61.8
		20年	(1545)	39.3	60.7
	公務員	23年	(104)	46.2	53.8
		20年	(85)	50.6	49.4
	自営業	23年	(168)	31.0	69.0
		20年	(134)	36.6	63.4
	専業主婦	23年	(324)	32.1	67.9
		20年	(423)	42.8	57.2
	その他	23年	(797)	33.6	66.4
		20年	(703)	40.3	59.7
性別	男性	23年	(2548)	31.4	68.6
		20年	(2556)	34.3	65.7
	女性	23年	(2452)	38.9	61.1
		20年	(2444)	43.0	57.0
地域別	北海道	23年	(206)	38.8	61.2
		20年	(210)	36.2	63.8
	東北	23年	(353)	41.6	58.4
		20年	(355)	49.0	51.0
	関東甲信越	23年	(1825)	32.8	67.2
		20年	(1825)	36.4	63.6
	東海北陸	23年	(786)	32.2	67.8
		20年	(780)	36.8	63.2
	近畿	23年	(816)	35.3	64.7
		20年	(816)	36.8	63.2
	中国・四国	23年	(431)	39.9	60.1
		20年	(431)	43.4	56.6
	九州・沖縄	23年	(583)	37.0	63.0
		20年	(583)	41.2	58.8

（３）献血できる場所の認知（Q3）

【 献血できる場所の認知率は8割強 】

- 献血できる場所の認知率は、「よく知っている」人が25.0%で4人中1人が詳しい。また「ある程度知っている」（59.4%）を合わせた認知率は84.4%にのぼる。
- 職業別では、公務員の認知率(88.5%)が最も高く、対して高校生(77.8%) の認知率は他の層よりも低く、4人中1人が献血できる場所を知らない。
- 性別では、男性の認知率(79.5%)が女性の認知率(89.4%）と比べて10ポイント下回っており低い。
- 地域別では、概ね大きな差はみられないが、東海北陸の認知率(80.4%)が他の地域に比べてやや低い。

- 20年度調査と比べると、全体での認知率に大きな変化はみられない。
- 職業別では、専業主婦の認知率が20年度調査と比べて7ポイント低下している。
- 性別では、男性の認知率が20年度調査と比べてやや低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べて認知率が、北海道で8ポイント、東北で5ポイント、近畿で6ポイント低下している。しかし「よく知っている」の回答では、北海道で7ポイント上昇している。

（3）献血できる場所の認知（Q3）

Q3. 献血がどこでできるか知っていますか。（＊）
＊献血は、①献血ルーム、②献血バス、③血液センター、④会社や団体での出張献血ですることができます。

【基数：対象者全員】

			(N)	よく知っている	ある程度知っている	知らない	認知計
全体		23年	(5000)	25.0	59.4	15.7	84.4
		20年	(5000)	24.5	63.2	12.3	87.7
職業別	高校生	23年	(642)	20.6	57.2	22.3	77.8
		20年	(626)	21.9	60.2	17.9	82.1
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	28.7	59.2	12.1	87.9
		20年	(1484)	27.2	62.9	10.0	90.0
	会社員	23年	(1368)	25.1	58.0	17.0	83.1
		20年	(1545)	24.7	61.9	13.4	86.6
	公務員	23年	(104)	29.8	58.7	11.5	88.5
		20年	(85)	27.1	62.4	10.6	89.4
	自営業	23年	(168)	21.4	58.9	19.6	80.3
		20年	(134)	20.9	60.4	18.7	81.3
	専業主婦	23年	(324)	23.5	62.7	13.9	86.2
		20年	(423)	27.9	65.7	6.4	93.6
	その他	23年	(797)	21.7	62.7	15.6	84.4
		20年	(703)	19.2	68.4	12.4	87.6
性別	男性	23年	(2548)	20.6	58.9	20.5	79.5
		20年	(2556)	21.1	62.7	16.2	83.8
	女性	23年	(2452)	29.6	59.8	10.6	89.4
		20年	(2444)	28.0	63.7	8.2	91.8
地域別	北海道	23年	(206)	25.7	56.8	17.5	82.5
		20年	(210)	19.0	71.0	10.0	90.0
	東北	23年	(353)	27.8	58.9	13.3	86.7
		20年	(355)	32.4	59.7	7.9	92.1
	関東甲信越	23年	(1825)	24.5	60.8	14.7	85.3
		20年	(1825)	24.9	63.4	11.7	88.3
	東海北陸	23年	(786)	22.6	57.8	19.6	80.4
		20年	(780)	20.6	62.3	17.1	82.9
	近畿	23年	(816)	24.3	59.4	16.3	83.7
		20年	(816)	23.2	66.8	10.0	90.0
	中国・四国	23年	(431)	26.5	57.3	16.2	83.8
		20年	(431)	24.6	61.7	13.7	86.3
	九州・沖縄	23年	(583)	27.6	59.7	12.7	87.3
		20年	(583)	27.3	59.2	13.6	86.4

（4）献血への関心度（Q4）

【 献血への関心度は4割強が「関心あり」層 】

- 献血に対する関心度をみると、関心あり層は43.7%（非常に関心がある：6.0% + 関心がある：37.7%）に対して、関心なし層は56.3%（全く関心がない：12.5% + 特に関心がない：43.8%）を占め、関心がない人の方が多い。
- 職業別では、他の層に比べて専業主婦で関心あり層(49.7%)の割合が高く半数を占めるのに対し、公務員では35.5%にとどまり他の層と比べて関心がある人が少ない。
- 性別では、男性(34.8%)に比べて女性(52.8%)の関心度が高く、関心あり層の割合は男性を18ポイント上回る。
- 地域別では、九州・沖縄の関心度(50.4%)が他の地域に比べて高く、対して関東甲信越(39.6%)ではやや低くなっている。

- 20年度調査と比べると、全体での関心度に大きな変化はみられない。しかし、17年度調査と比べると、関心あり層が9ポイント低下している。
- 職業別では、公務員で17年度調査と20年度調査を比べると、関心あり層が8ポイント低下、23年度調査ではさらに8ポイント低下しており、年々関心が薄れている。
- 性別では、男女ともに17年度調査から関心あり層の割合が低下傾向。
- 地域別では、東北で「全く関心がない」層が20年度調査と比べて10ポイント上昇している。関東甲信越では17年度調査から関心あり層が低下傾向で、対して「全く関心がない」層が上昇傾向。

（4）献血への関心度（Q4）

Q4. 献血について関心がありますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	非常に関心がある	関心がある	特に関心がない	全く関心がない	関心がある（計）	関心がない（計）
全体		23年	(5000)	6.0	37.7	43.8	12.5	43.7	56.3
		20年	(5000)	5.2	40.7	45.5	8.6	45.8	54.2
		17年	(5000)	6.4	45.8	40.3	7.5	52.2	47.8
職業別	高校生	23年	(642)	8.9	34.4	41.4	15.3	43.3	56.7
		20年	(626)	7.5	39.5	44.6	8.5	47.0	53.0
		17年	(398)	12.8	46.7	34.2	6.3	59.5	40.5
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	6.6	41.8	41.9	9.8	48.4	51.7
		20年	(1484)	6.0	41.4	45.2	7.3	47.4	52.6
		17年	(932)	8.0	49.4	35.1	7.5	57.4	42.6
	会社員	23年	(1368)	3.7	36.3	46.0	14.0	40.0	60.0
		20年	(1545)	3.4	39.4	47.6	9.6	42.7	57.3
		17年	(1596)	4.4	43.4	42.9	9.3	47.8	52.2
	公務員	23年	(104)	3.8	31.7	47.1	17.3	35.5	64.4
		20年	(85)	4.7	38.8	45.9	10.6	43.5	56.5
		17年	(104)	3.8	48.1	43.3	4.8	51.9	48.1
	自営業	23年	(168)	9.5	28.0	46.4	16.1	37.5	62.5
		20年	(134)	6.7	34.3	45.5	13.4	41.0	59.0
		17年	(115)	7.8	47.8	41.7	2.6	55.7	44.3
	専業主婦	23年	(324)	5.9	43.8	39.8	10.5	49.7	50.3
		20年	(423)	5.4	48.0	42.3	4.3	53.4	46.6
		17年	(856)	6.1	46.7	41.5	5.7	52.8	47.2
	その他	23年	(797)	5.9	34.8	46.7	12.7	40.7	59.4
		20年	(703)	5.0	40.0	44.4	10.7	45.0	55.0
		17年	(999)	5.6	44.8	41.9	7.6	50.5	49.5
性別	男性	23年	(2548)	4.0	30.8	49.0	16.2	34.8	65.2
		20年	(2556)	3.0	34.5	51.4	11.2	37.5	62.5
		17年	(1688)	4.6	40.2	45.1	10.1	44.8	55.2
	女性	23年	(2452)	8.0	44.8	38.5	8.7	52.8	47.2
		20年	(2444)	7.5	47.1	39.4	6.0	54.6	45.4
		17年	(3312)	7.3	48.7	37.8	6.2	56.0	44.0
地域別	北海道	23年	(206)	6.3	38.8	42.2	12.6	45.1	54.8
		20年	(210)	6.7	40.0	42.9	10.5	46.7	53.3
		17年	(200)	5.5	47.5	41.0	6.0	53.0	47.0
	東北	23年	(353)	4.0	45.6	37.4	13.0	49.6	50.4
		20年	(355)	4.2	46.2	46.5	3.1	50.4	49.6
		17年	(350)	5.7	44.3	42.0	8.0	50.0	50.0
	関東甲信越	23年	(1825)	4.9	34.7	45.6	14.7	39.6	60.3
		20年	(1825)	4.3	39.1	45.3	11.3	43.4	56.6
		17年	(1800)	5.7	45.3	41.1	7.9	51.1	48.9
	東海北陸	23年	(786)	6.2	34.9	46.7	12.2	41.1	58.9
		20年	(780)	4.6	38.8	48.8	7.7	43.5	56.5
		17年	(750)	6.5	47.3	36.9	9.2	53.9	46.1
	近畿	23年	(816)	7.1	39.3	41.9	11.6	46.4	53.5
		20年	(816)	5.9	40.4	46.7	7.0	46.3	53.7
		17年	(850)	6.8	45.8	40.8	6.6	52.6	47.4
	中国・四国	23年	(431)	7.7	37.4	43.4	11.6	45.1	55.0
		20年	(431)	5.1	39.9	48.0	7.0	45.0	55.0
		17年	(450)	7.1	42.7	43.8	6.4	49.8	50.2
	九州・沖縄	23年	(583)	7.2	43.2	42.0	7.5	50.4	49.5
		20年	(583)	7.9	45.6	38.9	7.5	53.5	46.5
		17年	(600)	7.5	48.2	37.5	6.8	55.7	44.3

（5）献血が病気の治療に役立っていることの認知 （Q5）

【 献血が病気の治療に役立っていることの認知率は4割 】

- 献血がさまざまな病気の治療に役立っていることの認知率は40.7%。
- 職業別では、公務員の認知率(48.1%)が他の層と比べて高い。
- 性別での大きな差はみられない。
- 地域別では、東北の認知率が44.5%で最も高く、次いで中国・四国(43.6%)、九州・沖縄(42.4%)で高い。

- 20年度調査と比べると、全体での治療に役立っていることの認知率は7ポイント低下している。
- 職業別では、20年度調査と比べて、公務員を除く全ての層で認知率が低下している。
- 性別では、20年度調査と比べて、男女ともに認知率が7ポイント以上低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べて、北海道で9ポイント、東海北陸で11ポイント、近畿で12ポイント認知率が低下しており顕著。

（5）献血が病気の治療に役立っていることの認知 （Q5）

Q5. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

【基数：対象者全員】

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	40.7	59.3
		20年	(5000)	48.0	52.0
職業別	高校生	23年	(642)	38.8	61.2
		20年	(626)	47.4	52.6
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	44.5	55.5
		20年	(1484)	50.5	49.5
	会社員	23年	(1368)	39.3	60.7
		20年	(1545)	46.3	53.7
	公務員	23年	(104)	48.1	51.9
		20年	(85)	48.2	51.8
	自営業	23年	(168)	38.7	61.3
		20年	(134)	48.5	51.5
	専業主婦	23年	(324)	40.7	59.3
		20年	(423)	48.9	51.1
	その他	23年	(797)	36.1	63.9
		20年	(703)	46.5	53.5
性別	男性	23年	(2548)	40.9	59.1
		20年	(2556)	48.3	51.7
	女性	23年	(2452)	40.4	59.6
		20年	(2444)	47.7	52.3
地域別	北海道	23年	(206)	38.8	61.2
		20年	(210)	48.1	51.9
	東北	23年	(353)	44.5	55.5
		20年	(355)	47.6	52.4
	関東甲信越	23年	(1825)	41.2	58.8
		20年	(1825)	46.1	53.9
	東海北陸	23年	(786)	37.9	62.1
		20年	(780)	48.8	51.2
	近畿	23年	(816)	38.1	61.9
		20年	(816)	49.8	50.2
	中国・四国	23年	(431)	43.6	56.4
		20年	(431)	49.7	50.3
	九州・沖縄	23年	(583)	42.4	57.6
		20年	(583)	49.6	50.4

（６）輸血用血液製剤の有効期限が短く、絶えず献血が必要なことを知っているか（Q6）

＜新規質問＞

【 献血が絶えず必要なことの認知率は5割弱 】

- 献血が輸血用血液製剤の有効期限が短いために絶えず必要であることの認知率は、46.5%で半数近くを占める。
- 職業別では、大学生・専門学校生(51.9%)と公務員(51.0%)の認知率が高く、対して高校生(38.0%)が他の層と比べて認知率が低い。
- 性別では、男性の認知率(43.0%)に比べて、女性の認知率(50.2%)が7ポイント高い。
- 地域別では、中国・四国(50.6%)と九州・沖縄(53.7%)の認知率が他の地域と比べて高く、半数以上の人が認知している。

（６）輸血用血液製剤の有効期限が短く、絶えず献血が必要なことを知っているか（Q6）

Q6. 献血された輸血用血液製剤の有効期間は短く、絶えず献血が必要なことを知っていますか。
※血液製剤の有効期間は一番短い血小板製剤で採血後４日間、赤血球製剤は２１日間です。

【基数：対象者全員】

		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	46.5	53.5
職業別	高校生	(642)	38.0	62.0
	大学生・専門学校生	(1597)	51.9	48.1
	会社員	(1368)	44.4	55.6
	公務員	(104)	51.0	49.0
	自営業	(168)	43.5	56.5
	専業主婦	(324)	45.4	54.6
	その他	(797)	46.9	53.1
性別	男性	(2548)	43.0	57.0
	女性	(2452)	50.2	49.8
地域別	北海道	(206)	47.6	52.4
	東北	(353)	43.9	56.1
	関東甲信越	(1825)	45.3	54.7
	東海北陸	(786)	43.6	56.4
	近畿	(816)	45.8	54.2
	中国・四国	(431)	50.6	49.4
	九州・沖縄	(583)	53.7	46.3

（7）献血された輸血用血液製剤の使い道認知（Q7）

＜新規質問＞

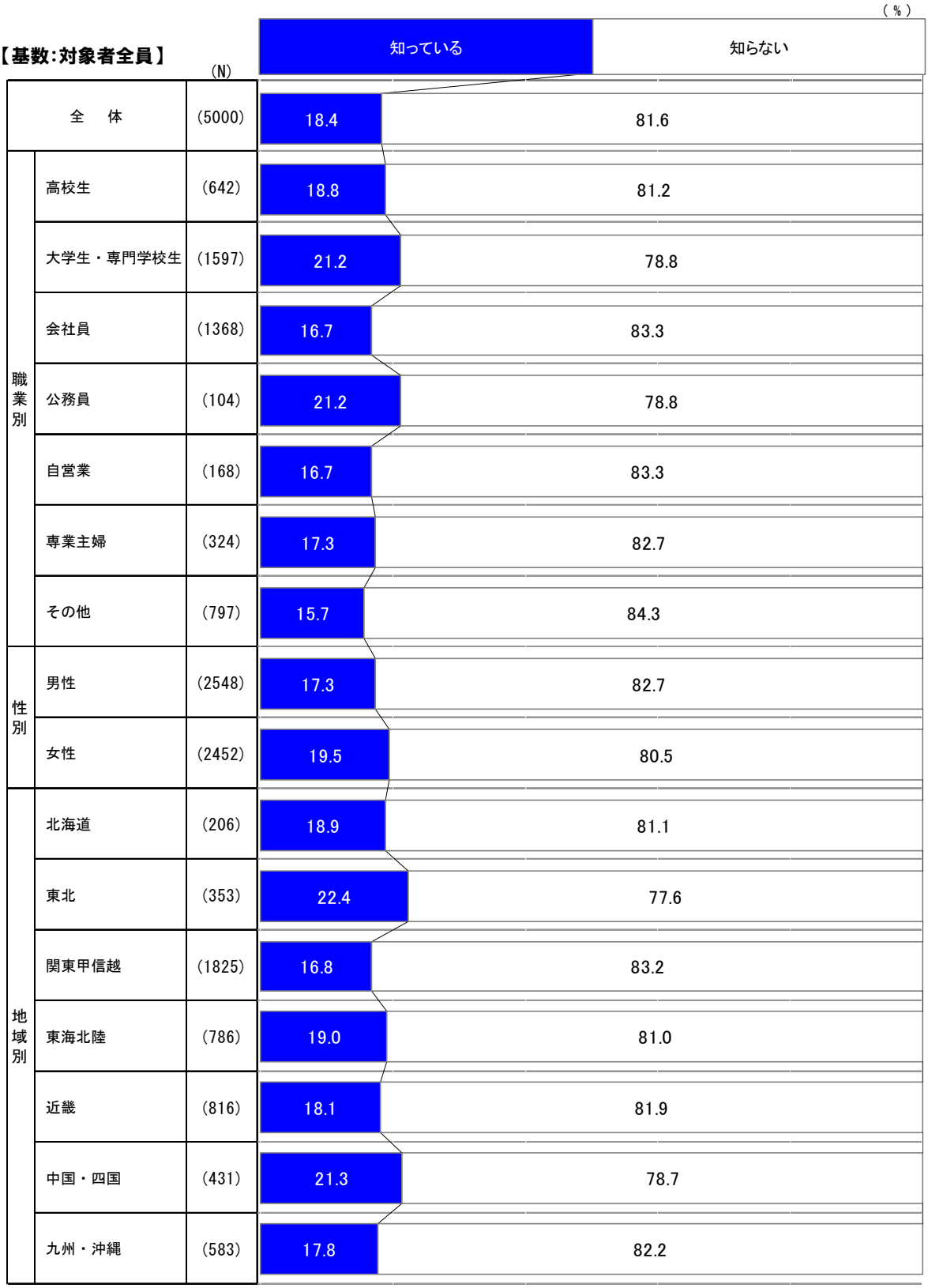
【 輸血用血液製剤の使い道の認知率は2割弱 】

- 献血された輸血用血液製剤の使い道の認知率は18.4%。
- 職業別では、大学生・専門学校生(21.2%)と公務員(21.2%)の認知率が他の層と比べるとやや高い。
- 性別での大きな差はみられない。
- 地域別では、東北の認知率(22.4%)が他の地域と比べてやや高い。

（7）献血された輸血用血液製剤の使い道認知（Q7）

Q7. 献血された輸血用血液製剤の使い道は、交通事故などの大量出血時よりもがんなどの病気の治療に使われることが圧倒的に多いことを知っていますか。
※約8割が病気（うちがんの治療3割）に使われ、交通事故などによる輸血は約1割程度。

【基数：対象者全員】



（８）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験（Q8）

＜新規質問＞

【 患者の感謝の気持ちを目や耳にした人は2割弱 】

- 輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験のある人は16.5%。
- 職業別では、公務員の経験率(21.2%)が他の層と比べてやや高く、対して自営業の経験率(11.9%)が他の層と比べてやや低い。
- 性別での大きな差はみられない。
- 地域別では、東北での経験率(21.5%)が他の地域と比べてやや高い。

（８）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験（Q8）

Q8. 輸血の医療を受けられた多くの患者さんは、献血をしてくれた方に感謝（献血してくれてありがとう）の気持ちを持っています。そのような声を目や耳にしたことはありますか。

【基数：対象者全員】

		(N)	ある	ない
全　体		(5000)	16.5	83.5
職業別	高校生	(642)	18.4	81.6
	大学生・専門学校生	(1597)	18.3	81.7
	会社員	(1368)	15.2	84.8
	公務員	(104)	21.2	78.8
	自営業	(168)	11.9	88.1
	専業主婦	(324)	17.0	83.0
	その他	(797)	13.9	86.1
性別	男性	(2548)	14.8	85.2
	女性	(2452)	18.4	81.6
地域別	北海道	(206)	13.6	86.4
	東北	(353)	21.5	78.5
	関東甲信越	(1825)	16.3	83.7
	東海北陸	(786)	15.4	84.6
	近畿	(816)	14.3	85.7
	中国・四国	(431)	18.1	81.9
	九州・沖縄	(583)	18.7	81.3

（9）若年層の献血協力者の減少傾向認知（Q9）

【 若年層の献血協力者が減少していることの認知率は3割強 】

- 献血へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」人は32.5%で3人中1人。
- 職業別では、公務員の認知率(44.2%)が他の層に比べて高い。その他の層では3 割程度の認知率にとどまる。
- 性別での大きな差はみられない。
- 地域別では、東北の認知率(38.5%)が他の地域と比べて高い。

- 20年度調査と比べると、全体での若年層の献血協力者が減少していることの認知率は5ポイント低下している。
- 職業別では、20年度調査と比べると、公務員と自営業の認知率が9ポイント低下しており顕著。
- 性別では、20年度調査と比べると、男性の認知率が6ポイント低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東海北陸、近畿、中国・四国の認知率がそれぞれ6ポイント低下している。

（9）若年層の献血協力者の減少傾向認知（Q9）

Q9. 献血へ協力してくださる若い方の数が、近年大幅に減っています(＊)。知っていましたか。
＊最近5年間で、20代の献血者数は140万人から108万人(23%減)に、10代の献血者数は48万人から29万人(40%減)も減少しています。

【基数:対象者全員】

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	32.5	67.5
		20年	(5000)	37.3	62.7
職業別	高校生	23年	(642)	31.9	68.1
		20年	(626)	33.7	66.3
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	34.0	66.0
		20年	(1484)	40.2	59.8
	会社員	23年	(1368)	31.0	69.0
		20年	(1545)	36.7	63.3
	公務員	23年	(104)	44.2	55.8
		20年	(85)	52.9	47.1
	自営業	23年	(168)	27.4	72.6
		20年	(134)	36.6	63.4
	専業主婦	23年	(324)	29.9	70.1
		20年	(423)	35.7	64.3
	その他	23年	(797)	32.9	67.1
		20年	(703)	34.6	65.4
性別	男性	23年	(2548)	31.4	68.6
		20年	(2556)	37.0	63.0
	女性	23年	(2452)	33.5	66.5
		20年	(2444)	37.5	62.5
地域別	北海道	23年	(206)	34.0	66.0
		20年	(210)	39.5	60.5
	東北	23年	(353)	38.5	61.5
		20年	(355)	42.8	57.2
	関東甲信越	23年	(1825)	31.8	68.2
		20年	(1825)	35.5	64.5
	東海北陸	23年	(786)	30.7	69.3
		20年	(780)	36.9	63.1
	近畿	23年	(816)	31.5	68.5
		20年	(816)	37.9	62.1
	中国・四国	23年	(431)	34.1	65.9
		20年	(431)	40.1	59.9
	九州・沖縄	23年	(583)	32.8	67.2
		20年	(583)	36.2	63.8

（1）献血に関する広報接触媒体（Q10）

【 献血に関する広告は「献血バス」「街頭での呼びかけ」の接触が多い 】

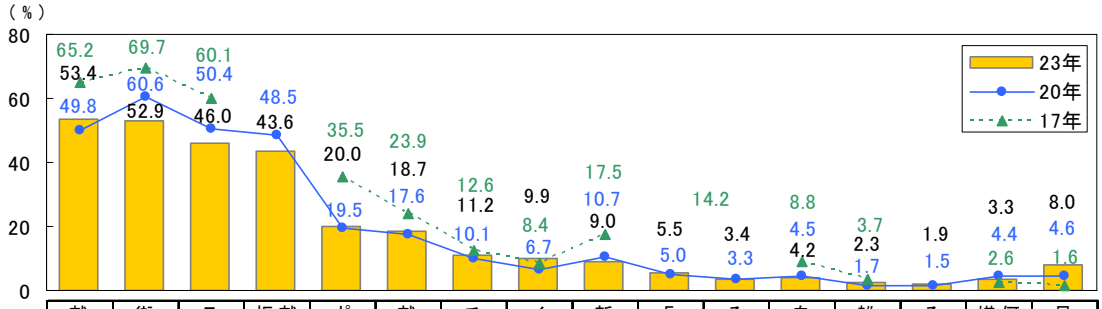
- 献血に関して接触したことのある広報媒体をみると、「献血バス」が53.4%で最も高く、次いで「街頭での呼びかけ」(52.9%)、「テレビ」(46.0%)、「献血ルーム前の看板・表示」(43.6%)と続く。その他の媒体の接触率は2割以下となる。
- 職業別では、「献血バス」は大学生・専門学校生(59.6%)と専業主婦(63.0%)で高い。また専業主婦は「街頭での呼びかけ」(58.3%) 「献血ルーム前の看板・表示」(53.4%)も高く、現場での接触が目立つ。自営業は「テレビ」 (49.4%)が接触率が最も高い広告であることが特徴的。一方、高校生は「献血バス」(36.3%)、「街頭での呼びかけ」(37.7%)、「献血ルーム前の看板・表示」(30.4%)、「献血関係のイベント」(12.3%)など、他の層と比べて総じて接触率が低く、いずれの広告も「見たことがない」人が13.1%と高い。「テレビ」に関しては高校生の42.7%が接触しており、高校生の最も接触率が高い広告である。
- 性別では、女性で特に「献血バス」(61.7%)、「街頭での呼びかけ」(60.4%)、「献血ルーム前の看板・表示」(52.8%)といった現場での接触率が男性に比べて高い。
- 地域別では、「街頭での呼びかけ」は北海道(37.4%)で特に低く、中国・四国(47.8%)も他の地域と比べて低い。「テレビ」は東北(58.9%)、中国・四国(54.1%)、九州・沖縄(57.3%)で他の地域と比べて高く、関東甲信越(37.1%)で低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、各媒体で総じて接触率が低下している。20年度調査と23年度調査を比べると、「街頭での呼びかけ」において8ポイント接触率が低下している。
- 属性別では、17年度調査と20年度調査を比べると、職業別・性別・地域別の各層で主要媒体の接触率は、概ね低下している。 2
3年度調査は20年度調査と比べて、「献血バス」が大学生・専門学校生、会社員、性別では女性、地域では北海道、中国・四国で接触率が上昇したが、いずれも17年度調査の接触率は下回る。「インターネット」は自営業、地域では九州・沖縄で接触率が上昇しており、過去2回調査の接触率を上回っている。
- 職業別・性別・地域別の各層で総じていずれの広告媒体も「見たことがない」人が17年度調査より増加傾向にある。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況 【未経験者編】

（1）献血に関する広報接触媒体（Q10）

Q10. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと（聞いたこと）がありますか。（いくつでも）



【基数：対象者全員】

			(N)	献血バス	街頭での呼びかけ	テレビ	献血ルーム前の看板・表示	ポスターの掲示	献血関係のイベント	チラシの配布	インターネット	新聞	FM放送	その他のラジオ放送	自治体の広報誌	雑誌等	その他	何かで見たが、何の媒体か覚えていない	見たことがない
全体		23年	(5000)	53.4	52.9	46.0	43.6	20.0	18.7	11.2	9.9	9.0	5.5	3.4	4.2	2.3	1.9	3.3	8.0
		20年	(5000)	49.8	60.6	50.4	48.5	19.5	17.6	10.1	6.7	10.7	5.0	3.3	4.5	1.7	1.5	4.4	4.6
		17年	(5000)	65.2	69.7	60.1		35.5	23.9	12.6	8.4	17.5	14.2		8.8	3.7		2.6	1.6
職業別	高校生	23年	(642)	36.3	37.7	42.7	30.4	16.7	12.3	12.3	8.4	7.6	6.2	2.2	3.0	2.3	3.0	4.4	13.1
		20年	(626)	36.3	42.0	50.2	36.6	19.2	12.0	13.4	8.6	12.3	4.3	2.7	4.5	1.4	2.6	8.5	8.0
		17年	(398)	53.8	56.5	61.1		33.7	21.9	18.3	12.8	18.6	13.1		5.8	5.8		2.8	2.5
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	59.6	55.8	46.4	47.0	22.5	21.6	15.3	9.3	9.9	4.8	3.6	2.9	2.0	2.1	2.4	6.4
		20年	(1484)	53.7	65.8	49.1	50.5	20.7	19.3	11.6	7.3	10.0	4.5	3.4	2.9	1.9	1.8	3.4	4.5
		17年	(932)	69.4	73.0	61.2		39.5	29.2	17.8	9.8	16.8	14.2		7.0	3.8		2.7	1.9
	会社員	23年	(1368)	53.8	55.0	43.6	44.4	19.1	18.2	7.8	8.8	8.1	7.1	3.5	4.9	2.4	1.0	3.1	7.8
		20年	(1545)	48.3	63.2	48.0	51.5	18.7	18.0	8.6	5.3	10.3	5.8	3.0	4.7	1.4	0.8	3.5	4.3
		17年	(1596)	65.5	71.6	57.0		34.6	23.4	10.3	7.4	17.5	15.8		7.7	3.1		2.4	1.7
	公務員	23年	(104)	55.8	54.8	38.5	51.9	21.2	21.2	13.5	7.7	10.6	5.8	4.8	13.5	1.0	1.0	4.8	5.8
		20年	(85)	51.8	58.8	45.9	50.6	18.8	27.1	14.1	5.9	11.8	4.7	2.4	14.1	1.2	－	－	3.5
		17年	(104)	65.4	79.8	64.4		43.3	33.7	17.3	5.8	22.1	24.0		21.2	6.7		3.8	2.9
	自営業	23年	(168)	42.9	46.4	49.4	32.7	16.1	13.7	7.1	16.1	11.3	4.8	4.2	5.4	1.2	1.2	2.4	9.5
		20年	(134)	42.5	55.2	48.5	40.3	16.4	14.9	8.2	9.0	13.4	8.2	3.7	6.7	2.2	0.7	5.2	8.2
		17年	(115)	60.0	68.7	66.1		34.8	20.0	14.8	7.8	18.3	16.5		18.3	3.5		3.5	0.9
	専業主婦	23年	(324)	63.0	58.3	47.2	53.4	21.3	25.9	9.9	6.5	7.4	3.4	0.9	6.8	2.2	1.9	2.8	7.7
		20年	(423)	61.7	66.9	53.0	56.5	21.0	20.8	9.5	3.3	7.8	4.0	2.1	4.5	0.9	1.9	3.8	2.4
		17年	(856)	68.9	73.6	57.6		34.6	25.0	9.8	4.0	15.1	9.1		14.0	2.6		1.9	0.6
	その他	23年	(797)	52.2	54.6	51.9	43.4	19.6	16.8	8.7	14.2	9.9	4.5	4.4	4.4	3.1	2.3	4.9	7.4
		20年	(703)	50.9	57.8	57.9	44.8	18.6	15.6	7.8	8.4	12.7	4.7	5.1	6.3	2.7	1.4	5.8	3.3
		17年	(999)	62.8	64.6	64.9		34.1	19.3	10.7	11.1	18.9	15.0		6.5	4.5		3.0	1.8
性別	男性	23年	(2548)	45.4	45.6	44.9	34.8	17.0	15.3	10.8	11.1	9.7	6.4	4.1	3.8	1.9	1.4	3.9	10.7
		20年	(2556)	43.4	54.7	49.2	41.2	18.0	13.8	9.3	7.4	11.8	5.9	4.2	4.5	1.4	1.3	5.4	6.1
		17年	(1688)	58.6	62.6	61.4		29.6	20.9	11.4	11.1	19.3	16.6		6.6	3.7		3.7	2.8
	女性	23年	(2452)	61.7	60.4	47.2	52.8	23.2	22.3	11.5	8.6	8.3	4.5	2.6	4.6	2.7	2.3	2.7	5.2
		20年	(2444)	56.5	66.7	51.6	56.2	21.0	21.6	11.0	5.9	9.6	4.1	2.4	4.6	2.0	1.7	3.4	3.0
		17年	(3312)	68.6	73.3	59.5		38.6	25.5	13.2	7.0	16.5	12.9		9.9	3.7		2.0	1.1
地域別	北海道	23年	(206)	55.3	37.4	44.7	40.8	23.3	15.0	8.3	9.7	10.2	7.3	4.9	4.4	3.4	2.9	1.9	9.7
		20年	(210)	49.0	46.7	49.5	49.5	26.2	15.7	6.7	10.5	12.9	4.3	6.2	5.7	1.4	1.4	4.3	5.7
		17年	(200)	64.5	60.5	59.0		41.0	15.5	7.5	12.0	19.5	15.5		8.0	5.0		3.5	3.5
	東北	23年	(353)	54.7	48.4	58.9	43.6	21.8	21.8	11.3	11.3	12.5	10.5	7.4	7.1	3.1	2.5	4.2	7.1
		20年	(355)	50.4	58.9	67.3	50.4	22.8	23.4	15.8	8.5	16.3	10.1	5.4	7.9	3.1	1.4	3.4	1.7
		17年	(350)	67.1	64.6	66.6		37.1	25.1	11.7	6.0	23.7	19.1		12.9	2.9		2.0	2.3
	関東甲信越	23年	(1825)	50.6	57.4	37.1	46.5	18.6	17.0	10.5	9.6	7.4	4.0	3.1	3.0	2.2	1.6	3.3	8.5
		20年	(1825)	47.9	67.2	41.2	56.5	17.0	15.5	8.3	5.8	8.0	3.5	2.4	3.5	1.5	1.3	2.6	5.8
		17年	(1800)	61.4	76.8	54.1		33.4	19.7	9.9	7.0	12.8	9.7		6.2	3.3		2.2	1.6
	東海北陸	23年	(786)	47.1	51.9	45.7	39.6	20.7	17.3	12.7	9.3	9.3	5.9	2.0	5.0	1.8	1.1	5.0	9.8
		20年	(780)	45.3	56.9	48.2	39.9	19.7	17.6	10.9	6.4	12.8	5.6	2.2	4.4	2.2	1.9	7.4	5.5
		17年	(750)	64.3	65.3	55.5		33.3	28.3	13.6	7.9	18.3	13.7		10.9	3.7		3.1	3.1
	近畿	23年	(816)	60.8	55.3	48.8	42.0	21.3	19.1	11.6	9.4	8.9	4.3	2.8	3.4	2.3	2.0	2.0	8.2
		20年	(816)	56.3	63.7	57.1	46.1	20.1	15.2	10.2	5.9	10.0	3.9	3.3	4.4	1.2	1.1	4.3	2.3
		17年	(850)	71.5	69.3	68.1		36.9	23.9	13.4	10.4	17.3	14.1		7.1	3.8		1.9	0.7
	中国・四国	23年	(431)	56.8	47.8	54.1	39.7	19.7	22.0	12.5	6.0	10.7	6.0	2.6	4.4	1.2	1.6	4.6	6.7
		20年	(431)	51.3	49.4	58.7	42.2	21.1	20.9	11.1	7.7	13.0	4.9	5.3	5.6	1.6	1.9	6.0	3.7
		17年	(450)	72.0	64.7	64.0		40.2	30.4	18.4	9.1	24.4	15.3		11.1	4.2		2.2	1.1
	九州・沖縄	23年	(583)	56.4	48.7	57.3	46.1	19.7	22.5	10.3	14.1	10.1	7.4	4.6	6.3	3.1	2.9	2.2	4.5
		20年	(583)	51.6	54.5	56.4	41.7	20.4	22.5	11.8	7.9	11.3	7.5	4.3	5.1	1.7	1.9	5.8	5.0
		17年	(600)	62.8	64.2	66.3		36.3	28.7	15.8	10.2	21.0	23.8		12.3	4.5		4.3	0.7

（%）

注：17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。

（２）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 （Q11）

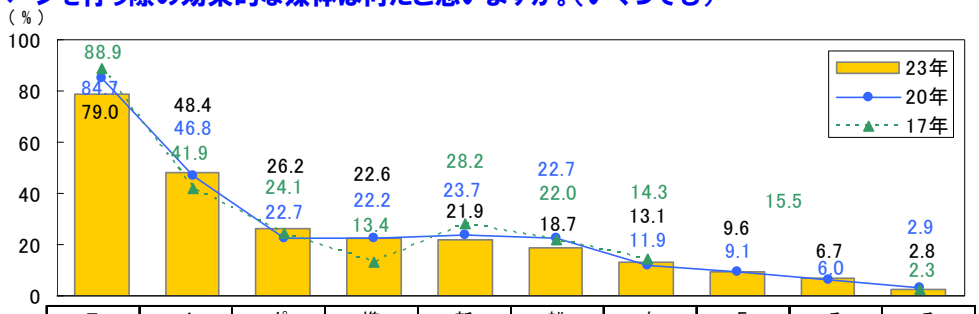
【 献血キャンペーンに効果的な媒体は「テレビ」が8割弱 】

- 献血のキャンペーンを行う際に効果的だと思われる媒体は、「テレビ」が79.0%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が48.4%。以下、「ポスター」（26.2%）、「携帯電話」（22.6%）、「新聞」（21.9%）が続く。
- 職業別では、各層とも「テレビ」「インターネット」が上位1位と2位を占める。その中で高校生は「インターネット」(35.4%)が他の層と比べて低い。専業主婦は「テレビ」が圧倒的に高く9割弱(88.0%)にのぼる。対して自営業では「テレビ」(64.9%)が他の層に比べて低い。
- 性別では、男性よりも女性の方が「テレビ」(83.1%)、「ポスター」(30.3%)、「携帯電話」(25.2%)、「雑誌」(23.7%)などを挙げる割合が高い。
- 地域別では、関東甲信越では「テレビ」(75.5%) が、他の地域と比べてやや低い。

- 過去2回調査と比べると、「テレビ」と「新聞」において効果的と考えられる割合が低下傾向である。対して「インターネット」においては上昇傾向がみられる。
- 職業別では、２０年度調査と比べて、高校生で「テレビ」「インターネット」「携帯電話」「雑誌」を効果的と考える割合が低下しているが、「ポスター」に関しては上昇している。会社員や公務員、自営業などの勤労者では特に、１７年度調査から「テレビ」を挙げる割合が顕著に低下傾向にあるが、一方「携帯電話」を効果的と考える人が増えている。
- 性別では、女性で「インターネット」「携帯電話」を効果的と考える割合が１７年度調査から上昇傾向にある。
- 地域別では、特に関東甲信越と近畿において「テレビ」を挙げる割合が１７年度調査から低下傾向にある。

（2）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体（Q11）

Q11. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。（いくつでも）



【基数:対象者全員】

			(N)	テレビ	インターネット	ポスター	携帯電話	新聞	雑誌	自治体の広報誌	FM放送	その他のラジオ放送	その他
全体		23年	(5000)	79.0	48.4	26.2	22.6	21.9	18.7	13.1	9.6	6.7	2.8
		20年	(5000)	84.7	46.8	22.7	22.2	23.7	22.7	11.9	9.1	6.0	2.9
		17年	(5000)	88.9	41.9	24.1	13.4	28.2	22.0	14.3	15.5		2.3
職業別	高校生	23年	(642)	78.7	35.4	28.2	21.3	22.0	14.6	11.4	9.2	5.8	1.2
		20年	(626)	86.3	40.9	22.4	28.0	25.2	20.6	9.4	7.8	5.8	2.2
		17年	(398)	86.9	41.2	30.7	22.4	30.2	27.1	12.6	12.8		1.3
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	80.5	49.8	28.3	24.7	22.0	19.4	12.0	9.2	5.1	2.5
		20年	(1484)	83.2	46.6	24.6	25.4	23.9	24.2	9.7	8.2	5.6	3.2
		17年	(932)	88.4	42.3	26.5	13.9	25.2	21.7	12.0	12.7		2.3
	会社員	23年	(1368)	77.3	47.0	21.2	20.4	19.2	17.0	11.8	10.0	7.2	2.9
		20年	(1545)	84.1	46.5	19.5	19.4	20.7	20.3	11.5	9.6	6.0	2.4
		17年	(1596)	87.3	42.0	21.8	11.8	27.0	21.4	12.4	16.9		2.1
	公務員	23年	(104)	76.0	49.0	27.9	19.2	21.2	17.3	22.1	11.5	9.6	1.9
		20年	(85)	87.1	51.8	12.9	18.8	21.2	21.2	18.8	12.9	8.2	1.2
		17年	(104)	92.3	39.4	23.1	10.6	26.9	28.8	17.3	21.2		1.0
	自営業	23年	(168)	64.9	50.6	20.2	20.8	20.8	8.9	12.5	6.5	7.1	8.9
		20年	(134)	79.9	44.0	19.4	13.4	20.9	19.4	13.4	9.7	6.7	3.0
		17年	(115)	88.7	47.0	24.3	13.0	29.6	16.5	19.1	21.7		3.5
	専業主婦	23年	(324)	88.0	48.8	30.6	20.4	23.8	27.8	17.6	9.3	7.1	1.5
		20年	(423)	89.1	45.2	25.5	17.0	30.0	29.8	21.5	8.5	4.7	2.1
		17年	(856)	92.6	38.0	24.1	9.3	30.4	21.7	21.5	15.1		1.3
	その他	23年	(797)	78.9	58.0	28.5	24.7	25.6	22.3	16.2	10.8	9.4	3.8
		20年	(703)	85.6	54.2	26.5	21.8	25.7	23.0	12.8	11.0	7.5	4.4
		17年	(999)	89.1	44.6	22.8	15.5	30.1	21.6	12.9	16.3		3.8
性別	男性	23年	(2548)	75.1	47.2	22.3	20.0	21.0	13.9	11.5	10.4	6.9	2.8
		20年	(2556)	81.8	47.8	19.6	22.8	22.7	17.6	9.8	9.4	6.3	3.1
		17年	(1688)	85.8	44.1	20.4	15.0	27.8	16.0	11.0	16.4		2.5
	女性	23年	(2452)	83.1	49.7	30.3	25.2	22.7	23.7	14.8	8.9	6.5	2.8
		20年	(2444)	87.7	45.8	26.0	21.6	24.9	27.9	14.1	8.9	5.7	2.7
		17年	(3312)	90.5	40.8	25.9	12.6	28.4	25.1	15.9	15.1		2.1
地域別	北海道	23年	(206)	81.1	50.5	27.2	21.4	25.7	18.4	12.1	10.7	10.2	2.4
		20年	(210)	88.1	47.6	26.2	21.9	30.5	26.2	14.8	7.6	8.6	1.9
		17年	(200)	88.5	41.5	26.0	13.0	35.0	22.0	13.0	20.0		2.5
	東北	23年	(353)	80.7	47.9	28.0	20.4	26.3	18.4	15.3	13.9	10.5	3.4
		20年	(355)	85.1	45.9	22.0	27.3	25.6	21.1	16.1	9.9	8.2	3.1
		17年	(350)	89.7	38.0	21.7	10.6	27.7	19.1	20.0	18.3		3.1
	関東甲信越	23年	(1825)	75.5	49.5	24.2	21.1	19.3	18.6	10.8	8.4	6.0	3.0
		20年	(1825)	83.6	46.3	22.2	21.9	22.4	23.3	9.1	8.1	5.5	3.0
		17年	(1800)	88.2	44.9	24.6	14.5	25.8	24.3	12.9	12.7		2.9
	東海北陸	23年	(786)	81.7	46.4	28.5	21.8	24.7	19.5	12.7	10.8	5.7	2.0
		20年	(780)	84.6	48.3	21.2	19.7	24.1	21.2	12.3	10.5	5.3	3.5
		17年	(750)	90.0	41.1	22.1	12.9	28.0	21.3	15.7	16.7		1.2
	近畿	23年	(816)	79.3	47.9	26.8	25.7	21.0	16.9	13.0	8.3	5.1	3.7
		20年	(816)	85.0	47.9	22.4	22.3	20.7	21.8	11.3	7.6	4.7	2.6
		17年	(850)	90.1	40.5	24.5	14.2	26.2	20.4	10.9	14.0		2.1
	中国・四国	23年	(431)	81.2	47.6	26.5	23.7	24.8	19.7	19.3	8.8	7.2	2.3
		20年	(431)	85.2	47.1	24.4	21.1	29.9	22.0	15.8	10.2	8.4	2.3
		17年	(450)	89.1	40.2	25.3	11.8	34.7	21.1	16.7	16.7		0.9
	九州・沖縄	23年	(583)	82.8	48.7	27.1	24.7	20.9	20.2	15.8	11.5	8.7	2.2
		20年	(583)	85.9	45.1	24.9	24.0	23.5	24.0	14.6	11.8	6.7	2.9
		17年	(600)	87.5	39.3	24.0	12.3	31.5	20.8	16.5	21.0		2.5

（%）

注：「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。

（3）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 （Q12）

【 けんけつちゃんの認知率は2割強 】

- 献血キャラクター けんけつちゃんの認知率は21.3%で4人中1人に認知されている。
- 職業別では、高校生(26.3%)、大学生・専門学校生 (29.9%) といった学生と公務員(25.0%)の認知率が他の層と比べて高い。
- 性別では、女性の認知率(28.2%)が男性の認知率(14.6%)と比べて14ポイント高く、認知されている。
- 地域別では、東北の認知率が30.6%で他の地域と比べて10ポイント程度高い。

- 20年度調査と比べると、全体での認知率は14ポイント上昇し、23年度調査の認知率は2割を超えた。
- 職業別では、各層とも17年度調査より認知率が上昇傾向にあるが、特に高校生、大学生・専門学校生、公務員での上昇率が高い。
- 性別では、女性の認知率が20年度調査と比べて19ポイントと大幅に上昇している。
- 地域別では、東北の認知率の上昇が顕著で20年度調査と比べて18ポイント上昇している。

（3）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 （Q12）

Q12. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

【基数：対象者全員】

（％）

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	21.3	78.7
		20年	(5000)	7.2	92.8
		17年	(5000)	3.0	97.0
職業別	高校生	23年	(642)	26.3	73.7
		20年	(626)	12.0	88.0
		17年	(398)	5.0	95.0
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	29.9	70.1
		20年	(1484)	10.6	89.4
		17年	(932)	3.5	96.5
	会社員	23年	(1368)	14.7	85.3
		20年	(1545)	4.6	95.4
		17年	(1596)	2.5	97.5
	公務員	23年	(104)	25.0	75.0
		20年	(85)	7.1	92.9
		17年	(104)	6.7	93.3
	自営業	23年	(168)	9.5	90.5
		20年	(134)	3.7	96.3
		17年	(115)	0.9	99.1
	専業主婦	23年	(324)	14.5	85.5
		20年	(423)	3.5	96.5
		17年	(856)	3.0	97.0
	その他	23年	(797)	16.1	83.9
		20年	(703)	4.4	95.6
		17年	(999)	2.1	97.9
性別	男性	23年	(2548)	14.6	85.4
		20年	(2556)	4.8	95.2
		17年	(1688)	2.4	97.6
	女性	23年	(2452)	28.2	71.8
		20年	(2444)	9.7	90.3
		17年	(3312)	3.3	96.7
地域別	北海道	23年	(206)	16.5	83.5
		20年	(210)	3.3	96.7
		17年	(200)	0.5	99.5
	東北	23年	(353)	30.6	69.4
		20年	(355)	12.7	87.3
		17年	(350)	4.0	96.0
	関東甲信越	23年	(1825)	20.8	79.2
		20年	(1825)	7.8	92.2
		17年	(1800)	3.2	96.8
	東海北陸	23年	(786)	21.5	78.5
		20年	(780)	7.9	92.1
		17年	(750)	2.8	97.2
	近畿	23年	(816)	20.1	79.9
		20年	(816)	5.6	94.4
		17年	(850)	2.1	97.9
	中国・四国	23年	(431)	20.9	79.1
		20年	(431)	6.0	94.0
		17年	(450)	3.3	96.7
	九州・沖縄	23年	(583)	20.4	79.6
		20年	(583)	5.7	94.3
		17年	(600)	3.5	96.5

（４）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （Q13）

＜新規質問＞

【 けんけつちゃんの印象は半数が「よい」 】

- 献血キャラクター けんけつちゃんを知っている人にけんけつちゃんの印象をたずねたところ、「よい」と感じている人が50.9%で半数。「わるい」は3.8%であった。
- 職業別では、公務員、自営業、専業主婦は回答者数が少ないため、参考値。高校生、大学生・専門学校生では会社員と比べて「どちらともいえない」と回答する人が少なく、関心を持たれている。
- 性別では、「よい」と感じている人が男性(43.4%)に比べて女性(55.0%)で12ポイント高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。なお、北海道は回答者数が少ないため、参考値。

（4）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （Q13）

Q13. Q12で「けんけつちゃん」を知っていると答えた方へお聞きします。献血推進のキャラクターとして「けんけつちゃん」の印象を教えて下さい。

（5）献血キャンペーン認知（Q14）

【 最も認知されている献血キャンペーンは「はたちの献血」で2割強 】

- 献血に関するキャンペーンを知っているかたずねたところ、「はたちの献血キャンペーン」の認知率が他のキャンペーンと比べて高く、24.3%となった。その他のキャンペーンの認知は1割程度以下で、一つもキャンペーンを知らない人が68.6%と7割弱にのぼる。
- 職業別では、一つもキャンペーンを知らない人の割合が高校生で77.6%、自営業で72.0%にのぼり、他の層と比べて高い。公務員の認知率は「はたちの献血キャンペーン」(29.8%)、「LOVE in Actionキャンペーン」(14.4%)、「愛の血液助け合い運動」(10.6%)のいずれのキャンペーンも、他の層と比べて最も高かった。
- 性別では、女性でいずれかのキャンペーンを認知している割合(38.4%)は男性(24.7%)に比べて14ポイント高い。特に「はたちの献血キャンペーン」の認知率が男性(18.1%)と比べて女性(30.7%)で高い。
- 地域別では、東北のキャンペーン認知率が高く、特に「はたちの献血キャンペーン」(33.7%)と「LOVE in Actionキャンペーン」(21.2%)において他の地域よりも認知されている。

＜参考：17年度・20年度調査結果＞

※17年度調査及び20年度調査では キャンペーンを「知っている」「知らない」のうち1つを 選択することにより回答。

【基数：対象者全員】

			(N)	知っている	知らない
全体		20年	(5000)	14.7	85.3
		17年	(5000)	25.9	74.1
職業別	高校生	20年	(626)	12.9	87.1
		17年	(398)	18.3	81.7
	大学生・専門学校生	20年	(1484)	15.1	84.9
		17年	(932)	25.5	74.5
	会社員	20年	(1545)	14.4	85.6
		17年	(1596)	26.1	73.9
	公務員	20年	(85)	20.0	80.0
		17年	(104)	38.5	61.5
	自営業	20年	(134)	15.7	84.3
		17年	(115)	23.5	76.5
	専業主婦	20年	(423)	14.2	85.8
		17年	(856)	27.1	72.9
	その他	20年	(703)	15.4	84.6
		17年	(999)	27.1	72.9
性別	男性	20年	(2556)	11.6	88.4
		17年	(1688)	19.4	80.6
	女性	20年	(2444)	17.8	82.2
		17年	(3312)	29.3	70.7
地域別	北海道	20年	(210)	12.9	87.1
		17年	(200)	23.5	76.5
	東北	20年	(355)	20.3	79.7
		17年	(350)	32.3	67.7
	関東甲信越	20年	(1825)	13.4	86.6
		17年	(1800)	21.2	78.8
	東海北陸	20年	(780)	12.6	87.4
		17年	(750)	21.5	78.5
	近畿	20年	(816)	15.4	84.6
		17年	(850)	31.1	68.9
	中国・四国	20年	(431)	16.0	84.0
		17年	(450)	30.7	69.3
	九州・沖縄	20年	(583)	16.5	83.5
		17年	(600)	32.0	68.0

（%）

＜参考：印象に残った具体的なキャッチフレーズ、メッセージ＞

【基数：キャンペーン認知者】

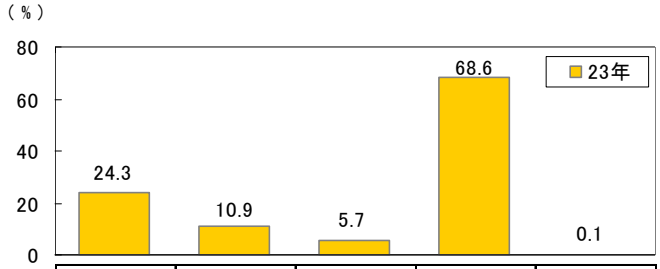
23年度調査　キャンペーン認知者　（N）	1571
印象に残ったフレーズ等 なし・覚えていない	72.6%
印象に残ったフレーズ等 記載あり	27.4%

記載された具体的なフレーズ・メッセージ等（記載が多かったもの）
はたちの献血
LOVE in Action
石川遼が出ていたCM、ポスター
血液を必要としている人がいます
～型の血液が不足しています
あなたの献血で救われる命があります
CM
献血は愛
ぼくらも、いのちの、助けになれる
献血で助け合いましょう

（5）献血キャンペーン認知（Q14）

Q14. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。（いくつでも）

（キャンペーン認知者に対し）献血に関するキャンペーンで、印象に残ったキャッチフレーズやメッセージがあれば、ご記入下さい。



【基数：対象者全員】

		(N)	「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）	LOVE in Act iONキャンペーン（通年）	愛の血液助け合い運動（毎年7月）	知らない	その他
全体		(5000)	24.3	10.9	5.7	68.6	0.1
職業別	高校生	(642)	13.2	8.1	6.1	77.6	0.2
	大学生・専門学校生	(1597)	24.4	12.3	6.1	66.9	0.1
	会社員	(1368)	27.4	11.3	5.7	66.4	0.1
	公務員	(104)	29.8	14.4	10.6	61.5	－
	自営業	(168)	19.6	8.3	6.0	72.0	－
	専業主婦	(324)	29.9	12.3	6.8	63.3	0.3
	その他	(797)	25.6	9.3	3.5	70.6	0.3
性別	男性	(2548)	18.1	9.0	4.9	75.3	－
	女性	(2452)	30.7	12.8	6.6	61.6	0.2
地域別	北海道	(206)	24.8	11.7	4.4	68.9	1.0
	東北	(353)	33.7	21.2	8.8	56.4	－
	関東甲信越	(1825)	22.6	8.8	5.7	70.9	0.1
	東海北陸	(786)	19.7	8.5	5.6	74.2	0.3
	近畿	(816)	25.7	9.4	4.5	67.9	0.1
	中国・四国	(431)	25.5	11.6	5.3	65.9	－
	九州・沖縄	(583)	26.8	15.8	6.5	64.0	－

（％）

（6）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶（Q15）

【 HOP STEP JUMPを配布された人は1割 】

- 高校3年生を対象に、HOP STEP JUMPという普及啓発資材が配布されていることを認知している人は9.8%で1割。授業で使用した経験がある人は2.1%にとどまる。
- 職業別では、高校生 (16.5%)と大学生・専門学校生の認知率(17.5%)が他の層と比べて高いものの、2割弱にとどまる。
- 性別による大きな差はみられない。
- 地域別では、東北の認知率が14.4%で、他の地域と比べて高い。

- 過去2回調査と比べると、全体では大きな変化はみられない。
- 職業別では、大学生・専門学校生において、17年度調査より認知率が上昇傾向にある。
- 性別では、大きな変化はみられない。
- 地域別では、東北において、17年度調査より認知率が上昇傾向にある。

（6）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶（Q15）

Q15. 平成2年から、全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数：対象者全員】 （%）

			(N)	保健体育の授業で使用した	他の授業で使用した	配布されただけ	知らない	認知計
全体		23年	(5000)	1.6	0.5	7.7	90.2	9.8
		20年	(5000)	1.6	0.6	7.4	90.4	9.6
		17年	(5000)	1.0	0.3	5.8	92.9	7.1
職業別	高校生	23年	(642)	3.7	0.8	12.0	83.5	16.5
		20年	(626)	2.6	0.8	15.0	81.6	18.4
		17年	(398)	1.5	0.3	13.6	84.7	15.3
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	2.9	0.8	13.8	82.5	17.5
		20年	(1484)	2.5	1.0	10.3	86.2	13.8
		17年	(932)	1.6	0.6	9.2	88.5	11.5
	会社員	23年	(1368)	0.4	0.1	3.0	96.5	3.5
		20年	(1545)	0.8	0.2	3.9	95.1	4.9
		17年	(1596)	0.8	0.3	4.4	94.5	5.5
	公務員	23年	(104)	0.0	1.0	4.8	94.2	5.8
		20年	(85)	1.2	1.2	5.9	91.8	8.2
		17年	(104)	0.0	0.0	3.8	96.2	3.8
	自営業	23年	(168)	0.0	1.2	4.2	94.6	5.4
		20年	(134)	1.5	0.0	5.2	93.3	6.7
		17年	(115)	2.6	0.0	5.2	92.2	7.8
	専業主婦	23年	(324)	0.3	0.0	1.2	98.5	1.5
		20年	(423)	0.5	0.5	5.4	93.6	6.4
		17年	(856)	0.6	0.1	4.4	94.9	5.1
	その他	23年	(797)	0.8	0.1	3.6	95.5	4.5
		20年	(703)	1.0	0.3	4.3	94.5	5.5
		17年	(999)	0.8	0.2	3.2	95.8	4.2
性別	男性	23年	(2548)	1.7	0.4	7.1	90.7	9.2
		20年	(2556)	1.5	0.3	7.1	91.1	8.9
		17年	(1688)	1.0	0.3	6.1	92.6	7.4
	女性	23年	(2452)	1.6	0.5	8.2	89.7	10.3
		20年	(2444)	1.6	0.8	7.8	89.7	10.3
		17年	(3312)	1.0	0.3	5.7	93.1	6.9
地域別	北海道	23年	(206)	0.0	0.0	7.8	92.2	7.8
		20年	(210)	1.9	1.0	8.1	90.0	10.0
		17年	(200)	0.5	0.0	6.5	93.0	7.0
	東北	23年	(353)	1.7	0.8	11.9	85.6	14.4
		20年	(355)	.4	0.3	10.7	87.6	12.4
		17年	(350)	1.1	0.3	6.0	92.0	8.0
	関東甲信越	23年	(1825)	2.0	0.3	7.5	90.2	9.8
		20年	(1825)	1.4	0.9	6.2	91.5	8.5
		17年	(1800)	1.1	0.3	5.4	93.2	6.8
	東海北陸	23年	(786)	1.3	0.3	9.3	88.7	11.4
		20年	(780)	1.8	0.4	9.2	88.6	11.4
		17年	(750)	1.3	0.1	6.9	91.6	8.4
	近畿	23年	(816)	2.0	0.6	6.6	90.8	9.2
		20年	(816)	1.3	0.5	5.6	92.5	7.5
		17年	(850)	0.7	0.2	5.9	93.2	6.8
	中国・四国	23年	(431)	0.9	0.9	7.0	91.2	8.8
		20年	(431)	1.9	0.2	8.8	89.1	10.9
		17年	(450)	0.0	0.0	6.4	93.6	6.4
	九州・沖縄	23年	(583)	1.0	0.5	5.5	93.0	7.0
		20年	(583)	2.1	0.0	8.2	89.7	10.3
		17年	(600)	1.2	0.7	4.8	93.3	6.7

（１）献血では感染症に感染しないことの認知（Q16）

【 献血では感染症に感染しないことの認知率は5割弱 】

- 献血でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことを認知している人は48.6%。
- 職業別では、大学生・専門学校生の認知率(54.4%)と公務員の認知率(63.5%)が他の層と比べて高く、一方自営業の認知率(36.9%)は他の層と比べて低い。
- 性別では、女性の認知率(51.3%)が男性の認知率(46.0%)に比べて5ポイント高い。
- 地域別では、北海道の認知率(41.3%)が他の地域と比べて低く、一方東北の認知率(53.8%)は他の地域と比べて高い。

- 17年度調査と20年度調査では全体での認知率に大きな変化はみられなかったが、23年度調査では全体の認知率は11ポイント低下した。
- 職業別では、20年度調査と比べると、公務員以外の層で認知率が低下している。特に自営業、専業主婦ではそれぞれ17ポイント以上低下しており顕著。
- 性別・地域別では、いずれの層も20年度調査と比べると認知率が大幅に低下している。

（１）献血では感染症に感染しないことの認知（Q16）

Q16. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。

【基数：対象者全員】　（%）

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	48.6	51.4
		20年	(5000)	59.1	40.9
		17年	(5000)	60.9	39.1
職業別	高校生	23年	(642)	46.7	53.3
		20年	(626)	60.5	39.5
		17年	(398)	56.8	43.2
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	54.4	45.6
		20年	(1484)	60.9	39.1
		17年	(932)	65.0	35.0
	会社員	23年	(1368)	46.8	53.2
		20年	(1545)	58.5	41.5
		17年	(1596)	60.8	39.2
	公務員	23年	(104)	63.5	36.5
		20年	(85)	60.0	40.0
		17年	(104)	81.7	18.3
	自営業	23年	(168)	36.9	63.1
		20年	(134)	54.5	45.5
		17年	(115)	63.5	36.5
	専業主婦	23年	(324)	46.9	53.1
		20年	(423)	64.1	35.9
		17年	(856)	60.5	39.5
	その他	23年	(797)	42.8	57.2
		20年	(703)	53.1	46.9
		17年	(999)	56.7	43.3
性別	男性	23年	(2548)	46.0	54.0
		20年	(2556)	56.3	43.7
		17年	(1688)	59.7	40.3
	女性	23年	(2452)	51.3	48.7
		20年	(2444)	62.0	38.0
		17年	(3312)	61.5	38.5
地域別	北海道	23年	(206)	41.3	58.7
		20年	(210)	55.7	44.3
		17年	(200)	61.5	38.5
	東北	23年	(353)	53.8	46.2
		20年	(355)	61.7	38.3
		17年	(350)	58.9	41.1
	関東甲信越	23年	(1825)	46.8	53.2
		20年	(1825)	58.2	41.8
		17年	(1800)	58.9	41.1
	東海北陸	23年	(786)	48.5	51.5
		20年	(780)	59.2	40.8
		17年	(750)	63.1	36.9
	近畿	23年	(816)	49.5	50.5
		20年	(816)	58.7	41.3
		17年	(850)	62.7	37.3
	中国・四国	23年	(431)	52.2	47.8
		20年	(431)	61.9	38.1
		17年	(450)	62.4	37.6
	九州・沖縄	23年	(583)	49.7	50.3
		20年	(583)	59.7	40.3
		17年	(600)	61.2	38.8

（２）血液製剤の海外血液依存の認知（Q17）

【 血液製剤の海外血液依存の認知率は1割 】

- 血液製剤は未だ海外の血液に依存しているということを認知している人は10.8%で1割にとどまる。
- 職業別では、公務員の認知率(15.4%)が他の層に比べてやや高い。
- 性別・地域別による大きな差はみられない。

- 過去2回調査と比べると、全体の認知率は低下傾向にあり、23年度調査は17年度調査から12ポイント認知率が低下している。
- 職業別では、特に公務員と自営業で17年度調査と23年度調査を比べると認知率が17ポイント以上低下しており顕著である。
- 職業別、性別、地域別のいずれの層も、17年度調査から認知率が低下傾向にある。

（2）血液製剤の海外血液依存の認知（Q17）

Q17. 血液製剤(＊)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。
＊重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ58％台である。

【基数:対象者全員】　（N）　（％）

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	10.8	89.2
		20年	(5000)	14.5	85.5
		17年	(5000)	22.6	77.4
職業別	高校生	23年	(642)	13.1	86.9
		20年	(626)	13.9	86.1
		17年	(398)	24.4	75.6
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	12.3	87.7
		20年	(1484)	16.4	83.6
		17年	(932)	25.6	74.4
	会社員	23年	(1368)	10.1	89.9
		20年	(1545)	13.5	86.5
		17年	(1596)	23.6	76.4
	公務員	23年	(104)	15.4	84.6
		20年	(85)	21.2	78.8
		17年	(104)	32.7	67.3
	自営業	23年	(168)	7.7	92.3
		20年	(134)	17.9	82.1
		17年	(115)	29.6	70.4
	専業主婦	23年	(324)	9.3	90.7
		20年	(423)	10.6	89.4
		17年	(856)	19.2	80.8
	その他	23年	(797)	8.2	91.8
		20年	(703)	14.2	85.8
		17年	(999)	18.7	81.3
性別	男性	23年	(2548)	11.7	88.3
		20年	(2556)	14.3	85.7
		17年	(1688)	24.8	75.2
	女性	23年	(2452)	10.0	90.0
		20年	(2444)	14.8	85.2
		17年	(3312)	21.5	78.5
地域別	北海道	23年	(206)	10.2	89.8
		20年	(210)	17.1	82.9
		17年	(200)	22.5	77.5
	東北	23年	(353)	11.9	88.1
		20年	(355)	18.0	82.0
		17年	(350)	23.1	76.9
	関東甲信越	23年	(1825)	10.6	89.4
		20年	(1825)	13.3	86.7
		17年	(1800)	18.7	81.3
	東海北陸	23年	(786)	11.7	88.3
		20年	(780)	15.4	84.6
		17年	(750)	25.1	74.9
	近畿	23年	(816)	10.7	89.3
		20年	(816)	13.7	86.3
		17年	(850)	25.3	74.7
	中国・四国	23年	(431)	10.0	90.0
		20年	(431)	17.2	82.8
		17年	(450)	23.3	76.7
	九州・沖縄	23年	(583)	10.8	89.2
		20年	(583)	13.6	86.4
		17年	(600)	26.8	73.2

（1）献血ルームのイメージ（Q18）

【 献血ルームのイメージは「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回る 】

- 献血ルームのイメージについては、「ふつう」の印象を持っている人が41.4%を占め、最多。「明るい」イメージは17.3%に対して、「暗い」イメージが11.0%と、「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回る。その一方で、3割(30.3%)の人は「わからない」と回答している。
- 職業別では、いずれの層も「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回っている。
- 性別では、「明るい」イメージを持っている割合は男性(14.4%)に比べて女性(20.3%)で高い。
- 地域別では、「明るい」イメージは東北(22.7%)と九州・沖縄(23.3%)で他の地域と比べて高く、2割を超える。

- 20年度調査と比べると、全体では「明るい」と「わからない」が上昇した一方、「ふつう」と「暗い」が低下した。
- 職業別では、20年度調査と比べると、いずれの層も「明るい」イメージが上昇し、「暗い」イメージが低下している。
- 性別では、20年度調査と比べると、男性で「明るい」イメージが5ポイント上昇し、一方「暗い」イメージが5ポイント低下しており、評価が高くなっている。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北と九州・沖縄で「明るい」イメージが8ポイント上昇している。

（1）献血ルームのイメージ（Q18）

Q18. 献血ルームのイメージを教えてください。

【基数：対象者全員】　（%）

			(N)	明るい	ふつう	暗い	わからない
全体		23年	(5000)	17.3	41.4	11.0	30.3
		20年	(5000)	12.7	47.4	15.4	24.5
		17年	(5000)	18.2	61.2		20.6
職業別	高校生	23年	(642)	17.8	37.7	14.3	30.2
		20年	(626)	12.8	45.0	16.1	26.0
		17年	(398)	20.6	61.1		18.3
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	18.2	43.1	10.5	28.2
		20年	(1484)	13.5	49.5	15.7	21.4
		17年	(932)	20.0	59.0		21.0
	会社員	23年	(1368)	16.7	41.3	11.0	31.0
		20年	(1545)	10.6	48.3	15.9	25.2
		17年	(1596)	17.9	60.2		21.9
	公務員	23年	(104)	17.3	40.4	13.5	28.8
		20年	(85)	11.8	49.4	18.8	20.0
		17年	(104)	23.1	64.4		12.5
	自営業	23年	(168)	14.9	41.1	11.3	32.7
		20年	(134)	9.7	40.3	12.7	37.3
		17年	(115)	19.1	62.6		18.3
	専業主婦	23年	(324)	17.6	42.3	10.5	29.6
		20年	(423)	17.3	46.3	15.1	21.3
		17年	(856)	16.9	63.4		19.6
	その他	23年	(797)	16.3	40.9	9.2	33.6
		20年	(703)	13.8	45.0	12.9	28.3
		17年	(999)	16.3	62.8		20.9
性別	男性	23年	(2548)	14.4	40.6	12.2	32.8
		20年	(2556)	9.1	46.9	17.3	26.7
		17年	(1688)	12.8	62.0		25.2
	女性	23年	(2452)	20.3	42.2	9.8	27.8
		20年	(2444)	16.5	48.0	13.3	22.2
		17年	(3312)	20.9	60.8		18.3
地域別	北海道	23年	(206)	19.4	41.3	9.7	29.6
		20年	(210)	18.1	45.7	13.8	22.4
		17年	(200)	23.0	69.0		8.0
	東北	23年	(353)	22.7	37.7	7.6	32.0
		20年	(355)	14.9	49.9	11.5	23.7
		17年	(350)	15.4	62.9		21.7
	関東甲信越	23年	(1825)	16.1	41.5	11.9	30.5
		20年	(1825)	11.0	46.6	17.9	24.5
		17年	(1800)	17.6	59.7		22.7
	東海北陸	23年	(786)	16.5	41.7	9.8	31.9
		20年	(780)	12.2	47.6	14.1	26.2
		17年	(750)	16.4	62.3		21.3
	近畿	23年	(816)	14.1	40.4	14.1	31.4
		20年	(816)	11.6	47.4	17.3	23.7
		17年	(850)	16.0	60.8		23.2
	中国・四国	23年	(431)	16.0	43.6	9.3	31.1
		20年	(431)	14.8	48.3	10.9	26.0
		17年	(450)	20.0	65.6		14.4
	九州・沖縄	23年	(583)	23.3	42.4	9.3	25.0
		20年	(583)	15.4	48.4	12.5	23.7
		17年	(600)	23.7	58.5		17.8

注：17年は「わからない」の回答肢なし。

（1）1位＜最も大きな理由＞（Q19）

【 献血したことがない1番の理由は「針を刺すのが痛くて嫌だから」が1割強 】

- 献血をしたことがない理由を大きい順に3つまで選んでもらったところ、1位の理由(最も大きな理由)として挙げられたのは「針を刺すのが痛くて嫌だから」がトップで12.2%。
  次いで「健康上出来ないと思ったから」(9.3%)、「なんとなく不安だから」(8.4%)、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(7.4%)、「恐怖心」(6.3%)などが1割弱で続く。また献血をしたことがない理由が「わからない」人が10.4%にのぼり、1割の人が特別に理由がなく献血に協力した経験がないといえる。
- 職業別では、専業主婦で「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(16.7%)が他の層と比べて高く、トップの理由となっている。一方高校生は、理由が「わからない」人が20.4%と2割にのぼり、他の層と比べて高い。
- 性別では、男性と比べて女性において「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(12.2%)が高く、一方男性は女性に比べて理由が「わからない」人(13.8%)が高い。
- 地域別では、近畿で「なんとなく不安だから」(12.0%)とする割合が他の地域に比べてやや高い。

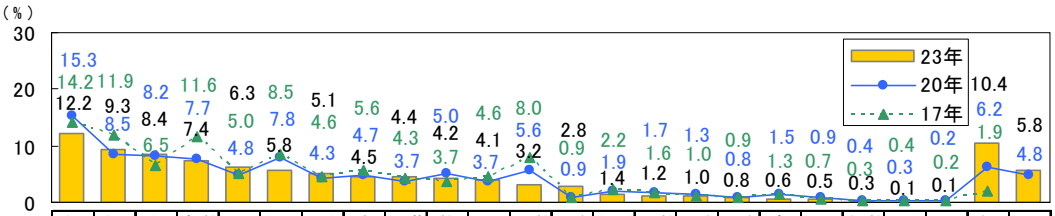
- 過去2回調査と比べると、全体では理由が「わからない」人が17年度調査より上昇傾向にある。
- 職業別では、高校生で理由が「わからない」人が、20年度調査と23年度調査を比べて15ポイント上昇しており顕著。
- 性別では、男性において17年度調査より「わからない」人が上昇傾向にある。
- 地域別では、東北で「近くに献血する場所や機会がなかったから」「献血している所に入りづらかったから」が20年度調査と比べて低下している。

6. 献血をしたことがない理由

【未経験者編】

（1）1位＜最も大きな理由＞（Q19）

Q19. 献血したことがないのはどのような理由からですか。
理由の大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数：対象者全員】

			(N)	針を刺すのが痛くて嫌だから	健康上出来ないと思ったから	なんとなく不安だから	献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた	恐怖心	近くに献血する場所や機会がなかったから	血を採られるという感じが嫌だ	時間がかかりそうだから	薬を服用しているので献血ができない	献血する意志がない	忙しくて献血する時間がなかったから	献血している所に入りづらかったから	海外渡航歴等による献血制限で献血したくてもできない	どこで献血ができるか分からない	献血場所が遠いので面倒だから	自分が献血しなくても誰かがやると思ったから	自分の血液が役に立たないと思ったから	病気がうつると思ったから	呼び込みが強引で嫌だったから	家族からとめられた	献血すると言ったら、友人や	血液が無駄にされていると聞いたから	職員の態度が悪いので献血したくない	わからない	その他
全体		23年	(5000)	12.2	9.3	8.4	7.4	6.3	5.8	5.1	4.5	4.4	4.2	4.1	3.2	2.8	1.4	1.2	1.0	0.8	0.6	0.5	0.3	0.1	0.1	10.4	5.8
		20年	(5000)	15.3	8.5	8.2	7.7	4.8	7.8	4.3	4.7	3.7	5.0	3.7	5.6	0.9	1.9	1.7	1.3	0.8	1.5	0.9	0.4	0.3	0.2	6.2	4.8
		17年	(5000)	14.2	11.9	6.5	11.6	5.0	8.5	4.6	5.6	4.3	3.7	4.6	8.0	0.9	2.2	1.6	1.0	0.9	1.3	0.7	0.3	0.4	0.2	1.9	
職業別	高校生	23年	(642)	10.9	1.6	9.0	2.8	7.3	8.7	3.9	4.0	2.5	4.2	6.2	2.3	3.7	1.6	1.7	2.6	1.1	0.6	0.2	0.3	－	0.2	20.4	4.0
		20年	(626)	15.2	2.4	8.8	3.4	5.9	12.5	3.2	3.8	1.3	5.8	4.2	6.2	0.6	3.4	1.9	1.6	0.5	0.8	0.5	0.6	0.8	0.2	5.4	11.2
		17年	(398)	13.1	5.8	5.8	8.5	6.0	16.3	5.8	4.5	2.0	3.5	5.0	8.5	0.8	4.5	3.0	1.0	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	3.5	
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	13.7	8.8	10.3	6.8	6.1	5.0	6.8	5.6	3.3	4.1	4.8	3.7	2.8	1.3	1.4	0.9	0.4	0.4	0.6	0.5	0.1	0.1	7.4	5.1
		20年	(1484)	16.2	7.9	9.2	6.6	4.6	7.2	6.0	5.8	3.4	5.0	4.1	6.5	1.1	1.5	1.8	1.5	0.7	1.6	1.1	0.4	0.1	0.3	4.2	3.4
		17年	(932)	17.0	9.3	8.5	8.0	5.5	7.0	6.0	5.6	4.2	3.1	7.0	9.1	1.4	1.4	1.2	0.8	0.6	1.1	0.3	0.3	0.6	0.2	1.8	
	会社員	23年	(1368)	12.2	10.3	8.0	8.0	6.3	5.8	5.4	5.0	3.9	4.3	4.1	2.7	2.5	1.3	0.7	0.9	0.7	0.7	0.9	0.4	0.1	0.1	10.3	5.5
		20年	(1545)	15.3	8.6	8.0	9.2	4.2	6.5	4.7	4.9	3.4	5.1	3.5	5.0	1.2	1.7	1.9	1.0	1.2	1.6	1.3	0.2	0.3	0.2	6.7	4.5
		17年	(1596)	14.2	12.8	6.5	12.2	4.6	6.8	4.6	6.1	3.9	4.4	4.6	8.1	0.6	1.6	1.7	1.1	1.0	1.7	0.8	0.3	0.4	0.3	1.9	
	公務員	23年	(104)	8.7	9.6	10.6	5.8	3.8	3.8	11.5	3.8	8.7	1.9	6.7	2.9	2.9	1.9	－	－	－	－	－	－	1.0	－	8.7	7.7
		20年	(85)	15.3	9.4	10.6	9.4	3.5	2.4	2.4	5.9	1.2	1.2	5.9	5.9	2.4	－	1.2	3.5	－	1.2	1.2	1.2	2.4	－	9.4	4.7
		17年	(104)	23.1	11.5	10.6	12.5	4.8	3.8	2.9	2.9	5.8	2.9	4.8	4.8	－	1.9	1.0	－	－	－	1.0	1.0	1.9	1.0	1.9	
	自営業	23年	(168)	11.9	10.7	3.0	7.1	6.5	7.1	4.8	3.6	4.8	3.0	1.8	5.4	3.6	0.6	1.8	0.6	1.2	0.6	1.8	－	0.6	0.6	11.3	7.7
		20年	(134)	7.5	11.9	5.2	8.2	3.0	13.4	5.2	2.2	5.2	6.0	3.0	3.7	1.5	2.2	1.5	1.5	0.7	3.7	0.7	－	－	－	7.5	6.0
		17年	(115)	9.6	16.5	5.2	14.8	2.6	11.3	3.5	6.1	6.1	2.6	2.6	5.2	1.7	0.9	3.5	1.7	－	2.6	0.9	0.9	－	0.9	0.9	
	専業主婦	23年	(324)	10.2	13.0	5.2	16.7	8.0	2.5	2.2	3.4	6.2	1.9	3.4	3.4	3.7	1.2	0.6	－	0.9	0.3	0.3	－	－	－	9.0	8.0
		20年	(423)	13.7	11.8	6.4	15.4	5.4	5.9	1.9	3.3	6.1	3.1	4.0	4.3	－	0.9	0.5	0.9	0.2	0.9	0.2	0.9	－	0.2	10.2	3.5
		17年	(856)	11.9	14.8	5.7	16.8	5.1	9.5	3.6	5.1	4.4	1.9	4.2	6.8	0.9	2.6	1.5	0.8	0.7	1.4	0.8	0.2	0.2	－	0.8	
	その他	23年	(797)	11.7	12.9	7.2	7.8	5.5	6.1	2.9	2.9	7.7	5.5	1.3	3.3	2.4	1.6	1.5	0.5	1.4	0.9	0.1	－	0.1	0.1	9.4	7.3
		20年	(703)	15.6	12.1	7.3	6.0	5.4	8.4	2.6	3.8	5.8	5.5	2.6	5.3	0.3	2.6	1.4	1.6	0.7	1.6	0.6	0.4	0.3	0.1	7.1	3.0
		17年	(999)	13.8	12.4	5.6	10.5	4.9	8.9	4.2	5.7	5.5	4.8	2.7	8.1	0.8	2.7	1.4	1.3	1.4	1.4	0.8	0.3	0.2	0.2	2.3	
性別	男性	23年	(2548)	12.3	7.5	9.3	2.7	5.2	5.8	7.3	5.9	3.3	5.7	4.8	2.9	1.5	1.8	1.5	1.2	0.9	0.7	0.5	0.2	0.1	0.2	13.8	4.9
		20年	(2556)	13.9	6.3	8.1	3.6	4.1	9.0	5.4	6.0	2.5	7.2	4.5	5.8	1.0	2.6	2.2	1.7	0.8	1.7	1.3	0.2	0.2	0.3	5.4	6.4
		17年	(1688)	13.4	6.6	6.9	6.1	4.7	9.4	6.6	7.5	3.6	6.3	6.1	8.8	0.5	2.7	2.3	1.7	0.7	1.5	0.7	0.2	0.7	0.3	2.8	
	女性	23年	(2452)	12.1	11.2	7.5	12.2	7.4	5.8	2.9	3.1	5.5	2.6	3.3	3.5	4.2	0.9	0.9	0.8	0.6	0.5	0.6	0.4	0.1	0.1	7.0	6.7
		20年	(2444)	16.7	10.8	8.2	12.1	5.5	6.5	3.2	3.3	5.0	2.7	2.9	5.4	0.7	1.1	1.1	1.0	0.7	1.3	0.6	0.7	0.3	0.1	7.0	3.1
		17年	(3312)	14.6	14.7	6.3	14.5	5.2	8.1	3.6	4.6	4.7	2.3	3.8	7.5	1.0	1.9	1.3	0.7	0.9	1.3	0.6	0.4	0.3	0.2	1.4	
地域別	北海道	23年	(206)	16.0	7.8	5.3	11.2	7.8	5.3	4.4	2.4	4.9	3.4	5.3	3.9	1.9	1.5	1.0	－	－	－	0.5	－	－	－	10.7	6.8
		20年	(210)	18.6	7.6	4.8	7.1	4.8	7.1	2.9	2.9	4.3	10.5	3.8	5.2	0.5	1.9	1.9	－	1.0	1.4	0.5	0.5	0.5	－	6.7	5.7
		17年	(200)	10.5	8.5	7.5	11.0	3.5	12.5	5.0	6.5	3.5	5.0	6.5	9.0	0.5	4.0	2.5	0.5	0.5	1.0	－	0.5	1.0	－	0.5	
	東北	23年	(353)	11.3	12.5	7.9	6.5	4.5	5.4	7.1	2.0	5.4	4.2	5.7	2.5	2.5	1.4	2.3	1.1	1.4	1.1	－	－	0.3	0.3	9.3	5.1
		20年	(355)	11.0	11.0	5.6	10.1	3.9	11.3	4.2	3.7	4.2	5.6	2.8	7.9	0.6	2.3	0.8	1.1	0.3	1.7	0.6	0.8	－	－	7.0	3.4
		17年	(350)	12.6	10.9	6.6	12.0	5.4	7.7	7.1	4.3	2.9	3.4	5.7	9.4	0.3	1.7	3.4	1.1	0.9	0.3	－	0.3	0.3	0.6	3.1	
	関東甲信越	23年	(1825)	12.8	8.3	8.9	6.2	6.6	4.9	5.4	5.2	4.4	4.9	3.9	3.5	2.6	1.2	0.9	1.2	0.8	1.0	0.9	0.4	0.1	0.1	9.9	6.0
		20年	(1825)	15.4	8.5	8.6	7.3	5.5	6.0	5.6	4.9	3.7	4.9	3.3	5.5	1.1	1.5	1.3	1.4	0.5	2.0	1.2	0.4	0.2	0.1	6.2	4.8
		17年	(1800)	14.9	12.3	8.2	9.9	4.4	7.1	4.7	6.7	4.6	3.3	4.5	7.7	1.1	1.7	0.6	1.0	1.2	1.8	0.9	0.2	0.6	0.2	2.4	
	東海北陸	23年	(786)	12.3	8.7	6.2	6.5	7.9	8.1	4.8	5.2	4.5	4.6	4.3	2.3	1.8	1.8	1.4	1.0	1.0	0.3	0.6	0.4	0.3	－	11.1	5.0
		20年	(780)	14.6	9.6	9.6	6.8	4.5	7.7	4.1	3.8	2.9	5.3	4.5	4.9	1.0	2.3	2.7	0.8	1.3	0.4	0.8	0.4	0.4	0.1	6.5	5.0
		17年	(750)	11.1	12.8	6.3	12.8	4.7	8.9	4.0	4.4	5.3	4.4	4.8	9.2	0.7	3.1	2.3	0.8	0.5	0.5	0.8	0.7	0.1	0.3	1.6	
	近畿	23年	(816)	11.3	9.4	12.0	7.6	4.9	5.4	4.8	5.3	3.2	3.3	3.7	4.0	3.4	0.6	1.2	1.3	0.2	0.4	－	0.2	0.1	0.1	11.2	6.3
		20年	(816)	16.5	6.9	8.8	6.6	4.9	9.4	3.9	5.3	4.4	4.3	3.8	7.0	0.6	1.5	1.3	2.0	0.7	1.3	0.9	0.5	0.1	0.4	5.3	3.6
		17年	(850)	15.5	11.8	6.0	8.9	5.9	9.1	4.9	5.5	3.6	3.2	5.1	8.1	1.1	2.4	1.3	1.4	0.6	2.0	0.6	0.2	0.5	0.2	2.1	
	中国・四国	23年	(431)	12.1	11.8	6.5	8.4	5.8	6.7	4.6	3.2	5.3	3.7	4.4	2.6	3.0	1.9	1.4	0.5	1.2	－	0.2	－	－	0.7	10.2	5.8
		20年	(431)	16.0	10.2	6.5	6.7	3.5	8.8	2.6	5.8	3.9	3.7	4.2	3.0	1.2	2.8	2.1	1.4	1.6	1.2	0.7	0.2	0.7	0.7	6.7	5.8
		17年	(450)	14.2	14.9	4.4	10.4	6.7	9.6	6.0	4.2	5.8	4.0	2.9	7.1	1.1	0.7	2.7	1.3	1.1	0.4	0.4	0.4	0.4	－	1.1	
	九州・沖縄	23年	(583)	10.8	9.8	7.7	10.5	6.0	5.5	4.6	3.8	4.6	3.3	3.3	3.1	4.5	2.2	1.0	0.5	0.7	0.5	0.7	0.5	－	－	11.0	5.5
		20年	(583)	14.8	6.7	8.1	11.3	4.1	8.4	3.1	4.6	2.9	4.6	3.8	5.5	0.5	2.2	2.1	1.5	0.5	1.5	0.9	0.2	0.5	0.2	6.0	6.0
		17年	(600)	16.3	9.7	4.0	20.0	5.0	9.7	2.3	5.2	3.2	3.8	4.0	6.3	0.5	3.2	2.3	0.5	0.5	1.5	0.5	0.2	0.2	0.5	0.7	

（%）

注：17年は「その他」の回答肢なし。

（2）1位～3位累計（Q19）

【 献血したことがない理由(累計)は「針を刺すのが痛くて嫌だから」が3割弱 】

- 献血をしたことがない理由を1位～3位の累計でみると、「針を刺すのが痛くて嫌だから」がトップで27.7%。次いで「なんとなく不安だから」(25.9%) 、「恐怖心」(22.4%)、「時間がかかりそうだから」(20.1%)が続き、高い理由となっている。
- 職業別では、高校生で「近くに献血する場所や機会がなかったから」(20.1%)がやや高い。大学生は他の層に比べて「針を刺すのが痛くて嫌だから」(30.6%)、「なんとなく不安だから」(28.8%)、「時間がかかりそうだから」(22.9%)、「忙しくて献血する時間がなかったから」(17.8%)がやや高い。なお、専業主婦では1位の理由と同様に、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(21.9%)が他の層よりも高い。
- 性別では、女性で「健康上出来ないと思ったから」(23.0%)、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」(15.3%)という理由が男性に比べて高い。一方男性は「時間がかかりそうだから」(23.1%)、「血を採られるという感じが嫌だ」(19.8%)、「献血する意思がない」(15.0%)という理由が女性に比べて高い。
- 地域別では、近畿で「献血している所に入りづらかったから」(16.1%)が他の地域と比べてやや高い。

- 20年度調査と比べると、全体での「献血している所に入りづらかったから」が6ポイント低下し、「わからない」が14ポイント上昇した。
- 職業別では、過去2回調査と比べて専業主婦では「なんとなく不安だから」「近くに献血する場所や機会がなかったから」「献血している所に入りづらかったから」といった理由が低下し、「献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた」や「海外渡航歴等による献血制限で献血したくてもできない」といった理由が上昇した。高校生では「針を刺すのが痛くて嫌だから」「なんとなく不安だから」「近くに献血する場所や機会がなかったから」「献血している所に入りづらかったから」といった理由がそれぞれ5ポイント以上、20年度調査と比べて低下している。
- 性別では、男性も女性も過去2回調査と比べて「献血している所に入りづらかったから」が低下している。
- 地域別では、全ての地域で20年度調査と比べて「献血している所に入りづらかったから」が低下している。北海道では「恐怖心」が20年度調査と比べて6ポイント上昇している。

＜参考：献血をしたことがない理由 (その他の記述)＞

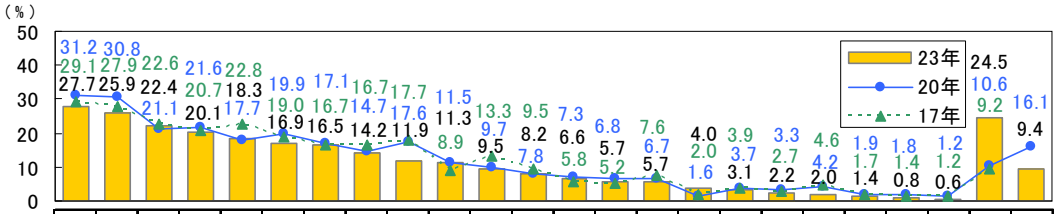
献血をしたことがない理由（その他の記述）：（記載が多かったもの）
貧血体質のため
採血後具合が悪くなるから
メリットがない／お金がもらえない
なんとなく／面倒くさい／人を救うことに興味がない
献血の際の事故が怖い／衛生面で不安
無料採取された血液を販売して利益をあげているから
体調が悪くならないか心配
採血しにくい血管だから
体重制限があるから
注射、採血が苦手／血が苦手

6. 献血をしたことがない理由

【未経験者編】

（2）1位～3位累計（Q19）

Q19. 献血したことがないのはどのような理由からですか。
理由の大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数:対象者全員】

			(N)	針を刺すのが痛くて嫌だから	なんとなく不安だから	恐怖心	時間がかかりそうだから	健康上出来ないと思ったから	近くに献血する場所や機会がなかったから	だ血を採られるという感じが嫌	かったから忙しくて献血する時間がな	献血している所に入りづら	献血する意志がない	献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた	できない薬を服用しているので献血が	やると思ったから自分が献血しなくても誰かが	ら献血場所が遠いので面倒だか	ないどこで献血ができるか分から	で献血したくてもできない海外渡航歴等による献血制限	思ったから自分の血液が役に立たないと	ら呼び込みが強引で嫌だったか	病気が移ると思ったから	家族からとめられた献血すると言ったら、友人や	いたから血液が無駄にされていると聞	たくない職員の態度が悪いので献血し	わからない	その他
全体		23年	(5000)	27.7	25.9	22.4	20.1	18.3	16.9	16.5	14.2	11.9	11.3	9.5	8.2	6.6	5.7	5.7	4.0	3.1	2.2	2.0	1.4	0.8	0.6	24.5	9.4
		20年	(5000)	31.2	30.8	21.1	21.6	17.7	19.9	17.1	14.7	17.6	11.5	9.7	7.8	7.3	6.8	6.7	1.6	3.7	3.3	4.2	1.9	1.8	1.2	10.6	16.1
		17年	(5000)	29.1	27.9	22.6	20.7	22.8	19.0	16.7	16.7	17.7	8.9	13.3	9.5	5.8	5.2	7.6	2.0	3.9	2.7	4.6	1.7	1.4	1.2	9.2	
職業別	高校生	23年	(642)	24.9	23.8	24.6	16.4	6.2	20.1	12.9	14.8	12.3	11.7	4.4	3.3	7.2	7.6	8.3	4.4	1.4	0.9	0.9	1.9	0.6	0.2	35.0	7.0
		20年	(626)	30.7	29.4	22.0	18.7	7.0	25.9	16.1	16.1	17.4	11.2	4.8	3.2	6.4	8.6	9.7	1.3	3.2	1.8	2.7	1.8	1.9	0.8	8.8	23.3
		17年	(398)	28.1	28.1	22.9	18.3	13.3	27.9	17.1	18.6	19.1	9.5	10.1	4.8	5.5	8.5	15.1	2.3	3.5	1.5	3.0	2.0	1.3	1.0	13.3	
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	30.6	28.8	22.9	22.9	18.3	15.1	19.6	17.8	13.7	11.6	8.6	6.5	7.0	5.9	5.6	4.0	2.7	2.5	1.4	1.6	0.9	0.5	20.7	7.6
		20年	(1484)	33.2	31.8	21.8	25.1	16.6	17.3	20.3	16.0	19.4	12.1	8.8	6.8	8.8	6.5	5.1	1.8	2.8	4.1	4.2	2.4	1.8	1.3	7.6	13.5
		17年	(932)	32.4	30.6	23.6	23.6	20.1	15.2	18.7	21.1	21.7	9.1	9.4	8.4	7.5	5.2	5.4	2.8	2.1	3.4	3.9	1.8	1.5	1.5	6.7	
	会社員	23年	(1368)	27.0	26.4	22.5	21.1	19.2	16.4	18.1	14.4	11.1	11.0	10.1	8.1	6.5	4.6	4.5	3.3	2.8	2.6	2.6	1.3	0.9	1.3	24.6	8.8
		20年	(1545)	30.8	30.6	20.9	21.5	16.9	18.6	17.0	14.8	16.7	12.3	11.2	7.8	6.1	7.1	5.8	2.2	3.8	3.6	5.2	1.2	1.9	1.6	11.8	16.3
		17年	(1596)	29.8	26.9	22.6	21.1	22.1	16.7	17.9	18.2	16.2	9.5	13.9	8.8	5.8	4.1	5.8	1.4	4.4	2.8	5.1	1.6	1.4	1.4	9.5	
	公務員	23年	(104)	26.0	26.0	17.3	15.4	13.5	12.5	24.0	17.3	7.7	13.5	9.6	14.4	7.7	3.8	3.8	3.8	1.0	2.9	－	1.9	2.9	－	27.9	13.5
		20年	(85)	31.8	34.1	18.8	27.1	15.3	18.8	15.3	21.2	11.8	9.4	10.6	7.1	9.4	10.6	2.4	2.4	4.7	4.7	1.2	1.2	4.7	0.0	16.5	10.6
		17年	(104)	34.6	33.7	29.8	13.5	27.9	8.7	20.2	14.4	12.5	8.7	13.5	11.5	3.8	2.9	2.9	1.0	2.9	2.9	4.8	1.0	2.9	2.9	5.7	
	自営業	23年	(168)	24.4	20.2	22.0	17.9	23.2	20.8	14.9	11.3	14.3	11.9	7.7	8.3	3.0	6.5	7.1	4.2	4.8	3.6	3.0	0.6	1.2	1.2	19.6	13.7
		20年	(134)	22.4	27.6	15.7	18.7	22.4	22.4	17.9	14.9	16.4	9.7	9.7	8.2	8.2	5.2	8.2	1.5	7.5	6.7	6.7	0.7	2.2	1.5	11.9	16.4
		17年	(115)	20.0	22.6	17.4	20.9	25.2	23.5	11.3	17.4	16.5	10.4	15.7	13.9	5.2	11.3	9.6	6.1	5.2	2.6	6.1	2.6	－	1.7	7.0	
	専業主婦	23年	(324)	27.2	19.8	21.9	16.4	24.1	15.1	10.2	12.3	9.9	6.2	21.9	11.4	5.6	4.9	3.4	6.8	4.0	2.5	3.4	1.5	0.3	－	25.3	13.6
		20年	(423)	30.7	29.3	20.3	17.7	26.2	21.0	13.2	14.2	17.7	6.6	16.8	11.6	7.3	5.0	3.8	0.7	2.8	1.4	4.0	3.1	1.4	0.5	15.8	15.8
		17年	(856)	27.6	25.5	22.2	21.3	27.8	23.2	14.5	13.7	15.8	6.5	18.5	10.0	3.9	4.9	7.7	1.9	2.7	2.0	4.8	1.5	1.9	0.4	8.1	
	その他	23年	(797)	26.3	24.6	20.5	18.4	23.6	19.2	12.5	7.3	10.0	12.7	9.9	13.3	6.8	5.8	6.4	3.9	5.1	1.3	2.8	0.6	0.8	0.4	24.0	12.8
		20年	(703)	29.9	31.9	21.1	19.1	25.7	22.0	13.7	9.8	16.8	12.2	8.5	11.4	6.8	6.1	11.5	0.7	5.1	2.4	3.3	1.8	1.6	1.0	11.4	15.5
		17年	(999)	27.0	29.2	21.6	18.8	25.0	19.6	14.9	12.0	18.3	9.6	12.5	12.2	6.1	5.2	10.0	1.7	6.0	2.8	4.7	1.6	0.9	1.0	10.6	
性別	男性	23年	(2548)	26.5	27.9	21.5	23.1	13.8	15.7	19.8	14.6	11.1	15.0	4.0	5.0	7.4	5.8	6.5	2.3	2.7	2.2	1.8	0.8	0.9	0.6	26.8	7.4
		20年	(2556)	29.3	30.9	17.7	24.6	12.8	20.5	19.6	16.2	17.1	15.3	5.0	5.8	8.5	7.9	8.0	1.6	3.3	4.2	4.1	1.1	1.9	1.4	8.8	17.2
		17年	(1688)	27.7	29.1	21.3	24.8	14.8	18.9	21.1	19.8	18.3	13.7	6.9	6.5	8.2	6.5	9.7	1.5	3.6	3.4	4.8	1.1	1.4	1.9	9.7	
	女性	23年	(2452)	28.9	23.8	23.4	17.0	23.0	18.1	13.1	13.8	12.6	7.5	15.3	11.5	5.8	5.5	4.8	5.8	3.4	2.1	2.2	2.0	0.7	0.7	22.2	11.5
		20年	(2444)	33.1	30.8	24.6	18.4	22.8	19.4	14.4	13.1	18.1	7.6	14.7	9.8	6.0	5.7	5.4	1.6	4.0	2.3	4.3	2.7	1.8	1.0	12.4	15.0
		17年	(3312)	29.8	27.4	23.2	18.7	26.8	19.1	14.5	15.0	17.5	6.5	16.5	11.0	4.5	4.5	6.6	2.2	4.1	2.3	4.5	1.9	1.4	0.8	8.8	
地域別	北海道	23年	(206)	29.1	22.3	25.2	17.5	18.4	18.9	15.0	15.0	11.2	8.3	12.1	9.2	4.4	4.4	4.4	1.9	1.9	1.0	1.9	1.5	1.5	1.0	28.6	10.2
		20年	(210)	31.4	29.5	19.0	21.0	21.0	22.9	19.0	11.9	13.8	18.1	8.1	8.6	4.8	6.7	4.8	0.5	5.2	1.9	3.3	1.9	1.4	0.5	12.4	15.7
		17年	(200)	28.0	26.0	21.5	24.0	21.0	26.5	16.5	18.0	20.0	9.5	12.5	8.5	4.5	7.0	11.0	1.0	3.0	0.5	3.0	1.0	1.5	－	11.5	
	東北	23年	(353)	26.1	23.5	18.7	19.0	21.5	20.4	17.0	14.7	9.9	10.8	9.6	10.8	5.7	8.8	5.7	3.4	3.4	0.8	2.3	0.3	1.1	1.4	24.4	9.3
		20年	(355)	23.9	27.3	17.2	22.0	19.7	24.8	16.1	16.6	20.0	13.2	12.4	9.9	8.2	8.7	7.0	1.7	4.5	3.4	3.4	2.3	1.7	1.1	10.7	13.5
		17年	(350)	26.3	27.1	20.3	22.0	21.1	17.1	19.7	16.9	19.4	6.9	14.0	10.9	5.1	8.6	5.7	1.1	4.9	1.4	2.9	1.7	0.9	2.3	9.7	
	関東甲信越	23年	(1825)	27.6	28.4	23.9	21.0	17.4	14.4	18.1	13.8	12.5	12.8	7.8	8.1	6.6	4.7	4.8	3.4	3.0	3.1	3.0	1.8	0.8	0.5	23.2	9.8
		20年	(1825)	32.6	31.8	22.4	22.1	18.5	15.7	19.1	13.6	16.9	12.1	9.4	8.2	6.9	4.7	4.9	1.6	3.2	4.3	4.8	2.0	2.1	1.1	11.5	16.4
		17年	(1800)	30.3	29.8	23.4	21.5	24.3	16.7	15.9	16.5	18.6	9.1	11.4	8.9	5.8	3.5	6.2	2.4	4.3	3.3	5.7	1.8	1.7	1.2	8.6	
	東海北陸	23年	(786)	28.6	23.2	22.1	18.7	17.2	20.7	16.5	14.4	9.5	13.4	7.8	8.3	8.9	7.4	7.3	3.2	3.3	1.9	1.1	0.9	1.4	0.1	25.2	8.4
		20年	(780)	31.3	31.3	20.8	19.5	18.1	22.8	17.2	14.0	15.0	10.5	8.5	6.5	7.2	8.6	10.0	1.8	4.1	2.8	3.3	2.1	2.4	1.3	9.6	16.2
		17年	(750)	25.5	28.4	21.2	18.9	23.5	22.0	16.8	16.8	18.0	9.2	14.3	11.2	4.4	6.8	10.1	2.0	3.3	3.1	3.5	1.6	0.8	0.9	8.1	
	近畿	23年	(816)	28.8	29.5	21.4	20.7	17.5	16.3	16.2	14.5	16.1	9.9	9.3	6.3	6.1	4.0	5.1	4.3	2.2	1.7	1.7	2.0	0.9	0.7	23.5	10.4
		20年	(816)	32.7	32.0	21.4	23.8	15.0	21.4	16.4	15.9	21.9	11.4	8.6	7.2	8.1	6.1	6.4	1.6	3.2	2.7	3.8	1.0	1.0	1.2	8.9	15.4
		17年	(850)	29.6	26.4	24.6	20.8	20.4	17.8	16.0	16.2	17.6	9.5	11.1	8.5	6.4	3.6	8.0	2.2	2.9	2.2	6.1	1.4	1.5	1.2	10.3	
	中国・四国	23年	(431)	28.1	21.3	21.6	20.6	20.4	18.1	13.9	15.1	10.2	10.7	12.5	9.0	7.0	5.3	6.3	5.8	3.2	1.4	0.5	0.9	－	1.9	26.0	7.7
		20年	(431)	31.6	29.2	20.6	22.3	19.0	20.9	14.8	14.6	15.3	10.0	8.4	8.4	7.0	10.7	9.0	2.1	4.4	1.4	4.2	2.6	2.3	1.4	10.9	15.1
		17年	(450)	29.8	28.7	22.7	17.1	27.3	20.0	18.7	15.3	16.0	9.6	12.7	11.8	8.4	6.7	6.9	1.3	4.2	2.4	2.7	1.8	1.3	0.9	9.3	
	九州・沖縄	23年	(583)	25.0	22.6	21.4	19.6	19.9	16.6	14.4	13.9	9.8	7.9	14.2	8.4	5.7	7.4	7.0	6.5	4.1	1.9	1.7	0.9	0.5	－	26.8	9.4
		20年	(583)	28.3	29.5	20.6	18.9	15.4	22.5	13.0	17.2	18.7	8.7	14.1	6.9	8.1	8.1	7.4	1.2	3.4	3.4	5.0	1.7	1.4	1.5	10.1	18.5
		17年	(600)	30.8	24.7	20.5	21.5	18.7	21.7	16.8	18.0	14.5	7.8	21.3	8.2	5.2	6.5	9.0	1.5	4.5	2.3	3.7	1.7	1.2	1.3	9.2	

（%）

注：17年は「その他」の回答肢なし。

（1）1位＜最も大きな要因＞（Q20）

【 きっかけとなり得る要因の1位は「針の痛みを和らげる」が1割強 】

- 献血をするきっかけになり得る要因を大きい順に3つまで選んでもらったところ、1位の要因(最も大きな要因)として、「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」ことで11.6%。前述の献血をしたことがない理由でも「針を刺すのが痛くて嫌だから」が1位であり、針を刺す時の痛さが献血へのネックとなっていると考えられる。また、僅差で「家族や友人などから勧められた」(11.5%)が主要な要因の1つとして挙げられている。
- 職業別では、「家族や友人などから勧められた」が、高校生では15.4%、大学生・専門学校生では13.3%で他の層と比べて高く、トップの要因として挙げられている。
- 性別では、男性において「献血は絶対しない」人(20.7%) が女性と比べて7ポイント高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。

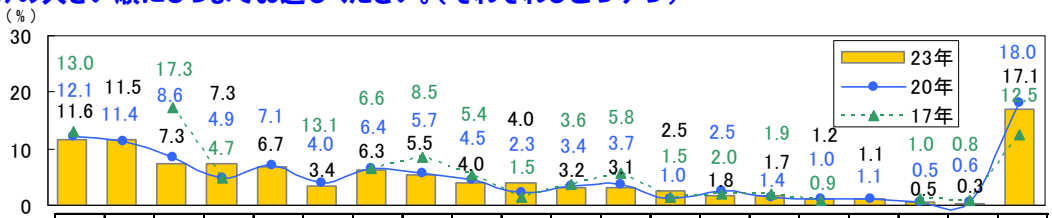
- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体では「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」が9ポイント低下する一方、「献血は絶対しない」が上昇している。23年度調査と20年度調査では傾向に大きな変化はみられない。
- 職業別では、公務員で「献血したときの処遇品(記念品)が良くなった」が過去2回調査と比べて8ポイント前後上昇し、23年度調査ではトップの要因となっている。自営業では「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」が20年度調査と比べて9ポイント上昇し、高い理由となっている。
- 性別では、20年度調査と比べて大きな変化はみられない。
- 地域別では、各層で17年度調査より「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」が低下傾向にある。

7. 献血するきっかけとなり得る要因

【未経験者編】

（1）1位＜最も大きな要因＞（Q20）

Q20. あなたが献血するきっかけとなり得る項目を選択してください。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数：対象者全員】

			(N)	針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された（麻酔など）	家族や友人などから勧められた	献血しているところが入りやすい雰囲気になった	献血したときの処遇品（記念品）が良くなった	近くに献血する場所ができた（献血ルーム）	近くに献血する場所ができた（献血バスまたは出張献血）	献血の重要性が明確になった	献血が自分の健康管理の役に立つようになった	針が細くなった	献血できる場所が分かった	献血が健康にほとんど害がないということが分かった	キャンペーン等により献血が身近に感じられるようになった	献血ルームのサービスが良くなった	献血で病気がうつることはないと知った	血液が無駄になってないことが分かった	海外渡航歴等の献血制限が解除された	好きなタレントがキャンペーンに起用されていた	献血ルームの受付時間が長くなった	職員の態度が良くなった	献血は絶対しない
全体		23年	(5000)	11.6	11.5	7.3	7.3	6.7	3.4	6.3	5.5	4.0	4.0	3.2	3.1	2.5	1.8	1.7	1.2	1.1	0.5	0.3	17.1
		20年	(5000)	12.1	11.4	8.6	4.9	7.1	4.0	6.4	5.7	4.5	2.3	3.4	3.7	1.0	2.5	1.4	1.0	1.1	0.5	0.6	18.0
		17年	(5000)	13.0		17.3	4.7	13.1		6.6	8.5	5.4	1.5	3.6	5.8	1.5	2.0	1.9	0.9		1.0	0.8	12.5
職業別	高校生	23年	(642)	10.1	15.4	7.5	5.5	7.5	2.3	6.5	2.2	3.1	7.2	2.2	4.0	1.6	1.1	1.7	0.3	2.6	0.2	0.3	18.7
		20年	(626)	11.2	15.3	7.8	5.1	8.0	4.0	5.9	2.9	4.5	4.3	2.2	3.7	1.3	1.9	1.8	0.8	1.6	0.2	0.3	17.3
		17年	(398)	13.8		16.3	7.0	16.6		8.5	3.8	6.3	2.0	2.0	6.8	1.5	1.0	3.8	1.0		0.5	1.0	8.0
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	12.7	13.3	7.5	8.5	6.4	4.0	6.4	4.2	4.6	3.1	3.4	2.8	2.8	1.6	1.8	1.3	1.1	0.4	0.3	13.8
		20年	(1484)	13.5	12.1	9.2	5.2	5.7	4.5	7.1	5.2	3.8	2.1	3.4	3.5	1.0	2.5	1.5	1.1	1.5	0.7	0.7	15.7
		17年	(932)	14.4		18.3	4.7	11.3		7.1	8.3	6.2	1.6	3.4	4.8	1.6	2.3	1.7	1.2		1.2	0.6	11.3
	会社員	23年	(1368)	11.6	10.2	6.7	6.1	6.6	3.0	6.7	6.7	3.8	3.9	2.9	3.3	3.2	2.0	1.8	1.4	0.9	0.8	0.3	18.2
		20年	(1545)	12.2	10.7	7.2	5.0	5.9	3.5	6.4	6.6	4.8	1.9	3.8	4.8	1.2	2.7	1.5	1.4	0.7	0.6	0.6	18.5
		17年	(1596)	13.3		15.9	4.8	11.7		7.1	9.5	4.6	1.1	3.2	5.5	1.3	2.3	2.1	0.9		1.4	0.9	14.4
	公務員	23年	(104)	10.6	6.7	5.8	13.5	4.8	4.8	5.8	5.8	1.9	2.9	2.9	1.9	1.9	1.0	1.0	1.9	1.0	2.9	1.0	22.1
		20年	(85)	17.6	8.2	4.7	4.7	3.5	7.1	7.1	7.1	9.4	－	1.2	4.7	－	3.5	2.4	1.2	－	－	－	17.6
		17年	(104)	17.3		15.4	5.8	10.6		1.9	8.7	4.8	1.9	6.7	4.8	－	1.0	3.8	1.9		－	1.9	13.5
	自営業	23年	(168)	13.7	7.7	8.9	7.1	7.1	4.2	5.4	4.8	4.8	4.2	3.6	2.4	1.8	1.8	1.2	1.8	1.2	1.2	－	17.3
		20年	(134)	5.2	11.9	9.0	2.2	10.4	2.2	9.0	3.7	3.0	3.0	3.7	1.5	0.7	4.5	1.5	2.2	2.2	－	0.7	23.1
		17年	(115)	13.9		10.4	6.1	17.4		4.3	9.6	5.2	3.5	5.2	7.0	－	1.7	2.6	0.9		0.9	1.7	9.6
	専業主婦	23年	(324)	9.9	10.8	8.3	5.9	6.5	2.5	5.9	9.6	4.3	3.4	5.2	3.4	2.5	3.7	1.2	1.9	0.6	－	－	14.5
		20年	(423)	10.4	10.9	11.8	5.4	9.5	2.6	4.7	7.8	6.1	1.7	4.0	2.8	0.7	2.8	0.7	0.5	0.5	0.2	0.5	16.3
		17年	(856)	9.5		19.2	4.0	15.8		6.4	9.3	5.3	1.5	3.6	6.1	2.0	2.0	0.9	0.8		0.9	0.6	12.1
	その他	23年	(797)	10.8	8.9	7.0	8.2	6.9	3.9	5.5	7.2	3.5	3.6	3.1	2.6	1.9	1.9	1.8	1.0	0.6	0.4	0.5	20.7
		20年	(703)	11.4	8.7	9.2	4.0	10.4	4.6	5.7	6.0	3.8	2.3	3.3	2.7	0.7	1.8	0.6	0.6	0.7	0.3	0.6	22.8
		17年	(999)	13.3		18.3	3.7	13.4		5.5	8.0	5.5	1.7	4.3	6.5	1.6	2.0	1.4	0.7		0.4	0.7	12.9
性別	男性	23年	(2548)	11.3	10.6	5.8	8.6	5.7	3.5	6.1	4.9	3.4	5.3	2.9	2.9	2.6	1.3	2.0	0.6	1.2	0.5	0.3	20.7
		20年	(2556)	10.9	10.9	7.3	5.6	7.3	4.0	7.2	5.6	3.6	2.8	3.4	3.9	0.8	2.5	1.9	1.1	1.2	0.5	0.6	19.0
		17年	(1688)	12.0		16.4	5.7	13.2		7.4	7.8	5.1	1.6	3.0	6.0	1.2	1.8	2.7	0.6		0.9	1.1	13.5
	女性	23年	(2452)	11.9	12.5	8.8	5.8	7.7	3.4	6.5	6.1	4.6	2.6	3.5	3.3	2.5	2.3	1.4	1.8	1.1	0.6	0.3	13.3
		20年	(2444)	13.3	12.0	9.9	4.2	7.0	4.0	5.6	5.8	5.4	1.8	3.4	3.5	1.2	2.5	0.8	1.0	0.9	0.4	0.6	17.0
		17年	(3312)	13.5		17.8	4.1	13.1		6.2	8.8	5.5	1.5	3.8	5.7	1.6	2.1	1.4	1.1		1.0	0.7	12.0
地域別	北海道	23年	(206)	12.1	15.5	5.3	7.3	5.3	2.9	6.8	4.4	5.3	4.9	2.9	2.9	1.9	1.0	1.0	1.0	0.5	－	1.0	18.0
		20年	(210)	9.5	9.5	6.7	7.1	9.0	2.9	7.6	5.7	5.7	2.9	2.4	1.9	－	2.4	1.4	－	1.4	－	0.5	23.3
		17年	(200)	13.5		17.5	4.0	19.0		3.5	9.0	5.0	2.0	3.5	6.5	0.5	2.5	0.5	0.5		1.0	－	11.5
	東北	23年	(353)	10.2	10.5	7.4	6.8	6.5	3.7	6.2	5.4	4.5	5.1	4.0	3.1	2.8	2.5	2.0	0.3	1.1	－	0.3	17.6
		20年	(355)	9.3	13.2	10.4	4.8	7.6	4.2	6.2	7.9	4.5	2.3	3.7	3.4	0.6	2.3	1.7	0.8	0.6	0.8	0.8	14.9
		17年	(350)	14.3		18.3	5.1	11.4		6.6	8.6	4.3	0.6	3.1	5.7	1.1	2.3	2.3	－		0.9	0.6	14.9
	関東甲信越	23年	(1825)	11.7	11.2	7.8	7.9	5.1	2.2	6.2	5.6	3.2	3.0	3.6	3.4	2.9	2.2	1.9	1.4	1.2	0.6	0.4	18.4
		20年	(1825)	12.4	11.0	7.7	4.9	6.4	3.1	6.7	5.8	4.1	2.4	4.0	3.2	1.1	2.9	1.3	1.0	0.9	0.3	0.7	20.1
		17年	(1800)	12.6		16.7	5.1	10.7		7.0	9.0	5.3	1.6	3.3	5.2	2.1	2.3	2.2	1.1		1.1	0.9	13.8
	東海北陸	23年	(786)	11.7	12.7	7.4	7.5	9.2	3.9	5.2	5.1	3.6	4.2	2.5	2.5	2.2	1.1	1.8	1.7	1.4	0.5	0.1	15.6
		20年	(780)	11.9	12.2	9.2	4.4	8.7	5.5	4.9	5.4	3.3	2.9	3.5	3.5	0.9	1.8	1.2	0.9	0.9	0.8	0.1	18.1
		17年	(750)	12.0		17.5	4.8	15.6		6.7	9.1	5.3	1.9	2.8	5.3	0.7	1.3	1.3	1.2		0.8	1.1	12.7
	近畿	23年	(816)	12.3	11.0	8.3	8.0	5.9	3.7	6.3	6.1	4.3	4.7	3.4	3.2	2.1	1.8	1.7	0.7	1.0	0.5	0.5	14.6
		20年	(816)	14.3	11.6	9.1	4.7	5.4	3.4	7.5	5.3	5.0	1.5	2.3	5.0	1.0	3.2	1.7	1.2	1.3	0.7	0.4	15.3
		17年	(850)	13.6		16.7	3.8	12.0		7.6	6.7	5.5	2.4	4.1	6.7	1.5	2.4	2.0	1.3		0.8	0.9	11.9
	中国・四国	23年	(431)	11.8	11.4	3.9	5.6	8.1	4.4	6.7	7.2	4.6	3.5	3.7	2.8	2.6	0.5	1.4	0.5	1.4	1.2	－	18.8
		20年	(431)	10.9	11.8	7.9	4.9	8.1	4.9	5.8	4.9	4.9	2.6	3.9	4.2	1.9	2.1	1.2	0.9	1.2	0.2	1.2	16.7
		17年	(450)	13.8		17.6	3.8	14.7		4.7	9.6	7.3	0.7	5.3	6.0	0.7	2.0	2.0	0.9		0.9	0.9	9.3
	九州・沖縄	23年	(583)	10.6	10.8	7.0	5.3	8.7	5.5	7.5	3.9	5.0	5.1	1.7	2.9	2.6	2.2	1.4	1.9	1.0	0.3	－	16.3
		20年	(583)	11.8	10.6	9.8	5.0	8.1	4.8	6.2	5.3	5.5	1.9	2.6	4.5	0.9	1.7	1.4	1.5	1.4	0.3	0.5	16.3
		17年	(600)	13.0		19.0	5.0	16.8		6.3	7.7	4.5	0.8	3.3	6.5	2.0	1.2	1.5	0.2		1.2	0.5	10.5

（%）

注：17年は「家族や友人などから勧められた」「好きなタレントがキャンペーンに起用されていた」の回答肢なし。
「近くに献血する場所ができた（献血ルーム）」「近くに献血する場所ができた（献血バスまたは出張献血）」は17年は「近くに献血する場所ができた」のみ。

（2）1位～3位累計（Q20）

【 きっかけとなり得る要因(累計)は「針の痛みを和らげる」が2割強 】

- 献血をするきっかけになり得る要因を1～3位の累計でみると、「針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された」が最も高く24.2%。僅差で「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」(23.5%)、「献血した時の処遇品(記念品)が良くなった」(22.0%)、「家族や友人などから勧められた」(21.8%)が続く。
- 職業別では、高校生で「家族や友人などから勧められた」(27.6%)、「献血できる場所が分かった」(17.1%)が他の層と比べて高く、一方「献血したときの処遇品(記念品)が良くなった」(16.4%)、「献血ルームのサービスが良くなった」(9.7%)が他の層と比べて低い。大学生・専門学校生においても「家族や友人などから勧められた」(25.2%)が他の層と比べて高く、学生は身近な人からの勧めが重要なきっかけになると考えられる。
- 性別では、男性で「献血は絶対しない」(20.7%)の割合が女性と比べて7ポイント高い。
- 地域別では、関東甲信越で「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」(15.8%)、「近くに献血する場所ができた(献血バスまたは出張献血)」(8.7%)が他の地域と比べてやや低い。一方、東海北陸と九州・沖縄では「近くに献血する場所ができた(献血ルーム)」と「近くに献血する場所ができた(献血バスまたは出張献血)」が他の地域と比べてやや高い。

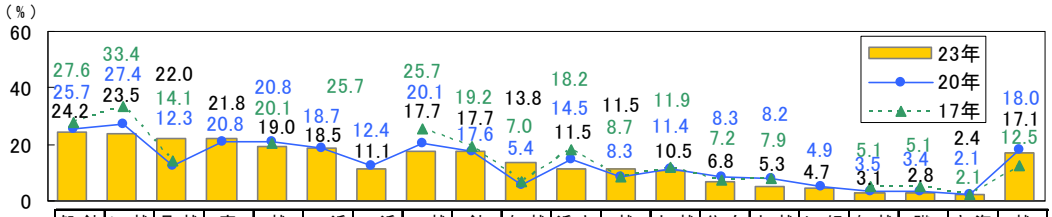
- ➢ 20年度調査と比べると、全体では「献血したときの処遇品(記念品)が良くなった」、「献血ルームのサービスが良くなった」がそれぞれ8ポイント以上上昇している。「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」は17年度調査より低下傾向である。
- ➢ 職業別、性別では、各層で20年度調査と比べて「献血しているところが入りやすい雰囲気になった」が低下し、「献血したときの処遇品(記念品)が良くなった」と「献血ルームのサービスが良くなった」が上昇している。
- ➢ 地域別では、北海道と東北で「献血が自分の健康管理の役に立つようになった」が17年度調査より低下傾向にある。

＜参考：献血するきっかけとなり得る項目 (具体例と理由)＞

献血したときの処遇品（記念品）が良くなった具体例（記載が多かったもの）	献血ルームのサービスが良くなった具体例（記載が多かったもの）	献血は絶対しない理由（記載が多かったもの）
お菓子がよくなった	飲食のサービスがよくなった	貧血体質だから
食べ物／栄養補助食品の提供	くつろげる／リラックスできる	健康上の問題
図書カード	職員の態度がよい	薬を服用しているから
現金支給	清潔／きれい／明るい	注射自体が苦手だから
飲料がよくなった／飲み物の提供	献血中、待ち時間を快適に過ごせるような工夫がなされている	怖いから
実用性のあるもの／役にたつもの／使えるもの	本、雑誌、漫画が読める	なんとなく
商品券	雰囲気がよい	痛い、痛そう
Quoカード	DVD、テレビが見られる	献血のことがよくわからないから
よい記念品、グッズ／非売品のもの	献血後のケアが万全	血をあげるのが嫌
ギフト券	カフェ感があるとよい	必要な体重を満たしていない

（2）1位～3位累計（Q20）

Q20. あなたが献血するきっかけとなり得る項目を選択してください。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数：対象者全員】

			(N)	針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された（麻酔など）	献血しているところが入りやすい雰囲気になった	献血したときの処遇品（記念品）が良くなった	家族や友人などから勧められた	献血の重要性が明確になった	近くに献血する場所ができた（献血ルーム）	近くに献血する場所ができた（献血バスまたは出張献血）	献血が自分の健康管理の役に立つようになった	針が細くなった	献血ルームのサービスが良くなった	キャンペーン等により献血が身近に感じられるようになった	献血できる場所が分かった	献血が健康にほとんど害がないということが分かった	血液が無駄になってないことが分かった	献血で病気がうつることはないと知った	好きなタレントがキャンペーンに起用されていた	献血ルームの受付時間が長くなった	職員の態度が良くなった	海外渡航歴等の献血制限が解除された	献血は絶対しない
全体		23年	(5000)	24.2	23.5	22.0	21.8	19.0	18.5	11.1	17.7	17.7	13.8	11.5	11.5	10.5	6.8	5.3	4.7	3.1	2.8	2.4	17.1
		20年	(5000)	25.7	27.4	12.3	20.8	20.8	18.7	12.4	20.1	17.6	5.4	14.5	8.3	11.4	8.3	8.2	4.9	3.5	3.4	2.1	18.0
		17年	(5000)	27.6	33.4	14.1		20.1	25.7		25.7	19.2	7.0	18.2	8.7	11.9	7.2	7.9		5.1	5.1	2.1	12.5
職業別	高校生	23年	(642)	24.9	23.7	16.4	27.6	19.8	18.7	10.1	8.6	17.9	9.7	14.8	17.1	11.1	5.5	4.4	8.7	1.2	2.8	1.1	18.7
		20年	(626)	25.6	26.5	11.5	24.4	19.6	22.4	13.6	12.8	18.4	5.8	15.8	10.7	9.7	10.7	6.5	6.9	1.6	3.0	2.7	17.3
		17年	(398)	30.2	35.9	18.3		23.6	30.7		15.3	19.6	7.8	20.9	13.6	9.8	10.8	5.0		3.3	5.8	1.8	8.0
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	26.3	24.0	25.0	25.2	18.8	17.7	11.1	17.3	19.8	15.4	11.1	10.7	10.2	7.1	5.0	4.9	3.0	2.1	2.8	13.8
		20年	(1484)	28.5	28.2	13.5	22.0	21.8	16.4	12.4	20.4	18.6	5.5	14.6	6.8	11.6	8.1	8.8	5.3	4.6	3.9	2.0	15.7
		17年	(932)	31.2	35.8	13.0		22.5	22.9		25.8	22.5	8.2	16.5	7.8	11.5	7.3	8.0		6.1	5.2	2.6	11.3
	会社員	23年	(1368)	22.1	24.5	20.3	19.3	19.8	19.9	9.9	19.2	17.9	14.0	11.0	11.0	9.9	6.9	5.0	4.1	4.6	2.9	2.1	18.2
		20年	(1545)	26.0	25.8	12.5	19.5	21.1	16.6	11.3	23.5	16.7	5.4	15.0	7.8	11.6	8.5	8.6	5.0	4.5	2.9	2.3	18.5
		17年	(1596)	27.6	30.2	13.6		20.1	23.9		27.7	18.1	5.5	18.2	7.5	11.8	7.7	8.4		6.1	4.8	1.9	14.4
	公務員	23年	(104)	21.2	16.3	26.0	19.2	12.5	17.3	14.4	23.1	14.4	22.1	7.7	5.8	9.6	4.8	2.9	2.9	4.8	4.8	3.8	22.1
		20年	(85)	29.4	29.4	12.9	20.0	27.1	14.1	9.4	22.4	23.5	4.7	10.6	1.2	8.2	10.6	11.8	2.4	4.7	2.4	2.4	17.6
		17年	(104)	30.8	23.1	20.2		13.5	19.2		24.0	22.1	8.7	19.2	2.9	12.5	6.7	9.6		2.9	7.7	1.9	13.5
	自営業	23年	(168)	25.0	21.4	21.4	14.3	19.0	18.5	13.1	16.1	15.5	12.5	10.7	12.5	14.3	8.3	7.7	3.6	3.6	3.6	6.0	17.3
		20年	(134)	14.9	26.9	6.7	20.1	24.6	24.6	15.7	14.9	10.4	3.0	14.2	13.4	8.2	9.7	9.0	6.0	0.7	3.0	4.5	23.1
		17年	(115)	27.8	20.0	18.3		21.7	32.2		26.1	13.9	7.0	18.3	17.4	13.9	12.2	4.3		3.5	5.2	1.7	9.6
	専業主婦	23年	(324)	20.1	24.1	24.4	20.1	17.9	15.7	11.1	23.8	16.4	17.9	15.1	10.2	13.3	6.5	9.3	1.9	1.5	2.8	3.1	14.5
		20年	(423)	20.8	29.8	15.6	19.1	17.5	21.7	12.3	22.0	20.6	6.9	16.8	9.0	15.1	7.3	7.8	2.8	2.4	2.4	1.2	16.3
		17年	(856)	20.9	36.1	15.2		18.2	29.3		26.1	18.2	9.6	18.1	7.9	12.1	5.8	8.3		4.6	4.9	2.2	12.1
	その他	23年	(797)	24.7	21.7	22.0	17.2	18.7	18.7	13.2	20.6	14.7	11.0	9.4	10.5	9.9	7.3	5.5	3.8	2.4	3.6	2.0	20.7
		20年	(703)	23.8	28.6	9.1	19.1	19.6	22.9	13.9	17.8	15.5	4.3	11.2	10.0	10.8	6.5	7.3	3.7	2.0	4.4	1.3	22.8
		17年	(999)	28.5	35.5	12.1		18.4	26.2		26.6	18.9	5.9	18.6	9.7	13.0	5.4	8.0		4.2	4.9	1.8	12.9
性別	男性	23年	(2548)	23.2	20.1	23.9	19.9	19.0	16.3	10.9	16.5	15.5	14.5	10.6	12.4	10.4	7.0	4.7	4.8	3.0	2.7	1.8	20.7
		20年	(2556)	24.9	24.9	12.5	20.2	22.1	18.3	12.5	19.7	14.9	4.7	14.9	9.0	11.3	9.7	8.5	5.4	3.8	3.4	2.2	19.0
		17年	(1688)	28.0	31.0	14.5		22.6	26.3		24.2	19.1	5.3	19.4	10.8	11.5	8.5	7.1		5.5	5.6	1.7	13.5
	女性	23年	(2452)	25.2	27.0	20.1	23.7	19.0	20.8	11.4	19.0	20.0	13.1	12.4	10.6	10.6	6.6	6.0	4.6	3.1	2.9	3.1	13.3
		20年	(2444)	26.5	30.0	12.1	21.4	19.4	19.2	12.4	20.4	20.4	6.0	14.1	7.6	11.5	7.0	7.9	4.5	3.2	3.4	2.0	17.0
		17年	(3312)	27.4	34.6	13.9		18.8	25.4		26.5	19.3	7.9	17.5	7.6	12.2	6.5	8.3		4.9	4.8	2.3	12.0
地域別	北海道	23年	(206)	22.3	21.8	20.9	24.8	20.9	18.4	11.7	13.6	17.5	18.0	10.7	14.6	8.7	5.8	5.8	1.9	1.9	2.4	1.5	18.0
		20年	(210)	22.9	17.6	13.8	19.0	21.0	20.5	11.9	19.5	18.6	2.9	11.0	10.0	10.0	9.5	7.6	6.7	3.8	2.9	1.0	23.3
		17年	(200)	29.5	34.5	10.5		13.5	34.5		26.5	19.0	5.5	21.5	9.0	11.0	8.0	9.0		7.5	4.5	1.5	11.5
	東北	23年	(353)	21.0	21.8	18.4	22.1	19.8	20.7	10.5	16.4	18.1	15.0	14.2	12.7	11.6	8.2	5.7	4.2	2.3	3.1	1.4	17.6
		20年	(355)	22.0	31.3	12.1	21.4	22.0	19.4	16.3	21.4	16.1	5.9	12.4	9.9	10.7	10.1	9.0	4.2	5.4	3.4	2.3	14.9
		17年	(350)	27.1	30.9	12.6		18.3	22.9		30.9	17.4	6.9	18.6	10.0	11.4	7.4	7.4		5.4	4.3	1.1	14.9
	関東甲信越	23年	(1825)	24.9	23.7	23.2	19.8	17.8	15.8	8.7	17.4	17.6	14.8	11.5	9.8	11.6	6.8	6.4	5.3	3.2	3.0	2.8	18.4
		20年	(1825)	26.1	27.0	12.4	20.3	20.3	16.0	9.7	20.3	17.2	6.4	13.4	7.2	12.7	8.1	8.6	4.3	3.2	4.7	2.0	20.1
		17年	(1800)	26.8	33.2	15.4		19.9	22.3		26.6	18.3	8.4	16.8	8.0	12.3	6.7	8.7		4.8	4.8	2.4	13.8
	東海北陸	23年	(786)	25.4	22.4	20.7	23.3	17.7	22.3	14.1	15.5	17.7	13.6	12.2	12.6	9.4	6.4	4.8	5.0	3.6	3.1	2.7	15.6
		20年	(780)	22.8	29.5	11.3	21.3	19.2	21.3	15.6	19.9	15.4	4.6	15.8	9.2	11.9	7.8	7.3	5.4	3.5	2.1	1.9	18.1
		17年	(750)	28.7	34.1	13.9		20.8	28.5		25.1	18.7	5.1	18.8	9.2	11.6	6.8	6.3		4.5	4.5	2.7	12.7
	近畿	23年	(816)	24.5	25.7	25.0	22.9	19.7	16.8	10.7	20.2	17.9	12.3	11.3	13.0	11.5	7.5	5.3	4.2	2.5	3.1	1.8	14.6
		20年	(816)	29.8	27.8	11.5	21.0	23.0	19.0	12.0	20.7	19.5	4.7	15.3	7.5	9.1	10.2	9.3	4.4	4.2	2.6	2.6	15.3
		17年	(850)	28.7	33.5	12.6		19.2	24.6		23.9	20.8	6.4	17.4	8.7	11.9	7.1	8.4		5.1	5.6	2.2	11.9
	中国・四国	23年	(431)	23.0	20.0	19.5	22.0	20.9	19.3	13.2	20.9	17.6	12.3	11.1	11.1	8.6	6.0	3.2	4.9	4.2	2.8	1.6	18.8
		20年	(431)	26.0	25.1	13.0	23.2	20.2	21.1	14.2	19.5	16.5	4.9	14.2	10.9	12.5	9.0	6.5	6.0	2.6	2.6	2.1	16.7
		17年	(450)	27.6	33.1	12.7		21.3	27.8		25.8	22.2	5.3	21.8	8.0	14.9	10.2	8.4		5.3	5.3	1.8	9.3
	九州・沖縄	23年	(583)	23.3	25.4	20.1	22.8	21.1	22.1	14.2	18.2	17.8	12.0	9.8	11.8	8.4	6.5	4.1	4.6	2.9	1.4	3.3	16.3
		20年	(583)	25.6	28.1	13.6	19.9	21.1	20.8	13.9	18.5	20.6	5.1	17.8	8.4	10.1	5.3	7.5	6.2	3.3	3.1	2.2	16.3
		17年	(600)	26.7	34.3	15.5		23.0	31.3		23.5	19.3	8.3	18.5	9.7	9.7	6.5	6.3		5.7	6.2	1.0	10.5

（%）

注：17年は「家族や友人などから勧められた」「好きなタレントがキャンペーンに起用されていた」の回答肢なし。
「近くに献血する場所ができた（献血ルーム）」「近くに献血する場所ができた（献血バスまたは出張献血）」は17年は「近くに献血する場所ができた」のみ。

（１）初めての献血で400ml献血することへの不安意識（Q21）

＜新規質問＞

【 初めての献血で400ml献血することに抵抗がある人は7割弱 】

- 初めての献血で400ml献血することに抵抗を感じるかたずねたところ、「どちらかというとはい(どちらかというと抵抗がある)」が36.9%を占め、「はい(抵抗がある)」(30.8%)と合わせると抵抗がある人は67.7%で3人中2人の割合であった。一方、「どちらかというといいえ(どちらかというと抵抗がない)」(15.3%)と「いいえ(抵抗がない)」(17.0%)を合わせた抵抗がない人は32.3%で3人中1人であった。
- 職業別では、専業主婦で抵抗がある人の割合(76.5%)が他の層と比べて高く、一方自営業(62.5%)では他の層と比べて低い。
- 性別では、女性の抵抗がある人の割合(71.2%)が男性(64.4%)と比べて7ポイント上回っている。
- 地域別では、九州・沖縄で「はい(抵抗がある)」と回答している人の割合(64.5%)がやや低い。

（1）初めての献血で400ml献血することへの不安意識（Q21）

Q21. 血液の有効かつ安全な活用のため、現在では400mLを推奨していますが、仮にあなたが初めて献血する場合、200mLではなく400mLの献血に抵抗を感じますか。

（%）

【基数：対象者全員】		(N)	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	抵抗がある（計）	抵抗がない（計）
全　体		(5000)	30.8	36.9	15.3	17.0	67.7	32.3
職業別	高校生	(642)	27.4	39.9	14.3	18.4	67.3	32.7
	大学生・専門学校生	(1597)	30.4	37.0	16.2	16.4	67.4	32.6
	会社員	(1368)	33.0	33.6	15.8	17.6	66.6	33.4
	公務員	(104)	34.6	29.8	17.3	18.3	64.4	35.6
	自営業	(168)	25.0	37.5	15.5	22.0	62.5	37.5
	専業主婦	(324)	36.1	40.4	9.3	14.2	76.5	23.5
	その他	(797)	29.4	39.4	15.4	15.8	68.8	31.2
性別	男性	(2548)	29.0	35.4	16.8	18.9	64.4	35.7
	女性	(2452)	32.7	38.5	13.7	15.0	71.2	28.7
地域別	北海道	(206)	29.6	36.4	17.5	16.5	66.0	34.0
	東北	(353)	33.7	33.4	15.9	17.0	67.1	32.9
	関東甲信越	(1825)	31.9	38.0	14.0	16.1	69.9	30.1
	東海北陸	(786)	31.4	35.9	17.4	15.3	67.3	32.7
	近畿	(816)	29.2	37.5	15.2	18.1	66.7	33.3
	中国・四国	(431)	32.7	34.6	13.7	19.0	67.3	32.7
	九州・沖縄	(583)	26.2	38.3	16.3	19.2	64.5	35.5

（1）家族の献血の有無（Q22）

【 家族が献血している姿を見た経験がある人は1割強 】

- 家族が献血している姿を見たことが「ある」という人は11.0%で1割強にとどまる。
- 職業別では、専業主婦で見たことが「ある」人は17.3%で、他の層と比べて高い。
- 性別では、見たことが「ある」人は男性(8.4%)と比べて女性(13.8%)の方が5ポイント上回る。
- 地域別では、北海道で見たことが「ある」(7.3%)人の割合が他の地域に比べてやや低い。

- 20年度調査と比べると、全体での大きな変化はみられない。
- 属性別でみても、20年度調査と比べて概ね大きな変化はみられない。

（1）家族の献血の有無（Q22）

Q22. ご家族が献血している姿を見たことがありますか。

【基数：対象者全員】

（%）

			(N)	ある	ない	おぼえていない
全体		23年	(5000)	11.0	77.4	11.6
		20年	(5000)	10.6	80.0	9.4
職業別	高校生	23年	(642)	12.6	75.5	11.8
		20年	(626)	15.5	74.1	10.4
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	11.1	77.1	11.7
		20年	(1484)	10.4	79.8	9.8
	会社員	23年	(1368)	10.3	78.1	11.5
		20年	(1545)	8.8	81.6	9.6
	公務員	23年	(104)	9.6	81.7	8.7
		20年	(85)	11.8	80.0	8.2
	自営業	23年	(168)	8.9	73.2	17.9
		20年	(134)	10.4	78.4	11.2
	専業主婦	23年	(324)	17.3	72.5	10.2
		20年	(423)	15.4	79.0	5.7
	その他	23年	(797)	8.8	80.6	10.7
		20年	(703)	7.3	83.2	9.5
性別	男性	23年	(2548)	8.4	77.6	14.0
		20年	(2556)	7.4	81.6	11.0
	女性	23年	(2452)	13.8	77.2	9.0
		20年	(2444)	13.9	78.3	7.8
地域別	北海道	23年	(206)	7.3	76.7	16.0
		20年	(210)	11.9	77.6	10.5
	東北	23年	(353)	13.6	76.2	10.2
		20年	(355)	11.8	80.8	7.3
	関東甲信越	23年	(1825)	8.9	80.1	11.0
		20年	(1825)	9.0	81.6	9.3
	東海北陸	23年	(786)	11.7	76.2	12.1
		20年	(780)	10.6	80.3	9.1
	近畿	23年	(816)	12.0	77.0	11.0
		20年	(816)	12.3	78.7	9.1
	中国・四国	23年	(431)	12.5	74.2	13.2
		20年	(431)	12.3	77.7	10.0
	九州・沖縄	23年	(583)	13.9	74.6	11.5
		20年	(583)	10.3	78.4	11.3

（2）友人の献血の有無（Q23）

【 献血経験のある友人がいる人は3割強 】

- 友達に献血をしている人がいるかたずねたところ、「いる」が32.8%、「いない」が34.8%、「わからない」が32.3%と回答が分かれた。
- 職業別にみると、高校生で献血経験のある友人がいる人は12.9%で1割強にとどまり、他の層と比べて低いが、大学生・専門学校生では41.4%、公務員では58.7%が「いる」と回答しており他の層と比べて高い。
- 性別では、「いる」の割合が男性(28.1%)に比べて女性(37.7%)で10ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「いる」が4割弱(38.2%)で他の地域と比べて高い。

- 20年度調査と比べると、全体での大きな変化はみられない。
- 職業別では、20年度調査と比べて、公務員で11ポイント「いる」人が上昇する一方、自営業で9ポイント低下している。
- 性別による大きな傾向の変化はみられない。
- 地域別では、北海道で「いる」人が20年度調査と比べて7ポイント低下する一方、九州・沖縄では5ポイント上昇している。

（2）友人の献血の有無（Q23）

Q23. あなたのお友達に献血をしている人はいますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	いる	いない	わからない
全体		23年	(5000)	32.8	34.8	32.3
		20年	(5000)	33.4	34.1	32.5
職業別	高校生	23年	(642)	12.9	51.4	35.7
		20年	(626)	12.1	48.4	39.5
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	41.4	30.1	28.6
		20年	(1484)	40.3	31.5	28.2
	会社員	23年	(1368)	36.2	32.4	31.4
		20年	(1545)	37.3	31.1	31.6
	公務員	23年	(104)	58.7	24.0	17.3
		20年	(85)	48.2	25.9	25.9
	自営業	23年	(168)	21.4	33.9	44.6
		20年	(134)	29.9	34.3	35.8
	専業主婦	23年	(324)	34.3	29.9	35.8
		20年	(423)	36.6	31.0	32.4
	その他	23年	(797)	24.5	38.9	36.6
		20年	(703)	26.2	36.6	37.3
性別	男性	23年	(2548)	28.1	36.4	35.5
		20年	(2556)	28.4	36.2	35.4
	女性	23年	(2452)	37.7	33.2	29.0
		20年	(2444)	38.7	32.0	29.3
地域別	北海道	23年	(206)	34.0	34.0	32.0
		20年	(210)	41.4	31.0	27.6
	東北	23年	(353)	38.2	33.1	28.6
		20年	(355)	39.7	31.5	28.7
	関東甲信越	23年	(1825)	32.4	36.3	31.3
		20年	(1825)	33.6	33.5	32.9
	東海北陸	23年	(786)	28.8	36.8	34.5
		20年	(780)	28.7	38.8	32.4
	近畿	23年	(816)	33.1	33.5	33.5
		20年	(816)	33.2	35.3	31.5
	中国・四国	23年	(431)	31.8	33.6	34.6
		20年	(431)	34.8	34.1	31.1
	九州・沖縄	23年	(583)	36.5	31.9	31.6
		20年	(583)	31.6	31.0	37.4

（1）献血の必要性への理解が良くなったか（Q24－1）

【 資料を読んで献血の必要性への理解が良くなった人は8割強 】

- 献血に関する資料の閲読後に、献血の必要性への理解が良くなったかをたずねたところ、「はい(良くなった)」が27.6%で「どちらかというとはい(どちらかというと良くなった)」が57.1%。両者を合わせると、理解が良くなった人は84.7%にのぼる。
- 職業別では、理解が良くなった人の割合は専業主婦(89.2%)と大学生・専門学校生(87.6%)で他の層と比べて高い。一方、会社員、公務員、自営業といった勤労者ではやや評価が低い傾向にある。
- 性別では、女性の理解が良くなった人の割合(88.9%)が、男性(80.6%)に比べて8ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で理解が良くなった人の割合が90.7%にのぼり、他の地域と比べて高い一方、北海道(81.1%)と関東甲信越(82.4%)では他の地域に比べて評価が低い。

- 20年度調査と比べると、全体では理解が良くなった人の割合が7ポイント低下し、評価が低くなっている。
- 職業別では、20年度調査と比べて各層で評価が低くなっているが、特に専業主婦で「はい(良くなった)」の割合が12ポイント低下している。
- 性別では、男性も女性もともに「はい(良くなった)」の割合が20年度調査と比べて6ポイント程度低下している。
- 地域別では、東北以外の地域で20年度調査と比べて、理解が良くなった人の割合が5ポイント以上低下している。

（1）献血の必要性への理解が良くなったか（Q24－1）

Q24. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。

1） 献血の必要性への理解は良くなりましたか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい（計）	いいえ（計）
全体		23年	(5000)	27.6	57.1	8.4	6.9	84.7	15.3
		20年	(5000)	34.0	57.8	5.7	2.6	91.7	8.3
		17年	(5000)	19.5	68.2	9.2	3.1	87.7	12.3
職業別	高校生	23年	(642)	30.1	52.5	9.3	8.1	82.6	17.4
		20年	(626)	32.3	58.5	7.2	2.1	90.7	9.3
		17年	(398)	22.4	65.1	8.8	3.8	87.4	12.6
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	29.5	58.1	7.7	4.7	87.6	12.4
		20年	(1484)	34.5	58.0	5.5	2.0	92.5	7.5
		17年	(932)	19.8	68.8	8.4	3.0	88.6	11.4
	会社員	23年	(1368)	25.1	56.8	9.7	8.4	81.9	18.1
		20年	(1545)	32.2	58.8	5.8	3.2	91.0	9.0
		17年	(1596)	17.4	70.0	9.4	3.2	87.4	12.6
	公務員	23年	(104)	25.0	55.8	8.7	10.6	80.8	19.3
		20年	(85)	31.8	61.2	4.7	2.4	92.9	7.1
		17年	(104)	21.2	70.2	7.7	1.0	91.3	8.7
	自営業	23年	(168)	22.6	57.1	8.3	11.9	79.7	20.2
		20年	(134)	32.1	54.5	6.7	6.7	86.6	13.4
		17年	(115)	26.1	67.8	4.3	1.7	93.9	6.1
	専業主婦	23年	(324)	31.5	57.7	6.2	4.6	89.2	10.8
		20年	(423)	43.7	51.5	3.5	1.2	95.3	4.7
		17年	(856)	20.1	68.3	9.1	2.5	88.4	11.6
	その他	23年	(797)	25.8	59.1	7.7	7.4	84.9	15.1
		20年	(703)	33.0	58.3	5.8	2.8	91.3	8.7
		17年	(999)	19.9	65.7	10.8	3.6	85.6	14.4
性別	男性	23年	(2548)	23.4	57.2	9.9	9.6	80.6	19.5
		20年	(2556)	29.6	59.3	7.7	3.4	88.9	11.1
		17年	(1688)	17.3	68.4	10.7	3.7	85.7	14.4
	女性	23年	(2452)	31.9	57.0	6.9	4.2	88.9	11.1
		20年	(2444)	38.5	56.2	3.6	1.7	94.7	5.3
		17年	(3312)	20.6	68.1	8.5	2.8	88.7	11.3
地域別	北海道	23年	(206)	24.3	56.8	10.7	8.3	81.1	19.0
		20年	(210)	35.7	55.2	6.2	2.9	91.0	9.0
		17年	(200)	24.0	64.0	8.5	3.5	88.0	12.0
	東北	23年	(353)	32.6	58.1	5.1	4.2	90.7	9.3
		20年	(355)	32.1	60.0	6.8	1.1	92.1	7.9
		17年	(350)	16.9	66.9	12.9	3.4	83.7	16.3
	関東甲信越	23年	(1825)	24.8	57.6	9.3	8.3	82.4	17.6
		20年	(1825)	32.1	58.6	5.9	3.4	90.7	9.3
		17年	(1800)	19.6	67.9	9.9	2.5	87.6	12.4
	東海北陸	23年	(786)	27.5	57.6	7.1	7.8	85.1	14.9
		20年	(780)	33.6	57.3	6.4	2.7	90.9	9.1
		17年	(750)	17.7	70.8	8.4	3.1	88.5	11.5
	近畿	23年	(816)	29.2	55.8	8.8	6.3	85.0	15.1
		20年	(816)	33.1	60.2	4.8	2.0	93.3	6.7
		17年	(850)	20.6	67.8	8.1	3.5	88.4	11.6
	中国・四国	23年	(431)	29.0	57.3	7.7	6.0	86.3	13.7
		20年	(431)	33.6	58.2	6.3	1.9	91.9	8.1
		17年	(450)	17.6	69.6	9.6	3.3	87.1	12.9
	九州・沖縄	23年	(583)	31.2	55.7	8.6	4.5	86.9	13.1
		20年	(583)	42.4	51.6	3.9	2.1	94.0	6.0
		17年	(600)	21.3	67.3	7.7	3.7	88.7	11.4

（2）献血に協力する意識の有無 （Q24－2）

【 献血に協力する意識がある人は6割弱 】

- 献血に関する資料の閲読後に、今は献血に協力する気持ちがあるか否かをたずねたところ、「ある」人の15.6%と、「どちらかというとある」人の43.4%を合わせた意識がある人は59.0%で6割弱を占める。
- 職業別では、意識がある人の割合が公務員(50.0%)、自営業(50.6%)で他の層と比べて低い。
- 性別では、男性の意識がある人の割合(52.6%) が女性(65.7%)に比べて13ポイント下回っている。
- 地域別では、関東甲信越で意識がある人の割合(54.7%) が他の地域に比べてやや低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での意識がある人の割合は6ポイント低下している。
- 職業別では、20年度調査と比べると、公務員と自営業で意識がある人の割合の低下が顕著で、10ポイント程度低下している。
- 性別では、20年度調査と比べて、男性で「どちらかというとある」が7ポイント低下し、23年度調査の意識がある人の割合が5割強にとどまった。
- 地域別では、20年度調査と比べると、各層で意識のある人の割合が低下しているが、特に東北、関東甲信越、近畿、中国・四国、九州・沖縄では大きく低下している。

（2）献血に協力する意識の有無（Q24－2）

Q24. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
2） 今は献血に協力する気持ちはありますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	ある	どちらかというとある	どちらかというとない	ない	ある（計）	ない（計）
全体		23年	(5000)	15.6	43.4	26.7	14.3	59.0	41.0
		20年	(5000)	16.4	48.8	25.4	9.4	65.2	34.8
		17年	(5000)	13.0	52.0	26.7	8.3	65.0	35.0
職業別	高校生	23年	(642)	19.3	43.0	24.1	13.6	62.3	37.7
		20年	(626)	20.9	47.8	23.6	7.7	68.7	31.3
		17年	(398)	22.1	48.5	23.9	5.5	70.6	29.4
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	16.8	45.5	25.4	12.3	62.3	37.7
		20年	(1484)	16.4	49.8	25.1	8.6	66.2	33.8
		17年	(932)	13.5	52.3	25.1	9.1	65.8	34.2
	会社員	23年	(1368)	12.7	43.6	27.9	15.8	56.3	43.7
		20年	(1545)	14.4	50.0	25.2	10.4	64.5	35.5
		17年	(1596)	10.5	53.9	27.2	8.4	64.4	35.6
	公務員	23年	(104)	13.5	36.5	30.8	19.2	50.0	50.0
		20年	(85)	12.9	50.6	30.6	5.9	63.5	36.5
		17年	(104)	15.4	44.2	31.7	8.7	59.6	40.4
	自営業	23年	(168)	18.5	32.1	31.5	17.9	50.6	49.4
		20年	(134)	13.4	47.0	28.4	11.2	60.4	39.6
		17年	(115)	16.5	53.0	24.3	6.1	69.6	30.4
	専業主婦	23年	(324)	18.5	44.8	24.4	12.3	63.3	36.7
		20年	(423)	19.6	48.9	24.1	7.3	68.6	31.4
		17年	(856)	13.4	54.1	25.1	7.4	67.5	32.5
	その他	23年	(797)	13.9	41.8	28.6	15.7	55.7	44.3
		20年	(703)	15.8	44.8	27.3	12.1	60.6	39.4
		17年	(999)	11.9	48.9	29.7	9.4	60.9	39.1
性別	男性	23年	(2548)	11.7	40.9	30.0	17.4	52.6	47.4
		20年	(2556)	12.7	48.1	28.0	11.2	60.8	39.2
		17年	(1688)	10.1	49.4	30.6	9.9	59.5	40.5
	女性	23年	(2452)	19.7	46.0	23.2	11.1	65.7	34.3
		20年	(2444)	20.3	49.5	22.6	7.7	69.8	30.2
		17年	(3312)	14.5	53.3	24.8	7.5	67.8	32.2
地域別	北海道	23年	(206)	14.1	45.6	23.8	16.5	59.7	40.3
		20年	(210)	20.5	39.5	25.2	14.8	60.0	40.0
		17年	(200)	15.5	52.0	24.0	8.5	67.5	32.5
	東北	23年	(353)	16.4	45.0	25.2	13.3	61.4	38.5
		20年	(355)	17.5	51.8	22.5	8.2	69.3	30.7
		17年	(350)	10.9	52.0	26.9	10.3	62.9	37.2
	関東甲信越	23年	(1825)	12.5	42.2	29.1	16.1	54.7	45.2
		20年	(1825)	14.3	46.5	27.9	11.3	60.8	39.2
		17年	(1800)	12.1	51.0	28.6	8.3	63.1	36.9
	東海北陸	23年	(786)	17.4	44.3	23.9	14.4	61.7	38.3
		20年	(780)	17.2	48.8	25.5	8.5	65.9	34.0
		17年	(750)	14.9	51.5	24.7	8.9	66.4	33.6
	近畿	23年	(816)	16.2	44.0	27.0	12.9	60.2	39.9
		20年	(816)	17.2	48.8	26.7	7.4	66.0	34.1
		17年	(850)	12.2	52.6	26.4	8.8	64.8	35.2
	中国・四国	23年	(431)	17.6	42.5	26.9	13.0	60.1	39.9
		20年	(431)	14.6	56.1	20.9	8.4	70.8	29.2
		17年	(450)	13.3	48.7	30.9	7.1	62.0	38.0
	九州・沖縄	23年	(583)	20.8	43.7	24.2	11.3	64.5	35.5
		20年	(583)	20.2	51.8	20.4	7.5	72.0	28.0
		17年	(600)	14.5	57.3	22.0	6.2	71.8	28.2

（3）今後の献血意向喚起（Q24－3）

【 今後の献血意向が喚起された人は4割強 】

- 献血に関する資料の閲読後に、今後、実際に献血に行くかをたずねたところ、「はい(行く)」の7.5%と、「どちらかというとはい(どちらかというと行く)」の36.9%を合わせた意向ありの人は44.4%。4割強の回答者が献血への意向を喚起されている。
- 職業別では、意向ありの人の割合は高校生(49.6%)で高く、半数近くが意向を喚起されている。対して公務員(32.7%)や自営業(33.9%)は他の層と比べて喚起されている割合が低い。
- 性別では、男性の意向ありの割合(39.6%)が女性(49.4%)に比べて10ポイント下回っている。
- 地域別では、関東甲信越の意向ありの割合(39.0%)が他の地域と比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での意向ありの割合は低下傾向にある。
- 職業別では、20年度調査と比べると、公務員、自営業、専業主婦で意向ありの割合が7ポイント以上低下している。
- 性別では、過去2回調査と比べると、男性で意向ありの割合が低下傾向にある。
- 地域別では、関東甲信越、中国・四国、九州・沖縄で意向ありの割合が20年度調査と比べて5ポイント以上低下している。

（3）今後の献血意向喚起（Q24－3）

Q24. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
3） 今後、実際に献血に行きますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい（計）	いいえ（計）
全体		23年	(5000)	7.5	36.9	35.4	20.2	44.4	55.6
		20年	(5000)	6.1	41.3	36.4	16.2	47.4	52.6
		17年	(5000)	5.5	44.0	37.2	13.3	49.5	50.5
職業別	高校生	23年	(642)	10.7	38.9	32.1	18.2	49.6	50.3
		20年	(626)	8.8	43.5	35.6	12.1	52.2	47.8
		17年	(398)	10.6	46.2	33.7	9.5	56.8	43.2
	大学生・専門学校生	23年	(1597)	8.1	39.9	33.9	18.1	48.0	52.0
		20年	(1484)	6.5	43.3	35.4	14.8	49.9	50.1
		17年	(932)	6.7	44.4	35.2	13.7	51.1	48.9
	会社員	23年	(1368)	6.4	36.7	35.8	21.1	43.1	56.9
		20年	(1545)	4.9	41.2	36.9	17.0	46.1	53.9
		17年	(1596)	4.0	44.6	37.3	14.1	48.6	51.4
	公務員	23年	(104)	5.8	26.9	42.3	25.0	32.7	67.3
		20年	(85)	4.7	42.4	41.2	11.8	47.1	53.0
		17年	(104)	7.7	36.5	41.3	14.4	44.2	55.8
	自営業	23年	(168)	7.1	26.8	44.6	21.4	33.9	66.0
		20年	(134)	2.2	39.6	38.8	19.4	41.8	58.2
		17年	(115)	7.0	47.8	35.7	9.6	54.8	45.2
	専業主婦	23年	(324)	6.8	36.4	35.5	21.3	43.2	56.8
		20年	(423)	8.7	42.1	34.3	14.9	50.8	49.2
		17年	(856)	5.1	48.4	34.5	12.0	53.5	46.5
	その他	23年	(797)	6.3	33.1	37.4	23.2	39.4	60.6
		20年	(703)	4.6	35.3	38.5	21.6	39.8	60.2
		17年	(999)	4.6	38.5	42.2	14.6	43.1	56.9
性別	男性	23年	(2548)	5.8	33.8	37.7	22.7	39.6	60.4
		20年	(2556)	4.1	40.7	38.0	17.2	44.8	55.2
		17年	(1688)	5.1	41.2	39.1	14.6	46.3	53.7
	女性	23年	(2452)	9.3	40.1	33.0	17.6	49.4	50.6
		20年	(2444)	8.2	42.0	34.7	15.1	50.2	49.8
		17年	(3312)	5.7	45.5	36.2	12.7	51.2	48.9
地域別	北海道	23年	(206)	8.3	38.3	28.6	24.8	46.6	53.4
		20年	(210)	11.0	36.2	30.5	22.4	47.2	52.9
		17年	(200)	7.0	45.0	34.0	14.0	52.0	48.0
	東北	23年	(353)	6.5	41.6	31.7	20.1	48.1	51.8
		20年	(355)	6.8	43.9	33.5	15.8	50.7	49.3
		17年	(350)	6.3	42.3	36.9	14.6	48.6	51.4
	関東甲信越	23年	(1825)	5.9	33.1	39.0	22.0	39.0	61.0
		20年	(1825)	5.0	39.0	37.4	18.6	44.1	55.9
		17年	(1800)	4.6	42.4	39.5	13.5	47.0	53.0
	東海北陸	23年	(786)	7.9	38.4	33.5	20.2	46.3	53.7
		20年	(780)	5.1	40.1	39.5	15.3	45.3	54.7
		17年	(750)	6.7	43.2	36.7	13.5	49.9	50.1
	近畿	23年	(816)	9.2	39.6	33.5	17.8	48.8	51.3
		20年	(816)	6.6	41.9	38.2	13.2	48.5	51.5
		17年	(850)	5.2	45.3	36.0	13.5	50.5	49.5
	中国・四国	23年	(431)	7.9	36.4	37.8	17.9	44.3	55.7
		20年	(431)	4.9	46.4	35.3	13.5	51.3	48.7
		17年	(450)	5.8	42.4	40.0	11.8	48.2	51.8
	九州・沖縄	23年	(583)	9.6	39.8	32.4	18.2	49.4	50.6
		20年	(583)	8.6	46.0	31.6	13.9	54.5	45.5
		17年	(600)	5.8	50.2	31.5	12.5	56.0	44.0

11. 若年層の献血協力意向を高めるアイデア　【未経験者編】

（1）若年層の献血協力意向を高めるアイデア（Q25）

【 献血意向を高めるには「処遇品・記念品」、「人気タレント起用」、「PR」等 】

- 若年層の献血協力意向を高めるアイデアを自由記述形式でたずねたところ、「処遇品、記念品をよくする／特典をつける」や「報酬をお金にする」といった、献血者に直接メリットがある内容。「人気タレントを使う」や「インターネット、テレビ、雑誌でのPR」など、より興味を引き、アクセスしやすいPR方法を考える必要があるといった内容。また献血が出来る施設に関しては、「気軽に行ける、入りやすい、明るい、親しみを持てる」雰囲気を作り、「人通りの多い、駅前、繁華街、何かのついでや待ち時間にできる」場所で献血が出来る施設を設ける必要があるといった内容が多くあげられた。

11. 若年層の献血協力意向を高めるアイデア　【未経験者編】

（1）若年層の献血協力意向を高めるアイデア（Q25）

Q25. 若い方の献血に協力する気持ちを高めるためには、どのようなことをすればよいと思いますか。広報の方法やキャンペーン、イベント、献血場所などについて具体的なアイデアやイメージなどがあれば自由に記入してください。

【対象者全員】

若年層の献血協力意向を高めるアイデア （記載が多かったもの）
処遇品、記念品をよくする／特典をつける
人気タレントを使う
インターネットでの呼びかけ／インターネット広告／SNSでの呼びかけ
テレビでのPR
気軽に行けるような雰囲気作り／入りやすい雰囲気作り／明るい雰囲気作り／親しみを持てるようにする
学校の授業で取り入れる／学校でのPR
安全性をアピール／恐怖感、抵抗感の払しょく
高校、学校に献血バスがくる
若者が集まる場所に献血コーナーを設ける／若者が集まる場所でキャンペーンをする
献血についての詳しい説明、周知
人通りの多い場所で行う／駅前、繁華街で行う／行きやすい場所で献血できる／何かのついでや待ち時間できる
献血の重要性、必要性をアピール
有名人が実際に献血している様子を見せる／同年代の人がやっている姿を見せる
注射の痛みが少なくなる
献血することによるメリットを伝える
ボランティアでは限界がある／義務化する
大学キャンパスなどへの出張を増やす／大学でキャンペーンをする
献血イベントの実施／イベント会場に出張
献血によってどれだけ人が救われるかを示せばいい
報酬をお金にする
献血がいつ、どこでやっているかの情報の周知
雑誌でPR
献血ルーム、献血バス自体を増やす
適合基準の見直し／適合基準の明確な表記
病院で献血ができる／健康診断時に献血もできる

Ⅲ. 経験者編

（1）居住地・性別（SC1／SC3）

- 【居住地】は「関東甲信越」が36.5%を占めており、過去2回調査と同様、中心となっている。以下、「近畿」（16.3%）、「東海北陸」（15.7%）の順で続き、全体構成も過去2回調査と概ね変わらない。
- 【性別】は、全体では「男性」50.4%、「女性」49.6%とほぼ半々。20年度調査と概ね変わらない。17年度調査に比べて男性が16ポイント増えている。
- 【年齢】では、20代が9割弱（86.5%）を占めているが、過去2回調査と比べて10代の割合が増えている。
- 【職業】では、「会社員」（40.4%）、「大学生・専門学校生」（29.6%）が中心であり、両層で7割を占める。20年度調査とは概ね同様の傾向となっている。17年度調査に比べて「大学生・専門学校生」が増え、「専業主婦」「その他」が低下した。
- 【医療関係への関与有無】では、「携わっている」と回答した人は17.1%で、過去2回調査と比べて携わっている人の割合が6ポイント増えている。

居住地（SC1）

（%）

		(N)	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国・四国	九州・沖縄
全　体	23年	(5000)	4.1	7.1	36.5	15.7	16.3	8.6	11.7
	20年	(5000)	4.2	7.1	36.5	15.6	16.3	8.6	11.7
	17年	(5000)	4.0	7.0	36.0	15.0	17.0	9.0	12.0

【基数：対象者全員】

性別（SC3）

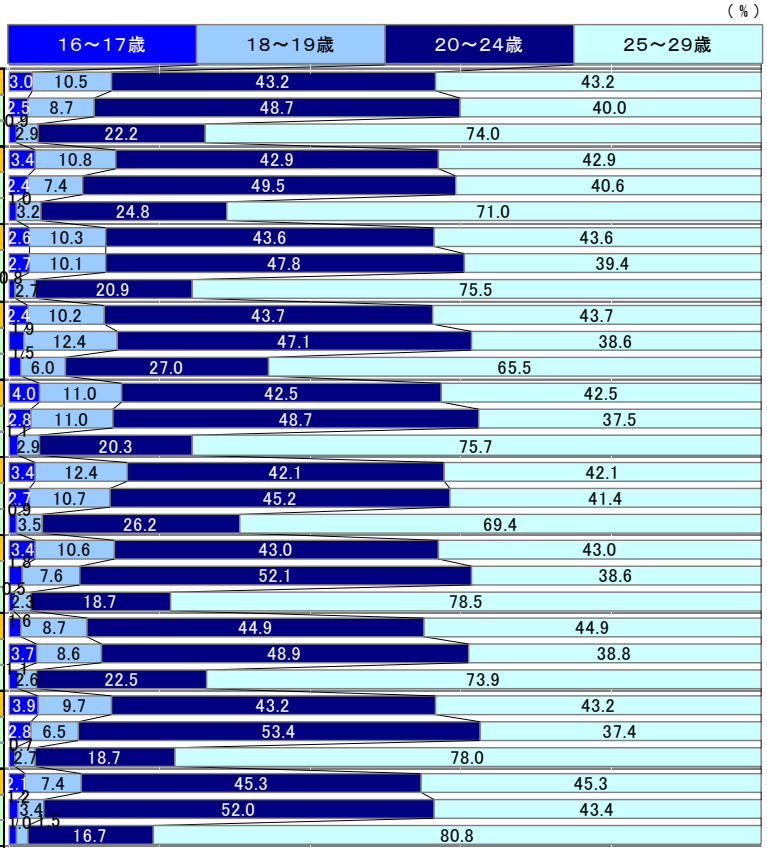
（%）

			(N)	男性	女性
全　体		23年	(5000)	50.4	49.6
		20年	(5000)	51.1	48.9
		17年	(5000)	34.1	65.9
地域別	北海道	23年	(206)	50.5	49.5
		20年	(210)	50.0	50.0
		17年	(200)	28.5	71.5
	東北	23年	(353)	50.1	49.9
		20年	(355)	51.0	49.0
		17年	(350)	34.6	65.4
	関東甲信越	23年	(1825)	50.1	49.9
		20年	(1825)	51.9	48.1
		17年	(1800)	33.7	66.3
	東海北陸	23年	(786)	50.9	49.1
		20年	(780)	51.9	48.1
		17年	(750)	35.5	64.5
	近畿	23年	(816)	50.6	49.4
		20年	(816)	50.2	49.8
		17年	(850)	34.9	65.1
	中国・四国	23年	(431)	50.3	49.7
		20年	(431)	50.8	49.2
		17年	(450)	32.9	67.1
	九州・沖縄	23年	(583)	50.3	49.7
		20年	(583)	49.6	50.4
		17年	(600)	34.8	65.2

【基数：対象者全員】

（2）年齢・職業（SC2／SC4）

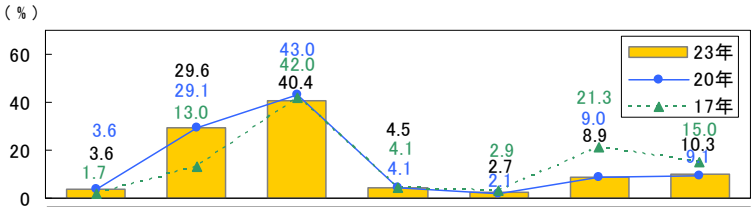
年齢（SC2）



【基数:対象者全員】

職業（SC4）

【基数:対象者全員】



			(N)	高校生	大学生・専門学校生	会社員	公務員	自営業	専業主婦	その他
全　体		23年	(5000)	3.6	29.6	40.4	4.5	2.7	8.9	10.3
		20年	(5000)	3.6	29.1	43.0	4.1	2.1	9.0	9.1
		17年	(5000)	1.7	13.0	42.0	4.1	2.9	21.3	15.0
性別	男性	23年	(2518)	4.2	33.7	42.9	5.5	3.3	1.7	8.7
		20年	(2556)	3.4	33.0	48.0	5.4	2.7	－	7.5
		17年	(1705)	1.9	19.2	54.4	6.6	4.6	－	13.3
	女性	23年	(2482)	3.0	25.5	37.8	3.5	2.1	16.2	11.9
		20年	(2444)	3.8	25.0	37.8	2.9	1.5	18.3	10.7
		17年	(3295)	1.7	9.8	35.6	2.7	2.0	32.4	15.8
地域別	北海道	23年	(206)	5.8	28.6	31.1	7.8	1.0	14.1	11.7
		20年	(210)	2.9	32.4	34.8	6.7	3.3	11.0	9.0
		17年	(200)	3.0	15.0	35.5	6.5	2.5	22.0	15.5
	東北	23年	(353)	4.5	32.3	35.4	6.5	2.8	6.8	11.6
		20年	(355)	7.6	25.9	39.7	5.6	2.5	7.3	11.3
		17年	(350)	2.0	11.7	41.1	6.6	4.3	21.1	13.1
	関東甲信越	23年	(1825)	4.4	30.3	41.6	3.4	2.7	7.8	9.7
		20年	(1825)	3.7	31.1	44.9	2.8	1.8	7.9	7.9
		17年	(1800)	2.0	16.5	43.2	2.6	2.6	18.2	14.9
	東海北陸	23年	(786)	3.2	29.0	42.0	5.2	2.8	10.3	7.5
		20年	(780)	3.3	25.8	46.4	3.2	1.8	11.7	7.8
		17年	(750)	1.5	8.5	44.5	4.0	2.7	26.7	12.1
	近畿	23年	(816)	2.2	30.0	40.1	3.6	2.8	7.6	13.7
		20年	(816)	4.0	33.0	39.3	3.8	2.3	8.5	9.1
		17年	(850)	1.9	14.5	39.1	3.4	2.1	21.6	17.4
	中国・四国	23年	(431)	3.0	26.5	39.9	5.8	3.0	10.9	10.9
		20年	(431)	3.7	25.5	41.8	6.7	1.4	9.7	11.1
		17年	(450)	0.9	9.3	44.4	6.9	2.9	20.9	14.7
	九州・沖縄	23年	(583)	2.6	28.8	41.3	5.0	2.7	9.9	9.6
		20年	(583)	1.0	25.0	43.9	6.3	3.3	8.9	11.5
		17年	(600)	1.2	9.2	40.2	5.0	4.3	23.8	16.3

（％）

（3）医療関係への関与有無（SC5）

SC5. あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	はい	いいえ
全体		23年	(5000)	17.1	82.9
		20年	(5000)	11.0	89.0
		17年	(5000)	10.0	90.0
職業別	高校生	23年	(180)	13.9	86.1
		20年	(181)	7.2	92.8
		17年	(87)	4.6	95.4
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	23.8	76.2
		20年	(1453)	14.1	85.9
		17年	(652)	16.0	84.0
	会社員	23年	(2019)	15.8	84.2
		20年	(2152)	10.4	89.6
		17年	(2099)	11.3	88.7
	公務員	23年	(225)	26.7	73.3
		20年	(207)	17.4	82.6
		17年	(203)	15.3	84.7
	自営業	23年	(135)	8.1	91.9
		20年	(106)	9.4	90.6
		17年	(143)	4.9	95.1
	専業主婦	23年	(444)	7.4	92.6
		20年	(448)	5.8	94.2
		17年	(1067)	6.1	93.9
	その他	23年	(516)	10.7	89.3
		20年	(453)	8.6	91.4
		17年	(749)	6.9	93.1
性別	男性	23年	(2518)	15.8	84.2
		20年	(2556)	8.8	91.2
		17年	(1705)	7.0	93.0
	女性	23年	(2482)	18.4	81.6
		20年	(2444)	13.3	86.7
		17年	(3295)	11.6	88.4
地域別	北海道	23年	(206)	21.8	78.2
		20年	(210)	14.8	85.2
		17年	(200)	14.0	86.0
	東北	23年	(353)	15.3	84.7
		20年	(355)	14.9	85.1
		17年	(350)	9.1	90.9
	関東甲信越	23年	(1825)	13.8	86.2
		20年	(1825)	9.1	90.9
		17年	(1800)	8.6	91.4
	東海北陸	23年	(786)	20.1	79.9
		20年	(780)	11.3	88.7
		17年	(750)	9.9	90.1
	近畿	23年	(816)	16.2	83.8
		20年	(816)	10.5	89.5
		17年	(850)	10.1	89.9
	中国・四国	23年	(431)	21.3	78.7
		20年	(431)	12.1	87.9
		17年	(450)	11.3	88.7
	九州・沖縄	23年	(583)	20.9	79.1
		20年	(583)	13.0	87.0
		17年	(600)	12.5	87.5

（１）献血が病気の治療に役立っていることの認知 （Q1）

【 献血が病気の治療に役立っていることの認知率は7割弱 】

- 献血がさまざまな病気の治療に役立っていることの認知率は66.4%。献血経験者の3人中2人が認知している。
- 職業別では、専業主婦の認知率(57.4%)が他の層と比べて低く6割弱。一方公務員(72.4%)と大学生・専門学校生(71.6%)で認知率が他の層と比べて高く、7割を超える。
- 性別での大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道での認知率が高く73.3%。その他の地域は概ね変わらず65%前後。

- 20年度調査と比べると、全体での治療に役立っていることへの認知率は大きな変化はみられない。
- 職業別では、20年度調査と比べて、自営業で認知率が5ポイント上昇している。
- 性別では、大きな変化はみられない。
- 地域別では、20年度調査と比べて、東北で認知率が5ポイント低下している。その他の地域には大きな変化はみられない。

（１）献血が病気の治療に役立っていることの認知 （Q1）

Q1. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

【基数:対象者全員】

			(N)	知っている	知らない
	全　体	23年	(5000)	66.4	33.6
		20年	(5000)	65.9	34.1
職業別	高校生	23年	(180)	68.9	31.1
		20年	(181)	64.6	35.4
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	71.6	28.4
		20年	(1453)	69.9	30.1
	会社員	23年	(2019)	64.3	35.7
		20年	(2152)	64.9	35.1
	公務員	23年	(225)	72.4	27.6
		20年	(207)	75.8	24.2
	自営業	23年	(135)	66.7	33.3
		20年	(106)	61.3	38.7
	専業主婦	23年	(444)	57.4	42.6
		20年	(448)	58.7	41.3
	その他	23年	(516)	64.1	35.9
		20年	(453)	61.8	38.2
性別	男性	23年	(2518)	67.6	32.4
		20年	(2556)	65.5	34.5
	女性	23年	(2482)	65.2	34.8
		20年	(2444)	66.3	33.7
地域別	北海道	23年	(206)	73.3	26.7
		20年	(210)	70.0	30.0
	東北	23年	(353)	64.0	36.0
		20年	(355)	68.5	31.5
	関東甲信越	23年	(1825)	66.4	33.6
		20年	(1825)	62.5	37.5
	東海北陸	23年	(786)	64.6	35.4
		20年	(780)	67.7	32.3
	近畿	23年	(816)	66.3	33.7
		20年	(816)	68.1	31.9
	中国・四国	23年	(431)	66.4	33.6
		20年	(431)	66.4	33.6
	九州・沖縄	23年	(583)	68.3	31.7
		20年	(583)	67.6	32.4

（２）輸血用血液製剤の有効期限が短く、絶えず献血が必要なことを知っているか（Q2）

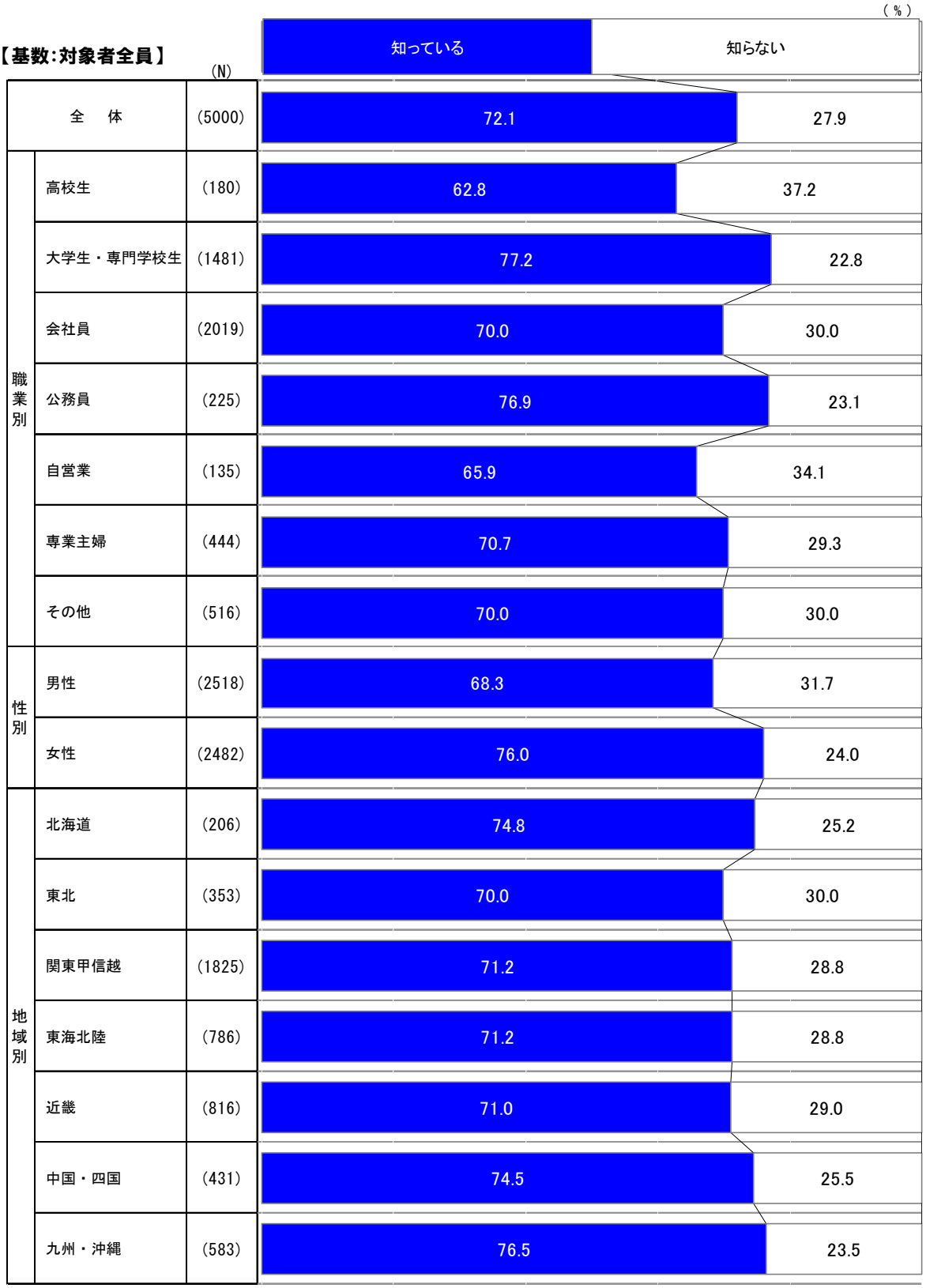
＜新規質問＞

【 献血が絶えず必要なことの認知率は7割強 】

- 献血が輸血用血液製剤の有効期限が短いために絶えず必要であることの認知率は、72.1%で7割強を占める。
- 職業別では、大学生・専門学校生 (77.2%)と公務員(76.9%)の認知率が他の層と比べて高い一方、高校生では62.8%にとどまり低い。
- 性別では、男性の認知率(68.3%)に比べて、女性の認知率(76.0%)が8ポイント高い。
- 地域別では、各地域で7割以上の認知率がある。

（２）輸血用血液製剤の有効期限が短く、絶えず献血が必要なことを知っているか（Q2）

Q2. 献血された輸血用血液製剤の有効期間は短く、絶えず献血が必要なことを知っていますか。
※血液製剤の有効期間は一番短い血小板製剤で採血後４日間、赤血球製剤は２１日間です。



（３）献血された輸血用血液製剤の使い道認知 （Q3）

＜新規質問＞

【 輸血用血液製剤の使い道の認知率は3割強 】

- 献血された輸血用血液製剤の使い道の認知率は34.7%で、３人中１人が認知している。
- 職業別では、高校生の認知率(45.0%)が他の層と比べて高く、半数近くが認知している。一方、専業主婦(27.0%)と自営業(28.9%)は他の層と比べると認知率が低い。
- 性別では、男性の認知率(36.8%)が女性の認知率(32.6%)に比べてやや高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。

（３）献血された輸血用血液製剤の使い道認知（Q3）

Q3. 献血された輸血用血液製剤の使い道は、交通事故などの大量出血時よりもがんなどの病気の治療に使われることが圧倒的に多いことを知っていますか。
※約8割が病気（うちがんの治療3割）に使われ、交通事故などによる輸血は約1割程度。

【基数：対象者全員】

		(N)	知っている (%)	知らない (%)
全体		(5000)	34.7	65.3
職業別	高校生	(180)	45.0	55.0
	大学生・専門学校生	(1481)	38.1	61.9
	会社員	(2019)	35.1	64.9
	公務員	(225)	39.6	60.4
	自営業	(135)	28.9	71.1
	専業主婦	(444)	27.0	73.0
	その他	(516)	25.8	74.2
性別	男性	(2518)	36.8	63.2
	女性	(2482)	32.6	67.4
地域別	北海道	(206)	33.0	67.0
	東北	(353)	31.7	68.3
	関東甲信越	(1825)	33.7	66.3
	東海北陸	(786)	35.6	64.4
	近畿	(816)	35.5	64.5
	中国・四国	(431)	36.9	63.1
	九州・沖縄	(583)	36.4	63.6

（４）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験（Q4）

＜新規質問＞

【 患者の感謝の気持ちを目や耳にした人は3割弱 】

- 輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験のある人は27.5%。
- 職業別では、高校生の経験率が42.2%と他の層と比べて高い。次いで大学生・専門学校生の経験率が高く、30.2%を占め、３人中１人が経験している。
- 性別では、男女で大きな差はみられない。
- 地域別では、大きな差はみられない。

（4）輸血の治療を受けた患者の感謝の気持ちを目や耳にした経験（Q4）

Q4. 輸血の医療を受けられた多くの患者さんは、献血をしてくれた方に感謝（献血してくれてありがとう）の気持ちを持っています。そのような声を目や耳にしたことはありますか。

（5）若年層の献血協力者の減少傾向認知（Q5）

【 若年層の献血協力者が減少していることの認知率は5割強 】

- 献血へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」人は52.9 %で半数を占める。
- 職業別では、大学生・専門学校生の認知率(58.6%)が他の層に比べて高い一方、専業主婦では43.9%にとどまり他の層と比べると低い。
- 性別では、男女で大きな差はみられない。
- 地域別では、東北(47.6%)、関東甲信越(51.0%)、東海北陸(49.2%)での認知率が低く、その他の地域での認知率は6割近くにのぼる。

- 20年度調査と比べると、全体での認知率は大きく変わらない。
- 職業別では、20年度調査と比べると、専業主婦の認知率が9ポイント、自営業の認知率が7ポイント低下している。
- 性別では、20年度調査と比べて、男性の認知率には変化がなく、女性の認知率がやや低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べて、東北の認知率が15ポイント低下しており顕著である。

（5）若年層の献血協力者の減少傾向認知 （Q5）

Q5. 献血へ協力してくださる若い方の数が、近年大幅に減っています（＊）。知っていましたか。
＊最近5年間で、20代の献血者数は140万人から108万人（23％減）に、10代の献血者数は48万人から29万人（40％減）も減少しています。

【基数：対象者全員】

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	52.9	47.1
		20年	(5000)	55.3	44.7
職業別	高校生	23年	(180)	53.3	46.7
		20年	(181)	56.9	43.1
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	58.6	41.4
		20年	(1453)	55.5	44.5
	会社員	23年	(2019)	50.4	49.6
		20年	(2152)	55.1	44.9
	公務員	23年	(225)	55.1	44.9
		20年	(207)	60.4	39.6
	自営業	23年	(135)	48.9	51.1
		20年	(106)	55.7	44.3
	専業主婦	23年	(444)	43.9	56.1
		20年	(448)	53.1	46.9
	その他	23年	(516)	54.3	45.7
		20年	(453)	54.3	45.7
性別	男性	23年	(2518)	54.1	45.9
		20年	(2556)	54.7	45.3
	女性	23年	(2482)	51.7	48.3
		20年	(2444)	55.9	44.1
地域別	北海道	23年	(206)	57.3	42.7
		20年	(210)	52.9	47.1
	東北	23年	(353)	47.6	52.4
		20年	(355)	62.8	37.2
	関東甲信越	23年	(1825)	51.0	49.0
		20年	(1825)	52.8	47.2
	東海北陸	23年	(786)	49.2	50.8
		20年	(780)	56.0	44.0
	近畿	23年	(816)	56.9	43.1
		20年	(816)	54.8	45.2
	中国・四国	23年	(431)	57.1	42.9
		20年	(431)	61.5	38.5
	九州・沖縄	23年	(583)	56.9	43.1
		20年	(583)	54.4	45.6

（1）献血に関する広報接触媒体（Q6）

【 献血に関する広告は「献血バス」「街頭での呼びかけ」の接触が多い 】

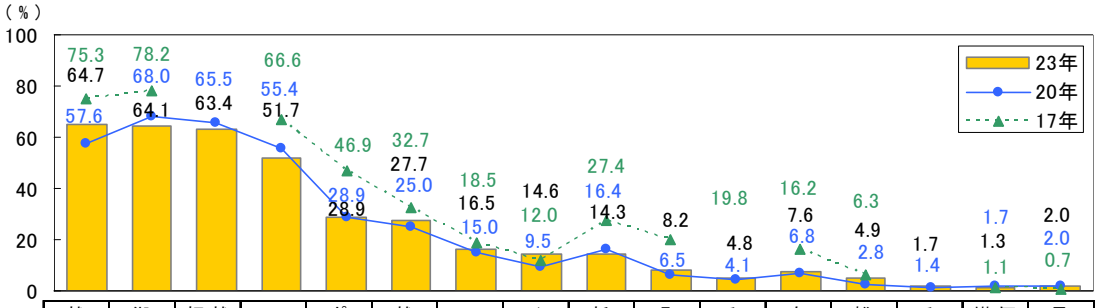
- 献血に関して接触したことのある広報媒体をみると、「献血バス」が64.7%で最も高く、僅差で「街頭での呼びかけ」（64.1%）、「献血ルーム前の看板・表示」(63.4%)が続き、次いで「テレビ」が51.7%で、以上が主要の接触媒体である。
- 職業別では、各層の主要な接触媒体は「献血バス」「街頭での呼びかけ」「献血ルーム前の看板・表示」「テレビ」である。特に「献血バス」は専業主婦で高く71.4%と7割を超える一方、高校生は48.3%にとどまり他の層と比べて低い接触率である。高校生は「献血バス」(48.3%)、「街頭での呼びかけ」(41.1%)、「献血ルーム前の看板・表示」(47.2%)といった現場での接触が他の層と比べると少なく、「テレビ」(56.7%)がトップの接触媒体となっている。また「インターネット」(22.8%)についても他の層と比べて接触率が高い。
- 性別では、女性は「献血バス」(69.9%)、「街頭での呼びかけ」(69.9%)、「献血ルーム前の看板・表示」(70.6%)といった現場での接触率が男性に比べて高い。
- 地域別では、「街頭での呼びかけ」は関東甲信越(68.4%)、東海北陸(64.9%)、近畿(64.2%)で他の地域と比べて高い。一方、「テレビ」は東北(64.9%)、中国・四国(61.9%)、九州・沖縄(57.6%)で高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での各媒体の接触率は総じて低下しており、特に「ポスターの掲示」が18ポイント低下した。20年度調査と23年度調査を比べると、「献血バス」で7ポイント、「インターネット」で5ポイント接触率が上昇した。
- 職業別・性別・地域別のいずれも各層で「献血バス」と「インターネット」の接触率は20年度調査と比べると上昇しており、対して「街頭での呼びかけ」は概ね低下している。

3. 献血の広報・キャンペーンへの認知接触状況 【経験者編】

（1）献血に関する広報接触媒体（Q6）

Q6. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと（聞いたこと）がありますか。（いくつでも）



【基数：対象者全員】

			(N)	献血バス	街頭での呼びかけ	献血ルーム前の看板・表示	テレビ	ポスターの掲示	献血関係のイベント	チラシの配布	インターネット	新聞	FM放送	その他のラジオ放送	自治体の広報誌	雑誌等	その他	何かで見たが、何の媒体か覚えていない	見たことがない
全体		23年	(5000)	64.7	64.1	63.4	51.7	28.9	27.7	16.5	14.6	14.3	8.2	4.8	7.6	4.9	1.7	1.3	2.0
		20年	(5000)	57.6	68.0	65.5	55.4	28.9	25.0	15.0	9.5	16.4	6.5	4.1	6.8	2.8	1.4	1.7	2.0
		17年	(5000)	75.3	78.2		66.6	46.9	32.7	18.5	12.0	27.4	19.8		16.2	6.3		1.1	0.7
職業別	高校生	23年	(180)	48.3	41.1	47.2	56.7	27.2	22.2	20.6	22.8	17.2	8.3	5.6	7.2	11.1	1.1	－	3.3
		20年	(181)	39.8	49.2	51.4	56.4	24.3	17.7	17.1	12.2	13.3	6.1	2.8	3.3	2.2	3.9	2.8	3.9
		17年	(87)	67.8	69.0		60.9	39.1	26.4	23.0	18.4	32.2	20.7		9.2	9.2		2.3	1.1
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	67.4	65.8	66.3	52.8	33.6	32.1	19.8	17.2	16.1	9.9	5.7	5.5	6.0	1.8	1.2	2.4
		20年	(1453)	59.2	69.2	65.2	56.3	31.4	27.0	17.8	11.3	18.0	6.1	4.0	4.5	3.6	1.9	1.8	2.1
		17年	(652)	75.8	80.8		65.6	49.5	38.5	23.2	15.8	27.3	20.9		9.2	6.6		0.9	0.6
	会社員	23年	(2019)	59.8	63.1	61.2	50.0	24.9	24.9	14.5	12.0	12.8	8.3	4.6	6.0	3.4	1.6	1.4	2.0
		20年	(2152)	54.6	68.2	65.7	55.4	26.9	23.5	12.8	8.1	15.7	7.3	4.5	6.2	2.0	0.7	1.4	2.0
		17年	(2099)	72.9	78.3		64.0	45.4	31.1	17.9	12.1	26.2	21.4		14.5	6.6		1.0	0.7
	公務員	23年	(225)	69.3	60.4	66.7	48.9	33.8	32.9	20.4	16.4	19.6	8.0	4.0	20.4	4.9	0.9	1.8	1.8
		20年	(207)	60.4	62.3	59.4	52.2	33.3	29.5	19.8	8.2	17.4	8.2	2.9	19.3	2.9	1.4	2.4	1.9
		17年	(203)	71.9	77.8		70.9	52.7	38.9	26.6	12.3	37.9	25.1		30.0	5.4		1.0	－
	自営業	23年	(135)	60.7	60.0	54.1	48.9	28.9	21.5	12.6	14.1	12.6	9.6	5.2	10.4	4.4	－	3.7	1.5
		20年	(106)	51.9	62.3	60.4	40.6	26.4	17.0	13.2	13.2	17.9	9.4	3.8	7.5	6.6	1.9	3.8	2.8
		17年	(143)	66.4	63.6		64.3	43.4	31.5	15.4	18.2	28.7	25.9		16.1	8.4		2.8	0.7
	専業主婦	23年	(444)	71.4	68.5	65.3	51.1	26.8	27.7	12.2	9.2	9.7	5.0	1.8	8.3	2.9	1.1	1.6	2.0
		20年	(448)	63.4	74.3	71.0	54.9	29.7	26.3	14.3	4.2	11.8	4.0	2.5	9.6	2.2	0.4	1.8	1.8
		17年	(1067)	79.7	79.7		69.4	48.8	34.7	18.1	7.1	27.7	15.5		22.4	5.2		0.9	0.7
	その他	23年	(516)	75.2	70.0	68.8	55.4	31.6	26.9	17.1	18.4	15.9	5.8	5.6	13.0	7.8	2.9	0.8	0.8
		20年	(453)	68.2	68.9	69.5	57.4	30.0	27.8	14.3	13.9	19.6	5.7	5.7	10.2	3.3	3.1	1.3	1.5
		17年	(749)	78.9	77.6		70.6	46.1	28.4	14.4	13.5	27.0	18.2		15.4	6.0		1.2	0.8
性別	男性	23年	(2518)	59.6	58.3	56.3	52.5	26.1	25.0	15.7	16.4	16.3	9.9	6.2	7.0	5.2	1.4	1.7	2.7
		20年	(2556)	50.9	62.9	57.9	56.7	25.7	22.4	14.6	10.8	18.3	8.0	5.2	6.0	2.8	1.4	2.2	2.4
		17年	(1705)	68.3	72.8		64.5	40.1	29.2	18.5	13.6	28.2	23.7		13.4	5.7		1.7	1.1
	女性	23年	(2482)	69.9	69.9	70.6	50.8	31.9	30.3	17.4	12.8	12.2	6.5	3.3	8.2	4.6	1.9	1.0	1.3
		20年	(2444)	64.6	73.4	73.4	54.0	32.2	27.8	15.4	8.1	14.4	5.0	2.9	7.7	2.7	1.5	1.2	1.6
		17年	(3295)	78.9	81.0		67.7	50.4	34.4	18.5	11.2	27.0	17.8		17.7	6.6		0.8	0.5
地域別	北海道	23年	(206)	69.9	56.3	62.1	48.5	33.0	26.2	17.5	17.5	18.9	6.8	5.3	9.2	4.4	1.9	1.9	2.9
		20年	(210)	56.7	56.2	61.9	55.2	31.0	21.4	14.3	9.5	17.1	6.2	8.1	6.2	4.8	1.9	1.4	2.4
		17年	(200)	75.0	69.0		63.5	49.0	26.5	17.0	10.5	30.0	26.5		15.5	4.0		2.0	－
	東北	23年	(353)	66.0	57.8	60.9	64.9	34.8	27.5	13.6	14.4	17.8	11.0	7.1	7.1	6.2	0.6	0.3	0.8
		20年	(355)	60.6	65.9	67.0	65.4	29.0	25.4	16.9	9.6	24.2	9.6	4.2	12.4	3.9	1.1	1.4	0.6
		17年	(350)	74.9	73.1		74.6	49.1	37.7	17.4	14.3	32.6	26.6		19.4	6.6		1.4	0.9
	関東甲信越	23年	(1825)	60.9	68.4	67.9	44.0	27.6	26.7	15.8	14.4	11.0	6.0	4.3	4.8	4.4	2.0	1.4	2.8
		20年	(1825)	53.6	70.7	68.9	46.6	25.0	20.3	12.5	8.5	12.8	4.9	3.1	4.3	2.0	1.5	1.9	2.8
		17年	(1800)	73.1	82.6		62.2	46.0	30.0	16.6	12.2	21.4	13.9		12.4	5.8		1.1	1.0
	東海北陸	23年	(786)	63.2	64.9	61.3	51.7	28.4	28.9	13.4	12.6	15.8	9.4	4.1	9.0	4.7	1.1	1.8	1.1
		20年	(780)	56.8	67.7	60.5	55.3	29.9	29.2	14.9	11.2	17.9	7.8	3.7	7.7	3.1	1.4	2.1	1.7
		17年	(750)	71.3	74.8		63.3	45.2	34.9	18.9	11.6	33.9	23.2		19.2	6.1		1.3	0.4
	近畿	23年	(816)	69.1	64.2	59.2	54.2	27.9	25.1	18.6	14.3	14.2	7.6	4.9	7.8	4.5	1.6	1.5	1.7
		20年	(816)	62.0	70.3	64.3	64.3	34.7	23.2	15.4	9.2	17.9	6.9	4.0	6.7	2.9	1.3	1.2	1.6
		17年	(850)	79.5	77.9		76.0	46.9	28.6	20.0	11.6	28.0	20.7		16.0	8.2		0.6	0.5
	中国・四国	23年	(431)	68.2	59.2	58.2	61.9	30.4	32.0	19.0	15.5	17.9	10.0	5.1	13.0	5.3	1.6	0.7	2.1
		20年	(431)	60.6	59.6	63.6	60.6	30.2	31.3	19.7	11.6	21.6	5.3	5.3	9.3	3.0	1.4	2.3	1.9
		17年	(450)	79.6	72.9		67.6	47.6	39.1	22.2	11.8	30.9	20.7		17.1	5.1		1.1	0.7
	九州・沖縄	23年	(583)	67.2	59.2	63.8	57.6	29.2	30.0	19.9	16.5	16.0	12.0	5.1	9.8	6.7	1.9	1.2	1.4
		20年	(583)	61.6	68.8	64.8	60.7	30.0	33.3	17.8	8.7	14.6	8.6	5.7	8.6	2.7	1.4	1.2	1.5
		17年	(600)	78.2	79.8		66.2	49.2	37.8	19.7	12.0	30.3	25.3		22.0	6.5		1.2	0.3

（%）

注：17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。

（２）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 （Q7）

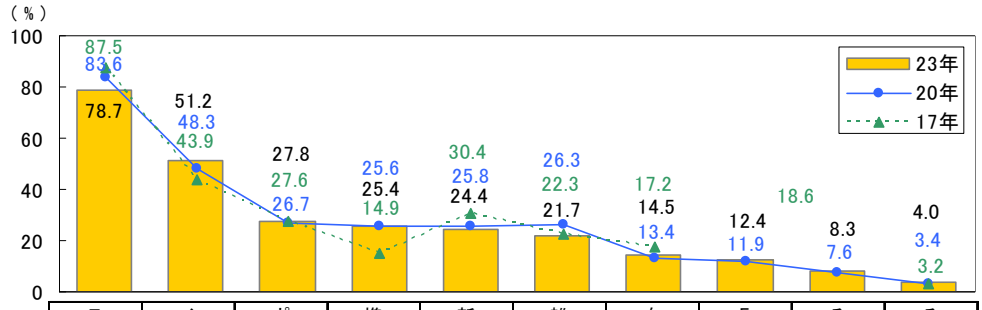
【 献血キャンペーンに効果的な媒体は「テレビ」が8割弱 】

- 献血のキャンペーンを行う際に効果的だと思われる媒体は、「テレビ」が78.7%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が51.2%。以下、「ポスター」（27.8%）、「携帯電話」（25.4%）、「新聞」（24.4%）が続く。
- 職業別では、各層とも「テレビ」「インターネット」が上位1位と2位を占める。その中で専業主婦は他の層と比べて「テレビ」(85.4%)、「自治体の広報誌」(23.0%)が高い。また高校生では「新聞」(30.6%)が他の層と比べて高く、「テレビ」「インターネット」に次いで3位の媒体となっている。
- 性別では、男性よりも女性で「テレビ」(82.7%)、「ポスター」(30.1%)、「雑誌」(24.8%)などを挙げる割合が高い。
- 地域別では、関東甲信越は「テレビ」(76.2%)の割合が他の地域と比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での「テレビ」が挙げられる割合は低下傾向、一方「インターネット」は上昇傾向にある。「携帯電話」は17年度調査と20年度調査を比べると11ポイント上昇し、23年度調査では20年度調査と横並びの結果である。
- 職業別では、「テレビ」は過去2回調査と比べて各層で概ね低下傾向にあり、特に大学生・専門学校生、公務員、自営業などで顕著である。一方「インターネット」は各層で上昇傾向にあるが、特に高校生、自営業が20年度調査と比べて10ポイント以上上昇している。
- 性別では、過去2回調査と比べて、男性は「テレビ」が低下している。「インターネット」は男女ともに過去2調査から上昇傾向。
- 地域別では、東北で「インターネット」と「携帯電話」が過去2調査と比べて上昇傾向にあるのに対し、「テレビ」「ポスター」「新聞」「雑誌」「自治体の広報誌」は20年度調査と比べてそれぞれ5ポイント以上低下している。その他、関東甲信越と中国・四国でも「テレビ」及び「雑誌」が20年度調査と比べて低下している。

（２）献血キャンペーンに効果的だと思う媒体（Q7）

Q7. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。（いくつでも）



【基数:対象者全員】

			(N)	テレビ	インターネット	ポスター	携帯電話	新聞	雑誌	自治体の広報誌	FM放送	その他のラジオ放送	その他
全体		23年	(5000)	78.7	51.2	27.8	25.4	24.4	21.7	14.5	12.4	8.3	4.0
		20年	(5000)	83.6	48.3	26.7	25.6	25.8	26.3	13.4	11.9	7.6	3.4
		17年	(5000)	87.5	43.9	27.6	14.9	30.4	22.3	17.2	18.6		3.2
職業別	高校生	23年	(180)	80.6	49.4	27.8	28.9	30.6	26.7	11.1	12.2	6.1	1.1
		20年	(181)	80.1	37.0	27.6	29.3	23.8	26.0	11.6	12.2	7.2	2.2
		17年	(87)	87.4	46.0	26.4	27.6	40.2	25.3	12.6	18.4		5.7
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	77.2	50.7	30.7	28.2	24.3	24.2	12.9	12.1	7.4	4.4
		20年	(1453)	82.8	48.5	27.9	28.9	24.8	26.3	11.0	9.9	6.1	3.4
		17年	(652)	87.3	45.4	29.9	19.6	28.8	26.8	9.8	17.2		4.4
	会社員	23年	(2019)	78.3	49.2	24.6	22.9	22.5	18.8	13.0	12.5	8.0	4.0
		20年	(2152)	83.0	48.0	24.3	23.1	25.2	25.1	13.0	12.7	8.2	3.5
		17年	(2099)	86.4	43.6	26.6	13.6	28.4	20.6	15.7	19.7		2.8
	公務員	23年	(225)	77.3	53.8	23.6	24.9	23.1	20.0	13.3	10.7	7.6	4.4
		20年	(207)	81.6	49.8	24.6	22.2	27.1	21.3	22.2	9.2	5.3	2.9
		17年	(203)	87.7	39.9	24.1	17.2	31.5	22.7	20.2	20.2		2.0
	自営業	23年	(135)	63.0	53.3	18.5	20.7	21.5	17.0	15.6	11.9	9.6	3.0
		20年	(106)	77.4	43.4	32.1	22.6	23.6	22.6	12.3	17.9	9.4	3.8
		17年	(143)	87.4	49.0	30.8	14.7	35.0	26.6	20.3	30.8		3.5
	専業主婦	23年	(444)	85.4	48.0	29.1	20.0	26.8	21.6	23.0	12.4	8.1	2.9
		20年	(448)	87.9	46.4	31.9	22.8	27.7	31.5	18.3	13.2	7.6	1.8
		17年	(1067)	89.1	42.3	27.0	11.9	32.3	21.6	25.1	15.0		2.3
	その他	23年	(516)	82.6	61.8	34.9	31.4	28.9	26.6	19.6	14.0	12.8	4.7
		20年	(453)	88.1	55.8	28.3	29.8	31.1	30.5	15.5	12.8	9.9	5.3
		17年	(749)	88.5	45.7	29.8	16.3	32.3	22.7	15.8	19.1		4.7
性別	男性	23年	(2518)	74.7	51.7	25.5	24.7	24.5	18.7	12.6	13.9	9.5	4.1
		20年	(2556)	81.3	47.8	22.4	24.3	25.5	20.1	11.9	12.6	7.9	3.6
		17年	(1705)	85.6	44.1	23.9	15.6	29.9	18.7	13.1	20.8		3.8
	女性	23年	(2482)	82.7	50.7	30.1	26.0	24.3	24.8	16.5	10.9	7.0	3.8
		20年	(2444)	86.0	48.8	31.2	26.9	26.2	32.8	15.0	11.2	7.3	3.2
		17年	(3295)	88.5	43.8	29.5	14.5	30.7	24.2	19.4	17.4		3.0
地域別	北海道	23年	(206)	82.0	52.9	27.7	26.7	29.6	21.4	15.5	12.1	9.7	2.4
		20年	(210)	84.3	47.1	27.1	25.2	30.0	30.5	14.3	8.1	6.7	2.4
		17年	(200)	85.5	41.0	24.5	12.0	28.0	22.0	12.0	24.0		2.5
	東北	23年	(353)	79.9	52.7	23.8	28.9	22.7	23.2	15.3	15.0	10.8	2.8
		20年	(355)	88.7	47.9	29.3	25.1	29.3	29.3	20.6	13.0	8.7	3.9
		17年	(350)	91.1	42.6	31.1	16.9	29.1	20.3	21.7	20.6		3.1
	関東甲信越	23年	(1825)	76.2	52.5	28.7	25.2	22.6	22.0	13.0	11.4	8.1	4.4
		20年	(1825)	82.1	49.7	24.7	26.2	25.0	27.8	10.7	10.2	6.6	3.3
		17年	(1800)	86.8	47.7	27.6	16.7	27.2	23.2	13.4	15.7		4.2
	東海北陸	23年	(786)	80.4	49.5	27.4	26.1	25.8	22.1	16.4	14.5	9.2	4.2
		20年	(780)	84.7	47.8	25.0	23.1	26.8	25.5	13.7	14.4	8.1	2.2
		17年	(750)	86.4	42.1	26.7	13.2	36.8	20.8	20.3	22.0		2.7
	近畿	23年	(816)	78.6	51.0	27.6	25.5	25.6	21.3	14.5	10.8	6.9	4.7
		20年	(816)	82.8	42.8	28.1	25.5	23.0	25.1	12.9	12.6	8.2	4.3
		17年	(850)	89.2	43.8	26.7	13.5	29.6	22.0	17.5	18.2		2.6
	中国・四国	23年	(431)	79.4	47.8	28.3	21.1	27.1	19.0	16.2	10.7	7.2	2.8
		20年	(431)	84.7	50.8	30.2	26.5	29.5	24.4	17.4	11.6	7.4	3.0
		17年	(450)	88.9	35.8	27.1	11.3	31.8	19.6	17.3	16.2		2.4
	九州・沖縄	23年	(583)	81.8	50.6	27.8	25.2	23.2	22.0	14.9	14.8	8.6	3.6
		20年	(583)	83.4	50.9	29.0	26.8	24.9	22.8	14.8	13.7	8.7	4.8
		17年	(600)	86.2	42.7	29.5	15.7	33.7	25.2	23.5	22.3		2.8

（％）

注：17年は「FM放送」「その他のラジオ放送」は「ラジオ」の回答肢のみ。

（3）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 （Q8）

【 けんけつちゃんの認知率は4割強 】

- 献血キャラクター けんけつちゃんの認知率は44.3%で、献血経験者の半数近くの人が認知している。
- 職業別では、大学生・専門学校生 (57.3%)、高校生(56.1%)といった学生層での認知率が特に高く、認知者が6割にのぼる。
- 性別では、女性の認知率(52.0%)が男性の認知率(36.7%)と比べて15ポイント高い。
- 地域別では、近畿での認知率が37.3%で他の地域と比べて低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体でのけんけつちゃんの認知率は17ポイント上昇、さらに20年度調査と23年度調査を比べると21ポイント上昇しており、認知が進んでいるといえる。
- 職業別では、各層で17年度調査より認知率が上昇傾向にあるが、特に高校生、大学生・専門学校生といった学生層での上昇率が高い。
- 性別では、女性の認知率が20年度調査と比べて23ポイントと大幅に上昇している。
- 地域別では、北海道の認知率は20年度調査では他の地域と比べて低かったが、23年度調査では20年度調査より27ポイントと大幅に上昇し、他の地域と同様4割を超える認知率となった。

（3）献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 （Q8）

Q8. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	知っている	知らない
全　体		23年	(5000)	44.3	55.7
		20年	(5000)	23.8	76.2
		17年	(5000)	7.0	93.0
職業別	高校生	23年	(180)	56.1	43.9
		20年	(181)	34.8	65.2
		17年	(87)	19.5	80.5
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	57.3	42.7
		20年	(1453)	31.8	68.2
		17年	(652)	8.1	91.9
	会社員	23年	(2019)	38.1	61.9
		20年	(2152)	20.0	80.0
		17年	(2099)	7.1	92.9
	公務員	23年	(225)	44.4	55.6
		20年	(207)	29.5	70.5
		17年	(203)	11.3	88.7
	自営業	23年	(135)	31.9	68.1
		20年	(106)	22.6	77.4
		17年	(143)	7.0	93.0
	専業主婦	23年	(444)	30.2	69.8
		20年	(448)	12.7	87.3
		17年	(1067)	3.7	96.3
	その他	23年	(516)	42.2	57.8
		20年	(453)	19.9	80.1
		17年	(749)	7.7	92.3
性別	男性	23年	(2518)	36.7	63.3
		20年	(2556)	18.9	81.1
		17年	(1705)	6.6	93.4
	女性	23年	(2482)	52.0	48.0
		20年	(2444)	28.8	71.2
		17年	(3295)	7.2	92.8
地域別	北海道	23年	(206)	43.7	56.3
		20年	(210)	16.7	83.3
		17年	(200)	7.5	92.5
	東北	23年	(353)	48.2	51.8
		20年	(355)	31.0	69.0
		17年	(350)	13.1	86.9
	関東甲信越	23年	(1825)	46.7	53.3
		20年	(1825)	26.0	74.0
		17年	(1800)	6.1	93.9
	東海北陸	23年	(786)	45.8	54.2
		20年	(780)	22.9	77.1
		17年	(750)	7.3	92.7
	近畿	23年	(816)	37.3	62.7
		20年	(816)	20.8	79.2
		17年	(850)	7.3	92.7
	中国・四国	23年	(431)	46.2	53.8
		20年	(431)	22.3	77.7
		17年	(450)	5.6	94.4
	九州・沖縄	23年	(583)	41.0	59.0
		20年	(583)	21.3	78.7
		17年	(600)	6.2	93.8

（4）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （Q9）

＜新規質問＞

【 けんけつちゃんの印象は6割弱が「よい」 】

- 献血キャラクター けんけつちゃんを知っている人にけんけつちゃんの印象をたずねたところ、「よい」と感じている人が58.4%で6割弱を占め、半数以上となった。対して「わるい」は3.0%であった。
- 職業別では、高校生で「よい」が67.3%と7割弱を占め、他の層と比べて評価が高い。なお、自営業は回答者数が少ないため、参考値。
- 性別では、「よい」と感じている人が男性(54.9%)と比べて女性(60.9%)で6ポイント高い。
- 地域別では、北海道は「わるい」評価がほとんどないが、「どちらともいえない」が52.2%で半数を占め、他の地域と比べて高い。

（4）献血キャラクター「けんけつちゃん」の印象 （Q9）

Q9. Q8で「けんけつちゃん」を知っていると答えた方へお聞きします。献血推進のキャラクターとして「けんけつちゃん」の印象を教えて下さい。

（5）献血キャンペーン認知（Q10）

【 最も認知されている献血キャンペーンは「はたちの献血」で4割強 】

- 献血に関するキャンペーンを知っているかたずねたところ、「はたちの献血キャンペーン」の認知率が他のキャンペーンと比べて高く、43.1%と半数近くにのぼる。次いで「LOVE in Actionキャンペーン」が24.4%、「愛の血液助け合い運動」が17.9%で、それぞれ2割前後の認知率であった。一つもキャンペーンを知らない人は42.6%で、何らかのキャンペーンを知っている人の方が多かった。
- 職業別では、公務員でいずれのキャンペーンも「知らない」と回答した人は28.4%。4人中3人近くの人が何らかのキャンペーンを認知しており、他の層と比べてキャンペーンの認知率が高い。またキャンペーンごとにみていくと、「はたちの献血キャンペーン」は公務員での認知率(57.3%)が他の層と比べて高く、一方高校生の認知率は28.9%と低い。「LOVE in Actionキャンペーン」は大学生・専門学校生で30.0%に認知されており他の層と比べて高く、「愛の血液助け合い運動」は高校生で26.1%認知されており高い。
- 性別では、男性に比べて女性において、いずれかのキャンペーンを認知している割合が10ポイント高い。特に「はたちの献血キャンペーン」は男性の認知率(37.4%)と比べて女性の認知率(48.9%)が高い。
- 地域別では、「はたちの献血キャンペーン」は北海道の認知率(50.0%)が他の地域と比べて高く、「LOVE in Actionキャンペーン」は東北の認知率(38.2%)が他の地域と比べて高い。

＜参考：17年度・20年度調査結果＞

※17年度調査及び20年度調査では キャンペーンを「知っている」「知らない」のうち1つを 選択することにより回答。

【基数：対象者全員】

（%）

			(N)	知っている	知らない
全体		20年	(5000)	36.5	63.5
		17年	(5000)	46.4	53.6
職業別	高校生	20年	(181)	33.1	66.9
		17年	(87)	42.5	57.5
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	36.6	63.4
		17年	(652)	47.7	52.3
	会社員	20年	(2152)	36.8	63.2
		17年	(2099)	45.7	54.3
	公務員	20年	(207)	44.9	55.1
		17年	(203)	63.5	36.5
	自営業	20年	(106)	32.1	67.9
		17年	(143)	40.6	59.4
	専業主婦	20年	(448)	35.7	64.3
		17年	(1067)	46.4	53.6
	その他	20年	(453)	34.0	66.0
		17年	(749)	44.5	55.5
性別	男性	20年	(2556)	30.9	69.1
		17年	(1705)	39.6	60.4
	女性	20年	(2444)	42.3	57.7
		17年	(3295)	50.0	50.0
地域別	北海道	20年	(210)	27.1	72.9
		17年	(200)	43.0	57.0
	東北	20年	(355)	43.7	56.3
		17年	(350)	55.1	44.9
	関東甲信越	20年	(1825)	32.8	67.2
		17年	(1800)	40.9	59.1
	東海北陸	20年	(780)	37.7	62.3
		17年	(750)	46.0	54.0
	近畿	20年	(816)	38.4	61.6
		17年	(850)	49.4	50.6
	中国・四国	20年	(431)	38.3	61.7
		17年	(450)	50.0	50.0
	九州・沖縄	20年	(583)	41.3	58.7
		17年	(600)	52.8	47.2

＜参考：印象に残った具体的なキャッチフレーズ、メッセージ＞

【基数：キャンペーン認知者】

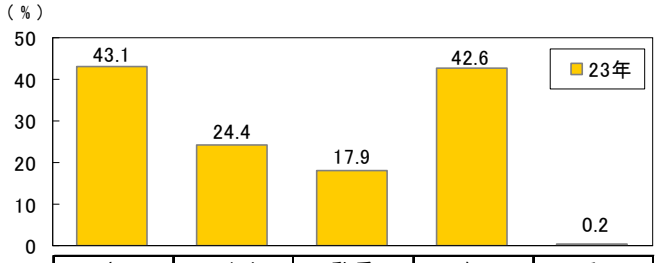
23年度調査　キャンペーン認知者（N）	2871
印象に残ったフレーズ等 なし・覚えていない	65.9%
印象に残ったフレーズ等 記載あり	34.1%

記載された具体的なフレーズ・メッセージ等（記載が多かったもの）
はたちの献血
石川遼が出ていたCM、ポスター
LOVE in Action
あなたの献血で救われる命があります
献血は愛
ぼくらも、いのちの、助けになれる
～型の血液が不足しています
けんけつちゃんの印象、グッズ
40分で救える命がある
血液を必要としている人がいます

（5）献血キャンペーン認知（Q10）

Q10. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。（いくつでも）

（キャンペーン認知者に対し）献血に関するキャンペーンで、印象に残ったキャッチフレーズやメッセージがあれば、ご記入下さい。



【基数：対象者全員】

		(N)	―はたちの献血―キャンペーン（毎年1～2月）	LOVE in Act ionキャンペーン（通年）	愛の血液助け合い運動（毎年7月）	知らない	その他
全体		(5000)	43.1	24.4	17.9	42.6	0.2
職業別	高校生	(180)	28.9	23.9	26.1	48.3	0.6
	大学生・専門学校生	(1481)	42.8	30.0	20.4	39.2	0.3
	会社員	(2019)	42.7	21.8	16.9	44.4	0.1
	公務員	(225)	57.3	26.7	21.8	28.4	－
	自営業	(135)	37.8	23.0	17.0	46.7	0.7
	専業主婦	(444)	42.8	19.8	12.4	45.5	－
	その他	(516)	45.7	22.1	15.3	45.5	0.4
性別	男性	(2518)	37.4	21.9	18.2	47.4	0.2
	女性	(2482)	48.9	27.0	17.7	37.7	0.2
地域別	北海道	(206)	50.0	26.7	17.5	37.9	－
	東北	(353)	46.5	38.2	14.7	36.3	－
	関東甲信越	(1825)	40.0	23.0	16.2	46.1	0.3
	東海北陸	(786)	39.9	24.2	19.2	43.8	0.1
	近畿	(816)	44.6	20.3	18.9	43.6	0.4
	中国・四国	(431)	47.6	24.1	20.9	36.7	0.2
	九州・沖縄	(583)	47.2	25.9	20.2	38.3	0.2

（％）

（6）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶（Q11）

【 HOP STEP JUMPを配布された人は2割弱 】

- 高校3年生を対象に、HOP STEP JUMPという普及啓発資材が配布されていることを認知している人は15.1%と2割弱。授業で使用した経験がある人は5.3%にとどまる。
- 職業別では、高校生の認知率が37.2%と高く4割弱にのぼる。また大学生・専門学校生が25.0%で3割弱にのぼり、勤労者と比べて学生での認知率が高い。
- 性別による大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道の認知率が10.2%で、他の地域と比べてやや低い。

- 20年度調査と比べると、全体では大きな変化はみられない。
- 職業別では、大学生・専門学校生において、17年度調査より認知率が上昇傾向にある。
- 性別では、大きな変化はみられない。
- 地域別では、北海道において17年度調査と20年度調査を比べると認知率が上昇していたが、23年度調査は低下しており17年度調査並みの認知率となった。

（6）「HOP STEP JUMP」を配布された記憶（Q11）

Q11. 平成2年から、全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数：対象者全員】

（％）

			(N)	保健体育の授業で使用した	他の授業で使用した	配布されただけ	知らない	認知計
全体		23年	(5000)	4.2	1.1	9.8	84.9	15.1
		20年	(5000)	4.2	1.5	9.0	85.3	14.7
		17年	(5000)	2.7	0.7	7.2	89.4	10.6
職業別	高校生	23年	(180)	16.1	1.7	19.4	62.8	37.2
		20年	(181)	8.3	2.2	21.0	68.5	31.5
		17年	(87)	4.6	0.0	29.9	65.5	34.5
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	6.3	1.4	17.3	75.0	25.0
		20年	(1453)	5.8	1.4	13.6	79.1	20.9
		17年	(652)	4.9	1.1	12.6	81.4	18.6
	会社員	23年	(2019)	3.3	1.2	5.9	89.5	10.4
		20年	(2152)	3.6	1.9	6.2	88.3	11.7
		17年	(2099)	2.4	1.0	5.5	91.1	8.9
	公務員	23年	(225)	2.2	0.9	11.6	85.3	14.7
		20年	(207)	3.9	1.4	7.7	87.0	13.0
		17年	(203)	2.5	1.0	11.3	85.2	14.8
	自営業	23年	(135)	3.7	0.7	5.2	90.4	9.6
		20年	(106)	2.8	4.7	6.6	85.8	14.2
		17年	(143)	4.9	1.4	7.0	86.7	13.3
	専業主婦	23年	(444)	1.6	0.5	4.1	93.9	6.2
		20年	(448)	1.3	0.2	4.7	93.8	6.3
		17年	(1067)	2.0	0.1	6.0	91.9	8.1
	その他	23年	(516)	1.2	0.2	5.4	93.2	6.8
		20年	(453)	3.3	0.4	7.7	88.5	11.5
		17年	(749)	1.7	0.5	5.3	92.4	7.6
性別	男性	23年	(2518)	4.4	1.3	10.0	84.4	15.7
		20年	(2556)	4.9	2.1	9.3	83.8	16.2
		17年	(1705)	3.7	1.2	7.9	87.3	12.7
	女性	23年	(2482)	4.1	0.9	9.6	85.4	14.6
		20年	(2444)	3.4	1.0	8.7	86.9	13.1
		17年	(3295)	2.1	0.5	6.9	90.5	9.5
地域別	北海道	23年	(206)	2.4	0.0	7.8	89.8	10.2
		20年	(210)	6.2	1.0	11.0	81.9	18.1
		17年	(200)	2.0	0.5	9.0	88.5	11.5
	東北	23年	(353)	3.1	0.3	11.0	85.6	14.4
		20年	(355)	3.9	2.3	11.8	82.0	18.0
		17年	(350)	5.4	0.6	8.0	86.0	14.0
	関東甲信越	23年	(1825)	4.9	1.0	10.2	83.8	16.1
		20年	(1825)	4.7	2.3	7.9	85.1	14.9
		17年	(1800)	2.4	0.7	7.6	89.3	10.7
	東海北陸	23年	(786)	4.1	1.5	11.2	83.2	16.8
		20年	(780)	3.5	1.2	11.2	84.2	15.8
		17年	(750)	3.1	0.1	7.9	88.9	11.1
	近畿	23年	(816)	3.3	1.5	8.6	86.6	13.4
		20年	(816)	4.4	0.9	9.2	85.5	14.5
		17年	(850)	3.2	1.5	6.0	89.3	10.7
	中国・四国	23年	(431)	4.4	1.2	10.0	84.5	15.6
		20年	(431)	3.2	1.4	8.8	86.5	13.5
		17年	(450)	1.8	1.1	6.0	91.1	8.9
	九州・沖縄	23年	(583)	4.6	1.0	8.2	86.1	13.8
		20年	(583)	3.1	0.5	6.9	89.5	10.5
		17年	(600)	1.3	0.3	6.8	91.5	8.5

（１）献血では感染症に感染しないことの認知（Q12）

【 献血では感染症に感染しないことの認知率は7割強 】

- 献血でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことを認知している人は72.4%。
- 職業別では、自営業の認知率が57.0%で6割弱にとどまり、他の層と比べて低い。
- 性別では、女性の認知率(75.4%)が男性の認知率(69.4%)と比べて6ポイント高い。
- 地域別では、東北の認知率(68.3%)が他の地域と比べてやや低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での認知率はほぼ横並びであったが、23年度調査は20年度調査と比べて6ポイント認知率が低下している。
- 職業別では、各層で20年度調査より認知率が低下しているが、特に自営業で18ポイント低下しており顕著。
- 性別では、男女ともに20年度調査と比べると認知率が低下している。
- 地域別では、東北で20年度調査と比べて認知率の低下が大きく、13ポイント低下している。

（1）献血では感染症に感染しないことの認知（Q12）

Q12. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	知っている	知らない
全体		23年	(5000)	72.4	27.6
		20年	(5000)	78.4	21.6
		17年	(5000)	79.9	20.1
職業別	高校生	23年	(180)	68.3	31.7
		20年	(181)	76.2	23.8
		17年	(87)	78.2	21.8
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	76.2	23.8
		20年	(1453)	80.6	19.4
		17年	(652)	80.5	19.5
	会社員	23年	(2019)	71.0	29.0
		20年	(2152)	76.4	23.6
		17年	(2099)	80.2	19.8
	公務員	23年	(225)	77.8	22.2
		20年	(207)	81.6	18.4
		17年	(203)	88.2	11.8
	自営業	23年	(135)	57.0	43.0
		20年	(106)	74.5	25.5
		17年	(143)	83.9	16.1
	専業主婦	23年	(444)	72.7	27.3
		20年	(448)	81.5	18.5
		17年	(1067)	79.4	20.6
	その他	23年	(516)	69.4	30.6
		20年	(453)	78.4	21.6
		17年	(749)	76.5	23.5
性別	男性	23年	(2518)	69.4	30.6
		20年	(2556)	76.2	23.8
		17年	(1705)	77.2	22.8
	女性	23年	(2482)	75.4	24.6
		20年	(2444)	80.8	19.2
		17年	(3295)	81.3	18.7
地域別	北海道	23年	(206)	75.2	24.8
		20年	(210)	79.0	21.0
		17年	(200)	84.5	15.5
	東北	23年	(353)	68.3	31.7
		20年	(355)	81.4	18.6
		17年	(350)	83.4	16.6
	関東甲信越	23年	(1825)	71.1	28.9
		20年	(1825)	76.3	23.7
		17年	(1800)	79.1	20.9
	東海北陸	23年	(786)	72.3	27.7
		20年	(780)	79.4	20.6
		17年	(750)	79.6	20.4
	近畿	23年	(816)	72.8	27.2
		20年	(816)	78.7	21.3
		17年	(850)	78.8	21.2
	中国・四国	23年	(431)	74.2	25.8
		20年	(431)	81.7	18.3
		17年	(450)	79.1	20.9
	九州・沖縄	23年	(583)	75.8	24.2
		20年	(583)	79.1	20.9
		17年	(600)	81.2	18.8

（２）血液製剤の海外血液依存の認知（Q13）

【 血液製剤の海外血液依存の認知率は2割 】

- 血液製剤は未だ海外の血液に依存しているということを認知している人は20.3%で、５人中１人の割合。
- 職業別では、専業主婦の認知率(13.1%)が他の層と比べて低く、1割強にとどまる。一方高校生の認知率は26.1%で他の層と比べて高い。
- 性別では、大きな差はみられない。
- 地域別では、中国・四国の認知率(26.7%)が他の地域と比べて高い。

- ２０年度調査と１７年度調査を比べると、全体での認知率は6ポイント低下し、２３年度調査は２０年度調査と比べてさらに5ポイント認知率が低下している。
- 職業別では、各層で認知率は１７年度調査から低下傾向にある。
- 性別では、男女ともに認知率は１７年度調査から低下傾向にある。
- 地域別では、中国・四国の認知率のみが２０年度調査と比べてやや上昇した。その他の地域は２０年度調査の認知率を下回っている。

（2）血液製剤の海外血液依存の認知（Q13）

Q13. 血液製剤(＊)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。
＊重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ58％台である。

【基数:対象者全員】　（％）

			(N)	知っている	知らない
全　体		23年	(5000)	20.3	79.7
		20年	(5000)	25.3	74.7
		17年	(5000)	30.8	69.2
職業別	高校生	23年	(180)	26.1	73.9
		20年	(181)	32.0	68.0
		17年	(87)	34.5	65.5
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	23.1	76.9
		20年	(1453)	26.9	73.1
		17年	(652)	32.7	67.3
	会社員	23年	(2019)	20.3	79.7
		20年	(2152)	24.7	75.3
		17年	(2099)	32.9	67.1
	公務員	23年	(225)	23.1	76.9
		20年	(207)	28.0	72.0
		17年	(203)	37.4	62.6
	自営業	23年	(135)	23.0	77.0
		20年	(106)	29.2	70.8
		17年	(143)	37.8	62.2
	専業主婦	23年	(444)	13.1	86.9
		20年	(448)	20.8	79.2
		17年	(1067)	23.3	76.7
	その他	23年	(516)	14.9	85.1
		20年	(453)	22.3	77.7
		17年	(749)	30.4	69.6
性別	男性	23年	(2518)	22.0	78.0
		20年	(2556)	27.0	73.0
		17年	(1705)	35.6	64.4
	女性	23年	(2482)	18.6	81.4
		20年	(2444)	23.5	76.5
		17年	(3295)	28.3	71.7
地域別	北海道	23年	(206)	19.4	80.6
		20年	(210)	26.2	73.8
		17年	(200)	25.5	74.5
	東北	23年	(353)	16.4	83.6
		20年	(355)	26.8	73.2
		17年	(350)	34.9	65.1
	関東甲信越	23年	(1825)	19.6	80.4
		20年	(1825)	25.0	75.0
		17年	(1800)	27.9	72.1
	東海北陸	23年	(786)	19.5	80.5
		20年	(780)	25.5	74.5
		17年	(750)	33.9	66.1
	近畿	23年	(816)	21.3	78.7
		20年	(816)	27.3	72.7
		17年	(850)	32.8	67.2
	中国・四国	23年	(431)	26.7	73.3
		20年	(431)	22.3	77.7
		17年	(450)	31.6	68.4
	九州・沖縄	23年	(583)	20.2	79.8
		20年	(583)	23.8	76.2
		17年	(600)	31.5	68.5

（１）ルームの雰囲気について（Q14－1）

【 献血ルームのイメージは「明るい」イメージが「暗い」イメージを上回る 】

- 献血ルームのイメージについては、「ふつう」の印象を持っている人が47.5%を占め、ほぼ半数。「明るい」イメージが38.5%に対して、「暗い」イメージが5.7%で「明るい」イメージが「暗い」イメージを大きく上回っており好評価。
- 職業別では、自営業で「ふつう」(50.4%)や「わからない」(11.9%)といった割合が高く、「明るい」イメージ(32.6%)を持っている人の割合が他の層と比べて低い。
- 性別では、「明るい」と評価する割合は女性(43.4%)が男性(33.7%)を10ポイント上回り高い。
- 地域別では、「明るい」イメージが近畿(32.2%)で最も低く3割強にとどまる。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での「明るい」と評価する割合は7ポイント低下している。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。
- 職業別では、高校生で「明るい」と評価する割合が、17年度調査と20年度調査を比べると10ポイント低下していたが、23年度調査では上昇し、17年度調査の割合と横並び。
- 性別では、17年度調査と比べて20年度調査で男女ともに「明るい」の割合が低下していたが、23年度調査では上昇している。
- 地域別では、北海道と東北では17年度調査から「明るい」の割合が低下傾向にある。その他の地域では、17年度調査と20年度調査を比べると「明るい」の割合が低下しているが、23年度調査では上昇し、ほぼ17年度調査並みに回復している。

（１）ルームの雰囲気について（Q14－1）

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。　（１）ルームの雰囲気

【基数：対象者全員】　（%）

			(N)	明るい	ふつう	暗い	わからない
全体		23年	(5000)	38.5	47.5	5.7	8.2
		20年	(5000)	34.7	51.7	7.7	6.0
		17年	(5000)	42.1	49.6		8.3
職業別	高校生	23年	(180)	38.9	48.3	7.2	5.6
		20年	(181)	29.3	53.6	9.4	7.7
		17年	(87)	39.1	51.7		9.2
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	41.5	45.9	5.7	7.0
		20年	(1453)	37.8	50.0	7.0	5.3
		17年	(652)	51.1	41.3		7.7
	会社員	23年	(2019)	36.1	49.3	5.4	9.2
		20年	(2152)	32.1	54.0	7.8	6.1
		17年	(2099)	40.3	50.6		9.1
	公務員	23年	(225)	39.6	46.7	4.0	9.8
		20年	(207)	42.0	47.3	4.8	5.8
		17年	(203)	48.3	47.3		4.4
	自営業	23年	(135)	32.6	50.4	5.2	11.9
		20年	(106)	34.0	53.8	7.5	4.7
		17年	(143)	42.0	50.3		7.7
	専業主婦	23年	(444)	39.9	48.0	6.8	5.4
		20年	(448)	35.3	50.9	8.7	5.1
		17年	(1067)	38.8	52.1		9.1
	その他	23年	(516)	39.1	44.2	6.6	10.1
		20年	(453)	35.3	47.2	9.1	8.4
		17年	(749)	43.0	50.6		6.4
性別	男性	23年	(2518)	33.7	51.5	6.1	8.8
		20年	(2556)	29.9	55.2	8.7	6.2
		17年	(1705)	38.2	52.7		9.1
	女性	23年	(2482)	43.4	43.6	5.4	7.7
		20年	(2444)	39.7	47.9	6.6	5.8
		17年	(3295)	44.2	48.0		7.9
地域別	北海道	23年	(206)	39.3	47.6	3.4	9.7
		20年	(210)	43.3	41.0	8.6	7.1
		17年	(200)	50.5	42.0		7.5
	東北	23年	(353)	34.6	50.7	4.2	10.5
		20年	(355)	37.7	49.3	3.9	9.0
		17年	(350)	47.1	48.6		4.3
	関東甲信越	23年	(1825)	41.3	44.6	6.9	7.2
		20年	(1825)	35.0	52.4	7.8	4.8
		17年	(1800)	44.1	47.4		8.6
	東海北陸	23年	(786)	37.9	49.2	5.3	7.5
		20年	(780)	32.7	54.6	6.9	5.8
		17年	(750)	39.6	51.6		8.8
	近畿	23年	(816)	32.2	51.2	7.5	9.1
		20年	(816)	29.9	53.8	9.9	6.4
		17年	(850)	34.1	53.6		12.2
	中国・四国	23年	(431)	37.4	46.4	4.4	11.8
		20年	(431)	34.6	52.4	6.5	6.5
		17年	(450)	39.8	53.6		6.7
	九州・沖縄	23年	(583)	42.2	48.2	2.9	6.7
		20年	(583)	38.3	47.2	7.7	6.9
		17年	(600)	46.8	48.0		5.2

注：17年は「わからない」の回答肢なし。

（２）ルームの広さについて（Q14－２）

【 献血ルームの広さは「ふつう」が半数 】

- 献血ルームの広さのイメージについてたずねたところ、「広い」が22.2%に対して、「狭い」が20.2%でありほぼ同率である。「ふつう」と評価する人が47.3%でほぼ半数を占める。
- 職業別では、「狭い」と感じている割合が自営業(15.6%) で他の層と比べるとやや低い。
- 性別では、女性で「広い」と感じる割合(24.9%)が男性(19.6%)と比べて5ポイント高い。
- 地域別では、近畿で「広い」と感じる人の割合(17.4%)が他の地域と比べて低く、「狭い」(25.4%)と感じる人が多い。

- 過去2回調査と比べると、全体のイメージは概ね変化していない。
- 職業別では、20年度調査と比べると、会社員、公務員、自営業で「狭い」と感じる人の割合が低下している。
- 性別では、20年度調査と比べると、男性で「狭い」と感じる割合が5ポイント低下している。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北、関東甲信越、九州・沖縄で「狭い」と感じる割合がそれぞれ5ポイント以上低下している。

（２）ルームの広さについて（Q14－２）

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。　（２）ルームの広さについて

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	広い	ふつう	狭い	わからない
全　体		23年	(5000)	22.2	47.3	20.2	10.3
		20年	(5000)	20.4	48.1	24.5	7.0
		17年	(5000)	20.9	54.6	24.5	
職業別	高校生	23年	(180)	18.9	47.8	26.1	7.2
		20年	(181)	19.3	45.3	27.1	8.3
		17年	(87)	19.5	51.7	28.7	
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	23.3	45.8	21.9	9.0
		20年	(1453)	20.5	48.5	25.1	5.9
		17年	(652)	24.7	52.8	22.5	
	会社員	23年	(2019)	21.9	48.1	19.1	10.9
		20年	(2152)	18.9	49.4	24.3	7.3
		17年	(2099)	19.9	55.2	24.9	
	公務員	23年	(225)	23.1	49.3	16.9	10.7
		20年	(207)	26.6	41.1	26.6	5.8
		17年	(203)	22.7	58.1	19.2	
	自営業	23年	(135)	19.3	50.4	15.6	14.8
		20年	(106)	21.7	41.5	32.1	4.7
		17年	(143)	17.5	59.4	23.1	
	専業主婦	23年	(444)	23.4	46.4	21.8	8.3
		20年	(448)	20.1	48.7	24.1	7.1
		17年	(1067)	20.7	52.3	27.0	
	その他	23年	(516)	21.1	47.3	19.0	12.6
		20年	(453)	24.7	46.1	19.6	9.5
		17年	(749)	21.4	55.9	22.7	
性別	男性	23年	(2518)	19.6	47.4	22.3	10.7
		20年	(2556)	17.6	48.0	27.7	6.7
		17年	(1705)	17.4	55.8	26.8	
	女性	23年	(2482)	24.9	47.2	18.0	9.8
		20年	(2444)	23.3	48.2	21.1	7.4
		17年	(3295)	22.8	53.9	23.3	
地域別	北海道	23年	(206)	20.9	46.6	19.9	12.6
		20年	(210)	23.8	45.2	21.4	9.5
		17年	(200)	24.0	53.5	22.5	
	東北	23年	(353)	19.3	49.0	18.7	13.0
		20年	(355)	22.8	43.4	24.5	9.3
		17年	(350)	20.0	59.1	20.9	
	関東甲信越	23年	(1825)	24.6	46.7	19.4	9.3
		20年	(1825)	21.2	48.8	24.4	5.6
		17年	(1800)	22.2	53.9	23.9	
	東海北陸	23年	(786)	20.1	50.1	20.0	9.8
		20年	(780)	19.4	50.6	22.8	7.2
		17年	(750)	20.5	55.5	24.0	
	近畿	23年	(816)	17.4	46.9	25.4	10.3
		20年	(816)	19.0	45.1	28.6	7.4
		17年	(850)	17.4	52.0	30.6	
	中国・四国	23年	(431)	20.9	44.5	20.9	13.7
		20年	(431)	14.8	53.6	23.0	8.6
		17年	(450)	20.7	53.6	25.8	
	九州・沖縄	23年	(583)	27.8	47.2	16.3	8.7
		20年	(583)	22.5	46.8	23.3	7.4
		17年	(600)	22.5	57.5	20.0	

注：17年は「わからない」の回答肢なし。

（3）職員の対応について（Q14－3）

【 職員の対応については半数が「良い」印象 】

- 職員の対応についてたずねたところ、「良い」がほぼ半数の48.4%を占める。また「ふつう」も41.3%となっており、「悪い」と感じる人は3.0%にとどまった。職員に対する評価は概ね良好である。
- 職業別では、「良い」の割合が高校生で55.6%、大学生・専門学校生で56.4%となり、それぞれ6割弱を占め、他の層と比べて評価が高い。
- 性別・地域別による大きな差はみられない。

- 20年度調査と比べると、全体でのイメージに大きな変化はみられない。
- 職業別では、大学生・専門学校生で「良い」の割合が20年度調査と比べると5ポイント上昇している。
- 性別・地域別では、20年度調査と比べて大きな変化はみられない。

（3）職員の対応について（Q14－3）

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。　（3）職員の対応について

【基数:対象者全員】

（％）

			(N)	良い	ふつう	悪い	わからない
全　体		23年	(5000)	48.4	41.3	3.0	7.4
		20年	(5000)	47.2	44.0	3.3	5.5
		17年	(5000)	37.8	57.5		4.7
職業別	高校生	23年	(180)	55.6	36.1	3.3	5.0
		20年	(181)	53.0	38.7	3.9	4.4
		17年	(87)	43.7	50.6		5.7
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	56.4	36.0	2.4	5.2
		20年	(1453)	51.1	41.2	2.7	5.0
		17年	(652)	45.6	50.0		4.4
	会社員	23年	(2019)	42.5	45.8	3.3	8.4
		20年	(2152)	44.1	46.7	3.7	5.4
		17年	(2099)	36.3	58.6		5.1
	公務員	23年	(225)	45.3	42.7	4.4	7.6
		20年	(207)	48.3	41.1	3.9	6.8
		17年	(203)	40.4	57.6		2.0
	自営業	23年	(135)	48.9	37.8	3.7	9.6
		20年	(106)	50.0	44.3	2.8	2.8
		17年	(143)	32.9	62.9		4.2
	専業主婦	23年	(444)	45.7	45.0	2.9	6.3
		20年	(448)	44.4	45.8	4.0	5.8
		17年	(1067)	34.6	60.2		5.2
	その他	23年	(516)	49.2	37.6	2.7	10.5
		20年	(453)	48.1	41.3	2.6	7.9
		17年	(749)	39.5	56.7		3.7
性別	男性	23年	(2518)	48.2	41.1	3.0	7.8
		20年	(2556)	46.9	44.2	3.4	5.4
		17年	(1705)	37.2	58.5		4.3
	女性	23年	(2482)	48.6	41.5	3.0	6.9
		20年	(2444)	47.4	43.7	3.2	5.6
		17年	(3295)	38.1	57.0		4.9
地域別	北海道	23年	(206)	52.9	38.8	1.9	6.3
		20年	(210)	50.5	41.0	1.9	6.7
		17年	(200)	45.0	54.5		0.5
	東北	23年	(353)	48.4	39.4	3.7	8.5
		20年	(355)	48.5	42.8	2.5	6.2
		17年	(350)	38.3	56.6		5.1
	関東甲信越	23年	(1825)	48.6	41.2	3.1	7.1
		20年	(1825)	45.8	44.7	4.3	5.2
		17年	(1800)	38.4	56.6		5.0
	東海北陸	23年	(786)	49.6	41.7	3.1	5.6
		20年	(780)	47.7	44.1	2.9	5.3
		17年	(750)	37.9	57.7		4.4
	近畿	23年	(816)	45.8	42.8	3.8	7.6
		20年	(816)	47.2	43.3	3.3	6.3
		17年	(850)	35.4	59.2		5.4
	中国・四国	23年	(431)	49.7	37.8	2.6	10.0
		20年	(431)	50.1	43.6	1.4	4.9
		17年	(450)	33.8	60.7		5.6
	九州・沖縄	23年	(583)	47.0	43.2	1.9	7.9
		20年	(583)	46.5	44.6	3.1	5.8
		17年	(600)	39.5	56.8		3.7

注：17年は「わからない」の回答肢なし。

（4）記念品や軽い飲食物について（Q14－4）

【 記念品や軽い飲食物については4割強が「良い」印象 】

- 記念品や軽い飲食物についてたずねたところ、「良い」が43.6%に対し、「悪い」は7.9%となっており、「良い」と感じる人の割合が大きく上回る。なお、「ふつう」という意見も41.7%を占める。
- 職業別では、自営業で「良い」評価(35.6%) が他の層と比べて低く、一方大学生・専門学校生(47.9%)と専業主婦(48.4%)では「良い」評価が高く半数近くを占める。
- 性別では、女性の「良い」評価(47.9%)が男性(39.3%)を9ポイント上回り高い。
- 地域別では、東海北陸で「良い」評価(48.1%)が他の地域と比べてやや高く、一方近畿では「良い」評価(38.8%)が他の地域と比べてやや低い。

- 過去2回調査と比べて、全体での「良い」評価は上昇傾向である。
- 職業別では、過去2回調査と比べて、大学生・専門学校生、会社員、専業主婦で「良い」評価が上昇傾向にある。
- 性別では、男女ともに過去2回調査と比べて、「良い」が上昇し、「ふつう」が低下の傾向にある。
- 地域別では、東海北陸で過去2回調査と比べて、「良い」が上昇し、「ふつう」が低下の傾向にある。

（4）記念品や軽い飲食物について（Q14－4）

Q14. 献血ルームのイメージを教えてください。　（4）記念品や軽い飲食物について

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	良い	ふつう	悪い	わからない
全体		23年	(5000)	43.6	41.7	7.9	6.8
		20年	(5000)	40.9	44.3	9.9	5.0
		17年	(5000)	36.7	51.5	11.8	
職業別	高校生	23年	(180)	41.7	41.1	10.6	6.7
		20年	(181)	40.9	40.3	11.6	7.2
		17年	(87)	47.1	37.9	14.9	
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	47.9	39.0	7.8	5.3
		20年	(1453)	43.8	41.5	10.0	4.7
		17年	(652)	41.6	49.8	8.6	
	会社員	23年	(2019)	40.0	44.5	8.3	7.2
		20年	(2152)	37.8	46.8	10.3	5.1
		17年	(2099)	34.0	53.2	12.9	
	公務員	23年	(225)	42.7	42.2	8.0	7.1
		20年	(207)	44.0	41.5	10.6	3.9
		17年	(203)	44.3	46.8	8.9	
	自営業	23年	(135)	35.6	43.7	10.4	10.4
		20年	(106)	33.0	50.9	14.2	1.9
		17年	(143)	35.7	55.9	8.4	
	専業主婦	23年	(444)	48.4	39.6	5.4	6.5
		20年	(448)	44.6	44.0	7.1	4.2
		17年	(1067)	36.6	50.8	12.7	
	その他	23年	(516)	44.0	40.1	6.8	9.1
		20年	(453)	42.8	42.8	7.9	6.4
		17年	(749)	37.4	51.4	11.2	
性別	男性	23年	(2518)	39.3	43.6	9.5	7.5
		20年	(2556)	37.6	45.1	11.9	5.5
		17年	(1705)	31.1	55.5	13.4	
	女性	23年	(2482)	47.9	39.8	6.2	6.1
		20年	(2444)	44.3	43.5	7.8	4.4
		17年	(3295)	39.6	49.5	10.9	
地域別	北海道	23年	(206)	42.2	43.7	6.8	7.3
		20年	(210)	49.0	34.8	9.0	7.1
		17年	(200)	40.0	50.0	10.0	
	東北	23年	(353)	41.9	40.5	9.6	7.9
		20年	(355)	41.1	44.8	8.5	5.6
		17年	(350)	34.6	52.9	12.6	
	関東甲信越	23年	(1825)	45.6	39.6	8.2	6.6
		20年	(1825)	39.9	45.3	10.1	4.7
		17年	(1800)	40.4	48.0	11.6	
	東海北陸	23年	(786)	48.1	38.9	7.8	5.2
		20年	(780)	40.9	44.1	10.5	4.5
		17年	(750)	35.1	54.3	10.7	
	近畿	23年	(816)	38.8	45.8	8.3	7.0
		20年	(816)	37.1	48.5	9.4	4.9
		17年	(850)	30.0	56.1	13.9	
	中国・四国	23年	(431)	42.5	40.8	6.7	10.0
		20年	(431)	43.4	40.6	10.2	5.8
		17年	(450)	33.8	53.3	12.9	
	九州・沖縄	23年	(583)	40.1	47.0	6.5	6.3
		20年	(583)	43.9	41.5	9.9	4.6
		17年	(600)	39.5	50.5	10.0	

注：17年は「わからない」の回答肢なし。

（1）献血についての要望・知りたいこと（Q15）

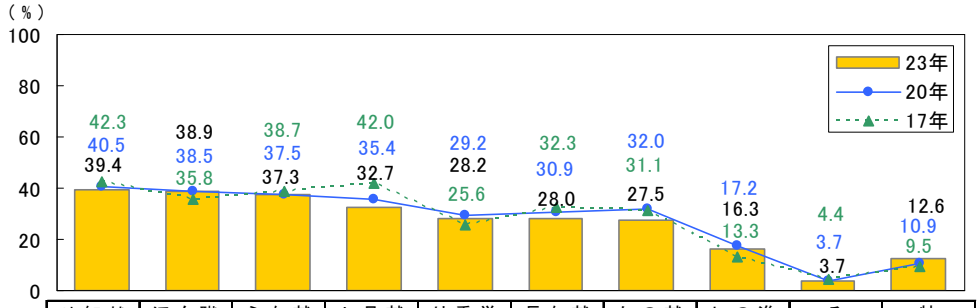
【 献血についての要望・知りたいことは多岐にわたる 】

- 献血についての要望や知りたいことをたずねたところ、「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」が39.4%。僅差で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」（38.9%）、「献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい」（37.3%）などが続いており、突出したものはなく要望は多岐にわたっている。
- 職業別では、大学生・専門学校生で「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(44.4%)、「進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい」(21.5%)が他の層と比べて高い。また専業主婦では「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」(46.6%)、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」(36.7%)が他の層と比べて高い。自営業では要望・知りたいことは「特にない」人が20.7%を占め、他の層と比べて高い。
- 性別では、総じて男性よりも女性で要望や知りたいことがある。特に女性では「献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい」(42.3%)、「職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい」(41.5%)、「学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい」(31.6%)、「献血で昼休み、夜間などの受付時間を延長してほしい」(30.7%)といった要望が男性と比べて高い。
- 地域別では、多少のスコア差はあるものの、全体的には大きな違いはみられない。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体では「献血したときの処遇品（記念品）をもっと良くしてほしい」が低下している。20年度調査と23年度調査は全体的に大きな変化はみられない。
- 職業別では、過去2回調査と比べて、自営業と専業主婦で総じて知りたいことや要望が減少している。
- 性別では、20年度調査と比べると、女性で「献血された血液がどのように使われるのか知りたい」が6ポイント低下している。また過去2回調査と比べると、女性で「献血したときの処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」という要望が低下傾向である。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北、東海北陸、中国・四国で「献血したときの処遇品(記念品)をもっと良くしてほしい」といった要望が低下した。

（1）献血についての要望・知りたいこと（Q15）

Q15. 献血について何か要望又は知りたいことがありますか。（いくつでも）



【基数:対象者全員】

			(N)	献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい	職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい	献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい	献血したときの処遇（記念品）をもっと良くしてほしい	学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい	献血で昼休み、夜間などの受付時間を延長してほしい	献血された血液がどのように使われるのか知りたい	献血の経験を考慮してほしい	その他	特にない
全体		23年	(5000)	39.4	38.9	37.3	32.7	28.2	28.0	27.5	16.3	3.7	12.6
		20年	(5000)	40.5	38.5	37.5	35.4	29.2	30.9	32.0	17.2	3.7	10.9
		17年	(5000)	42.3	35.8	38.7	42.0	25.6	32.3	31.1	13.3	4.4	9.5
職業別	高校生	23年	(180)	40.0	37.2	43.3	36.1	23.9	21.7	21.7	16.7	－	13.9
		20年	(181)	35.4	33.1	41.4	35.9	23.2	14.4	28.2	24.9	2.2	16.0
		17年	(87)	28.7	46.0	42.5	44.8	20.7	26.4	23.0	23.0	1.1	11.5
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	40.0	44.4	38.6	35.7	28.6	30.7	28.4	21.5	3.7	10.7
		20年	(1453)	38.3	39.2	36.0	36.6	26.6	31.7	28.4	22.1	2.9	12.0
		17年	(652)	41.0	41.3	35.9	44.5	26.2	35.1	28.8	20.9	3.4	7.8
	会社員	23年	(2019)	37.3	37.2	35.2	30.6	25.1	28.2	25.6	12.1	3.4	13.7
		20年	(2152)	40.9	39.1	36.8	32.9	28.1	32.5	33.5	13.2	3.9	9.8
		17年	(2099)	43.0	38.2	37.3	40.1	22.3	35.0	29.7	11.6	3.4	9.4
	公務員	23年	(225)	30.7	38.7	40.0	30.7	28.4	33.3	28.4	14.2	3.6	9.8
		20年	(207)	34.3	41.5	35.3	34.8	24.2	36.2	24.6	17.9	4.3	12.1
		17年	(203)	36.0	41.4	36.9	38.4	21.7	42.9	22.7	10.8	5.9	5.4
	自営業	23年	(135)	37.0	23.0	31.9	23.7	26.7	21.5	31.9	11.9	3.7	20.7
		20年	(106)	40.6	30.2	41.5	34.0	29.2	27.4	33.0	19.8	6.6	17.0
		17年	(143)	46.2	21.7	44.1	37.1	27.3	28.0	37.8	10.5	7.0	8.4
	専業主婦	23年	(444)	46.6	33.1	37.8	34.2	36.7	18.7	28.4	16.2	4.1	11.9
		20年	(448)	45.8	38.2	44.2	40.2	42.0	27.9	39.5	14.5	3.1	7.4
		17年	(1067)	42.5	31.0	42.6	45.6	30.6	24.8	34.2	12.4	5.2	10.0
	その他	23年	(516)	44.2	39.7	39.9	33.3	33.5	28.9	32.6	19.4	5.8	12.8
		20年	(453)	45.5	36.4	37.5	38.9	34.7	28.3	34.4	19.4	4.9	12.6
		17年	(749)	43.8	31.0	38.2	41.8	28.4	31.6	34.4	12.8	6.3	11.5
性別	男性	23年	(2518)	36.6	36.4	36.3	31.0	24.8	25.3	26.5	15.3	2.8	15.3
		20年	(2556)	40.4	33.8	36.9	32.5	25.4	27.7	29.7	17.2	3.5	13.4
		17年	(1705)	43.2	32.8	36.9	36.7	22.8	29.9	28.9	12.7	3.9	11.0
	女性	23年	(2482)	42.3	41.5	38.4	34.5	31.6	30.7	28.6	17.2	4.6	9.9
		20年	(2444)	40.6	43.4	38.1	38.4	33.1	34.2	34.5	17.2	3.8	8.3
		17年	(3295)	41.9	37.3	39.6	44.8	27.1	33.6	32.2	13.6	4.7	8.7
地域別	北海道	23年	(206)	34.0	44.2	40.3	28.6	27.7	31.6	20.4	11.7	4.4	13.1
		20年	(210)	38.1	39.5	41.9	26.2	25.2	32.4	31.9	21.9	3.3	12.4
		17年	(200)	32.0	34.5	35.5	36.5	22.5	28.0	27.5	8.5	4.5	14.5
	東北	23年	(353)	34.6	37.1	40.5	32.6	27.5	26.6	27.8	14.4	3.4	13.6
		20年	(355)	42.8	40.3	39.7	40.0	29.3	30.7	26.5	16.6	3.1	9.3
		17年	(350)	44.6	37.1	40.6	38.9	26.3	29.7	29.4	14.6	4.0	9.1
	関東甲信越	23年	(1825)	41.3	36.8	34.0	35.1	29.1	28.4	30.5	17.9	4.2	13.3
		20年	(1825)	40.7	34.5	32.1	34.5	28.5	31.1	33.2	17.6	4.1	13.2
		17年	(1800)	42.2	34.9	32.9	43.4	24.6	32.0	32.2	13.8	5.5	10.6
	東海北陸	23年	(786)	40.6	40.6	36.6	32.3	26.3	23.7	26.8	16.4	3.7	11.8
		20年	(780)	40.3	41.2	40.8	37.4	29.9	31.5	31.3	15.5	3.1	9.7
		17年	(750)	42.5	36.1	43.6	40.0	24.3	34.0	29.2	13.7	3.9	7.9
	近畿	23年	(816)	37.9	39.6	40.3	31.4	28.7	28.2	25.4	16.2	3.4	13.1
		20年	(816)	41.4	39.1	39.8	36.2	30.1	28.4	31.7	16.5	3.6	9.9
		17年	(850)	42.8	34.8	42.0	43.4	25.4	32.8	30.4	12.7	3.9	9.9
	中国・四国	23年	(431)	39.4	44.3	38.7	31.3	28.5	27.1	20.4	13.2	2.3	10.9
		20年	(431)	35.5	40.4	40.8	37.1	28.3	28.5	32.9	19.7	3.0	8.8
		17年	(450)	37.8	34.4	41.8	38.0	26.9	31.8	28.9	13.8	2.0	10.9
	九州・沖縄	23年	(583)	39.1	37.7	40.7	30.4	27.4	32.2	29.8	16.1	3.6	11.0
		20年	(583)	42.2	43.9	41.3	33.4	30.9	34.0	32.8	15.8	4.3	8.9
		17年	(600)	47.3	40.0	42.7	45.0	30.3	33.7	34.8	12.3	4.5	5.2

（%）

（１）初めて献血した年齢（Q16）

【 初めて献血した年齢は10代が6割強 】

- 初めて献血した年齢は、「16～17歳」が29.3%、「18～19歳」が33.8%、「20～24歳」が32.1%で、ともに1／ 3程度を占めている。10代で初めて献血を経験した人の割合が全体の6割強を占める。
- 職業別でみると、当然ではあるが高校生は「16～17歳」が86.7%と9割近くを占め大半。大学生・専門学校生は「18～19歳」が43.8%で最も多い。一方、会社員、公務員は「16～17歳」が他の層と比べて低く、「20～24歳」での献血経験が最も多い。
- 性別では、女性の「16～17歳」での経験率は31.6%で男性(27.0%)と比べて5ポイント高い。男性は「20～24歳」での経験率(34.3%)が女性(29.8%)に比べて5ポイント高く、男性に比べて女性の方が若いうちに献血を経験している傾向がみられる。
- 地域別では、東北で「16～17歳」での経験率(39.7%)が他の地域に比べて高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体では「16～17歳」での経験率が6ポイント低下している。一方、「18～19歳」「20～24歳」が若干上昇している。20年度調査と23年度調査では大きな差はみられない。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、大学生・専門学校生、会社員、公務員、専業主婦で「16～17歳」が低下 。20年度調査と23年度調査を比べると専業主婦で「16～17歳」が上昇しているが、その他の層に関しては大きな変化はみられない。
- 性別では、17年度調査と20年度調査を比べると、女性は「16～17歳」での経験率が低下し、「18～19歳」での経験率が上昇。23年度調査は、20年度調査と比べて大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道、関東甲信越、東海北陸、九州・沖縄で、上記女性の層と同様の傾向にある。

（1）初めて献血した年齢（Q16）

Q16. 初めて献血をしたのはいつですか。

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	16～17歳	18～19歳	20～24歳	25～29歳
全　体		23年	(5000)	29.3	33.8	32.1	4.8
		20年	(5000)	28.6	33.4	32.3	5.7
		17年	(5000)	34.6	30.6	27.9	7.0
職業別	高校生	23年	(180)	86.7	12.2	1.1	
		20年	(181)	87.3	12.7	0.0	
		17年	(87)	87.4	11.5	1.1	
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	27.4	43.8	28.2	0.7
		20年	(1453)	29.9	40.4	28.8	0.9
		17年	(652)	39.9	38.7	21.2	0.3
	会社員	23年	(2019)	24.5	29.3	38.4	7.7
		20年	(2152)	23.0	31.4	37.2	8.5
		17年	(2099)	28.8	29.6	32.8	8.8
	公務員	23年	(225)	25.8	31.1	36.9	6.2
		20年	(207)	22.2	29.0	38.6	10.1
		17年	(203)	28.1	32.0	35.0	4.9
	自営業	23年	(135)	31.1	32.6	31.1	5.2
		20年	(106)	33.0	27.4	31.1	8.5
		17年	(143)	33.6	35.7	21.0	9.8
	専業主婦	23年	(444)	34.9	34.7	25.5	5.0
		20年	(448)	27.7	34.2	29.7	8.5
		17年	(1067)	39.7	28.6	24.6	7.0
	その他	23年	(516)	29.5	31.4	32.9	6.2
		20年	(453)	30.7	32.0	32.7	4.6
		17年	(749)	34.4	29.8	27.0	8.8
性別	男性	23年	(2518)	27.0	33.4	34.3	5.3
		20年	(2556)	25.2	32.9	35.0	6.9
		17年	(1705)	28.6	31.5	31.8	8.1
	女性	23年	(2482)	31.6	34.3	29.8	4.3
		20年	(2444)	32.2	34.0	29.4	4.4
		17年	(3295)	37.7	30.1	25.8	6.5
地域別	北海道	23年	(206)	29.6	35.9	31.1	3.4
		20年	(210)	28.1	36.7	27.6	7.6
		17年	(200)	36.5	29.5	30.0	4.0
	東北	23年	(353)	39.7	31.2	25.5	3.7
		20年	(355)	38.0	33.5	24.5	3.9
		17年	(350)	40.0	31.1	22.3	6.6
	関東甲信越	23年	(1825)	32.9	31.9	29.6	5.6
		20年	(1825)	30.0	32.8	31.0	6.2
		17年	(1800)	36.6	29.7	26.9	6.8
	東海北陸	23年	(786)	27.0	36.1	33.1	3.8
		20年	(780)	28.7	34.6	31.7	5.0
		17年	(750)	33.2	30.9	28.7	7.2
	近畿	23年	(816)	25.7	31.7	37.1	5.4
		20年	(816)	26.1	30.5	36.8	6.6
		17年	(850)	29.2	30.4	31.9	8.6
	中国・四国	23年	(431)	26.9	32.7	36.2	4.2
		20年	(431)	26.2	32.5	36.4	4.9
		17年	(450)	27.8	32.2	33.6	6.4
	九州・沖縄	23年	(583)	21.4	41.5	32.4	4.6
		20年	(583)	23.8	37.6	34.1	4.5
		17年	(600)	39.2	31.7	22.3	6.8

（２）初めて献血した場所 （Q17）

【 初めて献血した場所は献血ルームが3割強 】

- 初めて献血した場所は、「献血ルーム」が33.2%で最も高く、3人中1人。次いで、「献血バス」が21.8%、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」が21.2%で続く。
- 職業別では、高校生は「高校（での集団献血）」(28.9%)と「献血バス」(26.1%)が他の層と比べて高く、「献血ルーム」(32.8%)とでそれぞれ1／3近くで分かれる。大学生・専門学校生は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(30.2%)が他の層と比べて高く、「献血ルーム」(34.5%)についで第2位の場所である。専業主婦では「献血ルーム」が42.6%で4割強を占め、他の層と比べて高い。
- 性別では、女性の「献血ルーム」(40.6%)での経験率が男性(26.0%)と比べて15ポイントと大きく上回っている。一方男性は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」(25.7%)での経験率が女性と比べて9ポイント上回っている。
- 地域別では、東北で「高校(での集団献血)」(24.1%)、近畿で「献血バス」(31.6%)が他の地域に比べて高い。

- 20年度調査と23年度調査を比べると、全体で大きな変化はみられない。
- 職業別では、20年度調査と比べると、高校生で「高校（での集団献血）」が9ポイント低下、自営業では「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」が9ポイント上昇し「献血ルーム」が8ポイント低下している。
- 性別では、20年度調査と比べると、大きな変化はみられない。
- 地域別では、20年度調査と比べると、北海道では「献血バス」での経験率が上昇し、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」と「献血ルーム」が低下。東海北陸では「高校（での集団献血）」が20年度調査と比べて低下。また、九州・沖縄では「献血ルーム」が上昇している。

（2）初めて献血した場所（Q17）

Q17. 初めて献血した場所はどこですか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	高校	大学キャンパス又は専門学校・各種学校	職場	献血バス（左記以外）	献血ルーム（血液センター）	覚えていない
全体		23年	(5000)	15.9	21.2	5.2	21.8	33.2	2.7
		20年	(5000)	18.0	21.2	4.8	21.0	32.8	2.1
		17年	(5000)	22.6	5.2	0.0	37.1	32.6	2.5
職業別	高校生	23年	(180)	28.9	3.9	26.1	0.0	32.8	8.3
		20年	(181)	38.1	1.7	23.2	0.0	31.5	5.5
		17年	(87)	16.1	0.0	34.5	0.1	48.3	1.1
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	15.6	30.2	17.9	0.3	34.5	1.7
		20年	(1453)	20.0	30.0	15.5	0.3	32.4	1.7
		17年	(652)	21.3	38.3	37.4			2.6
	会社員	23年	(2019)	15.1	19.9	8.8	22.6	31.1	2.5
		20年	(2152)	16.3	19.8	8.1	22.7	31.2	1.8
		17年	(2099)	21.8	7.3	37.1		31.5	2.3
	公務員	23年	(225)	19.1	18.2	14.2	14.7	30.2	3.6
		20年	(207)	17.4	24.2	13.5	16.9	27.1	1.0
		17年	(203)	20.2	13.3	35.0		29.1	2.5
	自営業	23年	(135)	14.8	18.5	5.9	25.2	28.9	6.7
		20年	(106)	19.8	9.4	1.9	26.4	36.8	5.7
		17年	(143)	18.2	2.8	42.0		33.6	3.5
	専業主婦	23年	(444)	15.3	10.8	5.0	23.0	42.6	3.4
		20年	(448)	11.6	14.7	4.7	26.1	40.4	2.5
		17年	(1067)	29.0	5.2	35.1		28.6	2.2
	その他	23年	(516)	14.3	17.2	4.1	29.7	32.4	2.3
		20年	(453)	18.1	15.5	2.0	24.9	36.4	3.1
		17年	(749)	19.4	2.4	39.0		36.0	3.2
性別	男性	23年	(2518)	16.3	25.7	6.9	21.2	26.0	3.9
		20年	(2556)	19.6	24.6	6.1	21.8	25.1	2.9
		17年	(1705)	20.7	6.0	42.3		27.2	3.8
	女性	23年	(2482)	15.4	16.6	3.5	22.4	40.6	1.5
		20年	(2444)	16.4	17.8	3.4	20.1	40.9	1.4
		17年	(3295)	23.6	4.7	34.4		35.4	1.9
地域別	北海道	23年	(206)	13.1	16.5	6.3	25.2	35.0	3.9
		20年	(210)	12.4	22.9	7.1	15.7	40.0	1.9
		17年	(200)	10.0	3.0	42.5		43.0	1.5
	東北	23年	(353)	24.1	17.3	6.2	20.7	30.3	1.4
		20年	(355)	27.6	14.9	6.5	17.2	32.4	1.4
		17年	(350)	32.3	5.4	33.1		27.7	1.4
	関東甲信越	23年	(1825)	19.5	20.2	3.7	18.8	35.4	2.4
		20年	(1825)	19.2	18.1	3.7	19.2	37.4	2.4
		17年	(1800)	22.7	4.2	32.4		38.0	2.7
	東海北陸	23年	(786)	13.5	20.2	7.1	21.6	34.6	2.9
		20年	(780)	20.5	20.8	4.7	20.6	31.5	1.8
		17年	(750)	23.5	5.5	42.1		25.3	3.6
	近畿	23年	(816)	10.7	21.8	4.7	31.6	28.1	3.2
		20年	(816)	13.5	23.3	4.5	29.0	27.5	2.2
		17年	(850)	18.5	5.4	45.5		27.9	2.7
	中国・四国	23年	(431)	14.6	22.3	8.1	23.9	28.3	2.8
		20年	(431)	16.2	26.2	6.0	21.8	27.8	1.9
		17年	(450)	20.0	9.1	42.0		26.9	2.0
	九州・沖縄	23年	(583)	12.0	27.6	5.1	15.8	36.5	2.9
		20年	(583)	14.9	28.3	6.0	19.2	29.2	2.4
		17年	(600)	27.7	5.0	30.0		35.7	1.7

注：17年は「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」の回答肢なし。

（3）初めての献血の種類（Q18）

【 初めての献血の種類は「200ml献血」が半数 】

- 初めての献血は「200ml献血」での経験率が47.4%と半数を占める。「400ml献血」は30.9%、「成分献血」は5.7%であった。
- 職業別では、「200ml献血」は高校生(62.2%)と専業主婦(60.8%)でそれぞれ6割強を占めており高い。
- 性別では、男性は「200ml献血」(35.9%)より「400ml献血」(41.1%)での経験率が高い。対して女性は「200ml献血」が59.1%で6割弱を占めており高い。
- 地域別では、九州・沖縄で「400ml献血」が40.8%を占め、「200ml献血」(37.7%)での経験率よりも高くなっている。

- 過去2回調査と比べると、全体の「400ml献血」での経験率が上昇傾向で、対して「200ml献血」が低下傾向である。
- 職業別では、過去2回調査と比べると、公務員以外の層で概ね「400ml献血」が上昇傾向で、「200ml献血」が低下傾向。公務員では17年度調査と20年度調査を比べると「400ml献血」が11ポイント上昇したが、23年度調査では8ポイント低下した。
- 性別・地域別でも、過去2回調査と比べると、各層で「200ml献血」が低下傾向、「400ml献血」が上昇傾向にある。

（3）初めての献血の種類（Q18）

Q18. 初めての献血の種類は何ですか。

【基数：対象者全員】

（%）

			(N)	200ml献血	400ml献血	成分献血	覚えていない
全体		23年	(5000)	47.4	30.9	5.7	16.0
		20年	(5000)	51.6	28.9	5.7	13.8
		17年	(5000)	62.3	18.9	5.5	13.2
職業別	高校生	23年	(180)	62.2	6.1	1.1	30.6
		20年	(181)	69.6	5.0	0.6	24.9
		17年	(87)	71.3	4.6	1.1	23.0
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	44.3	35.8	5.3	14.7
		20年	(1453)	52.0	30.8	5.2	12.0
		17年	(652)	58.9	21.8	5.1	14.3
	会社員	23年	(2019)	47.3	31.9	5.9	14.9
		20年	(2152)	48.2	32.6	5.9	13.2
		17年	(2099)	59.8	23.1	5.5	11.5
	公務員	23年	(225)	45.3	35.6	8.0	11.1
		20年	(207)	41.5	43.5	6.3	8.7
		17年	(203)	57.6	32.5	6.9	3.0
	自営業	23年	(135)	39.3	30.4	6.7	23.7
		20年	(106)	42.5	32.1	3.8	21.7
		17年	(143)	52.4	22.4	5.6	19.6
	専業主婦	23年	(444)	60.8	15.3	5.2	18.7
		20年	(448)	67.0	12.7	5.8	14.5
		17年	(1067)	72.8	8.4	4.8	14.0
	その他	23年	(516)	43.2	32.9	6.8	17.1
		20年	(453)	50.6	23.4	8.6	17.4
		17年	(749)	59.5	17.0	7.1	16.4
性別	男性	23年	(2518)	35.9	41.1	4.1	19.0
		20年	(2556)	39.5	39.6	4.7	16.2
		17年	(1705)	45.3	34.4	4.7	15.6
	女性	23年	(2482)	59.1	20.5	7.3	13.0
		20年	(2444)	64.2	17.8	6.8	11.3
		17年	(3295)	71.1	10.9	5.9	12.0
地域別	北海道	23年	(206)	48.5	32.5	2.4	16.5
		20年	(210)	54.8	29.5	2.4	13.3
		17年	(200)	65.5	18.5	3.5	12.5
	東北	23年	(353)	56.7	24.4	4.5	14.4
		20年	(355)	60.6	21.4	5.6	12.4
		17年	(350)	69.4	17.4	3.4	9.7
	関東甲信越	23年	(1825)	50.5	28.2	4.4	16.9
		20年	(1825)	51.9	29.6	5.6	12.9
		17年	(1800)	59.9	19.9	5.2	14.9
	東海北陸	23年	(786)	48.3	28.2	7.8	15.6
		20年	(780)	53.7	25.3	6.7	14.4
		17年	(750)	64.3	14.7	5.3	15.7
	近畿	23年	(816)	45.0	32.1	5.8	17.2
		20年	(816)	53.4	27.0	4.8	14.8
		17年	(850)	61.5	20.5	5.1	12.9
	中国・四国	23年	(431)	42.2	35.7	7.2	14.8
		20年	(431)	48.5	31.3	7.0	13.2
		17年	(450)	66.0	17.6	6.7	9.8
	九州・沖縄	23年	(583)	37.7	40.8	7.5	13.9
		20年	(583)	40.8	37.0	6.7	15.4
		17年	(600)	60.3	21.2	8.3	10.2

（4）初めての献血で400ml献血することへの不安意識（Q19）

【 初めての献血で400ml献血することに不安を感じない人は半数 】

- 初めての献血で400ml献血をすることに対して不安に感じるかをたずねたところ、「特に不安は感じない」人が49.9%で半数を占める。一方、「不安」な人は39.4%で4割弱。
- 職業別では、専業主婦では「不安」(48.9%)が半数を占めており他の層と比べて高く、「特に不安は感じない」(39.4%)を10ポイント上回っている。
- 性別では、女性の「不安」と感じる割合(45.1%)が男性(33.7%)と比べて11ポイント上回っており高い。
- 地域別では、九州・沖縄で「特に不安は感じない」の割合(57.6%)が他の地域と比べて高い。また東北では「不安」と感じる割合(45.3%)が他の地域と比べて高い。

➢ 20年度調査と比べると、全体では「特に不安は感じない」人の割合が低下し、「不安」に感じる人の割合が上昇している。職業別・性別・地域別でみても各層で同様の傾向にある。特に公務員と高校生で顕著である。

＜参考：不安に思う理由＞

【初めての献血で400ml献血することが不安な人】

不安に思う理由 （記載が多かったもの）
貧血になりそう
体調が悪くなりそう／倒れそう／フラフラになりそう
量が多いから
一度採血で体調不良になったから
体調にどのような変化が起こるかわからないから
ペットボトル約1本分に相当すると考えると不安
怖い
体が弱いから／普段から貧血気味だから
痩せているから／小柄だから／適合体重がぎりぎりで心配
初めてだから

（4）初めての献血で400ml献血することへの不安意識（Q19）

Q19. 初めての献血で400ml献血をすることをどう思いますか。

（不安と回答した人に対し）不安を選んだ理由をお教えください。

【基数：対象者全員】

（%）

			(N)	特に不安は感じない	不安	わからない
全体		23年	(5000)	49.9	39.4	10.8
		20年	(5000)	57.2	26.4	16.4
職業別	高校生	23年	(180)	43.3	40.0	16.7
		20年	(181)	56.4	19.9	23.8
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	51.7	39.6	8.6
		20年	(1453)	61.4	24.0	14.6
	会社員	23年	(2019)	51.6	37.5	10.9
		20年	(2152)	57.6	26.3	16.2
	公務員	23年	(225)	51.1	37.8	11.1
		20年	(207)	67.6	19.3	13.0
	自営業	23年	(135)	47.4	34.1	18.5
		20年	(106)	55.7	23.6	20.8
	専業主婦	23年	(444)	39.4	48.9	11.7
		20年	(448)	43.3	39.1	17.6
	その他	23年	(516)	49.2	39.3	11.4
		20年	(453)	52.1	28.7	19.2
性別	男性	23年	(2518)	55.5	33.7	10.8
		20年	(2556)	64.4	19.9	15.7
	女性	23年	(2482)	44.1	45.1	10.8
		20年	(2444)	49.8	33.2	17.0
地域別	北海道	23年	(206)	52.4	32.0	15.5
		20年	(210)	58.6	24.8	16.7
	東北	23年	(353)	47.6	45.3	7.1
		20年	(355)	58.3	29.0	12.7
	関東甲信越	23年	(1825)	46.1	42.4	11.5
		20年	(1825)	57.5	27.2	15.3
	東海北陸	23年	(786)	49.1	40.6	10.3
		20年	(780)	52.8	28.3	18.8
	近畿	23年	(816)	52.8	35.7	11.5
		20年	(816)	54.3	27.0	18.8
	中国・四国	23年	(431)	51.7	38.7	9.5
		20年	(431)	61.3	22.3	16.5
	九州・沖縄	23年	(583)	57.6	32.8	9.6
		20年	(583)	62.4	22.6	14.9

（１）過去1年間の200ml献血回数（Q20－1）

【 過去1年間で200ml献血をした人は4割強 】

- 過去1年間で200ml献血をした経験のある人は41.1%。献血した回数では「1回」が24.6%。2回以上経験のある人は16.5%であった。
- 職業別では、高校生での経験率が85.6%で9割弱を占め、他の層と比べて圧倒的に高い。しかし、そのうちの6割強が「1回」である。次いで、大学生・専門学校生の経験率(45.0%) が高く半数近くにのぼる。
- 性別では、女性の経験率(46.3%)が男性の経験率(36.0%)を10ポイント上回り高い。
- 地域別では、中国・四国(35.7%)と九州・沖縄(32.6%)の経験率が他の地域と比べて低い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると全体の経験率は6ポイント上昇したが、23年度調査では低下し、17年度調査と大きく変わらない。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、高校生の経験率は9ポイント低下したが、23年度調査で若干ではあるが上昇した。高校生以外の層では、17年度調査と20年度調査を比べると経験率が上昇したが、23年度調査では低下に転じている傾向。性別・地域別でみても、各層で同様の傾向にある。

（1）過去1年間の200ml献血回数（Q20－1）

Q20. 過去1年間に何回献血しましたか。　（1）200ml献血

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	0回	1回	2回	3回	4回以上
全　体		23年	(5000)	58.9			24.6	9.4 3.9 3.2
		20年	(5000)	53.9			27.4	10.8 3.7 4.3
		17年	(5000)	59.5			22.3	8.7 4.9 4.6
職業別	高校生	23年	(180)	14.4	63.3			10.6 5.6 6.1
		20年	(181)	17.7	61.9			11.6 5.5 3.3
		17年	(87)	9.2	67.8			14.9 5.7 2.3
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	55.0		28.7		10.9 3.6 1.8
		20年	(1453)	49.8		31.7		12.3 3.0 3.3
		17年	(652)	54.0		28.4		8.6 4.3 4.8
	会社員	23年	(2019)	60.7		22.7		9.0 3.9 3.7
		20年	(2152)	55.9		25.0		10.2 4.3 4.6
		17年	(2099)	59.3		21.6		9.3 5.1 4.7
	公務員	23年	(225)	65.8		17.8		8.9 4.0 3.6
		20年	(207)	66.2		15.5		8.2 4.3 5.8
		17年	(203)	72.4		15.8		4.9 2.5 4.4
	自営業	23年	(135)	62.2		16.3		9.6 5.9 5.9
		20年	(106)	59.4		23.6		8.5 2.8 5.7
		17年	(143)	65.7		17.5		7.7 4.2 4.9
	専業主婦	23年	(444)	60.4		20.0		10.1 4.1 5.4
		20年	(448)	56.0		23.9		11.2 3.6 5.4
		17年	(1067)	58.5		21.5		8.9 5.9 5.2
	その他	23年	(516)	73.1			16.1	6.0 3.3 1.6
		20年	(453)	62.9		21.4		9.7 2.0 4.0
		17年	(749)	67.4		17.5		7.2 4.1 3.7
性別	男性	23年	(2518)	64.0		22.0		8.3 3.1 2.6
		20年	(2556)	59.7		24.0		9.5 3.1 3.6
		17年	(1705)	68.3			19.9	5.8 3.3 2.6
	女性	23年	(2482)	53.7		27.4		10.6 4.6 3.8
		20年	(2444)	47.8		31.0		12.1 4.2 4.9
		17年	(3295)	54.9		23.5		10.2 5.7 5.6
地域別	北海道	23年	(206)	58.3		24.3		9.7 6.3 1.5
		20年	(210)	51.9		27.6		11.0 4.8 4.8
		17年	(200)	63.5		21.0		4.0 4.0 7.5
	東北	23年	(353)	53.5		30.0		9.3 3.7 3.4
		20年	(355)	50.1		28.7		11.0 5.4 4.8
		17年	(350)	60.6		20.9		7.7 5.7 5.1
	関東甲信越	23年	(1825)	55.4		26.5		10.1 4.2 3.8
		20年	(1825)	54.2		27.1		10.8 3.6 4.3
		17年	(1800)	60.3		23.0		8.2 4.4 4.1
	東海北陸	23年	(786)	58.0		25.3		8.8 3.9 3.9
		20年	(780)	51.8		28.6		10.8 3.8 5.0
		17年	(750)	55.3		24.4		8.9 6.5 4.8
	近畿	23年	(816)	60.9		24.3		9.6 2.8 2.5
		20年	(816)	49.1		30.4		12.3 3.8 4.4
		17年	(850)	53.2		24.1		12.7 5.2 4.8
	中国・四国	23年	(431)	64.3		20.0		7.7 4.6 3.5
		20年	(431)	55.2		27.6		10.2 3.5 3.5
		17年	(450)	60.7		21.1		10.0 4.2 4.0
	九州・沖縄	23年	(583)	67.4			18.7	9.4 2.7 1.7
		20年	(583)	64.3		21.6		8.7 2.2 3.1
		17年	(600)	68.3			17.2	5.5 4.2 4.8

（2）過去1年間の400ml献血回数（Q20－2）

【 過去1年間で400ml献血をした人は4割弱 】

- 過去1年間で400ml献血の経験がある人は36.6%。献血した回数では「1回」が23.7%。2回以上経験がある人は13.0%であった。
- 職業別では、大学生・専門学校生の経験率が44.6%、公務員で40.9%と他の層に比べて高い。一方、高校生と専業主婦の経験率は2割弱にとどまり他の層と比べて低い。
- 性別では、男性の経験率(46.1%)が女性の経験率(27.0%)を19ポイント上回り高く、200ml献血とは逆の結果となっている。
- 地域別では、九州・沖縄の経験率が42.5%で他の地域と比べて高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体の経験率は11ポイント上昇し、23年度調査は20年度調査とほぼ横並びの結果である。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、高校生と専業主婦では大きな変化はみられなかったが、その他の層では経験率が上昇した。20年度調査と23年度調査を比べると、公務員の経験率が低下しているが、その他の層は20年度調査と大きな変化はみられない。
- 性別・地域別では、17年度調査と20年度調査を比べると、各層で経験率が上昇したが、20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。

（2）過去1年間の400ml献血回数（Q20－2）

Q20. 過去1年間に何回献血しましたか。　（2）400ml献血

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	0回	1回	2回	3回
全体		23年	(5000)	63.4	23.7	9.0	4.0
		20年	(5000)	62.3	22.1	8.3	7.4
		17年	(5000)	73.6	16.6	6.3	3.4
職業別	高校生	23年	(180)	82.8	15.0	1.1	1.1
		20年	(181)	85.1	11.6	1.7	1.6
		17年	(87)	87.4	8.0	2.3	2.3
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	55.4	29.0	11.5	4.0
		20年	(1453)	55.9	27.7	9.8	6.5
		17年	(652)	64.0	21.5	9.4	5.2
	会社員	23年	(2019)	62.9	23.3	9.1	4.7
		20年	(2152)	59.2	22.4	9.4	9.0
		17年	(2099)	70.0	18.9	7.3	3.7
	公務員	23年	(225)	59.1	23.6	9.3	8.0
		20年	(207)	54.1	20.8	9.7	15.5
		17年	(203)	58.6	21.7	13.8	5.9
	自営業	23年	(135)	64.4	22.2	8.9	4.4
		20年	(106)	65.1	17.0	8.5	9.4
		17年	(143)	75.5	15.4	4.2	4.9
	専業主婦	23年	(444)	80.2	13.7	4.7	1.4
		20年	(448)	82.6	11.4	3.6	2.5
		17年	(1067)	83.4	11.9	2.8	1.9
	その他	23年	(516)	68.4	21.5	7.4	2.7
		20年	(453)	71.5	18.8	4.6	5.1
		17年	(749)	80.2	12.6	4.8	2.4
性別	男性	23年	(2518)	53.9	29.0	11.4	5.7
		20年	(2556)	52.1	25.9	11.4	10.6
		17年	(1705)	60.6	22.5	10.9	6.0
	女性	23年	(2482)	73.0	18.2	6.5	2.3
		20年	(2444)	73.0	18.0	5.0	4.0
		17年	(3295)	80.3	13.6	4.0	2.1
地域別	北海道	23年	(206)	60.2	27.2	7.8	4.9
		20年	(210)	61.0	23.3	11.4	4.3
		17年	(200)	73.5	16.5	6.0	4.0
	東北	23年	(353)	66.9	20.4	8.8	4.0
		20年	(355)	63.9	19.7	9.6	6.8
		17年	(350)	74.6	17.7	4.9	2.9
	関東甲信越	23年	(1825)	64.2	22.7	8.6	4.4
		20年	(1825)	62.5	22.0	8.2	7.4
		17年	(1800)	73.2	17.2	6.4	3.2
	東海北陸	23年	(786)	66.5	21.4	8.4	3.7
		20年	(780)	66.9	18.2	7.2	7.7
		17年	(750)	78.5	12.5	5.5	3.5
	近畿	23年	(816)	62.5	23.9	9.4	4.2
		20年	(816)	62.3	23.3	8.8	5.6
		17年	(850)	72.4	18.4	5.9	3.4
	中国・四国	23年	(431)	62.4	26.9	8.1	2.6
		20年	(431)	60.8	23.7	6.0	9.5
		17年	(450)	72.0	16.0	8.4	3.6
	九州・沖縄	23年	(583)	57.5	27.6	11.3	3.6
		20年	(583)	56.3	25.6	9.1	9.1
		17年	(600)	71.2	17.5	7.2	4.2

（3）過去1年間の成分献血回数（Q20－3）

【 過去1年間で成分献血をした人は3割弱 】

- 過去1年間で成分献血の経験がある人は27.3%。献血した回数では「1回」が14.8%。2回以上経験のある人は12.5%であった。
- 職業別では、高校生の経験率が14.4%、専業主婦の経験率が21.4%で他の層と比べると経験率が低い。
- 性別による大きな差はみられない。
- 地域別では、北海道の経験率が21.4%で他の地域と比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体での経験率は上昇傾向にある。ただし2回以上の複数回経験者の割合には大きな変化はみられず、「1回」経験している割合が上昇している。
- 職業別では、公務員のみ20年度調査と23年度調査を比べると経験率がやや低下しているが、その他の層では17年度調査から経験率は上昇傾向にある。
- 性別では、男女ともに17年度調査から経験率は上昇傾向にある。
- 地域別では、東北と中国・四国では20年度調査と23年度調査で大きな変化はみられないが、その他の地域では20年度調査と比べて経験率が上昇している。

（3）過去1年間の成分献血回数（Q20－3）

Q20. 過去1年間に何回献血しましたか。　（3）成分献血

（％）

【基数:対象者全員】

			(N)	0回	1回	2回	3回	4回以上
全体		23年	(5000)	72.7	14.8	5.0	2.3	5.2
		20年	(5000)	77.9	11.0	3.2	1.9	6.0
		17年	(5000)	81.2	7.7	3.4	2.1	5.6
職業別	高校生	23年	(180)	85.6	11.1	2.8	0.0	0.6
		20年	(181)	93.9	5.5	0.6	0.0	0.0
		17年	(87)	92.0	5.7	0.0	1.1	1.1
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	68.3	18.3	5.8	2.3	5.3
		20年	(1453)	76.5	12.7	3.3	1.6	5.8
		17年	(652)	77.9	9.7	2.8	2.6	7.1
	会社員	23年	(2019)	71.8	14.4	5.2	2.8	5.8
		20年	(2152)	76.4	11.5	3.4	2.1	6.6
		17年	(2099)	79.6	8.2	4.0	2.3	5.9
	公務員	23年	(225)	75.1	12.9	4.0	1.8	6.2
		20年	(207)	71.0	11.1	5.3	1.9	10.6
		17年	(203)	73.9	9.9	4.9	3.9	7.4
	自営業	23年	(135)	72.6	14.8	5.2	2.2	5.2
		20年	(106)	78.3	10.4	3.8	2.8	4.7
		17年	(143)	80.4	12.6	1.4	2.1	3.5
	専業主婦	23年	(444)	78.6	12.8	2.9	2.3	3.4
		20年	(448)	83.7	8.5	2.9	2.0	2.9
		17年	(1067)	87.5	5.9	2.8	0.7	3.0
	その他	23年	(516)	78.1	10.5	5.2	1.0	5.2
		20年	(453)	79.9	8.4	2.4	2.2	7.1
		17年	(749)	80.5	6.0	3.5	2.7	7.3
性別	男性	23年	(2518)	72.5	15.2	4.8	2.1	5.4
		20年	(2556)	79.1	10.0	2.9	1.6	6.3
		17年	(1705)	82.0	6.9	2.6	2.0	6.5
	女性	23年	(2482)	72.8	14.5	5.2	2.4	5.1
		20年	(2444)	76.5	12.1	3.6	2.2	5.6
		17年	(3295)	80.8	8.1	3.8	2.2	5.1
地域別	北海道	23年	(206)	78.6	9.2	6.3	2.9	2.9
		20年	(210)	86.2	8.6	2.4	1.4	1.4
		17年	(200)	87.0	7.0	3.0	1.0	2.0
	東北	23年	(353)	76.5	12.7	3.7	1.1	5.9
		20年	(355)	77.7	12.1	3.1	1.7	5.4
		17年	(350)	81.1	7.1	2.9	2.6	6.3
	関東甲信越	23年	(1825)	71.7	15.0	5.1	2.5	5.6
		20年	(1825)	77.6	10.9	3.3	1.8	6.5
		17年	(1800)	81.7	7.9	3.1	1.9	5.3
	東海北陸	23年	(786)	72.9	13.9	5.5	2.3	5.5
		20年	(780)	77.7	10.5	4.0	1.8	6.0
		17年	(750)	77.7	8.5	3.6	1.9	8.3
	近畿	23年	(816)	72.9	16.4	4.8	1.7	4.2
		20年	(816)	77.7	10.9	3.4	2.1	5.9
		17年	(850)	80.9	8.2	4.1	2.2	4.5
	中国・四国	23年	(431)	73.8	14.8	4.2	2.3	4.9
		20年	(431)	75.9	12.5	2.6	2.1	7.0
		17年	(450)	81.3	7.1	2.9	2.9	5.8
	九州・沖縄	23年	(583)	69.8	16.5	5.5	2.6	5.7
		20年	(583)	77.5	11.5	2.7	2.6	5.7
		17年	(600)	82.3	6.5	3.8	2.3	5.0

（4）今までの合計献血回数（Q21）

【 今までの合計献血回数は2回以上が3人中2人 】

- 今までの合計献血回数は、「1回」が最も多く33.8%を占め、3人中1人。3人中2人（66.2%）が2回以上の複数回献血者であり、回数は「3～5回」が全体の26.4%を占める。
- 職業別では、公務員で2回以上の複数回献血者の割合が76.9%にのぼり高い。特に「3～5回」の経験者が公務員全体の31.6%を占めており高い。対して高校生の複数回献血者は31.7%、大学生・専門学校生は60.9%で、学生の複数回献血者が他の層と比べて低い。
- 性別・地域別では大きな差はみられない。

- 今までの合計献血回数を、初めて献血した場所と家族の献血の有無で分析した。※下図を参照まず、初めて献血した場所別では、「大学キャンパス又は専門学校・各種学校」や「職場」に比べて「高校」で初めて献血した層ほど献血頻度が高い傾向。高校で初めて献血した層では、3回以上の献血者が半数を占める。　また家族の献血の有無では、家族の献血現場を見たことがある層ほど本人の献血頻度が高まっており、両者の相関がみられる。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での献血頻度は低下し、複数回献血者の割合が6ポイント低下した。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。
- 職業別では、過去2回調査と比べると、高校生の複数回献血者の割合は低下傾向にある。また自営業は20年度調査と比べると「3～5回」の割合が低下し、「2回」の割合が上昇している。
- 性別では、男女ともに17年度調査と20年度調査を比べると献血回数が低下し、23年度調査は20年度調査から大きな変化はみられない。
- 地域別では、北海道で20年度調査と23年度調査を比べると、3回以上の献血者の割合が上昇している。

＜関連質問の回答別＞

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	1回	2回	3～5回	6～10回	11～20回	21～30回	それ以上
全　体		23年	(5000)	33.8	18.3	26.4	10.4	5.9	2.3	2.9
		20年	(5000)	33.7	18.7	26.2	10.8	6.2	2.0	2.4
初めて献血した場所	高校	23年	(793)	31.8	18.5	29.9	10.5	4.2	3.2	2.0
		20年	(902)	30.6	21.5	27.6	10.4	6.8	1.6	1.6
	大学キャンパス又は専門学校・各種学校	23年	(1058)	34.5	21.1	27.1	9.9	4.8	1.2	1.3
		20年	(1062)	36.1	20.9	28.6	7.9	3.9	1.4	1.2
	職場	23年	(262)	32.4	23.3	25.2	10.7	5.3	2.3	0.8
		20年	(240)	36.7	22.5	27.9	9.2	2.1	0.4	1.3
	献血バス（上記以外）	23年	(1091)	36.1	19.7	25.1	8.7	6.3	1.1	2.9
		20年	(1048)	37.5	18.5	24.2	11.4	4.6	1.7	1.1
	献血ルーム（血液センター）	23年	(1661)	31.9	14.4	26.1	11.9	7.5	3.9	4.3
		20年	(1641)	29.5	15.5	25.4	13.2	9.1	3.3	4.0
	覚えていない	23年	(135)	47.4	20.7	17.8	8.9	0.7	0.0	4.4
		20年	(107)	57.0	14.0	18.7	3.7	4.7	0.0	1.9
家族の献血の有無	ある	23年	(1216)	25.5	15.8	27.8	12.3	9.5	4.5	4.5
		20年	(1088)	24.2	16.0	28.4	13.7	10.3	3.5	4.0
	ない	23年	(3350)	36.3	19.0	25.9	9.8	4.8	1.7	2.4
		20年	(3531)	35.9	19.1	25.8	10.3	5.3	1.7	1.9
	覚えていない	23年	(434)	37.6	19.8	26.7	9.7	3.5	0.9	1.8
		20年	(381)	40.2	22.8	23.6	7.1	2.6	1.2	2.4

（4）今までの合計献血回数（Q21）

Q21. 今までの献血回数は合計で何回ですか。

（％）

【基数：対象者全員】

			(N)	1回	2回	3～5回	6～10回	11～20回	21～30回	それ以上
全体		23年	(5000)	33.8	18.3	26.4	10.4	5.9	2.3	2.9
		20年	(5000)	33.7	18.7	26.2	10.8	6.2	2.0	2.4
		17年	(5000)	28.2	16.3	27.3	13.4	7.9	3.3	3.7
職業別	高校生	23年	(180)	68.3	12.8	14.4	3.3	0.0	0.0	1.1
		20年	(181)	63.0	19.3	13.3	0.6	0.0	0.0	3.9
		17年	(87)	56.3	29.9	11.5	0.0	0.0	1.1	1.1
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	39.1	21.0	25.1	7.9	3.8	1.4	1.6
		20年	(1453)	38.0	21.1	25.2	8.1	4.3	1.8	1.5
		17年	(652)	34.0	16.3	27.6	11.3	6.3	2.8	1.1
	会社員	23年	(2019)	29.0	16.0	28.1	12.7	6.8	2.6	4.7
		20年	(2152)	28.3	17.7	27.9	12.8	7.9	3.0	2.5
		17年	(2099)	25.0	15.6	28.3	14.1	8.5	4.2	4.1
	公務員	23年	(225)	23.1	16.9	31.6	9.8	9.8	7.6	1.3
		20年	(207)	23.7	16.9	24.6	17.4	7.7	4.3	5.3
		17年	(203)	13.3	11.8	31.0	13.3	18.2	4.9	7.4
	自営業	23年	(135)	30.4	22.2	20.0	11.9	6.7	5.9	3.0
		20年	(106)	33.0	11.3	31.1	13.2	4.7	0.0	6.6
		17年	(143)	28.0	13.3	28.7	16.8	7.0	3.5	2.8
	専業主婦	23年	(444)	28.6	20.5	28.6	12.8	7.2	0.9	1.4
		20年	(448)	34.4	18.3	28.3	10.9	6.3	0.4	1.3
		17年	(1067)	29.2	17.1	26.1	15.5	7.5	2.6	2.0
	その他	23年	(516)	35.5	18.8	25.2	8.7	6.6	2.7	2.5
		20年	(453)	38.0	18.3	24.1	9.1	6.4	2.2	2.0
		17年	(749)	31.4	17.1	26.0	11.1	6.3	2.9	5.2
性別	男性	23年	(2518)	33.2	17.9	27.1	10.7	5.6	2.2	3.2
		20年	(2556)	33.4	18.7	26.3	10.3	5.9	2.2	3.2
		17年	(1705)	26.9	16.4	28.9	11.0	8.5	3.4	4.9
	女性	23年	(2482)	34.4	18.7	25.7	10.1	6.1	2.5	2.6
		20年	(2444)	34.0	18.7	26.1	11.3	6.5	1.9	1.5
		17年	(3295)	28.9	16.2	26.4	14.7	7.6	3.2	3.1
地域別	北海道	23年	(206)	31.6	16.0	33.5	7.8	5.8	3.9	1.5
		20年	(210)	35.2	20.0	26.7	10.5	5.2	1.4	1.0
		17年	(200)	28.0	17.5	24.5	12.5	11.5	2.5	3.5
	東北	23年	(353)	31.2	21.5	26.3	10.2	6.5	2.3	2.0
		20年	(355)	30.7	18.0	27.3	12.7	6.8	2.8	1.7
		17年	(350)	24.0	17.4	26.3	16.3	8.0	5.1	2.9
	関東甲信越	23年	(1825)	34.6	16.9	26.6	10.0	6.5	2.4	3.1
		20年	(1825)	34.6	18.0	25.9	10.7	6.3	2.1	2.4
		17年	(1800)	30.4	16.2	26.7	12.8	6.9	3.7	3.3
	東海北陸	23年	(786)	34.5	18.2	25.1	11.2	5.6	1.9	3.6
		20年	(780)	32.9	20.0	26.0	9.1	5.8	2.8	3.3
		17年	(750)	26.0	16.8	28.1	11.7	8.5	3.7	5.1
	近畿	23年	(816)	34.7	19.5	25.2	10.8	4.5	2.4	2.6
		20年	(816)	35.7	17.6	25.4	11.5	5.9	1.1	2.2
		17年	(850)	30.2	14.8	28.5	14.6	6.7	2.2	2.9
	中国・四国	23年	(431)	31.3	18.8	27.4	12.1	5.8	2.3	2.3
		20年	(431)	31.6	20.4	25.8	10.0	8.6	1.6	2.1
		17年	(450)	24.4	19.6	27.6	12.7	10.2	2.9	2.7
	九州・沖縄	23年	(583)	33.4	19.6	26.1	9.8	5.8	1.9	3.4
		20年	(583)	31.9	19.2	28.0	11.7	5.1	1.4	2.7
		17年	(600)	26.5	14.3	27.5	14.8	8.5	2.7	5.7

（１）初めての献血のきっかけ 「１位＜最も大きな要因＞」（Q22）

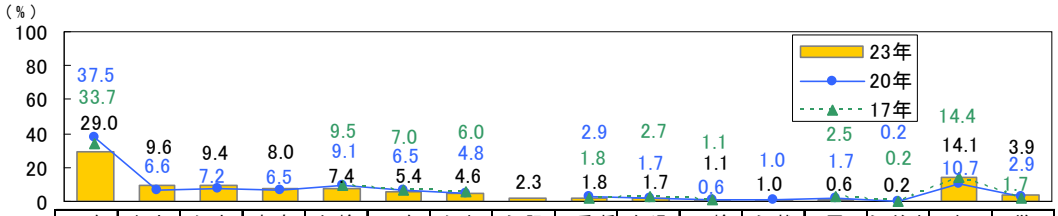
【 初めての献血のきっかけの１位は「自分の血液を役立てたい」が3割弱 】

- 初めての献血のきっかけを大きい順に3つまで選んでもらったところ、1位に挙がった要因では、「自分の血液が役に立ってほしいから」が29.0%で3割弱。その他はそれぞれ1割以下で、「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」(9.6%)、「家族や友人などに勧められたから」(9.4%)、「高校に献血バス・出張献血が来たから」(8.0%)が続く。
- 職業別では、各層とも「自分の血液が役に立ってほしいから」が主要なきっかけである。公務員では他の層と比べて「なんとなく」(19.6%)が高い。
- 性別では、男性で「なんとなく」(16.9%)献血をする割合が女性(11.3%)に比べて高い。
- 地域別では、「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」が北海道(13.6%)、中国・四国(13.5%)、九州・沖縄(12.5%)で他の地域と比べて高い。

- 過去2回調査と比べると、全体での「自分の血液が役に立ってほしいから」が低下している。職業別・性別・地域別でみても、各層で同様に低下している。
- 職業別では、高校生と専業主婦は「家族や友人などに勧められたから」が上昇、公務員と自営業では「なんとなく」が上昇している。
- 地域別では、北海道と中国・四国で「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」が上昇している。

（1）初めての献血のきっかけ「1位＜最も大きな要因＞」（Q22）

Q22. 初めての献血のきっかけになったのは、次のうちどれですか。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数：対象者全員】

			(N)	自分の血液が役に立ってほしいから	大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから	家族や友人などに勧められたから	高校に献血バス・出張献血が来たから	輸血用の血液が不足していると聞いたから	自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから	お菓子やジュースがもらえるから	記念品やグッズがもらえるから	将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した	過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから	輸血を受けるときに役立てたいから	献血は愛に根ざしたものだから	図書券がもらえたから	ネールアートやマッサージなどのサービスが受けられるから	なんとなく	覚えていない
全体		23年	(5000)	29.0	9.6	9.4	8.0	7.4	5.4	4.6	2.3	1.8	1.7	1.1	1.0	0.6	0.2	14.1	3.9
		20年	(5000)	37.5	6.6	7.2	6.5	9.1	6.5	4.8		2.9	1.7	0.6	1.0	1.7	0.2	10.7	2.9
		17年	(5000)	33.7				9.5	7.0	6.0		1.8	2.7	1.1		2.5	0.2	14.4	1.7
職業別	高校生	23年	(180)	33.9	1.1	10.6	7.2	4.4	9.4	2.8	2.8	1.7	1.1	1.7	0.6	－	0.6	14.4	7.8
		20年	(181)	44.8	0.6	3.9	8.3	5.5	5.5	7.7		3.3	1.1	1.1	0.6	1.1	－	11.6	5.0
		17年	(87)	31.0				6.9	8.0	10.3		3.4	3.4	1.1		－	－	23.0	－
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	29.8	13.2	8.1	7.6	8.7	4.9	4.9	2.6	1.5	1.5	0.9	1.4	0.2	0.1	12.4	2.3
		20年	(1453)	37.2	7.2	6.7	6.1	9.1	7.2	6.2		2.1	1.7	0.6	1.0	1.2	0.2	10.5	3.0
		17年	(652)	32.2				10.7	7.4	6.3		0.9	4.8	1.2		1.2	0.3	15.5	1.5
	会社員	23年	(2019)	29.3	8.5	9.3	7.1	6.9	5.5	5.2	2.1	2.1	1.6	1.2	1.0	0.6	0.2	15.0	4.4
		20年	(2152)	37.6	6.9	7.3	6.0	9.1	6.7	3.9		3.0	1.7	0.6	1.1	1.8	0.1	11.1	3.0
		17年	(2099)	34.2				9.5	6.7	5.4		1.9	3.0	0.9		3.0	0.2	14.6	1.8
	公務員	23年	(225)	25.3	6.2	11.1	8.9	6.2	5.3	4.0	3.1	2.2	3.6	0.9	0.4	0.4	－	19.6	2.7
		20年	(207)	36.2	5.8	7.2	7.7	9.7	4.3	2.9		4.3	1.4	1.0	3.9	2.9	－	10.1	2.4
		17年	(203)	35.5				10.3	11.3	3.4		3.0	2.0	1.0		2.0	－	12.3	1.5
	自営業	23年	(135)	23.7	12.6	5.2	7.4	7.4	5.2	5.9	1.5	3.7	0.7	1.5	2.2	－	0.7	16.3	5.9
		20年	(106)	42.5	3.8	6.6	9.4	5.7	5.7	4.7		3.8	3.8	－	0.9	1.9	－	7.5	3.8
		17年	(143)	28.7				11.9	8.4	6.3		2.8	2.8	1.4		2.1	－	13.3	3.5
	専業主婦	23年	(444)	28.2	6.5	12.6	12.4	7.7	4.1	4.5	2.0	1.4	2.7	1.1	0.5	0.9	0.2	11.7	3.6
		20年	(448)	42.9	6.0	7.1	5.6	12.1	5.4	3.3		4.5	1.6	0.2	0.7	2.0	0.4	7.6	0.7
		17年	(1067)	35.1				8.3	6.1	6.8		1.9	1.7	1.2		2.3	－	12.7	1.6
	その他	23年	(516)	27.3	9.3	11.2	9.1	6.6	6.4	2.5	1.7	1.6	1.4	0.8	0.4	1.4	0.2	14.9	5.2
		20年	(453)	29.4	7.1	9.9	9.3	8.6	6.0	5.5		2.0	1.8	0.9	0.4	2.6	0.4	13.2	2.9
		17年	(749)	32.6				9.6	7.5	6.0		1.7	1.7	1.2		2.8	0.3	15.1	1.6
性別	男性	23年	(2518)	27.0	11.1	7.4	7.4	6.7	5.4	4.3	2.3	1.7	1.5	1.1	1.4	0.6	0.1	16.9	5.1
		20年	(2556)	36.4	7.3	6.3	6.3	7.8	7.0	4.1		2.7	1.7	0.7	1.3	1.8	0.1	12.7	3.6
		17年	(1705)	32.6				9.9	7.9	5.5		2.1	2.8	1.4		2.9	0.1	16.8	2.2
	女性	23年	(2482)	31.0	8.0	11.5	8.6	8.1	5.4	5.0	2.2	1.9	1.9	1.0	0.6	0.5	0.3	11.3	2.7
		20年	(2444)	38.6	5.8	8.1	6.8	10.5	6.0	5.5		3.0	1.7	0.5	0.7	1.6	0.3	8.6	2.1
		17年	(3295)	34.3				9.3	6.6	6.2		1.7	2.7	0.9		2.2	0.2	13.2	1.4
地域別	北海道	23年	(206)	28.6	13.6	8.3	5.3	8.3	4.9	4.4	0.5	1.0	2.9	1.5	－	0.5	－	15.5	4.9
		20年	(210)	31.0	8.1	6.7	4.8	9.5	7.1	9.0		2.9	1.9	1.4	－	1.0	－	14.3	2.4
		17年	(200)	40.0				7.5	5.5	6.5		1.0	4.5	1.5		1.0	－	12.5	1.5
	東北	23年	(353)	25.2	6.2	12.2	11.3	6.5	5.1	4.5	4.2	1.7	1.1	0.6	1.1	0.6	0.3	15.6	3.7
		20年	(355)	36.1	3.9	6.8	9.6	9.3	8.7	3.7		2.3	2.0	1.4	0.8	2.0	－	11.0	2.5
		17年	(350)	33.4				9.7	7.7	8.0		2.3	1.4	0.6		1.4	－	10.9	1.7
	関東甲信越	23年	(1825)	27.6	8.5	8.4	10.0	7.0	5.7	6.0	2.4	2.1	1.5	1.0	1.4	0.7	0.4	12.9	4.5
		20年	(1825)	38.6	5.2	6.8	6.1	8.9	6.5	5.8		2.8	1.4	0.4	1.2	1.7	0.3	11.1	3.2
		17年	(1800)	31.9				8.9	6.2	7.3		1.9	2.8	1.0		3.0	0.4	14.9	2.1
	東海北陸	23年	(786)	32.1	8.4	10.4	7.4	6.2	4.3	4.8	2.7	2.7	1.5	0.9	0.5	0.3	－	14.5	3.3
		20年	(780)	37.9	6.5	7.6	8.1	8.8	5.4	4.4		3.1	2.4	0.8	0.8	2.7	0.1	8.8	2.6
		17年	(750)	35.9				8.4	7.1	4.8		2.3	3.2	1.2		3.1	－	15.1	1.5
	近畿	23年	(816)	30.5	9.2	9.7	5.1	8.5	5.8	3.3	1.7	1.5	2.2	1.3	0.9	0.5	0.1	16.5	3.2
		20年	(816)	38.4	8.1	6.7	4.3	9.3	6.4	4.3		2.9	1.7	0.5	1.0	0.9	0.2	12.4	2.9
		17年	(850)	36.0				10.6	8.8	3.8		1.1	2.6	1.1		1.6	0.1	14.9	1.8
	中国・四国	23年	(431)	29.2	13.5	9.5	6.7	8.1	6.0	2.6	1.9	1.4	1.9	0.9	0.9	0.9	－	13.2	3.2
		20年	(431)	38.3	6.7	8.1	6.7	9.3	7.0	3.5		3.2	1.4	0.2	1.2	1.9	0.5	9.5	2.6
		17年	(450)	34.2				12.0	7.3	4.4		1.8	2.2	0.7		2.2	－	16.4	1.3
	九州・沖縄	23年	(583)	29.5	12.5	9.6	6.3	8.2	5.5	3.8	1.9	1.0	1.7	1.2	0.9	0.5	0.2	13.4	3.8
		20年	(583)	34.8	9.9	8.6	7.4	9.6	6.3	3.1		2.7	1.7	0.7	1.4	1.9	－	9.3	2.6
		17年	(600)	31.0				9.7	6.7	6.2		2.2	2.7	1.5		2.5	－	12.3	0.8

（%）

注：17年は「献血は愛に根ざしたものだから」「家族や友人などに勧められたから」「高校に献血バス・出張献血が来たから」「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」の回答肢なし。逆に20年は「高校での集団献血、若しくは友人に誘われたから」を削除。
17年、20年は「記念品やグッズがもらえるから」の回答肢なし。

（2）初めての献血のきっかけ 「1位～3位累計」（Q22）

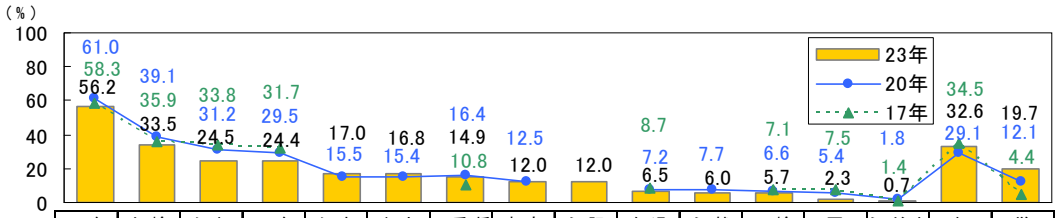
【 初めての献血のきっかけ(累計)は「自分の血液を役立てたい」が6割弱 】

- 初めての献血のきっかけとなったものを1～3位の累計でみると、「自分の血液が役に立ってほしいから」が圧倒的に高く56.2%。次いで、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(33.5%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(24.5%)、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」(24.4%)が続く。
- 職業別では、各層で「自分の血液が役に立ってほしいから」がトップの理由となっている。高校生では「献血は愛に根ざしたものだから」(14.4%)が他の層と比べて高い。また、専業主婦で「家族や友人などに勧められたから」が22.7%で他の層と比べて高い。
- 性別では、男性に比べて女性で「自分の血液が役に立ってほしいから」(60.2%)、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(36.2%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(27.7%)、「家族や友人などに勧められたから」(20.4%)が高く、対して男性は女性に比べて「なんとなく」(35.3%)献血している人が多い。
- 地域別では、「高校に献血バス・出張献血が来たから」が東北(19.0%)で他の地域と比べて高い。

- 20年度調査と比べると、全体では「輸血用の血液が不足していると聞いたから」、「お菓子やジュースがもらえるから」「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」といった上位2～4位のきっかけが低下している。
- 職業別では、20年度調査と比べると「自分の血液が役に立ってほしいから」「輸血用の血液が不足していると聞いたから」「お菓子やジュースがもらえるから」といった上位1～3位の意見が総じて各層で低下している。一方、公務員、自営業、専業主婦では「なんとなく」が上昇している。
- 性別・地域別では、各層で総じて上位1～4位のきっかけが20年度調査と比べて低下している。東北では「家族や友人などに勧められたから」や「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」といった外的要因がきっかけになった割合が20年度調査と比べて上昇した。

（2）初めての献血のきっかけ「1位～3位累計」（Q22）

Q22. 初めての献血のきっかけになったのは、次のうちどれですか。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数：対象者全員】

			(N)	自分の血液が役に立ってほしいから	輸血用の血液が不足していると聞いたから	お菓子やジュースがもらえるから	自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから	家族や友人などに勧められたから	大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから	将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから	高校に献血バス・出張献血が来たから	記念品やグッズがもらえるから	過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから	献血は愛に根ざしたものだから	輸血を受けるときに役立てたいから	図書券がもらえたから	ネールアートやマッサージなどのサービスが受けられるから	なんとなく	覚えていない
全体		23年	(5000)	56.2	33.5	24.5	24.4	17.0	16.8	14.9	12.0	12.0	6.5	6.0	5.7	2.3	0.7	32.6	19.7
		20年	(5000)	61.0	39.1	31.2	29.5	15.5	15.4	16.4	12.5		7.2	7.7	6.6	5.4	1.8	29.1	12.1
		17年	(5000)	58.3	35.9	33.8	31.7			10.8			8.7		7.1	7.5	1.4	34.5	4.4
職業別	高校生	23年	(180)	53.3	36.7	22.2	23.3	15.0	2.8	15.0	11.7	12.2	10.0	14.4	7.2	1.1	1.7	26.1	22.2
		20年	(181)	62.4	39.2	33.1	22.7	12.2	0.6	11.6	16.6		11.6	14.4	12.2	3.9	5.0	27.6	13.3
		17年	(87)	49.4	34.5	44.8	29.9			6.9			10.3		10.3	5.7	3.4	43.7	6.9
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	56.5	36.5	27.5	22.9	16.3	23.9	15.0	12.5	13.8	6.1	6.4	5.8	2.0	0.5	29.8	14.2
		20年	(1453)	58.6	38.5	33.6	31.9	15.5	21.1	15.3	12.8		7.1	7.2	7.1	4.6	1.3	27.5	9.8
		17年	(652)	58.7	36.0	34.2	31.9			9.0			12.1		7.7	6.4	2.0	36.2	3.2
	会社員	23年	(2019)	55.4	32.2	22.5	25.9	16.0	14.7	14.7	10.3	11.0	6.7	6.3	6.0	2.7	0.7	33.3	23.4
		20年	(2152)	61.3	38.3	29.3	28.7	14.9	14.0	17.3	11.6		6.8	7.9	6.4	6.2	1.6	30.7	14.0
		17年	(2099)	57.5	36.8	32.7	31.4			11.9			8.8		7.0	8.1	1.4	34.9	5.1
	公務員	23年	(225)	57.3	28.0	22.2	21.8	18.2	12.0	15.6	13.8	15.6	7.6	5.3	4.9	2.2	1.3	39.1	22.7
		20年	(207)	61.8	39.1	30.0	30.9	17.4	12.6	19.8	12.6		9.2	9.2	5.3	7.2	2.4	30.0	6.3
		17年	(203)	63.1	39.4	34.5	38.4			13.8			6.9		5.9	11.8	3.0	29.6	0.5
	自営業	23年	(135)	50.4	30.4	25.9	22.2	11.1	16.3	20.7	11.9	9.6	2.2	5.9	4.4	2.2	3.0	34.8	25.2
		20年	(106)	65.1	43.4	27.4	27.4	16.0	5.7	16.0	15.1		5.7	15.1	1.9	6.6	4.7	25.5	12.3
		17年	(143)	55.2	34.3	32.9	27.3			11.9			13.3		7.7	9.1	0.7	31.5	4.9
	専業主婦	23年	(444)	60.6	33.6	26.4	25.0	22.7	11.0	14.0	14.6	11.3	7.2	3.4	5.0	2.5	0.5	31.3	18.5
		20年	(448)	69.4	45.8	30.6	28.8	17.2	12.5	19.6	11.8		7.6	8.0	6.5	4.2	1.3	25.4	7.4
		17年	(1067)	61.3	35.1	34.3	31.1			11.7			7.4		7.1	6.3	0.7	30.9	4.6
	その他	23年	(516)	56.6	32.2	23.3	24.8	19.8	16.9	14.3	14.1	9.9	5.6	3.3	4.8	1.9	0.4	38.2	18.2
		20年	(453)	56.7	37.3	34.0	29.4	17.0	15.9	12.4	14.6		6.2	3.3	5.5	4.9	3.1	30.7	16.8
		17年	(749)	56.2	33.8	34.3	32.0			7.7			6.5		7.1	7.3	1.1	37.8	3.7
性別	男性	23年	(2518)	52.3	30.9	21.3	23.9	13.7	19.5	14.7	11.0	12.0	6.2	7.1	6.4	2.5	0.6	35.3	23.4
		20年	(2556)	57.9	35.0	28.8	28.9	13.9	16.5	16.7	11.9		6.9	9.2	7.5	5.9	1.5	33.3	14.3
		17年	(1705)	54.8	34.7	29.5	31.6			11.1			8.4		9.1	8.7	1.4	38.9	5.6
	女性	23年	(2482)	60.2	36.2	27.7	25.0	20.4	14.1	15.1	13.0	11.9	6.8	4.9	5.0	2.1	0.8	29.9	15.9
		20年	(2444)	64.2	43.4	33.8	30.2	17.1	14.2	16.0	13.2		7.4	6.2	5.6	4.9	2.2	24.6	9.8
		17年	(3295)	60.1	36.5	36.0	31.7			10.7			8.8		6.1	6.9	1.4	32.2	3.7
地域別	北海道	23年	(206)	56.8	33.5	27.7	21.8	17.5	19.4	12.1	9.7	8.3	10.2	3.9	4.9	2.4	0.5	32.0	21.4
		20年	(210)	60.0	37.1	34.3	30.5	17.6	15.2	13.3	9.0		8.6	6.2	7.6	5.2	0.5	33.8	12.4
		17年	(200)	63.5	41.5	39.0	30.0			9.5			11.5		8.0	5.5	2.0	34.0	4.5
	東北	23年	(353)	48.4	29.5	28.0	21.5	21.8	14.7	11.9	19.0	14.7	4.2	3.1	3.7	2.8	1.1	36.3	21.8
		20年	(355)	60.8	38.3	31.3	29.6	13.8	9.6	14.6	18.9		9.6	6.2	6.8	5.9	1.7	32.4	10.7
		17年	(350)	64.0	32.3	30.3	32.0			13.7			8.0		6.3	7.4	0.9	29.1	4.3
	関東甲信越	23年	(1825)	55.7	32.4	25.9	25.0	15.1	16.4	14.7	13.9	11.6	6.4	6.8	5.5	2.5	0.8	32.5	19.0
		20年	(1825)	60.1	39.1	34.2	29.1	14.4	13.3	15.9	12.4		6.2	8.5	5.8	5.3	2.2	29.0	13.6
		17年	(1800)	55.1	35.1	35.7	30.2			11.3			8.0		7.1	7.8	1.9	35.4	4.0
	東海北陸	23年	(786)	58.4	33.1	24.4	21.0	17.7	14.2	16.3	11.6	13.4	6.1	6.5	6.2	2.4	0.8	31.9	20.2
		20年	(780)	60.5	37.2	30.0	27.8	17.1	14.6	18.1	13.5		8.5	7.1	7.7	6.2	0.9	29.5	12.9
		17年	(750)	60.1	33.3	32.1	31.9			10.3			10.4		7.6	8.9	0.9	34.1	5.9
	近畿	23年	(816)	57.8	36.4	22.1	25.9	16.4	16.7	16.3	9.1	10.4	6.6	6.1	5.6	1.8	0.5	34.6	19.6
		20年	(816)	62.1	41.1	27.3	28.9	15.4	17.0	19.0	10.4		8.5	8.7	6.1	4.4	1.7	29.9	10.3
		17年	(850)	59.8	37.5	32.1	34.8			11.6			8.6		6.7	5.8	1.1	36.1	3.6
	中国・四国	23年	(431)	55.5	36.2	21.1	26.9	19.0	19.5	15.1	9.0	9.7	6.5	6.7	6.7	2.6	0.5	28.8	21.1
		20年	(431)	61.9	39.7	30.9	31.1	16.5	18.6	16.5	12.8		7.7	4.6	7.4	7.0	2.3	26.0	9.0
		17年	(450)	58.2	38.7	30.9	30.9			8.9			8.9		5.3	6.7	0.2	36.7	4.2
	九州・沖縄	23年	(583)	57.6	34.1	22.6	26.2	18.4	20.2	14.2	9.3	14.6	7.0	4.8	6.3	1.7	0.7	32.2	18.2
		20年	(583)	62.4	40.0	28.0	32.6	16.5	22.0	13.9	11.8		4.3	8.6	7.2	5.0	2.4	25.9	11.5
		17年	(600)	58.7	37.2	34.8	32.3			9.2			8.0		9.0	8.7	1.8	31.3	4.7

（%）

注：17年は「献血は愛に根ざしたものだから」「家族や友人などに勧められたから」「高校に献血バス・出張献血が来たから」「大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから」の回答肢なし。逆に20年は「高校での集団献血、若しくは友人に誘われたから」を削除。
17年、20年は「記念品やグッズがもらえるから」の回答肢なし。

（3）現在献血するきっかけ 「1位＜最も大きな要因＞」（Q23）

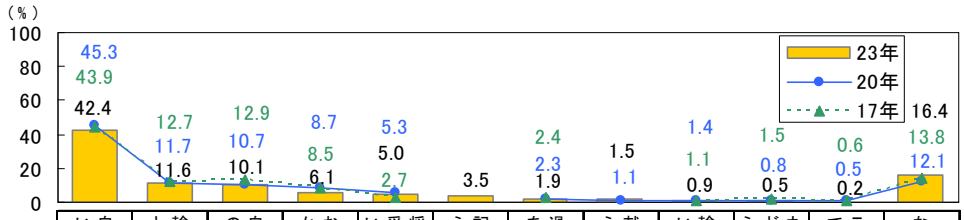
【 現在献血するきっかけの1位は「自分の血液を役立てたい」が4割強 】

- 現在献血するきっかけを大きい順に3つまで選んでもらったところ、初めての献血のきっかけと同様で、第1位のきっかけでは「自分の血液が役に立ってほしいから」が42.4%で他の項目と比べて圧倒的に高い。その他の項目は1割程度以下で、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(11.6%)、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」(10.1%)が続く。
- 職業別では、大きな差はみられない。
- 性別では、男性に比べて女性で「自分の血液が役に立ってほしいから」(45.0%)が高く、対して男性では「なんとなく」(19.8%)が高い。
- 地域別では、「自分の血液が役に立ってほしいから」が北海道(36.9%)と東北(37.1%)で他の地域に比べて低い。

- 過去2回調査と比べると、全体の傾向に大きな変化はみられない。
- 職業別では、「自分の血液が役に立ってほしいから」が20年度調査と比べて高校生と自営業、専業主婦で低下している。
- 性別では、過去2回調査と比べて大きな変化はみられない。
- 地域別では、20年度調査と比べると、東北で「自分の血液が役に立ってほしいから」、北海道では「お菓子やジュースがもらえるから」が低下している。

（3）現在献血するきっかけ「1位＜最も大きな要因＞」（Q23）

Q23. 現在献血するきっかけになっているのは、次のうちどれですか。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数:対象者全員】

		(N)	自分の血液が役に立ってほしいから	輸血用の血液が不足していると聞いたから	自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから	お菓子やジュースがもらえるから	将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した	記念品やグッズがもらえるから	過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから	献血は愛に根ざしたものだから	輸血を受けるときに役立てたいから	ネールアートやマッサージなどのサービスが受けられるから	テレビやDVDを観ることができるから	なんとなく
全体	23年	(5000)	42.4	11.6	10.1	6.1	5.0	3.5	1.9	1.5	0.9	0.5	0.2	16.4
	20年	(5000)	45.3	11.7	10.7	8.7	5.3		2.3	1.1	1.4	0.8	0.5	12.1
	17年	(5000)	43.9	12.7	12.9	8.5	2.7		2.4		1.1	1.5	0.6	13.8
職業別 高校生	23年	(180)	40.6	7.2	12.2	7.8	3.3	2.8	2.2	1.7	2.2	－	0.6	19.4
	20年	(181)	48.6	8.3	6.6	11.0	3.9		1.7	1.7	1.7	2.2	0.6	13.8
	17年	(87)	37.9	9.2	10.3	8.0	4.6		1.1		3.4	－	2.3	23.0
職業別 大学生・専門学校生	23年	(1481)	43.1	12.7	7.5	7.0	4.4	4.8	2.0	1.8	0.8	0.5	0.1	15.3
	20年	(1453)	44.5	12.9	10.9	10.3	4.1		2.1	1.4	1.9	0.6	0.6	10.8
	17年	(652)	42.0	14.7	12.6	10.1	1.8		2.9		0.9	1.4	0.6	12.9
職業別 会社員	23年	(2019)	41.4	11.3	11.9	5.4	5.3	2.8	1.7	1.6	0.9	0.5	0.2	16.9
	20年	(2152)	43.9	11.5	11.2	7.8	5.9		2.8	0.9	1.5	0.8	0.6	13.1
	17年	(2099)	44.2	13.1	12.7	7.7	2.8		2.9		1.0	1.5	0.7	13.5
職業別 公務員	23年	(225)	44.9	7.6	11.1	5.3	4.9	4.4	2.2	0.4	－	－	－	19.1
	20年	(207)	45.9	9.7	12.6	6.3	3.9		2.9	1.4	1.4	－	1.0	15.0
	17年	(203)	43.3	14.8	18.7	6.4	4.4		0.5		1.5	0.5	0.5	9.4
職業別 自営業	23年	(135)	39.3	13.3	11.9	5.2	7.4	2.2	2.2	0.7	0.7	0.7	－	16.3
	20年	(106)	53.8	8.5	12.3	8.5	3.8		1.9	2.8	0.0	－	0.9	7.5
	17年	(143)	46.9	7.7	11.9	7.7	0.7		4.2		1.4	2.1	2.1	15.4
職業別 専業主婦	23年	(444)	43.0	13.3	8.1	6.5	6.1	3.2	2.3	1.1	0.7	1.1	0.5	14.2
	20年	(448)	54.7	11.6	8.0	7.4	8.7		1.1	0.2	0.4	0.9	－	6.9
	17年	(1067)	46.6	11.6	12.6	8.9	3.6		2.0		0.9	1.7	0.5	11.7
職業別 その他	23年	(516)	44.2	10.9	10.3	5.8	4.7	2.9	1.4	0.8	1.0	0.8	0.2	17.2
	20年	(453)	41.3	11.9	10.8	9.9	4.6		1.8	0.9	0.7	1.3	0.7	16.1
	17年	(749)	41.4	12.0	13.2	9.3	1.7		1.3		1.2	1.6	0.1	18.0
性別 男性	23年	(2518)	39.8	10.7	10.2	5.7	4.7	4.3	1.7	1.6	0.9	0.2	0.3	19.8
	20年	(2556)	43.5	10.1	11.2	8.5	5.0		2.3	1.5	1.6	0.6	0.7	15.1
	17年	(1705)	42.3	12.5	12.4	7.6	2.9		2.2		1.5	1.2	0.9	16.6
性別 女性	23年	(2482)	45.0	12.5	9.9	6.5	5.4	2.7	2.1	1.3	0.8	0.9	0.1	12.9
	20年	(2444)	47.1	13.4	10.2	9.0	5.6		2.4	0.7	1.2	1.0	0.4	9.1
	17年	(3295)	44.8	12.8	13.2	8.9	2.6		2.5		0.9	1.6	0.5	12.3
地域別 北海道	23年	(206)	36.9	14.6	10.2	4.9	6.8	2.4	3.4	0.5	0.5	－	－	19.9
	20年	(210)	37.1	15.2	11.9	13.3	4.3		2.4	0.5	2.9	0.5	0.5	11.4
	17年	(200)	50.0	8.0	11.0	10.0	2.5		4.0		1.5	1.0	0.5	11.5
地域別 東北	23年	(353)	37.1	10.8	8.5	9.6	4.0	5.1	1.4	1.1	0.3	0.6	－	21.5
	20年	(355)	42.8	13.8	11.5	7.9	4.8		3.9	0.6	0.8	0.6	0.6	12.7
	17年	(350)	48.3	11.7	13.1	8.0	1.1		2.6		1.7	1.1	0.6	11.7
地域別 関東甲信越	23年	(1825)	40.8	11.3	9.3	7.6	5.5	3.3	1.6	1.9	1.0	0.8	0.2	16.6
	20年	(1825)	44.8	10.5	10.2	10.7	5.3		2.0	1.5	1.0	1.0	0.5	12.4
	17年	(1800)	41.2	11.8	11.4	10.4	2.9		2.4		0.9	2.5	0.7	15.8
地域別 東海北陸	23年	(786)	46.1	10.2	8.4	5.5	5.6	4.3	1.5	1.3	0.8	0.1	0.4	15.9
	20年	(780)	46.5	11.4	8.5	9.2	5.0		2.7	0.6	1.3	0.6	0.8	13.3
	17年	(750)	44.8	13.5	14.3	6.4	3.1		2.1		1.3	0.8	0.9	12.8
地域別 近畿	23年	(816)	43.5	12.7	10.5	4.4	4.0	3.7	2.1	1.3	0.9	0.6	0.2	15.9
	20年	(816)	46.8	12.1	11.4	6.5	5.9		1.7	1.6	1.3	1.2	0.4	11.0
	17年	(850)	44.6	14.8	15.3	5.1	2.4		2.5		0.9	0.9	0.4	13.2
地域別 中国・四国	23年	(431)	41.5	12.5	15.5	3.9	4.9	2.3	0.7	1.2	1.6	0.5	0.2	15.1
	20年	(431)	45.5	12.5	11.4	6.3	6.0		1.9	0.7	2.3	0.2	0.9	12.3
	17年	(450)	43.6	14.7	10.2	8.9	2.4		2.4		1.3	0.7	0.4	15.3
地域別 九州・沖縄	23年	(583)	46.7	11.3	10.8	4.6	4.3	3.1	3.4	1.2	0.5	0.3	0.2	13.6
	20年	(583)	47.0	12.2	12.9	5.7	5.1		2.9	0.5	1.9	0.5	0.3	11.0
	17年	(600)	45.7	12.0	14.7	9.5	3.3		1.7		0.8	1.2	0.5	10.7

（%）

注：17年は「献血は愛に根ざしたものだから」の回答肢なし。17年、20年は「記念品やグッズがもらえるから」の回答肢なし。

（4）現在献血するきっかけ 「1位～3位累計」（Q23）

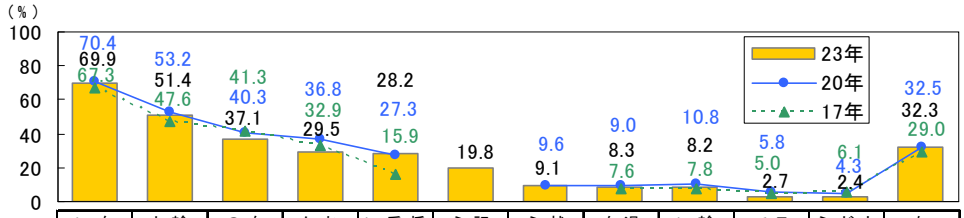
【 現在献血するきっかけ(累計)は「自分の血液を役立てたい」が7割弱 】

- 現在献血するきっかけを1～3位の累計でみると、「自分の血液が役に立ってほしいから」が69.9%と7割弱にのぼりトップ。初めての献血のきっかけと同様、最も強いきっかけになっている。次いで、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(51.4%)、「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」(37.1%) が続く。
- 職業別では、高校生で「献血は愛に根ざしたものだから」(20.0%)や「過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから」(15.0%)が他の層と比べて高い。また専業主婦では「自分の血液が役に立ってほしいから」(77.0%)、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(56.5%)が他の層と比べて高く、役立つことができればといった意識が高い。
- 性別では、男性に比べて女性で「自分の血液が役に立ってほしいから」(73.0%)、「輸血用の血液が不足していると聞いたから」(54.1%)が高い。対して女性に比べて男性で「記念品やグッズがもらえるから」(22.0%)や「なんとなく」(35.5%)といったきっかけが高い。
- 地域別では、東北で「記念品やグッズがもらえるから」(26.9%)、「お菓子やジュースがもらえるから」(35.7%)が他の地域と比べて高い。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体では「輸血用の血液が不足していると聞いたから」「将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」が上昇した。20年度調査と23年度調査を比べると「お菓子やジュースがもらえるから」が低下している。
- 職業別では、20年度調査と比べると、自営業で「自分の血液が役に立ってほしいから」が大きく低下しており、一方で「将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」が上昇している。
- 性別・地域別の各層で、「お菓子やジュースがもらえるから」が20年度調査と比べて低下している。
- 地域別では、東北で「自分の血液が役に立ってほしいから」、「将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した」が20年度調査と比べて低下した。また「自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから」が東海北陸と九州・沖縄で17年度調査から低下傾向にある。

（4）現在献血するきっかけ「1位～3位累計」（Q23）

Q23. 現在献血するきっかけになっているのは、次のうちどれですか。
きっかけの大きい順に3つまでお選びください。（それぞれひとつずつ）



【基数：対象者全員】

			(N)	自分の血液が役に立ってほしいから	輸血用の血液が不足していると聞いたから	自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから	お菓子やジュースがもらえるから	将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した	記念品やグッズがもらえるから	献血は愛に根ざしたものだから	過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから	輸血を受けるときに役立てたいから	テレビやDVDを観ることができるから	ネールアートやマッサージなどのサービスが受けられるから	なんとなく
全体		23年	(5000)	69.9	51.4	37.1	29.5	28.2	19.8	9.1	8.3	8.2	2.7	2.4	32.3
		20年	(5000)	70.4	53.2	40.3	36.8	27.3		9.6	9.0	10.8	5.8	4.3	32.5
		17年	(5000)	67.3	47.6	41.3	32.9	15.9			7.6	7.8	5.0	6.1	29.0
職業別	高校生	23年	(180)	67.2	47.8	30.6	32.8	20.0	19.4	20.0	15.0	10.6	2.8	0.6	32.2
		20年	(181)	71.8	49.2	27.6	44.8	21.5		16.6	13.3	9.9	5.5	9.4	30.4
		17年	(87)	54.0	43.7	35.6	41.4	12.6			8.0	17.2	6.9	6.9	34.4
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	67.7	53.5	33.9	33.2	27.1	22.5	9.5	8.6	8.6	3.4	2.0	28.8
		20年	(1453)	69.4	53.0	40.3	40.1	25.3		10.2	8.6	11.9	6.3	3.1	31.9
		17年	(652)	66.0	49.4	39.6	38.3	12.4			8.9	7.1	5.8	6.0	31.6
	会社員	23年	(2019)	69.7	49.5	38.5	27.7	28.9	19.1	9.4	8.5	8.0	2.5	2.5	34.3
		20年	(2152)	69.6	53.0	40.5	34.7	28.9		9.3	9.4	10.8	5.6	4.1	34.2
		17年	(2099)	66.6	49.1	41.8	31.6	15.9			8.3	7.8	5.1	5.6	28.5
	公務員	23年	(225)	74.7	44.9	38.7	28.0	31.1	21.3	8.0	7.6	6.7	2.7	2.2	33.8
		20年	(207)	73.4	53.1	43.5	31.4	31.4		11.1	8.7	10.6	5.3	2.4	29.0
		17年	(203)	74.9	53.2	48.8	30.5	18.7			6.4	6.4	7.4	4.4	22.2
	自営業	23年	(135)	62.2	50.4	36.3	28.9	37.0	20.0	10.4	5.9	8.1	2.2	4.4	31.9
		20年	(106)	75.5	51.9	43.4	34.9	23.6		17.0	7.5	4.7	5.7	6.6	29.2
		17年	(143)	65.7	42.0	41.3	25.9	11.9			11.9	9.8	8.4	7.0	30.8
	専業主婦	23年	(444)	77.0	56.5	36.9	25.7	30.2	17.6	6.3	7.0	7.2	2.5	3.8	29.1
		20年	(448)	76.1	58.0	38.8	31.3	32.8		8.3	8.0	8.9	4.7	6.7	26.3
		17年	(1067)	71.2	45.7	40.8	33.6	21.0			6.6	7.5	3.8	6.9	25.3
	その他	23年	(516)	71.9	52.5	43.0	29.5	26.2	15.9	5.6	6.2	8.3	1.4	1.9	36.6
		20年	(453)	68.4	52.1	43.5	41.5	22.3		5.5	8.2	11.0	6.6	5.3	35.5
		17年	(749)	65.0	44.7	40.7	31.6	12.3			5.2	7.7	4.3	6.4	34.0
性別	男性	23年	(2518)	66.8	48.7	37.0	28.7	27.0	22.0	10.3	8.5	9.4	2.8	1.9	35.5
		20年	(2556)	68.2	50.3	40.4	36.3	25.7		11.7	9.6	12.3	6.2	3.5	35.8
		17年	(1705)	65.5	46.4	40.6	29.7	15.4			7.7	9.1	6.0	5.0	31.4
	女性	23年	(2482)	73.0	54.1	37.3	30.4	29.4	17.6	7.9	8.1	6.9	2.6	2.9	29.0
		20年	(2444)	72.6	56.3	40.1	37.3	29.0		7.4	8.4	9.2	5.4	5.2	29.1
		17年	(3295)	68.3	48.3	41.6	34.5	16.2			7.5	7.1	4.6	6.6	27.7
地域別	北海道	23年	(206)	69.9	51.5	37.9	28.2	27.7	15.0	7.3	11.2	9.7	1.9	1.9	35.4
		20年	(210)	65.7	56.2	41.9	41.4	25.7		9.5	7.1	12.9	2.9	4.8	31.9
		17年	(200)	69.0	46.0	37.0	36.5	19.5			8.0	9.5	3.5	5.0	29.5
	東北	23年	(353)	67.1	48.7	36.8	35.7	24.9	26.9	6.5	5.9	6.5	1.4	0.6	38.2
		20年	(355)	72.1	52.4	38.9	36.1	30.4		9.9	10.7	6.5	3.9	3.4	35.8
		17年	(350)	71.7	49.4	41.7	30.9	16.0			6.6	10.9	4.6	4.9	26.6
	関東甲信越	23年	(1825)	67.7	49.9	37.0	32.1	28.2	19.3	9.9	8.3	8.2	2.7	3.2	32.5
		20年	(1825)	68.9	51.0	38.9	39.8	25.7		10.8	8.4	10.7	6.2	5.4	34.0
		17年	(1800)	64.3	45.7	37.8	35.8	15.7			7.1	7.4	4.9	7.9	31.1
	東海北陸	23年	(786)	72.4	48.6	33.6	29.1	28.6	22.9	9.3	8.0	7.8	3.8	1.9	32.4
		20年	(780)	72.4	52.6	39.5	36.5	27.1		8.3	10.8	10.8	6.9	3.8	31.3
		17年	(750)	68.7	46.7	42.0	31.7	17.3			9.7	7.5	7.6	5.2	27.6
	近畿	23年	(816)	70.8	56.3	38.2	25.4	29.3	17.5	9.2	8.6	8.3	2.1	2.2	31.1
		20年	(816)	70.5	55.0	40.3	31.9	32.1		10.0	8.8	11.2	5.0	4.3	30.9
		17年	(850)	68.1	49.5	45.3	28.5	15.6			8.4	7.3	4.1	5.6	28.8
	中国・四国	23年	(431)	70.3	53.6	42.5	22.5	29.0	15.3	9.7	9.0	11.1	2.6	2.6	29.9
		20年	(431)	70.5	56.1	41.1	36.9	26.7		7.9	10.0	11.1	5.8	3.0	30.9
		17年	(450)	68.4	50.4	38.4	29.1	13.8			6.4	6.4	2.9	2.4	31.3
	九州・沖縄	23年	(583)	73.6	52.8	36.9	30.0	27.6	20.8	8.1	8.1	6.7	3.1	1.7	30.2
		20年	(583)	72.6	55.9	45.1	33.1	25.0		8.2	7.7	12.2	6.0	3.1	31.0
		17年	(600)	69.8	49.5	48.5	34.7	15.8			6.5	8.7	6.0	6.0	24.4

（%）

注：17年は「献血は愛に根ざしたものだから」の回答肢なし。17年、20年は「記念品やグッズがもらえるから」の回答肢なし。

（1）家族の献血の有無（Q24）

【 家族が献血している姿を見た経験がある人は2割強 】

- 家族が献血している姿を見たことが「ある」という人は24.3%で4人中1人の割合。
- 職業別では、専業主婦で見たことが「ある」人は32.0%で3割を超え、他の層と比べて高い。また高校生でも「ある」の割合が28.9%にのぼり、やや高い。
- 性別では、女性で見たことが「ある」人(29.0%)は男性(19.7%)に比べて9ポイント高い。
- 地域別による大きな差はみられない。

- 20年度調査と比べると、全体での大きな変化はみられない。
- 職業別では、高校生で20年度調査と比べて見たことが「ある」人の割合が上昇している。
- 性別では、大きな変化はみられない。
- 地域別では、北海道で20年度調査と比べて見たことが「ある」人の割合が上昇している。

（1）家族の献血の有無（Q24）

Q24. ご家族が献血している姿を見たことがありますか。

【基数:対象者全員】

			(N)	ある	ない	おぼえていない
全　体		23年	(5000)	24.3	67.0	8.7
		20年	(5000)	21.8	70.6	7.6
職業別	高校生	23年	(180)	28.9	60.6	10.6
		20年	(181)	23.2	65.2	11.6
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	24.2	67.2	8.6
		20年	(1453)	20.0	71.9	8.1
	会社員	23年	(2019)	22.8	68.2	9.0
		20年	(2152)	20.9	71.3	7.8
	公務員	23年	(225)	20.9	71.6	7.6
		20年	(207)	18.8	74.4	6.8
	自営業	23年	(135)	23.0	65.9	11.1
		20年	(106)	22.6	70.8	6.6
	専業主婦	23年	(444)	32.0	61.0	7.0
		20年	(448)	32.4	64.3	3.3
	その他	23年	(516)	24.0	67.6	8.3
		20年	(453)	21.6	69.8	8.6
性別	男性	23年	(2518)	19.7	69.8	10.6
		20年	(2556)	16.8	73.7	9.5
	女性	23年	(2482)	29.0	64.2	6.8
		20年	(2444)	27.0	67.4	5.6
地域別	北海道	23年	(206)	27.2	66.5	6.3
		20年	(210)	21.0	71.4	7.6
	東北	23年	(353)	22.7	70.0	7.4
		20年	(355)	23.9	71.0	5.1
	関東甲信越	23年	(1825)	21.6	69.5	8.9
		20年	(1825)	20.7	71.9	7.5
	東海北陸	23年	(786)	26.1	65.8	8.1
		20年	(780)	22.2	70.3	7.6
	近畿	23年	(816)	25.0	65.2	9.8
		20年	(816)	23.2	68.0	8.8
	中国・四国	23年	(431)	26.7	63.8	9.5
		20年	(431)	23.7	67.7	8.6
	九州・沖縄	23年	(583)	27.6	64.2	8.2
		20年	(583)	20.2	72.4	7.4

（2）友人の献血の有無（Q25）

【 献血経験のある友人がいる人は6割 】

- 友人に献血をしている人がいるかをたずねたところ、6割（59.8%）が献血をしている友人が「いる」と回答した。
- 職業別では、「いる」の割合が特に高いのは大学生・専門学校生(67.9%)と公務員(70.2%)で、7割にのぼる。一方、高校生(53.3%)、自営業(47.4%)、専業主婦(53.8%)では半数前後にとどまり、他の層に比べると低い。
- 性別・地域別で、大きな差はみられない。

- 20年度調査と比べると、全体での大きな変化はみられない。
- 職業別・性別では、20年度調査と比べて大きな変化はみられない。
- 地域別では、東北で「いる」の割合が20年度調査と比べて6ポイント低下している。

（2）友人の献血の有無（Q25）

Q25. あなたのお友達に献血をしている人はいますか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	いる	いない	わからない
全　体		23年	(5000)	59.8	14.4	25.8
		20年	(5000)	59.7	15.4	25.0
職業別	高校生	23年	(180)	53.3	19.4	27.2
		20年	(181)	56.9	18.2	24.9
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	67.9	10.7	21.3
		20年	(1453)	66.3	12.3	21.3
	会社員	23年	(2019)	58.2	15.3	26.5
		20年	(2152)	58.5	16.2	25.3
	公務員	23年	(225)	70.2	11.1	18.7
		20年	(207)	69.6	13.5	16.9
	自営業	23年	(135)	47.4	19.3	33.3
		20年	(106)	47.2	18.9	34.0
	専業主婦	23年	(444)	53.8	16.2	30.0
		20年	(448)	54.5	14.1	31.5
	その他	23年	(516)	48.6	18.8	32.6
		20年	(453)	48.3	21.4	30.2
性別	男性	23年	(2518)	57.7	15.1	27.2
		20年	(2556)	56.0	17.0	27.0
	女性	23年	(2482)	61.9	13.8	24.3
		20年	(2444)	63.5	13.7	22.8
地域別	北海道	23年	(206)	63.1	10.2	26.7
		20年	(210)	60.5	13.8	25.7
	東北	23年	(353)	63.5	14.2	22.4
		20年	(355)	69.9	11.8	18.3
	関東甲信越	23年	(1825)	58.2	15.3	26.5
		20年	(1825)	57.1	17.6	25.3
	東海北陸	23年	(786)	62.6	14.6	22.8
		20年	(780)	60.0	11.9	28.1
	近畿	23年	(816)	56.9	15.0	28.2
		20年	(816)	58.7	17.0	24.3
	中国・四国	23年	(431)	59.6	13.7	26.7
		20年	(431)	61.3	13.5	25.3
	九州・沖縄	23年	(583)	61.9	13.0	25.0
		20年	(583)	60.9	14.8	24.4

（3）高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか（Q26）

【 高校での集団献血がその後の動機づけに有効という意見は8割強 】

- 高校での集団献血の経験がその後の献血する動機付けになると思うかたずねたところ、「非常に有効」が36.6%で、「どちらかと言えば有効」が47.5%。両者を合わせた有効層は84.1%にのぼる。
- 職業別では、自営業での有効層が77.8%にとどまり、他の層と比べて低い。
- 性別では、女性の有効層(86.8%)が男性(81.3%)と比べて高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。

- 高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるかを、初めて献血した場所で分析した。
  ※下図参照
  高校で初めて献血した人では有効層が91.4%にのぼり高い。またその中でも「非常に有効」と考える割合が高く、全体の半数(49.9%)を占める。高校での集団献血の経験がその後の献血の動機付けに大きな役割を果たす可能性が示唆される。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体での有効層は19ポイント上昇し大幅に上昇した。23年度調査は20年度調査の結果と大きく変わらない。性別・地域別でみても、各層で同様の傾向となった。
- 職業別では、17年度調査と20年度調査を比べると、各層とも大幅に有効層の割合が上昇している。20年度調査と23年度調査を比べると、自営業で「非常に有効」と考える割合が低下し、「どちらかと言えば有効」と考える層が上昇しており、評価が下がっている。

＜関連質問の回答別＞

【基数：対象者全員】

			(N)	非常に有効	どちらかと言えば有効	あまり関係ない	全く関係ない	有効（計）	関係ない（計）
全　体		23年	(5000)	36.6	47.5	12.1	3.8	84.1	15.9
		20年	(5000)	36.4	48.2	11.7	3.7	84.6	15.4
初めて献血した場所	高校	23年	(793)	49.9	41.5	7.1	1.5	91.4	8.6
		20年	(902)	44.9	43.7	8.9	2.5	88.6	11.4
	大学キャンパス又は専門学校・各種学校	23年	(1058)	37.7	46.2	12.1	4.0	83.9	16.1
		20年	(1062)	35.8	49.8	11.2	3.2	85.6	14.4
	職場	23年	(262)	35.9	50.0	11.1	3.1	85.9	14.2
		20年	(240)	41.7	42.5	12.9	2.9	84.2	15.8
	献血バス（上記以外）	23年	(1091)	35.7	48.1	12.0	4.2	83.8	16.2
		20年	(1048)	32.4	52.4	11.5	3.7	84.8	15.2
	献血ルーム（血液センター）	23年	(1661)	31.2	51.0	14.1	3.6	82.2	17.7
		20年	(1641)	35.0	47.5	13.7	3.8	82.6	17.4
	覚えていない	23年	(135)	23.0	40.0	20.7	16.3	63.0	37.0
		20年	(107)	20.6	50.5	12.1	16.8	71.0	29.0

（3）高校での集団献血がその後の献血への動機付けとなるか（Q26）

Q26. 高校での集団献血があれば、その経験がその後に献血する動機付けになると思いますか。

【基数：対象者全員】　（%）

			(N)	非常に有効	どちらかと言えば有効	あまり関係ない	全く関係ない	有効（計）	関係ない（計）
全体		23年	(5000)	36.6	47.5	12.1	3.8	84.1	15.9
		20年	(5000)	36.4	48.2	11.7	3.7	84.6	15.4
		17年	(5000)	20.4	45.5	22.4	11.7	65.9	34.1
職業別	高校生	23年	(180)	38.3	44.4	13.3	3.9	82.7	17.2
		20年	(181)	35.9	49.2	8.8	6.1	85.1	14.9
		17年	(87)	20.7	35.6	28.7	14.9	56.3	43.7
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	35.7	48.4	12.4	3.5	84.1	15.9
		20年	(1453)	35.1	49.1	12.0	3.9	84.2	15.8
		17年	(652)	18.1	45.2	23.9	12.7	63.3	36.7
	会社員	23年	(2019)	37.4	46.0	12.2	4.4	83.4	16.6
		20年	(2152)	36.5	47.8	11.9	3.8	84.3	15.7
		17年	(2099)	21.0	44.4	23.2	11.5	65.4	34.6
	公務員	23年	(225)	38.7	50.2	9.3	1.8	88.9	11.1
		20年	(207)	38.2	44.9	13.0	3.9	83.1	16.9
		17年	(203)	25.6	48.8	18.2	7.4	74.4	25.6
	自営業	23年	(135)	28.9	48.9	17.8	4.4	77.8	22.2
		20年	(106)	41.5	36.8	14.2	7.5	78.3	21.7
		17年	(143)	21.0	46.9	21.0	11.2	67.8	32.2
	専業主婦	23年	(444)	41.7	43.5	12.8	2.0	85.2	14.8
		20年	(448)	41.5	51.1	6.9	0.4	92.6	7.4
		17年	(1067)	21.8	50.0	18.5	9.7	71.8	28.2
	その他	23年	(516)	32.0	53.7	9.9	4.5	85.7	14.4
		20年	(453)	33.6	47.9	15.0	3.5	81.5	18.5
		17年	(749)	17.5	42.3	25.4	14.8	59.8	40.2
性別	男性	23年	(2518)	34.4	46.9	13.4	5.3	81.3	18.7
		20年	(2556)	34.9	47.3	12.7	5.0	82.3	17.7
		17年	(1705)	19.4	41.3	26.7	12.6	60.7	39.3
	女性	23年	(2482)	38.7	48.1	10.8	2.3	86.8	13.1
		20年	(2444)	38.0	49.0	10.8	2.2	87.0	13.0
		17年	(3295)	21.0	47.6	20.2	11.2	68.6	31.4
地域別	北海道	23年	(206)	33.5	49.5	11.7	5.3	83.0	17.0
		20年	(210)	35.7	48.1	12.4	3.8	83.8	16.2
		17年	(200)	16.0	49.0	25.5	9.5	65.0	35.0
	東北	23年	(353)	36.0	49.3	11.6	3.1	85.3	14.7
		20年	(355)	40.0	45.6	10.4	3.9	85.6	14.4
		17年	(350)	24.0	48.0	17.4	10.6	72.0	28.0
	関東甲信越	23年	(1825)	37.2	45.0	13.3	4.4	82.2	17.7
		20年	(1825)	33.4	49.5	12.9	4.2	82.9	17.1
		17年	(1800)	19.9	44.3	22.5	13.3	64.2	35.8
	東海北陸	23年	(786)	39.2	47.2	10.8	2.8	86.4	13.6
		20年	(780)	37.6	48.1	10.6	3.7	85.6	14.4
		17年	(750)	20.9	46.1	21.9	11.1	67.1	32.9
	近畿	23年	(816)	34.1	51.1	10.8	4.0	85.2	14.8
		20年	(816)	36.3	48.2	12.3	3.3	84.4	15.6
		17年	(850)	18.4	46.5	24.2	10.9	64.8	35.2
	中国・四国	23年	(431)	34.8	48.5	12.8	3.9	83.3	16.7
		20年	(431)	36.2	50.8	10.7	2.3	87.0	13.0
		17年	(450)	19.1	44.4	25.8	10.7	63.6	36.4
	九州・沖縄	23年	(583)	37.2	48.0	12.2	2.6	85.2	14.8
		20年	(583)	42.9	43.7	10.1	3.3	86.6	13.4
		17年	(600)	24.7	45.0	19.7	10.7	69.7	30.3

（1）献血の必要性への理解の深まり（Q27－1）

【 資料を読んで献血の必要性への理解が深まった人は9割 】

- 献血に関する資料の閲読後に、献血の必要性への理解が深まったかをたずねたところ、「はい(深まった)」が32.6%で「どちらかというとはい(どちらかというと深まった)」が57.7%。両者を合わせると、理解が深まった層は90.3%にのぼる。
- 職業別では、各層とも理解が深まった層が9割前後を占めて高い。特に高校生では「はい(深まった)」と回答した人の割合が43.9%にのぼり、他の層と比べて評価が高い。
- 性別・地域別での大きな差はみられない。

- 17年度調査と20年度調査を比べると、全体の「はい(深まった)」と回答した人の割合が17ポイント上昇し大幅に上昇した。20年度調査と23年度調査では大きな変化はみられない。
- 職業別では、過去2回調査と比べると、高校生で「どちらかというとはい(どちらかというと深まった)」の意見が低下傾向で、かわりに「はい(深まった)」が上昇傾向にある。より理解の深まりがみられた。
- その他職業別・性別・地域別では、各層で20年度調査と大きな変化はみられない。

（1）献血の必要性への理解の深まり（Q27－1）

Q27. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
1） 献血の必要性への理解は今までと比べ深まりましたか。

【基数：対象者全員】 （%）

			(N)	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい（計）	いいえ（計）
全体		23年	(5000)	32.6	57.7	6.8	2.9	90.3	9.7
		20年	(5000)	32.7	59.4	5.7	2.2	92.1	7.9
		17年	(5000)	16.2	71.7	10.2	1.9	87.9	12.1
職業別	高校生	23年	(180)	43.9	47.8	5.6	2.8	91.7	8.4
		20年	(181)	32.6	58.6	6.1	2.8	91.2	8.8
		17年	(87)	14.9	71.3	12.6	1.1	86.2	13.8
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	35.2	55.2	6.9	2.7	90.4	9.6
		20年	(1453)	33.0	58.8	5.2	3.0	91.8	8.2
		17年	(652)	16.6	69.6	10.9	2.9	86.2	13.8
	会社員	23年	(2019)	30.8	59.5	6.6	3.1	90.3	9.7
		20年	(2152)	31.6	60.9	5.8	1.8	92.5	7.5
		17年	(2099)	15.0	72.0	11.4	1.6	87.0	13.0
	公務員	23年	(225)	32.4	57.3	8.4	1.8	89.7	10.2
		20年	(207)	29.0	58.5	10.6	1.9	87.4	12.6
		17年	(203)	14.3	75.4	7.9	2.5	89.7	10.3
	自営業	23年	(135)	33.3	54.1	8.9	3.7	87.4	12.6
		20年	(106)	34.0	53.8	10.4	1.9	87.7	12.3
		17年	(143)	22.4	62.2	12.6	2.8	84.6	15.4
	専業主婦	23年	(444)	33.1	59.2	5.4	2.3	92.3	7.7
		20年	(448)	38.2	57.1	3.3	1.3	95.3	4.7
		17年	(1067)	18.5	72.0	8.3	1.2	90.4	9.6
	その他	23年	(516)	28.3	61.0	7.4	3.3	89.3	10.7
		20年	(453)	33.1	58.1	6.0	2.9	91.2	8.8
		17年	(749)	15.8	73.0	8.7	2.5	88.8	11.2
性別	男性	23年	(2518)	31.8	57.1	7.3	3.8	88.9	11.1
		20年	(2556)	31.2	59.1	6.5	3.2	90.3	9.7
		17年	(1705)	15.0	70.2	12.2	2.6	85.2	14.8
	女性	23年	(2482)	33.5	58.3	6.2	2.0	91.8	8.2
		20年	(2444)	34.2	59.7	4.8	1.3	93.9	6.1
		17年	(3295)	16.9	72.5	9.1	1.5	89.4	10.6
地域別	北海道	23年	(206)	31.1	60.7	5.8	2.4	91.8	8.2
		20年	(210)	36.7	59.0	2.9	1.4	95.7	4.3
		17年	(200)	16.0	67.0	13.5	3.5	83.0	17.0
	東北	23年	(353)	33.1	60.1	4.5	2.3	93.2	6.8
		20年	(355)	36.3	55.8	5.9	2.0	92.1	7.9
		17年	(350)	18.0	73.4	6.9	1.7	91.4	8.6
	関東甲信越	23年	(1825)	32.4	57.3	7.0	3.2	89.7	10.2
		20年	(1825)	30.0	60.4	7.0	2.6	90.5	9.5
		17年	(1800)	14.9	71.1	12.1	1.9	86.0	14.0
	東海北陸	23年	(786)	34.1	57.0	7.0	1.9	91.1	8.9
		20年	(780)	33.6	60.0	4.4	2.1	93.6	6.4
		17年	(750)	15.7	73.9	9.3	1.1	89.6	10.4
	近畿	23年	(816)	31.7	58.8	6.1	3.3	90.5	9.4
		20年	(816)	32.2	59.4	5.5	2.8	91.7	8.3
		17年	(850)	16.0	72.6	9.4	2.0	88.6	11.4
	中国・四国	23年	(431)	32.7	55.2	7.7	4.4	87.9	12.1
		20年	(431)	36.0	58.0	4.4	1.6	94.0	6.0
		17年	(450)	19.8	70.2	8.2	1.8	90.0	10.0
	九州・沖縄	23年	(583)	32.8	57.6	7.7	1.9	90.4	9.6
		20年	(583)	34.3	58.5	5.7	1.5	92.8	7.2
		17年	(600)	17.5	71.3	9.0	2.2	88.8	11.2

（2）献血に協力する意識の高まり（Q27－2）

【 献血に協力する意識が高まった人は9割弱 】

- 献血に関する資料の閲読後に、献血に協力する気持ちが高まったかをたずねたところ、「はい(高まった)」(32.5%)と「どちらかというとはい(どちらかというと高まった)」(54.4%)を合わせた高まった層は9割弱(86.9%)にのぼり、資料閲読による献血協力意向の高まりがみられた。
- 職業別では、意識が高まった層の割合は高校生(90.0%)で最も高かった。また高校生では「はい(高まった)」(40.6%)と回答している人の割合が他の層と比べて高い。資料の閲読が高校生に対する献血意向促進に効果的であったことがわかる。
- 性別では、女性の高まった層の割合(89.8%)が男性の高まった層の割合(84.3%)と比べて高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。

➢ 過去2回調査と比べると、全体での意識が高まった層の割合に変化はみられない。ただし17年度調査と20年度調査を比べると「はい(高まった)」の割合が上昇しており、評価が高くなっている。職業別・性別・地域別でみても、各層とも概ね同様の傾向である。

（2）献血に協力する意識の高まり（Q27－2）

Q27. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
2）資料を読んで献血に協力する気持ちは高まりましたか。

【基数:対象者全員】 （%）

			(N)	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい（計）	いいえ（計）
全体		23年	(5000)	32.5	54.4	9.4	3.6	86.9	13.0
		20年	(5000)	31.3	56.6	9.3	2.7	87.9	12.1
		17年	(5000)	19.3	66.0	12.5	2.3	85.3	14.7
職業別	高校生	23年	(180)	40.6	49.4	6.1	3.9	90.0	10.0
		20年	(181)	36.5	48.6	11.6	3.3	85.1	14.9
		17年	(87)	20.7	59.8	17.2	2.3	80.5	19.5
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	35.9	51.5	9.7	2.9	87.4	12.6
		20年	(1453)	31.9	56.5	8.3	3.3	88.4	11.6
		17年	(652)	18.9	64.9	12.6	3.7	83.7	16.3
	会社員	23年	(2019)	31.0	55.6	9.6	3.9	86.6	13.5
		20年	(2152)	29.9	57.9	9.8	2.5	87.7	12.3
		17年	(2099)	19.0	65.0	13.7	2.2	84.0	16.0
	公務員	23年	(225)	28.9	59.6	10.2	1.3	88.5	11.5
		20年	(207)	30.0	54.6	13.5	1.9	84.5	15.5
		17年	(203)	22.2	66.5	10.8	0.5	88.7	11.3
	自営業	23年	(135)	28.1	55.6	9.6	6.7	83.7	16.3
		20年	(106)	25.5	55.7	16.0	2.8	81.1	18.9
		17年	(143)	21.7	59.4	16.1	2.8	81.1	18.9
	専業主婦	23年	(444)	34.7	54.5	7.9	2.9	89.2	10.8
		20年	(448)	37.1	56.7	4.9	1.3	93.8	6.3
		17年	(1067)	20.8	68.5	9.2	1.5	89.3	10.7
	その他	23年	(516)	27.1	57.8	9.5	5.6	84.9	15.1
		20年	(453)	30.7	55.4	10.4	3.5	86.1	13.9
		17年	(749)	17.0	67.7	12.7	2.7	84.6	15.4
性別	男性	23年	(2518)	29.1	55.2	10.8	4.9	84.3	15.7
		20年	(2556)	27.0	58.1	11.2	3.7	85.1	14.9
		17年	(1705)	15.7	65.2	15.8	3.3	80.9	19.1
	女性	23年	(2482)	36.1	53.7	7.9	2.3	89.8	10.2
		20年	(2444)	35.9	55.0	7.3	1.8	90.9	9.1
		17年	(3295)	21.2	66.4	10.7	1.7	87.5	12.5
地域別	北海道	23年	(206)	32.0	56.8	7.8	3.4	88.8	11.2
		20年	(210)	35.2	55.2	7.6	1.9	90.5	9.5
		17年	(200)	22.5	60.0	14.5	3.0	82.5	17.5
	東北	23年	(353)	33.4	54.4	9.1	3.1	87.8	12.2
		20年	(355)	33.0	56.3	8.7	2.0	89.3	10.7
		17年	(350)	21.1	68.0	8.9	2.0	89.1	10.9
	関東甲信越	23年	(1825)	33.0	52.5	10.7	3.8	85.5	14.5
		20年	(1825)	28.3	57.6	10.8	3.2	85.9	14.1
		17年	(1800)	17.2	65.2	14.9	2.7	82.4	17.6
	東海北陸	23年	(786)	35.6	52.3	8.9	3.2	87.9	12.1
		20年	(780)	31.2	57.7	7.9	3.2	88.8	11.2
		17年	(750)	20.3	66.1	12.5	1.1	86.4	13.6
	近畿	23年	(816)	28.3	59.6	8.5	3.7	87.9	12.2
		20年	(816)	31.1	56.9	9.3	2.7	88.0	12.0
		17年	(850)	18.1	68.4	10.8	2.7	86.5	13.5
	中国・四国	23年	(431)	32.0	55.5	7.7	4.9	87.5	12.6
		20年	(431)	38.7	53.1	6.7	1.4	91.9	8.1
		17年	(450)	21.1	64.7	11.8	2.4	85.8	14.2
	九州・沖縄	23年	(583)	32.9	54.5	9.3	3.3	87.4	12.6
		20年	(583)	33.3	55.1	9.3	2.4	88.3	11.7
		17年	(600)	22.7	66.3	9.2	1.8	89.0	11.0

（3）献血回数の増加意向喚起（Q27－3）

【 今後の献血意向が増加した人は8割強 】

- 献血に関する資料の閲読後に、献血に行く回数を増やそうと思ったかたずねたところ、「はい(増やそうと思う)」の28.9%と、「どちらかというとはい(どちらかというと増やそうと思う)」（53.8%）を合わせた意向が喚起された層は82.7%を占める。資料を閲読することによって、献血回数増加の意向を喚起できることがわかる。
- 職業別では、高校生で意向が喚起された層の割合が89.5%にのぼり9割弱を占めて、他の層と比べて高い。
- 性別では、女性で意向が喚起された割合(86.0%)が男性(79.3%)に比べて高い。
- 地域別では、大きな差はみられない。

- 過去2回調査と比べると、全体での意向が喚起された層の割合に変化はみられない。ただし17年度調査と20年度調査を比べると「はい(増やそうと思う)」の割合が上昇しており、より意向が喚起されている。
- 職業別では、20年度調査と比べて、意向が高まった層の割合が高校生で上昇し、専業主婦では低下した。
- 性別・地域別では、20年度調査と比べて概ね大きな変化はみられない。

（3）献血回数の増加意向喚起（Q27－3）

Q27. 献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
3）アンケートへの記載及び資料を読んで献血に行く回数を増やそうと思いましたか。

【基数:対象者全員】

（%）

			(N)	はい	どちらかというとはい	どちらかというといいえ	いいえ	はい（計）	いいえ（計）
全体		23年	(5000)	28.9	53.8	12.3	5.1	82.7	17.4
		20年	(5000)	28.5	54.4	13.0	4.1	83.0	17.0
		17年	(5000)	19.7	62.8	14.3	3.2	82.5	17.5
職業別	高校生	23年	(180)	33.9	55.6	8.3	2.2	89.5	10.5
		20年	(181)	35.4	44.8	13.8	6.1	80.1	19.9
		17年	(87)	20.7	60.9	14.9	3.4	81.6	18.4
	大学生・専門学校生	23年	(1481)	32.4	51.0	12.6	4.1	83.4	16.7
		20年	(1453)	29.4	54.0	12.3	4.3	83.4	16.6
		17年	(652)	20.9	60.0	14.1	5.1	80.8	19.2
	会社員	23年	(2019)	27.8	54.3	12.6	5.3	82.1	17.9
		20年	(2152)	26.9	56.0	13.4	3.8	82.9	17.1
		17年	(2099)	19.3	62.6	15.1	3.0	81.9	18.1
	公務員	23年	(225)	28.0	54.2	14.2	3.6	82.2	17.8
		20年	(207)	28.5	50.2	17.4	3.9	78.7	21.3
		17年	(203)	23.6	60.6	13.8	2.0	84.2	15.8
	自営業	23年	(135)	25.9	51.9	14.1	8.1	77.8	22.2
		20年	(106)	25.5	51.9	18.9	3.8	77.4	22.6
		17年	(143)	15.4	64.3	16.1	4.2	79.7	20.3
	専業主婦	23年	(444)	28.8	55.2	9.9	6.1	84.0	16.0
		20年	(448)	33.7	56.5	7.8	2.0	90.2	9.8
		17年	(1067)	20.5	65.9	11.8	1.8	86.4	13.6
	その他	23年	(516)	22.1	58.1	12.6	7.2	80.2	19.8
		20年	(453)	26.5	52.8	14.6	6.2	79.2	20.8
		17年	(749)	17.9	62.2	15.5	4.4	80.1	19.9
性別	男性	23年	(2518)	25.3	54.0	14.2	6.6	79.3	20.8
		20年	(2556)	24.6	54.2	16.0	5.2	78.8	21.2
		17年	(1705)	16.4	62.1	17.2	4.3	78.5	21.5
	女性	23年	(2482)	32.5	53.5	10.4	3.6	86.0	14.0
		20年	(2444)	32.6	54.7	9.8	2.9	87.3	12.7
		17年	(3295)	21.3	63.2	12.8	2.6	84.6	15.4
地域別	北海道	23年	(206)	30.6	55.3	10.2	3.9	85.9	14.1
		20年	(210)	35.2	51.9	7.6	5.2	87.1	12.9
		17年	(200)	23.5	55.5	16.5	4.5	79.0	21.0
	東北	23年	(353)	27.2	56.1	13.0	3.7	83.3	16.7
		20年	(355)	28.2	55.2	13.8	2.8	83.4	16.6
		17年	(350)	23.4	61.1	11.7	3.7	84.6	15.4
	関東甲信越	23年	(1825)	28.7	52.4	13.2	5.7	81.1	18.9
		20年	(1825)	26.4	54.4	14.5	4.7	80.8	19.2
		17年	(1800)	17.2	62.1	17.1	3.7	79.2	20.8
	東海北陸	23年	(786)	30.8	53.2	11.3	4.7	84.0	16.0
		20年	(780)	30.0	53.5	12.1	4.5	83.5	16.5
		17年	(750)	19.2	65.6	12.9	2.3	84.8	15.2
	近畿	23年	(816)	27.7	54.8	12.7	4.8	82.5	17.5
		20年	(816)	27.5	55.9	13.5	3.2	83.3	16.7
		17年	(850)	18.5	65.2	13.4	2.9	83.6	16.4
	中国・四国	23年	(431)	27.1	55.5	10.9	6.5	82.6	17.4
		20年	(431)	32.3	53.8	11.1	2.8	86.1	13.9
		17年	(450)	22.9	61.3	13.3	2.4	84.2	15.8
	九州・沖縄	23年	(583)	30.2	54.0	11.5	4.3	84.2	15.8
		20年	(583)	29.8	54.7	11.3	4.1	84.6	15.4
		17年	(600)	23.5	63.0	10.5	3.0	86.5	13.5

（1）若年層の献血協力意向を高めるアイデア （Q28）

【 献血意向を高めるには「処遇品・記念品」、「人気タレント起用」、「身近な献血場所」等 】

- 若年層の献血協力意向を高めるアイデアを自由記述形式でたずねたところ、「処遇品、記念品をよくする／特典をつける」や「報酬をお金にする」といった、献血者に直接メリットがある内容。「人気タレントを使う」や「学校、テレビ、インターネットでのPR」など、より興味を引き、アクセスしやすいPR方法を考える必要があるといった内容。また献血が出来る施設に関しては、「高校や学校、人通りの多い、駅前、繁華街、何かのついでや待ち時間にできる」場所で献血が出来る施設を設ける必要があるといった内容が多くあげられた。

12. 若年層の献血協力意向を高めるアイデア　【経験者編】

（1）若年層の献血協力意向を高めるアイデア（Q28）

Q28. 若い方の献血に協力する気持ちを高めるためには、どのようなことをすればよいと思いますか。広報の方法やキャンペーン、イベント、献血場所などについて具体的なアイデアやイメージなどがあれば自由に記入してください。

【対象者全員】

若年層の献血協力意向を高めるアイデア （記載が多かったもの）
処遇品、記念品をよくする／特典をつける
人気タレントを使う
高校、学校に献血バスがくる
学校の授業で取り入れる／学校でのPR
人通りの多い場所で行う／駅前、繁華街で行う／行きやすい場所で献血できる／何かのついでや待ち時間できる
献血の重要性、必要性をアピール
気軽に行けるような雰囲気作り／入りやすい雰囲気作り／明るい雰囲気作り／親しみを持てるようにする／楽しいイメージにする
テレビでのPR
献血イベントの実施／イベント会場に出張／学園祭に出張
有名人が実際に献血している様子を見せる／同年代の人がやっている姿を見せる／経験談等を広める
献血についての詳しい説明、周知
インターネットでの呼びかけ／インターネット広告／SNSでの呼びかけ／メルマガ
献血することによるメリットを伝える
献血によってどれだけ人が救われるかを示せばいい／献血が患者さんの役に立っている画像または感謝の声を流す
安全性をアピール／恐怖感、抵抗感の払しょく
若者が集まる場所に献血コーナーを設ける／若者が集まる場所でキャンペーンをする
献血ルーム、献血バス自体を増やす
大学キャンパスなどへの出張を増やす／大学でキャンペーンをする
献血できる時間帯をのばす／休日に行う
友達と一緒にできればよい／集団献血
献血にかかる時間を短縮
献血ルーム内でのサービスをよくする
ボランティアでは限界がある／義務化する
量を少なくする／200mL献血、成分献血でも受け付けてほしい
キャンペーンを増やす／もっとよいキャンペーンを行う
報酬をお金にする
職場に献血バスがくる
献血に関する資料をわかりやすくしたほうがよい
もっと宣伝する

付）調査票／呈示資料

スクリーニング用

若年層献血意識調査

SC1　現在お住まいの地域は、以下のうちどちらになりますか。
　1. 北海道　2. 東北　3. 関東甲信越　4. 東海北陸　5. 近畿
　6. 中国・四国　7. 九州・沖縄

SC2　現在おいくつですか。
　1. 15歳以下　⇒　対象外
　2. 16～17歳
　3. 18～19歳
　4. 20～24歳
　5. 25～29歳
　6. 30歳以上　⇒　対象外

SC3　あなたの性別を教えてください。
　1. 男性　　2. 女性

SC4　現在のご職業を教えてください。
　1. 高校生　2. 大学生・専門学校生　3. 会社員　4. 公務員　5. 自営業
　6. 専業主婦　7. その他（　　）

SC5　あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。
　1. はい　2. いいえ

SC6　あなたは、今までに「献血」をされたことがありますか。
　1　ある　⇒　献血経験者用調査票へ
　2　ない　⇒　献血未経験者用調査票へ

献血未経験者用

若年層献血意識調査

問1　献血について知っていますか。
　1. よく知っている　2. ある程度知っている　3. まったく知らない

問2　献血の種類(※)を知っていますか。
　1. 知っている　2．知らない
　※　…献血の種類には、すべての血液の成分を採血する全血献血(200mLまたは400mL)と、
　　必要な血液の成分だけを採血する成分献血(血漿成分献血または血小板成分献血)があります。

問3　献血がどこでできるか知っていますか。(※)
　1. 知っている　2. ある程度知っている　3. 知らない
　※　…献血は、①献血ルーム　②献血バス　③血液センター　④会社や団体での出張献血ですることができます。

問4　献血について関心がありますか。
　1. 非常に関心がある　2. 関心がある　3. 特に関心がない　4. 全く関心がない

問5　献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな
　病気の治療に役立っていることを知っていますか。
　1. 知っている　2. 知らない

問6　献血された輸血用血液製剤の有効期間は短く、絶えず献血が必要なことを知っていますか。
　1. 知っている　2. 知らない
　※　…血液製剤の有効期間は一番短い血小板製剤で採血後4日間、赤血球製剤は21日間です。

問7　献血された輸血用血液製剤の使い道は、交通事故などの大量出血時よりもがんなどの病気の治療に使われること
　が圧倒的に多いことを知っていますか。
　1. 知っている　2. 知らない
　※　…約8割が病気(うちがんの治療3割)に使われ、交通事故などによる輸血は約1割程度。

問8　輸血の医療を受けられた多くの患者さんは、献血をしてくれた方に感謝(献血してくれてありがとう)の気持ちを
　持っています。そのような声を目や耳にしたことはありますか。
　1. ある　2. ない

問9　献血へ協力してくださる若い方の数が、近年大幅に減っています(※)。知っていましたか。
　1. 知っている　2. 知らない
　※　…最近5年間で、20代の献血者数は140万人から108万人(23%減)に、
　　10代の献血者数は48万人から29万人(40%減)も減少しています。

問10　献血に関して、どのような広報媒体を見たこと(聞いたこと)がありますか(複数回答可)。
　1. テレビ　2. FM放送　3. その他のラジオ放送　4. 新聞
　5. 街頭での呼びかけ　6. 献血ルーム前の看板・表示　7. チラシの配布
　8. ポスターの掲示　9. 献血関係のイベント　10. 自治体の広報誌　11. 雑誌等
　12. インターネット　13. 献血バス
　14. その他(　　)
　15. 何かで見た(聞いた)が、何の媒体か覚えていない
　16. 見たこと(聞いたこと)がない

問11　献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか(複数回答可)。
　1. テレビ　2. FM放送　3. その他のラジオ放送　4. 新聞　5. 雑誌
　6. 自治体の広報誌　7. インターネット　8. 携帯電話　9. ポスター
　10. その他(　　)

問12　厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。
　1. 知っている　2. 知らない

問13　問12で「けんけつちゃん」を知っていると答えた方へお聞きします。
献血推進のキャラクターとして「けんけつちゃん」の印象を教えて下さい。
1. よい　2. わるい　3. どちらともいえない

問14　献血に関するキャンペーンを知っていますか。（複数回答可）
1. 愛の血液助け合い運動（毎年7月）　2.「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）
3. LOVE in Actionキャンペーン（通年）　4. その他（　　）
5. 知らない

献血に関するキャンペーンで、印象に残ったキャッチフレーズやメッセージがあれば、ご記入下さい。

問15　平成2年から、全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP　STEP　JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。
1. 保健体育の授業で使用した　2. 他の授業で使用した　3. 配布されただけ
4. 知らない

※参考（平成23年版　高校生副読本「HOP STEP JUMP」→
http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/23/index.htmlをご覧下さい）

問16　献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない

問17　血液製剤（※）は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない
※…重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ58％台である。

問18　献血ルームのイメージを教えてください。
1. 明るい　2. ふつう　3. 暗い　4. わからない

問19　献血したことがないのはどのような理由からですか。
理由の大きい順に3つまで、その番号をお選びください。
1. 献血を申し込んだが、基準に適合せずに断られた
2. 献血している所に入りづらかったから
3. 呼び込みが強引で嫌だったから
4. 献血場所が遠いので面倒だから
5. 近くに献血する場所や機会がなかったから
6. どこで献血ができるか分からない
7. 時間がかかりそうだから
8. 忙しくて献血する時間がなかったから
9. 自分が献血しなくても誰かがやると思ったから
10. 自分の血液が役に立たないと思ったから
11. 血液が無駄にされていると聞いたから
12. 針を刺すのが痛くて嫌だから
13. なんとなく不安だから
14. 健康上出来ないと思ったから
15. 病気がうつると思ったから
16. 献血すると言ったら、友人や家族からとめられた
17. 血を採られるという感じが嫌だ
18. 恐怖心
19. 職員の態度が悪いので献血したくない
20. 献血する意志がない
21. 海外渡航歴等による献血制限で献血したくてもできない
22. 薬を服用しているので献血ができない
23. その他
24. わからない

1番目［　　］　2番目［　　］　3番目［　　］

23.その他を選んだ場合の具体的な理由［　　］

問20　あなたが献血するきっかけとなり得る項目を選択してください。
きっかけの大きい順に3つまで、その番号をお選びください。
なお、13、14番を選択した方は、具体例を教えてください。

1.家族や友人などから勧められた
2.献血しているところが入りやすい雰囲気になった
3.近くに献血する場所ができた（献血ルーム）
4.近くに献血する場所ができた（献血バスまたは出張献血）
5.キャンペーンやイベント等により献血が身近に感じられるようになった
6.好きなタレントがキャンペーンに起用されていた
7.献血の重要性が明確になった
8.血液が無駄になってないことが分かった
9.針が細くなった
10. 針を刺すときに痛みを和らげる処置が実施された（麻酔など）
11. 献血で病気がうつることはないと知った
12. 献血ルームの受付時間が長くなった
13. 献血したときの処遇品（記念品）が良くなった
14. 献血ルームのサービスが良くなった
15. 献血が自分の健康管理の役に立つようになった
16. 職員の態度が良くなった
17. 海外渡航歴等の献血制限が解除された
18. 献血が健康にほとんど害がないということが分かった
19. 献血できる場所が分かった
20. 献血は絶対しない

１番目 [　　]　２番目 [　　]　３番目 [　　]

13. 献血したときの処遇品（記念品）が良くなったを選んだ場合の具体例

[　　]

14. 献血ルームのサービスが良くなったを選んだ場合の具体例

[　　]

20. 献血は絶対しないを選んだ場合の理由

[　　]

問21　血液の有効かつ安全な活用のため、現在では400mLを推奨していますが、仮にあなたが初めて献血する場合、200mLではなく400mLの献血に抵抗を感じますか。
1. はい　2. どちらかというとはい　3. どちらかというといいえ　4. いいえ

問22　ご家族が献血している姿を見たことがありますか。
1. ある　2. ない　3. おぼえていない

問23　あなたのお友達に献血をしている人はいますか。
1. いる　2. いない　3. わからない

問24　献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
画像呈示（資料）

問24-1　献血の必要性への理解は良くなりましたか。
1. はい　2. どちらかというとはい　3. どちらかというといいえ　4. いいえ

問24-2　今は献血に協力する気持ちはありますか。
1. ある　2. どちらかというとある　3. どちらかというとない　4. ない

問24-3　今後、実際に献血に行きますか。
1. はい　2. どちらかというとはい　3. どちらかというといいえ　4. いいえ

問25　若い方の献血に協力する気持ちを高めるためには、どのようなことをすればよいと思いますか。
広報の方法やキャンペーン、イベント、献血場所などについて具体的なアイデアやイメージなどがあれば自由に記入してください。

[　　]

以上で献血に関するアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

わが国は、輸血などの血液製剤を献血により安全に安定して国内自給することを目指している
世界でも数少ない国です。
今後とも、献血への御理解と御協力をお願いいたします。

なお、最後に、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」をどうぞよろしくお願いします。

プロフィールはこちら → http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/1i.html

若年層献血意識調査

献血経験者用

問1　献血は、患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない

問2　献血された輸血用血液製剤の有効期間は短く、絶えず献血が必要なことを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない
※　…血液製剤の有効期間は一番短い血小板製剤で採血後4日間、赤血球製剤は21日間です。

問3　献血された輸血用血液製剤の使い道は、交通事故などの大量出血時よりもがんなどの病気の治療に使われることが圧倒的に多いことを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない
※　…約8割が病気（うちがんの治療3割）に使われ、交通事故などによる輸血は約1割程度。

問4　輸血の医療を受けられた多くの患者さんは、献血をしてくれた方に感謝（献血してくれてありがとう）の気持ちを持っています。そのような声を目や耳にしたことはありますか。
1. ある　2. ない

問5　献血へ協力してくださる若い方の数が、近年大幅に減っています（※）。知っていましたか。
1. 知っている　2. 知らない
※　…最近5年間で、20代の献血者数は140万人から108万人（23％減）に、10代の献血者数は48万人から29万人（40％減）も減少しています。

問6　献血に関して、どのような広報媒体を見たこと（聞いたことが）ありますか（複数回答可）。
1. テレビ　2. FM放送　3. その他のラジオ放送　4. 新聞
5. 街頭での呼びかけ　6. 献血ルーム前の看板・表示　7. チラシの配布
8. ポスターの掲示　9. 献血関係のイベント　10. 自治体の広報誌　11. 雑誌等
12. インターネット　13. 献血バス
14. その他（　　）
15. 何かで見た（聞いた）が、何の媒体か覚えていない
16. 見たこと（聞いたこと）がない

問7　献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか（複数回答可）。
1. テレビ　2. FM放送　3. その他のラジオ放送　4. 新聞　5. 雑誌
6. 自治体の広報誌　7. インターネット　8. 携帯電話　9. ポスター
10. その他（　　）

問8　厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない

問9　問8で「けんけつちゃん」を知っていると答えた方へお聞きします。
献血推進のキャラクターとして「けんけつちゃん」の印象を教えて下さい。
1. よい　2. わるい　3. どちらともいえない

問10　献血に関するキャンペーンを知っていますか。（複数回答可）
1. 愛の血液助け合い運動（毎年7月）　2.「はたちの献血」キャンペーン（毎年1～2月）
3. LOVE in Actionキャンペーン（通年）　4. その他（　　）
5. 知らない

献血に関するキャンペーンで、印象に残ったキャッチフレーズやメッセージがあれば、ご記入下さい。

問11　平成2年から、全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材
「HOP　STEP　JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。
1. 保健体育の授業で使用した　2. 他の授業で使用した　3. 配布されただけ
4. 知らない

※参考（平成23年版　高校生副読本「HOP STEP JUMP」→
http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/23/index.htmlをご覧下さい）

問12　献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない

問13　血液製剤（※）は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。
1. 知っている　2. 知らない
※…重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ58％台である

問14　献血ルームのイメージを教えてください。

-1　ルームの雰囲気	1. 明るい	2. ふつう	3. 暗い	4. わからない
-2　ルームの広さについて	1. 広い	2. ふつう	3. 狭い	4. わからない
-3　職員の対応について	1. 良い	2. ふつう	3. 悪い	4. わからない
-4　記念品や軽い飲食物について	1. 良い	2. ふつう	3. 悪い	4. わからない

問15　献血について何か要望又は知りたいことがありますか。（複数回答可）
1. 献血する場所、日時などについて十分知らせてほしい
2. 献血について正しい知識、必要性を知らせてほしい
3. 献血で昼休み、夜間などの受付時間を延長してほしい
4. 職場や学校などで献血の機会を増やしてほしい
5. 献血された血液がどのように使われるのか知りたい
6. 献血したときの処遇品（記念品）をもっと良くしてほしい
7. 進学や就職時に献血の経験を考慮してほしい
8. 学校の授業で献血の重要性等について取り上げてほしい
9. その他（　　）
10. 特にない

問16　初めて献血をしたのはいつですか。
1. 16～17歳　2. 18～19歳　3. 20～24歳　4. 25歳～29歳

問17　初めて献血した場所はどこですか。
1. 高校　2. 大学キャンパス又は専門学校・各種学校
3. 職場　4. 献血バス（1～3以外）
5. 献血ルーム（血液センター）　6. 覚えていない

問18　初めての献血の種類は何ですか。
1. 200mL献血　2. 400mL献血　3. 成分献血　4. 覚えていない

問19　初めての献血で400mL献血をすることをどう思いますか。
1. 特に不安は感じない　2. 不安　3. わからない

2. 不安を選んだ場合の理由

問20　過去1年間に何回献血しましたか。
（1）200mL献血
1．0回　2．1回　3．2回　4．3回　5．4回　6．5回　7．6回
（2）400mL献血
1．0回　2．1回　3．2回　4．3回
（3）成分献血
1．0回　2．1回　3．2回　4．3回　5．4回　6．5回　7．6回　8．7回以上

問21　今までの献血回数は合計で何回ですか。
1．1回　2．2回　3．3～5回　4．6～10回　5．11～20回
6．21～30回　7．それ以上

問22　初めての献血のきっかけになったのは、次のうちどれですか。
きっかけの大きい順に3つまで、その番号をお選びください。
1．自分の血液が役に立ってほしいから
2．献血は愛に根ざしたものだから
3．輸血用の血液が不足していると聞いたから
4．自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから
5．将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力した
6．過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから
7．記念品やグッズがもらえるから
8．お菓子やジュースがもらえるから
9．ネールアートやマッサージなどのサービスが受けられるから
10．図書券がもらえたから
11．なんとなく
12．輸血を受けるときに役立てたいから
13．家族や友人などに勧められたから
14．高校に献血バス・出張献血が来たから
15．大学キャンパスに献血バス・出張献血が来たから
16．覚えていない

１番目 [　　]　２番目 [　　]　３番目 [　　]

問23　現在献血するきっかけになっているのは、次のうちどれですか。
きっかけの大きい順に3つまで、その番号をお選びください。
1．自分の血液が役に立ってほしいから
2．献血は愛に根ざしたものだから
3．輸血用の血液が不足していると聞いたから
4．自分の血液の検査結果が自分の健康管理のためになるから
5．将来自分や家族などが輸血を受けることがあるかもしれないから協力したい
6．過去に家族や友人などが輸血を受けたことがあるから
7.記念品やグッズがもらえるから
8．お菓子やジュースがもらえるから
9．輸血を受けるときに役立てたいから
10．テレビやDVDを観ることができるから
11．ネールアートやマッサージなどのサービスが受けられるから
12．なんとなく

１番目 [　　]　２番目 [　　]　３番目 [　　]

問24　ご家族が献血している姿を見たことがありますか。
　　１．ある　　２．ない　　３．おぼえていない

問25　あなたのお友達に献血をしている人はいますか。
　　１．いる　　２．いない　　３．わからない

問26　高校での集団献血があれば、その経験がその後に献血する動機付けになると思いますか。
　　１．非常に有効　　２．どちらかと言えば有効　　３．あまり関係ない　４．全く関係ない

問27　献血に関する資料を読まれた後で次の質問にお答え下さい。
　　画像呈示（資料）

問27-1　献血の必要性への理解は今までと比べ深まりましたか。
　　１．はい　　２．どちらかというとはい　３．どちらかというといいえ　　４．いいえ

問27-2　資料を読んで献血に協力する気持ちは高まりましたか。
　　１．はい　　２．どちらかというとはい　３．どちらかというといいえ　　４．いいえ

問27-3　アンケートへの記載及び資料を読んで献血に行く回数を増やそうと思いましたか。
　　１．はい　　２．どちらかというとはい　３．どちらかというといいえ　　４．いいえ

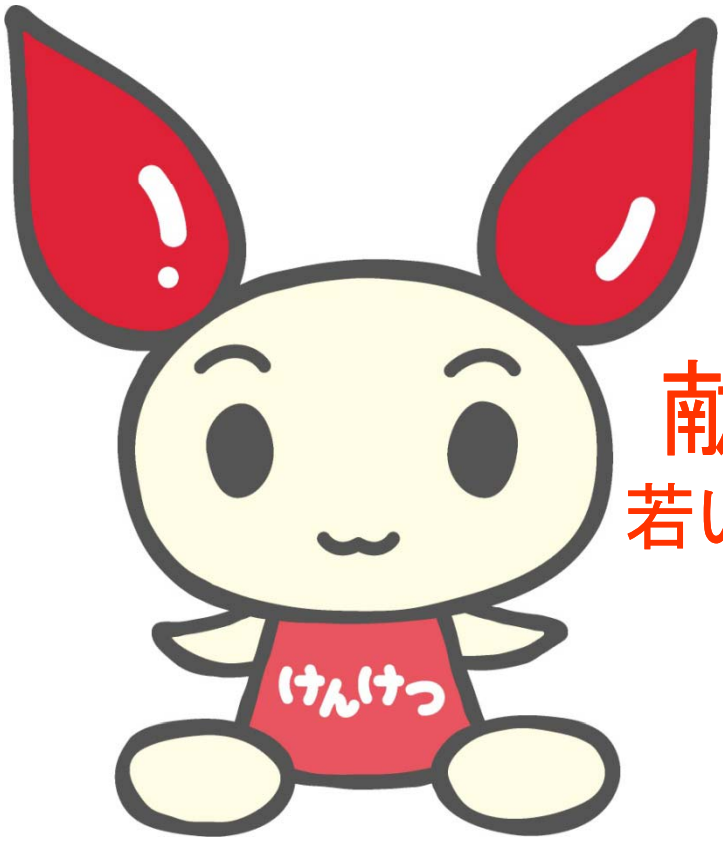
問28　若い方の献血に協力する気持ちを高めるためには、どのようなことをすればよいと思いますか。
　　広報の方法やキャンペーン、イベント、献血場所などについて具体的なアイデアやイメージなどがあれば自由に記入してください。

以上で献血に関するアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

わが国は、輸血などの血液製剤を献血により安全に安定して国内自給することを目指している世界でも数少ない国です。
今後とも、献血への御理解と御協力をお願いいたします。

なお、最後に、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」をどうぞよろしくお願いします。

プロフィールはこちら　→　http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/1i.html



献血にご協力を
若い皆さんの熱い友情を

血液を必要とする人すべてが輸血を受けられるように。
献血したことのある方もない方も、あらためてご協力をお願いします。
血液を必要としている人はあなたのすぐそばにいるかもしれません。

献血はどこでできるの？

献血は、献血ルームや献血バスで行うことかできます。
全国の血液センターや献血ルームは、日本赤十字社ホームページ（http://www.jrc.or.jp）に掲載しています。

献血はなぜ必要なの？

血液は様々な働きをしており、生命を維持するために不可欠のものです。そこで事故などで大量に血液が失われた人や、病気で正常な血液を造ることができなくなってしまった人には、血液を補充（輸血）することが必要になります。

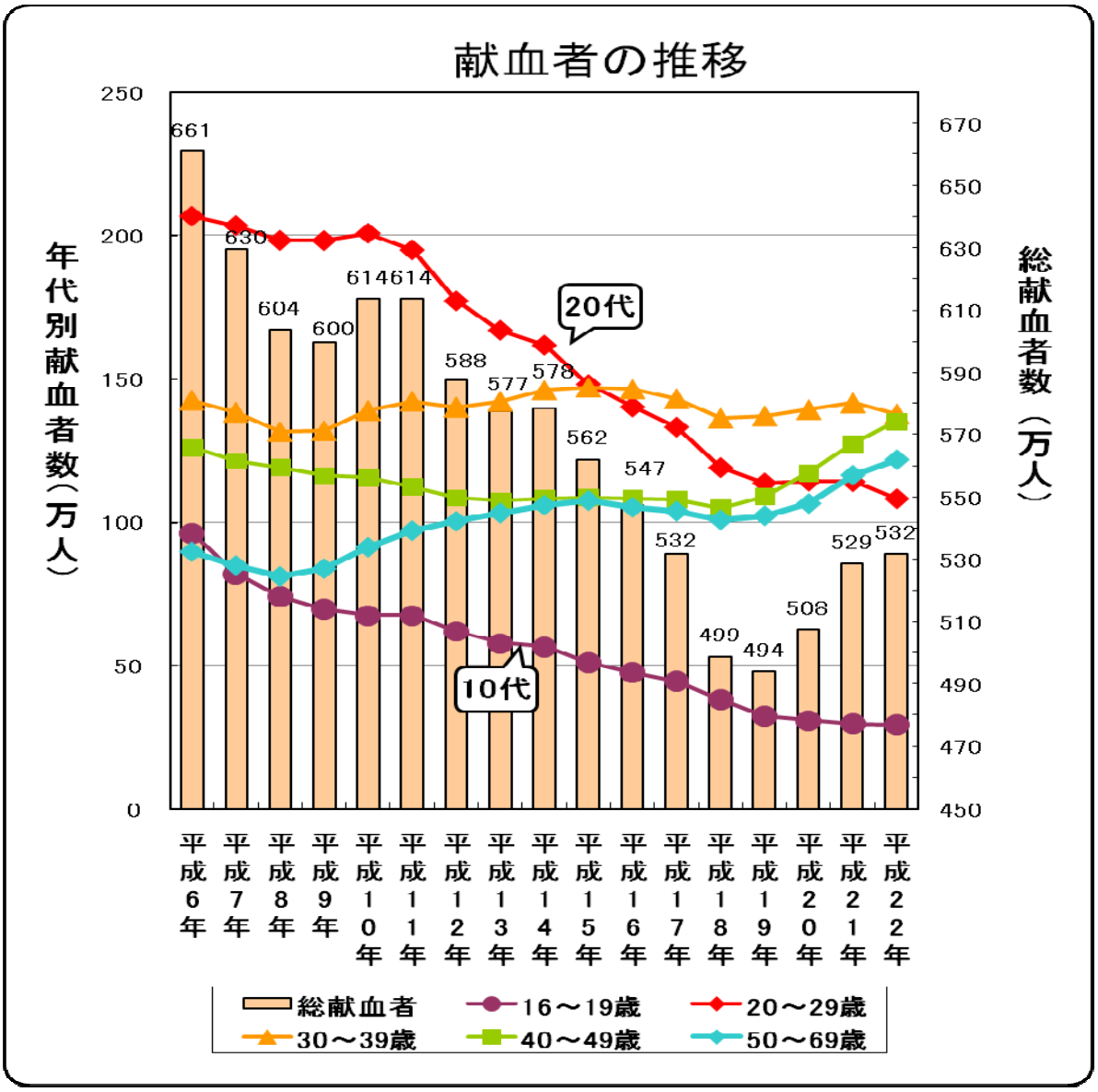
しかし、医療技術の発達した現在でも、血液と全く同じ作用をもつものを人工的に作ることはできません。医療に必要な血液は私たち自身が提供するほかに確保する方法がありません。

献血は、病気やけがで血液を必要としている人のために、見返りを求めず血液を提供することです。健康な人のボランティアによって、多くの人の命が救われているのです。

厚 生 労 働 省

お問い合わせ：
厚生労働省医薬食品局血液対策課献血推進係（電話 03-3595-2395）

若年層の献血者が減少しています



現代の医療に欠くことのできない血液。
その血液の確保が徐々に難しくなってきています。

原因の一つは、若年者数自体が少子社会の影響で減少しているほか、若年人口に占める献血者の割合も減少しています。

別の原因として、血液の安全対策の強化も挙げられます。
血液にはウイルスなど病気の原因となるものが潜んでいる可能性があり、献血の前の問診でいくつかの条件に当てはまる方については、献血をご遠慮いただいています。
感染症についての新たな事実が明らかになるにつれ、献血をご遠慮いただかなくてはならない人が増えてきているのです。

このままでは輸血を必要とする方々に血液が届けられないという危機的な状況となる可能性もあります。

献血はひとりひとりの思いやりによって支えられているシステム。皆さんのご協力をお願いします。